Alice Nine the GazettE シド ナイトメア ViViD Lc5 LM.C SuG
平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年10月1日発行第212号(毎月1回1
SHOXX
10月号 Vol.212
2010 月刊 980YEN
特別付録
Alice Nine
特大ポスター
2大特
応募者全員サービス
ご希望のフォトカードをサービス!!
Alice Nine、Kagrra,、SuG、ViViD、雫(TOON-FACTORY)
Alice Nine
Special Front 14 Pages Edition
the GazettE シド ナイトメア ViViD
Lc5 LM.C ギルガメッシュ THE KIDDIE
SuG ヴィドール heidi.
SHOXX Start 20th Anniversa
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
nudie.com

交錯する命の咆哮

NEW ALBUM

# DUALITY

## 2010.11.17 ON SALE

[初回盤] CD+DVD
CD　11曲収録
DVD MUSIC CLIP
PSIS-30031 / ¥3,675 (tax in)

[通常盤] CD
CD　13曲収録
PSIS-50031 / ¥3,675 (tax in)

[Indie PSC. ONLINE SHOP]

11.17 発売「DUALITY」初回盤（¥3,675）通常盤（¥3,675）の2タイプ同時購入で、
サイン入り2L写真を3種類の中から2枚差し上げます。
こちらの特典は無くなり次第終了となります。PS mobile へ今すぐアクセス！

---

[ONEMAN LIVE]

PS COMPANY PRESENTS
SCREW 2010 INTEGRATION ONEMAN LIVE

## DUALITY SYMMETRY

12.05 (sun) Shibuya O-WEST
OPEN 16:30 / START 17:00

TICKET ¥3,800 (tax in) D代別
9.18（土）全国一斉発売
Information DISK GARAGE 03-5436-9600

【チケット先行受付方法】
郵便局に備付の青い振込用紙にてお申込みください。（電信・現金書留・為替・速達不可）
■口座番号：00140-0-465378
■加入者名：Indie PSC.
■金　額：チケット代金 × 希望枚数+送料¥700
■通信欄：1. SCREW 12.05 Shibuya O-WEST
2. 希望枚数【枚数制限4枚まで】
3. 氏名
4. 住所
5. 電話番号または携帯番号
■受付期間：7.20（火）～ 8.26（木）当日消印有効
■注意事項：
● 記入ミス・振込金額などの間違いなどがありますと返金させて頂く場合がありますので、予めご了承下さい。
また、一枚の振込用紙に希望公演以外のお申込をされますと返金となりますので、ご注意下さい。
● 万が一、先行予約のチケットが予定枚数をオーバーした場合は抽選となります。
尚、落選された方にはご返金とさせて頂きますので予めご了承下さい。
その際、返信手数料を差し引かせていただきます。
● 転売目的でのお申し込みの方は抽選漏れの対象となります。
● 住所変更がある方は、お早めにご連絡下さい。
● 振込の受領書はチケットが届くまで大切に保管して下さい。
万が一、チケットが届かない場合にご入金を　証明するものとなります。
● お申込み後の変更・キャンセル、また紛失時の再発行は一切致しかねます。
● 整理番号は振込用紙の到着順に関係なく抽選とさせていただきます。
以上、予めご了承下さい。
Info: PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC. 03-5355-3822

[LIVE SCHEDULE]

08.21（土）大阪 BIG CAT
08.22（日）名古屋 E.L.L
08.28（土）高田馬場 AREA
09.25（土）高田馬場 AREA
09.26（日）高田馬場 AREA
10.02（土）高田馬場 AREA
10.05（火）江坂 MUSE
10.06（水）名古屋 ell FIT'S ALL
10.08（金）HEAVEN'S ROCK 熊谷 VJ-1
10.09（土）横浜 BAYSIS
10.11（月）HEAVEN'S ROCK さいたま新都心 VJ-3
10.12（火）郡山 #9
10.13（水）新潟 CLUB JUNK BOX
10.15（金）富山 club MARIO
10.16（土）金沢 AZ
10.17（日）長野 CLUB JUNK BOX
10.19（火）福井 CHOP
10.20（水）松坂 M'AXA
10.22（金）名古屋 ell FIT'S ALL
10.23（土）岐阜 club G
10.24（日）静岡 SUNASH
10.26（火）甲府 CONVICTION
11.10（水）広島ナミキジャンクション
11.12（金）岡山 IMAGE
11.13（土）米子 AZTiC laughs

[INSTORE EVENT]

11.20（土）新宿 ZEAL LINK / 渋谷 ZEAL LINK
11.27（土）自主盤倶楽部
12.04（土）Brand X

---

【OFFICIAL WEB SITE】

http://www.indie-psc.com/screw/

【TOTAL INFORMATION】

PS COMPANY Co.,Ltd. / Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福 3-41-9-2F
TEL : 03-5355-3822（平日 12:00 ～ 18:00）
※ファンレター等はメンバー名を明記の上お送り下さい。
また、お問合わせに関してはメールではなく
直接お電話でお願いします。

PS mobile

蝴蝶网
hudie.com

2010.8.25 Release!!
1st Maxi Single
フレーバー
spiv states
フレーバー
【初回盤】CD+DVD
[CD]01.フレーバー／02.HORRY
ーバー PV／02.フレーバー PV メイキング
CLUD-0001～0002／¥1,890
spiv states
フレーバー
【通常盤】CD（エンハンスド仕様）
[CD]01.フレーバー／02.HORRY
[エンハンスドCD]01.spiv file #2
CLUD-0003／¥1,575
states
蝴蝶网
hudie.com
CLOUD

蝴蝶网
hudie.com

ガグリ千葉!?
デス──ス!!
来場者全員に、漏れなく千葉が"xxx"したげる!!
蝴蝶网 hudie.com
3点責め
1点、ソロリサイタル
2点、涙、伝説の武道館公演映像
3点、㊙ドキュメント初公開!?
〜仙台貨物 復活までの道のり〜 vol.1〜
月24日[金]名古屋 ダイアモンドホール
OPEN 17:30 / START 18:30 info. サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
9月29日[水]大阪 BIG CAT
OPEN 17:30 / START 18:30 info. キョードーインフォメーション 06-7732-8888
0月1日[金]東京 Shibuya O-EAST
OPEN 17:30 / START 18:30 info. ディスクガレージ 03-5436-9600
【チケット料金】スタンディング:¥4,200(消費税込)ドリンク代別 ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【チケット一般発売日】8月29日[日]
「詳しくはオフィシャルサイトをみでけろ by 千葉」
貨物モバイルサイト『(有)仙台貨物事務所』http://eam.excite.co.jp/kamotsu/ 仙台貨物オフィシャルホームページ http://www.sendaikamotsu.net/ .net/
NEW LIVE DVD & LIVE CD RELEASE
2010.10.6 wed
トゥアー2009 腐況の風
〜仙台貨物 FOREVER〜
■DVD
VPBQ-19068 ¥5,800
■CD
VPCC-81683 ¥3,000
vap

HERO
hudie.com
2010年、第二弾シングル発売決定!
2010.9.1(WED)
NEW SINGLE RELEASE!!
「ピリオド」
【初回限定盤】CD+DVD 01.ピリオド 02.Paradox 2曲入+PV付/¥2,100(税込)/SPLP-004
【通常盤】CD 01.ピリオド 02.Paradox 03.伝えたかった音 3曲入/¥1,575(税込)/SPLP-003
NEXT ONEMAN
2010.11.22(MON)
SHIBUYA DUO Music Exchange「Burst Attack」
開場18:30/開演19:00 前売券¥3,675(D別)/当日券¥4,200(D別)
TEL:0570-02-9999(P:109-393) ・ローソンチケット/TEL:0570-084-003(L:78728) ・ライカエジソン東京店/TEL:03-3369-3708
(問)DISK GARAGE/TEL:03-5436-9600
Live Schedule
08.07(土)HR宇都宮VJ-2
08.08(日)水戸ライトハウス
08.14(土)大阪RUIDO
08.22(日)クラブチッタ川崎
08.31(火)高田馬場AREA
09.04(土)大阪RUIDO
09.05(日)名古屋ell.FITS ALL
09.23(祝)高田馬場AREA
09.26(日)HR埼玉新都心VJ-3
10.02(土)神戸VARIT.
(火)福井CHOP
10.20(水)三重松坂M'AXA
10.22(金)名古屋E.L.L
10.23(土)岐阜club G
10.24(日)大阪服部緑地野外音楽堂
11.05(金)江坂MUSE
11.06(土)京都FANJ
11.07(日)和歌山LiveHouse&Club GATE
11.09(火)神戸VARIT.
11.10(水)徳島club GRINDHOUSE
Instore Schedule
09.01(水)タワーレコード渋谷店
09.03(金)ジールリンク大阪店
09.05(日)ライカエジソン名古屋店
09.11(土)池袋ブランドX
09.12(日)ジールリンク渋谷店
09.15(水)札幌GURUGURU
09.18(土)自主盤倶楽部
09.23(祝)ライカエジソン東京店
09.24(金)大宮ナック5
10.03(日)新星堂八王子店
10.22(金)名古屋HMV栄店
11.03(祝)タワーレコード渋谷店
11.05(金)ライカエジソン大阪店
STAR POWDER
KnowledgeAlliance
PCI MUSIC INC.
http://hero-izm.com/

LIVE
9/17@渋谷O-WEST
(ONEMAN)
10/8@梅田AKASO
10/9@名古屋BOTTOM LINE
10/11@高田馬場AREA
10/31@高田馬場AREA
11/25@高田馬場AREA
RELEASE
5ヶ月連続リリース第4弾・第5弾
8/25
「世界を撃った男 case4 デリンジャー」
9/29
「世界を撃った男 case5 ピースメーカー」
9/17ワンマンで先行発売。
INSTORE EVENT
8/25@自主盤倶楽部
新メンバー加入決定！
9/17@渋谷O-WEST
重大発表
「CLASSIFIED」
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# 桜華乱舞

## okaranbu

**09月13日(月)　高田馬場AREA**

R指定 / A / 楽園孤独
SwallowtaiL-スワロウテイル-
DOGinTheパラレルワールドオーケストラ
PRIMEADDICT / Iam.

OPEN 16:30 / START 17:00
ADV ¥ 3,000 / DAY ¥ 3,500
TICKET:ローソンチケット　Lコード( 71221 )

**09月14日(火)　高田馬場AREA**

Ap(r)il / カル・ヴァリ / ダウナー
BugLug / BUNNEIES
Luzmelt / リバティーン-Libertine-

OPEN 16:30 / START 17:00
ADV ¥ 3,000 / DAY ¥ 3,500
TICKET:ローソンチケット　Lコード( 71220 )

**10月27日(水)　高田馬場AREA**

NightingeiL / Vallquar-ワルキューレ- / 他

R指定

NightingeiL

楽園孤独

SwallowtaiL-スワロウ

DOGinTheパラレルワールドオーケストラ

PRIMEADDICT

Iam.

カル

ダウナー

BugLug

BUNNEIES

リバティーン-Libe

http://xxxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网
hudie.com

# CONTENTS

090 DOG in The パラレルワールドオーケストラ
ドッグ・インザパラレルワールドオーケストラ

092 BugLug
バグラグ

094 雫(TOON-FACTORY)
シズク（トゥーン・ファクトリー）

098 Waive
ウェイヴ

100 HERO
ヒーロー

102 摩天楼オペラ
マテンロウオペラ

104 spiv states
スピッブ ステイツ

106 ケミカルピクチャーズ

108 ダウト

110 SHOCK WAVEアポロ

112 陰陽座
オンミョウザ

113 メガマソ

146 BORN
ボーン

148 Dolly
ドリィー

152 アンド

154 愛狂います。× R指定
アイクル×アールシテイ

118 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報！！
ネガ
E'm~grief~ アイム
PIECElang ピースラング
シンディケイト
Ap(r)il エイプリル
R指定 アールシテイ
ADAPTER。 アダプタ。
砂月 サツキ
LOST ASH ロストアッシュ

123 ぽっくんの早耳情報
125 エクスペクトラッシュ
RED universe レッドユニバース
133 ぽっくんの主張
134 アーティストBOX
140 Mission in ぽっくん
142 プレコン WORLD
142 台風の目からこんにちは
145 大島暁美のロックン-ロール日記


>> マークの説明 <<

ムービー / 着メロ / 着うた / 着ボイス / 待ち受け / 写真フレーム / 試聴

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽／映画／芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」

Editorial in chief／Kuniaki"B"Suzuki
Editors／Misako Shida,Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu (Keisyo Office)
Design Stuff／Yoichirou Fujii, Maki(mam)Yoshikawa,Hitomi Ikeuchi (Bakery37.1),Nakane(amulet label), Yukako Takayama,Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama,T.O.MAMMOTH graphics, Kyoko Yasunaga(ZOISITE), Asaka Yamamoto(glitter glow), Yuji Kawajiri

VISUAL&HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.213は2010年9月21日(火)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201（代表）
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2010年10月1日
特別定価／980円 本体933円

# SHOXX

2010
10月号
Oct Vol.21
Cover Model:Alice Nine
Photo:Susumu Miyawaki(PROGRESS
Design:Noriaki Ishimatsu(Keisyo Of

012 **Alice Nine**
アリスナイン
Part1: 最新Personal Interview
Part2:「閃光」に込められた想いとは…

hudie.com

030 **the GazettE**
ガゼット
武道館2days完全レポート!

038 **シド**
限りない明日への希望。速報ライヴレポート。

042 **極&咲人(ナイトメア)**
ヒツギ&サキト
大好評バンド内対談!!

048 **Kagrra,**
カグラ

053 **Lc5**
エル・シー・ファイブ

056 **葵** from 彩冷える
アオイ

060 **LM.C**
エル・エム・シー

062 **ヴィドール**

065 **SuG**
サグ

068 **THE KIDDIE**
キディー

072 **Versailles**
ヴェルサイユ

074 **MixSpeaker's,In**
ミックス・スピーカーズ・インク

076 **ギルガメッシュ**

079 **ViViD**
ヴィヴィット

082 **少女-ロリヰタ-23区**
ロリータニジュウサンク

088 **heidi.**
ハイジ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# Alice Nine

## 閃光

【ポップなんだけど、アバンギャルドで、裏にはちゃんとロックの基盤がある音】という主旨で作られた前シングル「華」。そんな「華」から約1年。長い沈黙を破り、Alice Nineがいよいよ動き出した。2010年初となるシングル。「閃光」と名付けられたその音は、素晴しくロック。バンドならでは、いや、5人バンドならでは、Alice Nineというバンドならではの個性を感じる新境地。メタル要素を感じる躍動感溢れる今作には、“現在のAlice Nine”を思わす熱い歌詞が乗る。全曲を通して『ぱちんこ戦国無双』のパチンコヴァージョンのテーマソングになっているという今作。これぞ傑作。Alice Nineは——「閃光」で必ずいく。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Art Direction:NORIAKI ISHIMATSU
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:ASAMI YAMADA(PS COMPANY)/
KAOLU ASANUMA(Deep-End Co.,Ltd.)

蝴蝶网
hudie.com

Alice Nine
閃光

# SHOU

## “いつか”ではなく、“今”が大切

**—武道館公演を発表してからの精神的な変化ってあったりした？**

「自分個人で〝常に成長していきたい〟とか、〝今のままじゃだめだ〟って思うのは簡単だと思うんです。当たり前のことだとは思うんですけど、やっぱり5人全員が同じ方向を見て、何か目標をちゃんと明確に持って、ビジョンを持って頑張っていくっていうことが、バンドとしては1番大切なんじゃないかなって思っていて。今、武道館っていう明確な目標があるから、バンドがみんな同じ方向を向いて、どうやったら良くなるだろう？ってことをちゃんと日々考えられてて、相乗効果を生んで、良い状態にきっとあると言う事を、ツアーで体感しているんです。だから、今現在、バンドがすごく良い状態なのは嬉しく思うんですけど、逆に、そういう具体的な目標がなくなったときに、どうバンドをまとめていくかっていうことを考えたりもしてて。あ、なんか、まだ武道館来年の話なのに、ちょっと早いですかね（笑）？」

**—早い早い（笑）。でも、ちゃんと地に足が着いてる言葉だと思うよ。常に危機感を持ってるって大事だもん。来年っていったって、すぐだもんね。きっと。**

「ですよね。今、武道館のことしか考えてなかったら、武道館をやった時点でその気力が途切れちゃうっていうか、そこで終わっちゃう、それが嫌なんです。実は、春のツアーの時、仙台のライヴの前の日に、みんなでご飯食べに行って。珍しく5人揃ったんですけど。そこで、いろいろ語ったんですよ。〝いつかやる〟とか〝いつかこうなる〟とかじゃなくて、〝今やるんだ！〟っていう話になって。メンバー同士でちゃんと、真っ直ぐな気持ちをぶつけ合ったんです。そこで、お互い不安に思ってることだったりとかも話たんです。今まで、仲良しな空気がありすぎて、お互いに〝こういうのが嫌だ〟とか〝不満だ〟ってことを言えないっていうか、言わないようにしちゃってたんで。1日1日、来てくれてる人たちの人生に少しでも何か記憶に残るようなライヴにしたいってところから、そういう話をして。話してからは、一瞬一瞬を大切にできるようになっているのを実感するんですよね。今、それがすごくバンドの強みになってるのかなって思いますね」

**—7月28日のLIQUIDROOMでのライヴを観てて凄く思ったの。将くん、ある時期から歌メロを付けるのを原曲者に任せるようになったから、その分、歌に集中出来るようになってるなって。将くんは、責任感強いから、アートワークも自分が全部責任持たなきゃいけないって率先してやっていたり、いろいろな面にアンテナはってなきゃいけなかったでしょ。でも、昨日観てて、すごく歌に集中できてるなって。**

「うん、そうですね。たしかに、昔あったみたいな、肩肘はる感じはまったくないというか。たしかに、歌に集中してるって感じですね。単純に俺は、練習時間が昔と全然違うんです。日々、歌のことしか考えてないっていうのは結構ありますね。昔は、一日の仕事を終えて、帰ったら気分転換にテレビ観て、お風呂入って、寝るって感じだったんですけど、今はもうなんか、音楽番組観ながら、ストレッチ、筋トレして、スケールの練習して、発声練習して、自分の身につけたい歌を歌ってみてる。声楽の本読みながら寝るとか、そういう日もあったりするし。春のツアーが終わってから夏のツアーが始まるまで、そういう日が多かったですね。ボイトレの先生に教わるのも大事なんですけど、自分の頭で考えて、手と足で行動して、歌に対する栄養を探し求めて過ごすっていうのは、今までの活動の中ではなかったんで。最近は、そういう土台があるから、ライヴで緊張しなくなったし。今は、喋る方が緊張しますね（笑）」

**—そこら辺は虎が請け負ってくれてる部分も、最近はあるんじゃない（笑）？**

「そうそう（笑）。最近のライヴでは、俺と虎でMCをまわしてくっていう風に変えて。ツアーの前半、最初の方で、ちょっと5人でグダグダ喋ってたんですけど、聞いてる人がそれじゃ辛いよねってことになって、虎が〝2人でまわしていこう〟って提案してくれたんですよ。やっぱりファンの子は楽しみにしてくれてるとこでもあるし、絶対やめたくなかったんで。改善策を見つけましたね」

**—MCが長過ぎると、良かった本編の印象も崩れちゃうって怖さもあるからね。**

「そうなんですよね。虎との掛け合いも、うまくいくと、面白いんです（笑）。ファンクラブでは元々そういうスタイルだったんですが、普通のライヴはどうかな？って思ってたんですけど。そういうところのクオリティも上げていかなきゃいけないんですが、俺って聞いて相づちうって、ちょっと突っ込むぐらいしかできなくて、テンポ感を作ってあげるまでにはいたらないんで、頑張らないとなって（笑）」

**—そこが将くんの良さっていうのもあると思うよ。お餅ついてるとこに水をさしてあげる重要な役割みたいなね。**

「俺、毎週「アメトーク」を録画して観てたんですけど、虎は、宮迫さん的な感じだなって思って、俺はほとちゃん（蛍原）でまわしてこうかなっていう感じに最近なってますね（笑）」

**—（笑）。ところで、将くんは、最近、メンバーそれぞれの変化って感じる？**

「みんなバンドに集中できてるし、良い状態だなって思うくらいで、変わったなっていうのはないんですよね。Naoさんが変わったのは3年ぐらい前の話だしなぁ。彼は1回目の国際フォーラム以降変わった気がする。180度まではいかないけど、120度ぐらい。俺は普段からNaoさんのこと信頼してるし。ステージではNaoさんのキックとスネアに合わせてるんで、ドラムのスキルもどんどん上がってると思う。頼れるリーダーですね。ヒロトは大人になってきてるのは良いんですけど、どんどん慎重になってきてる感じがするんで、もっとイケイケに戻って欲しい（笑）」

**—逆に慎重さを脱皮して欲しいの？**

「俺からすると慎重すぎて、心配になる部分もあるんですけど。全てのことに。でも、そのお陰でギタリストとしてどんどん特化してるなって思います。今、曲とかあんま作ってきてないんですけど、その分ギターに集中してる。だから音付けとか一番時間かけるし、ライヴ前にもずっとギター弾いてるし。どんどんプレースキルが上がってる。そこは変化かもしれないですね。沙我くんは、『Alpha』のあたりから変わって。昔は何かを率先してする人じゃなかったんですけど、曲を作りだして、そこで責任を負うってことを覚えて。失敗しても負けず嫌いだから、それをバネにして、すごい成長してるんですよ。すごいなって思いますね。沙我くんとは一番意見をぶつけあっているんで、楽しいですね」

**—楽曲のキーマンでもある沙我様の成長は、Alice Nineの音の成長でもあったもんね。**

「そうですね。俺ら元々、求められてることばっかやっちゃうバンドだったんで。洋楽的なルーツの曲とかをやるようになったのは彼の力なんで。本当に、今、彼はAlice Nineのキーマンだと思いますね。虎の変化っていったら、最近、曲を作ってくれますね。俺がキーボードをあげたのが良かったのかな？（笑）。虎ってマイブームっていうのが激しくあるんで、興味持たないとできないんですよね。で、たまたま今、曲作りに興味持ってくれてて。作るメロディーがすごい良いんですよ。すごいメロディーメーカーで。そこはすごく良い変化だし、今後のAlice Nineの変化にも繋がるとこだと思いますね」

**—今、武道館に向けて、自分に足りないものがあるとしたら何？**

「…ない（笑）。いやいや、細かいことを言えばいっぱいあるんですよ。でも、精神的にはないですね。俺、今迷いがないっていうか。単純に今のまま成長すべきだと思いますね。武道館をやって、観てくれたみんなが、その先にもついてきたいって思えるようなバンドにするには、自分がどうならなきゃいけないのかってところから、日々の生活がそうなってるんで。まず、もっと自分は音楽に触れるべきだし、もっといろんな人の話を聞くべきだし、いろんな本を読むべきだし。全てにおいてスキルアップしていけたら良いなと思ってますね。人に、みんなに必要とされたいなら、日々の努力を惜しむべきじゃないと思うし。俺はカリスマである必要はないっていうのは、結構前から思ってて。逆に俺はそれが武器だと思ってるんで。弱点をありのまま見せれる人間でいたい。強がったり肩肘張ったりしてきた部分もあって、いろいろと迷った事もあったけど、最近いろんなモノが見えてきたんで、そこに正直に、頑張って向き合っていきたいと思いますね」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Alice Nine

閃光

# HIROTO

## 今は純粋にギター少年になってる

**—そんなヒロトさんですが。**

「どんなヒロトさんですか（笑）？」

**—そんな（笑）。武道館っていう、1つのおっきな目標もあるわけで、自らの精神的な変化というのを感じてたりはする？**

「精神的にはまいってますね（笑）。迷っちゃいないですよ。いろいろ考えることが多いんですよ。僕、今一番に自分がやろうとしていることがあるんで」

**—何？**

「ギターのスキルアップ。2年前からギターに目覚めまして。楽しいんですよね。バンド始めて、しばらくずっと、バンド、バンド、バンドって感じだったし、バンドの曲を作るとか、ライヴをする、っていうとこに意識が集中してた時期があって、そこからギターが楽しくなってきて、ある一定のそれを積み重ねていって、ここ1、2年くらいギターが好きっていう欲求が強くなったんです。ヒロト的にはいろんなものを100の状態で突き進むことはできないんですよ。そんな器用な人間じゃないんで。たとえば曲作りが楽しいときはそれをガンっていった方が絶対効率も良くて。今は、まさに、ギターを弾くこと。たとえばフレーズを考えたりすることとか。今、それを磨くと、自分は伸びるなって思ってる」

**—そう思ってる時期にツアーもあって、人前で弾くことが多いから時期的にはすごく良いんじゃないの？**

「そうですね。ライヴがないと、僕、崩壊しますもん。でも、去年下半期表立った動きがなかった期間があったおかげで、さらにギターが好きになったんです。ギターにゆっくり触れる時間あったんで。やっぱり楽しんでできることが1番伸びるんで、なんでも。義務でやるとダメなんですよ。今は純粋にギター少年になってる（笑）」

**—自分のそういう変化もありつつ、武道館ていうことが決まって、今、やるべきこととか見えてきたりした？**

「うん。具体的に目標が定まると、それがボンって目の前に現れた時点で、そこに行くための道筋になったり、そこに行く分だけのパワーってもらえると思うんですよ。そうなったときに、そこで挫けずにやりきれるかどうかが問題なんですよ。だから今すごく、そこまでの期間の間で、全てを出し切らなきゃいけないんですよね。バンド自体のスキルアップもそうだし、個人での鍛錬もそうだし、かつ地味にならないようにしていかなきゃいけない。単純に今の観点で、最初の頃やってたことをやればいいのかと思ってるんですよ。裏付けのある勢いが、今は大事なのかなって」

**—じゃあまり背伸びせず。**

「ですね。背伸びしてロクなことがないってのは、ここまでで学んできたんで（笑）。時にはそういうハッタリも大事だと思うんですけど。Alice Nineも途中まで背伸びして、大きい展開とかをしたりしてた時期もあったけど、結局、お客さんは全部見えてるというか。わかると思うんですよね」

**—一番見えてるのはお客さんかもね。**

「だって僕らが一か月とか、毎日昼から朝方までレコーディングしてる時間を、彼女たちは僕らを調べることとか、バンドや音楽に関わることに時間を使っているわけだから。僕たちがわからないことまで、わかってますよ。絶対見えると思うんですよ、なんでも。背伸びも、ちょっと興味のある人とかを惹き付けるには良いと思うけど、Alice Nineが今やろうとしてる武道館は、そういう武道館じゃないと思うんです。なんだろう、5年、6年やってきて、Alice Nineをよく知ってる人だったりとか、よく知ってた人とかを納得させる武道館をやりたいと思うし。やることが、今まで応援してきてくれた人への恩返しだと思うし。スタッフにもそうだし。っていう武道館かなって思うんですけどね」

**—すごく頼もしい言葉だと思う。そんな精神的変化のあるヒロトから見て、各メンバーの最近の変化は？ まず、Naoさんは？**

「Naoさんは、ここ数年変わんないんじゃないかな。ずっと、目標をひとつ設定してやってるように感じるんで。着々と自分の道を極めてってる気がするんですよね」

**—沙我様は？**

「どんどん自信をつけていってると思いますね。音楽しかやることないのかなと思います（笑）」

**—あはは。昔、虎も言ってたな（笑）。沙我くんは友だちと遊んでいるのを見たことがないって（笑）。それはAlice Nineにとって良いことなんじゃない？**

「そうそう（笑）。でも、それがすごく好きで、好きなことに没頭出来てるってすごいと思うんですよね。すごくわかるんですよ。僕好きなギターが出来ることが凄く嬉しいから」

**—じゃあ、虎は？**

「やる気になってる気がする」

**—やる気なかったの（笑）？ 遅刻するとか？**

「そういう訳じゃないけど（笑）。でも、そう、遅刻するんですよ！ だいたい、今日メイク一番だったハズですけど……一番最後になりましたからね（笑）」

**—でも、ちゃっかりインタビューは最初に終わらしたっていう。なんだろう、変な運とか才能があると思う。虎って。**

「あはは。わかるなそれ（笑）。虎は、クリエイティブな面で、最近音楽を楽しめるようになって来てるのかなって思いますね。昔はバンドをやる人ってイメージだったけど、最近は、バンドはもちろん、そこだけを見てるっていうより、エンタテイメントとか、クリエイティブなところに目覚めてきてるのかなって思うんですよね。ちょっと音楽家的なとこが楽しくなってきたんじゃないかなって。ここ半年ぐらいは。って思いますね」

**—さすがメンバー。話を聞いてると、お互いのことをいろいろ言い当ててる。そういう話ってあんまりしないんでしょ？**

「うん。あんましないですね。けど、やっぱわかるんですよね、なんとなく」

**—じゃあ、将くんは？**

「将くんは、前よりゆとりを感じますね。なんかこう、昔より受け入れられるなにかが増えた気がする」

**—どっちかって言うと、ああ見えて、攻めな感じだからね。**

「うん。すごく自分の中に、持論のある人だしね、昔から。そこに、プラスゆとりを感じますね。歌にしてもそんな感じがします。いろいろ、ここに来てじゃないですけど、更に、いろいろなモノをものにしようとしてるのかなっていう雰囲気は感じますね」

**—じゃぁ今、結構、バンドが良い感じで伸びてる気がする？**

「ですね。このツアーと、武道館という選択がもたらしたものじゃないですかね。それをどこまでちゃんとものにできるかが勝負なんじゃないかな」

**—じゃあ今、ヒロトが武道館までに足りないと感じることや、こうしていきたいなっていうのは？**

「何も知らなかった時期に、いろんな人にいろんなことを言われすぎて、わかんなくなった時期があったんですよ。良くも悪くもAlice Nineってバンド単位だと、人の言うことを聞きすぎちゃうところがあって。そこに左右されがちなんで、メンバー全員で〝よしっ〟って言えるアイテムを、このツアーで見つけていきたいなって。それをきっかけに、スタッフを納得させられるものを提示して、武道館に望みたいと思う。個人的には、正しい自分に立ち返ってるというか、本来の個性に戻れてる感じがするので。たまに爆発しちゃうときに、イノシシみたいって表現されるヒロトになるんですけど（笑）」

**—本来の個性って、沙我様が言ってた〝青い炎〟な感じなのかな？**

「そんなこと言ってました（笑）？」

**—うん。ヒロトはメラメラ燃える赤い炎のように思われることが多いけれど、実は、赤い炎より熱い、青い炎なんだって。**

「その表現、間違ってないかも（笑）。今回のシングルの「涙の在る場所」は、僕の本質がそのまま音になっている感じが自分でもしてますね。でも、爆発した時に出るイノシシみたいなのも僕で、それもひとつ武器だと思うんですけど、基本、実は細かいし。結構ギターの音色だったりとか、フレージングでも作り込むほうが好きだったりする。逆に、勢い一発でっていうのは、わりと苦手なほうなんですよね。そこは虎が得意とするとこで最近すごく感じるんですよ。お互いのギターの個性を。それも楽しいんですよね。5年もやってると、それなりにいろいろチャレンジしてきたし。そろそろ定めてやってく時期で良いかなって。一回、自分の得意とするもの、性にあっているものを突き詰めてやって、それがある程度形になってから、またそういうチャレンジをやれば良いかなと思ってますね」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Alice Nine

閃光

# TORA

## “他”ができない事を“自分”が補って

**—最近はいかがお過ごしで？**

「最近は変わらず過ごしております。あ、終わっちゃった（笑）」

**—いやいや、困るから（笑）！　それにしても、最近ライヴで芸人のような話術を見せてますけど、そこも変化なのでは？**

「そこは目に見える変化ですかね、たしかに（笑）。今までもファンクラブライヴとかでは喋ってますけどね。最近ライヴのMCのグダグダさを見かね、〝こりゃ喋んないとダメかな〟と（笑）。だから、俺が最近はマイクをとって頑張ってます。会話の切りどころとか、次への人へのタイミングとか、次の人がすべったときの対処とか、いろんな役回りをしないといけないんで大変ですけどね（笑）」

**—武道館公演が発表された、今の心境は？**

「今は、国際フォーラムを最初に決めた時とはまた別の感じですかね。日本武道館に立つには何が足りないのか？ってところを探しながらやってる感じになってきたんで。前は、いけるんじゃないかっていう勢いだけだった気がするんですよね。でも、最近はちょっと大人になって足りないものを足していくような感じですね。日本武道館に立つバンドっていうものを想像できるようになってきたかな。〝こういうバンドにはなりたくないな〟とか、〝ここで今までの様に、これをやったら寒いな〟とかを想像しながら。じゃ、それに足りてないモノを今のうちにやっておかないとっていう感じですよね。落ち着いてきたのかも。年齢じゃないですかね（笑）。考えが変わりますよね」

**—そうだね。そういう風に感じ始めたのは、ここ何年かのことなの？**

「ここ何年って訳じゃないですけど。面白いことをやって、なんかみんなが楽しくやってくれれば良いなって。昔から、〝できる〟っていう、根拠のない自信だけがあったんで。今はもうできてない部分がすごい見えてるっていうか。今までできてなかったし。こうやった方が良いんじゃないかなって感じですよね」

**—そうなってから、バンド内での自分の役割が変わってきたとか？**

「そうですね。なんとなく変わってきましたね。曲作りとかもほとんどメロディーをつけるようになったりとか。前は、その部分は任せっきりだったんだけど、今は、そこも自分でやったりとか。ライヴのトークもなるべく俺が引き受ける状態にしたりとか。そういう感じですよね」

**—なるほどね。虎には首の痛みが伴って、思い切りライヴができない時期とかあった訳だけど、最近調子はどう？**

「まあ、でも気をつけちゃうんで、自然と。今も戦ってはいますけど、防ぐことができるんで、気をつけてやれば、壊さないんじゃないかな。これで壊したらしょうがないかなってぐらいの気持ちでやってますね」

**—注意をはらいつつね。自分がバンドに足りないモノを補う立場に立つような見方が出来るようになったのは自然と？**

「自然とですね。やっぱり成功してるところもあるし、外してるところも結構あるバンドだから、もったいないなと思って。もっと上手くやれなかったのかなっていう思いが、今までの5年、積み重なってきたって感じですね。そういうこともあって、じゃもっと器用になろうとか、自分が出来ることはやろうとか。そういうことからですよね。人より自分は器用だと思ってるんですよ、わりと。最高にはなれないけど、無難に全部こなせるタイプだから（笑）。悪く言えば器用貧乏っていうか。逆にそれを生かそうかなっていう思いがありますね、今は。なんか最近、それが自分の才能なんじゃないかなって思ってきて。一番にはなれないけど、いろんなモノに手を出せるってところを引き出せていけたらなってところですね。自分は一個のことを突き詰めていくってことは上手くいかないんで、いろんなことに挑戦して、逆にメンバーが出来ないようなことを自分が率先してやれば、補っていけるというか。今はそんな風に考えてますね」

**—虎は、他の4人それぞれの変化というのは、どう感じてる？**

「意識はすごく高くなってきましたよね。音楽に対しては、やっぱり沙我くんがメイン持ってくれてるんで。別にそこに頼っているわけじゃないですけど、逆に俺は沙我くんが作れなさそうな曲とか、そういうのをメインに作っていくっていう感じのスタイルに変えていきましたね。曲を作るときも結構相談して、〝こういう曲作って欲しい。俺は出来ないから〟って、そういう感じになってますよね」

**—そっちも、補い戦法なんだ。**

「そう。だからトークとかも、将くんが話せないようなことを持ってあげたりとか。なんか、フォローにまわる感じとかでも良いのかなって」

**—将くんは？**

「将くんは、今、歌を歌うってことをメインで考えてる感じになってきてるんで、逆をいえば、そこを突き詰めてくれれば良いのかなって。将くんはすっごい真面目だからね、基本」

**—ロックバンドのヴォーカリストらしからぬ真面目さがあるからね。ま、みんながそうとは言わないけど、港みなとに女がいて…っていうようなワルなイメージがまったくないもんね。**

「逆にいうと、そこが長所でもあるし、短所でもあるところなんで、どっちを伸ばすかってことですよね。でも、結局、自分自身っていうものは変わらないんで、そこを〝こうしてくれ〟って言っても嘘になっちゃって、すごくぎこちないことになるっていうか。だったら素のままをどうかっこよく見せるかを考えてもらった方が良いと思うんですよ。でも将くんは負けず嫌いなんで、ヴォーカリストならこうしなきゃっていうのはあると思うんですけど、頼れるメンバーもいるし、自分のできないことは任せて、自分のできることを伸ばしていってもらった方が、俺は良いのかなと思うんですけどね。将くんは意外と見た目に寄らず不器用なほうだと思うんで」

**—将くんは、その不器用さも長所だったりもすると思うからね。次、Naoは？**

「Naoさんはドラムにストイックですね。バンドサウンド、ライヴサウンドっていうんですかね、レコーディングじゃない方のサウンド面を、ちゃんと見てくれてる感じがします。ライヴに関してここはこう、とか。もっとリズム合わせた方が良いとか。そういうところを見てくれてるんで、頼もしいですね」

**—ヒロトは。**

「最近ヒロトは悩んでんのかなって感じがちょっとしますけどね。自分っていうものに。わかんないすけど。俺にはそう見えちゃうんですけど。曲はちゃんと良い曲作ってくるし。なんでしょうね……ヒロトは今、難しい時期なんだって思います。なんかこう、後一個何か欲しいなって思ってるんじゃないかな。そういう時期って、誰にでもあると思うんですよ。沙我くんとかも、そういう時間があったんじゃないですかね。でも、沙我くんはもう抜けたなって印象だし。たぶん、ヒロトもここを抜けたら、もっとすごいんだろうなって感じですね」

**—今、虎が挑戦したいと思っていることは？**

「俺、バンドだけでカッコイイ世界って満足できないんですよ。ある種、ディズニーランド的な演出を企画したいなって思ってるんです。けど、俺の考えを実現するにはお金がかかるって言われて（笑）。もちろん、エンタテイメントな世界を軸にしてるアーティストと同レベルで出来ないのはわかってるんですよ。ようは企画力かなって思ってて。昔は富士急ハイランドってまったく人気なかったじゃないですか。でも、ジェットコースターを押してくぜ！　みたいなスタイルで伸びたじゃないですか。世界最大のお化け屋敷を作りましたとか。そういうのってすごいカッコイイなって思うんです。器用だなって。他ができないことをやるってとこが。要は演出ですよね。2、3階席までちゃんと楽しめるようなライヴを、いつか企画したいんですよね。俺、ライヴをするんだったらライヴハウスでいいやって思ってて。でも見せるっていう意味で作り上げるなら、やっぱ大きい会場でやってみたいですからね。感動するライヴってフワッとしてるんですよ。宙に浮くような感じ。そういうのが作れないとダメなんですよね。LUNA SEAが東京ドームで復活したとき、「LOVELESS」で、きっとみんなフワッとしたはずなんですよ（笑）。〝わあ、来たコレ！〟って。それってメンバーが出て来て演奏しただけじゃならなくて、やっぱ煙とかが出て、ムービングライトが動いて、それにみんな反応するんですよ。それプラス、メンバーが出て来てっていう。そういうところですよね。俺が求めてるのって。いつかそういうライヴがAlice Nineでも出来るようになりたいですね」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Alice Nine
閃光

# SAGA

## ありのままの自分達を観せたい

**──沙我様、最近どうですか？**

「さ、最近どうですかって（笑）。まあツアーで、今はいっぱいいっぱいですよ。ツアー中ですけど、ツアー以外にも、楽曲制作したり、今後に繋がる選曲会をやってみたり。なんか、久々にいろんなことが平行してる感じの動きですね。いやぁ、もう、去年が暇だったんで（笑）、なんか、久しぶりにバッタバタで（笑）」

**──去年だって決して暇だった訳じゃないけど、暇に感じちゃうぐらい、それまでが忙しかったからね。**

「そうっすね。昔、怒濤の忙しさで休みがなかった時は、休みが欲しいって騒いでましたけど、俺らにはちょうどいいんっすよ。これぐらいやらないと、なんか生きてる感じがしないっていうか。今、この忙しさが心地いいですからね」

**──最近の自分に変化を感じることはある？　武道館が決まって、ひとつの大きな目標を置くと心境かわったりするでしょ。**

「バンドより周りのほうが気合い入ってんな、って最近感じますね。スタッフもそうだし、ファンのコもそうだし。なんか武道館に向けて、周りの気合いをすごく感じて。〝一緒に頑張りましょう〟とか、スタッフもいつも以上に、緊張感が漂ってるんですよね。〝見せてやれよ！〟みたいな。そういう強い気持ちを感じますね。メンバーも、その気合に背中を押されてるというか。プレッシャー持たないとダメだなって思いますね。今、正直プレッシャーありますからね。プレッシャーと言うか、こう、武道館を押さえるだけなら誰でも押さえられると思うんですよ。でも、何が大事かって言ったら、来た人たちを1つにできるかっていうとこだと思うんです。それに対してのプレッシャーはありますよね。人数が多いだけいろんな価値観というか、バンドに対して求めてる部分だったりイメージとかそれぞれだと思うんで、それぞれのものを全部取っ払って1つにしなきゃいけない。まとめるっていうのは大仕事だと思いますよ。越えなければいけない、挑戦しなきゃいけないことだと思うんで。武道館というのは、挑戦しなきゃいけない1つの目標というか。僕はハコ的には武道館くらいのハコが一番好きなんです。好み的には、大きすぎずって感じで、みんなとも近い。武道館て昔から何回も人のライヴに行ったりとか。普通にチケット買って観に行ったりしてるんで、結構思い入れもありますね」

**──じゃ、武道館が決まって、周りのそういういろいろなことが見えてきて、責任感が出てきたってのも1つの変化？**

「ですね。責任感っていうのはありますね、やっぱり。1つのゴールが見えてるから、そこで集大成をきっちりと見せるんだって強い気持ちがあるんで。武道館は、今のツアーのファイナルでもあるんで、今、ホント、1本1本噛み締めながら頑張ってる感じですね。良い意味で、今回のツアーって縛りがないんですよ。軸にするアルバムとかもないし。自由にやってるんです。毎日セットリストも変えて。今まで、わりとセットリストは、メンバーの価値観だけで固めちゃってた部分も多少なりともあったんで、今回はファンのコの意見だったりとか、周りの意見を取り入れて、新しいことに挑戦してるというか。いろんなパターンを試してますね。基本的に流れとか、バンドとしての軸みたいなモノをまとめて出してはいたんですけど、それだけではつまらなくなってしまうというか、広がらない気がして。もっと別の価値観というか、例えば、この日は大胆にスタッフに決めてもらうとか、遊べてますね」

**──基本は沙我様が決めてるの？**

「基本はそうですね。でも、決めるにしてもかなり、自分の好み、俺好みのセットリストって訳ではないんですよ。なんだろうな。総理大臣になった気分ですね。偉くなったっていうより、あっちこっちから上ってくる問題を聞いた上で決断をしなければならない大変さっていうか。だから最近、物事を決める立場の人の辛さがちょっとわかりますね（笑）」

**──（笑）。それも精神面の変化だよね。じゃあ、メンバーひとりひとりに対して、沙我様が思う変化とかは？　まずは、虎。**

「曲を作るようになりましたね。前よりは。機材を揃えてたんで」

**──虎本人は、沙我様が作らないような曲をあえて作ろうっていうのが見えてきたって言ってたよ。**

「ああ、そうですね。基本的に俺はもう、同じような曲を二度と作らないタイプなんで。それはそれで、このバンドを好きな人にとっては、ちょっとがっかりな部分もあるのかなと思ってたので。また、この路線でもっと突き詰めて欲しいなって言うのもあるだろうし。でもどうしても自分がやってると手が止まってしまうというか。もっと、違う方向に行きたくなっちゃうから。虎は結構、そういう意味でのこだわりはないから。だから、この調子で、いっぱい作ったら良いなと思いますよね。ボツになっても良いから。いっぱい量を作って、ね。どんどん良くなっていくと良いなって思いますね。俺もそこに刺激される部分はすごく大きいですからね。それは、バンドとしての相乗効果になると思うから」

**──ヒロトは？**

「ヒロトは、なんかお坊さんみたいになってきたなと。禅の心を持ち始めたのかなと。そういうのを感じますけどね、最近のヒロトには。乱暴に言ってしまえば、彼は熱いキャラって言われてましたけど、僕から見ると、そういう赤い炎的な熱いキャラな感じじゃないんですよ。昔から思ってたんですけど、どっちかって言うと、青い感じっていうか。青く燃えるような感じですね。なんかそんな〝うぉーっ〟て感じじゃないと思うんですよ」

**──ライヴで観てるとそうなんだけどね。**

「そうそう。でも、パーソナルな部分ではたぶん、青く燃える炎みたいな感じだと思うんですよね。熱そうに見えないけど、触ったら実は赤い炎より熱いみたいな感じの人なのかなと思う。ギターに対しても、そういう禅の部分を感じる。そういう道に入ってきてんのかなって。だから、器用なのかもしれないですけど」

**──Ｎａｏは？**

「ドラムに集中してますね。サッカーの日本代表でいう闘莉王（2010年ワールド・カップ・南アフリカ大会にて、鉄壁のディフェンスで、日本の快進撃の柱となった選手）になりたいんですよ、たぶん。フロント4人をセンターフォワードだと思ってる。自分はちゃんとディフェンスじゃなくちゃいけないって、それに徹してると思いますね。だからそういう意味ではここ何年か変わってないと思いますね、Ｎａｏさんのスタイルと意識は」

**──じゃあ、将くんは？**

「前より冷静になってきたのかな。フロントマンとして。前は緊張ではないけど、悪い意味で足腰の軽いようなイメージがあったんですけど、だんだん重心が低くなってきて、だんだんどっしりとしてきてる。武道館とかホールになってくと、よりヴォーカルの脚光の浴び具合って大きくなってくると思うんで。そこに負けない強さが出てきたかなって。ひたすら、歌ってんじゃないですか？　今。歌い込んでんじゃないですかね」

**──でもホント、それは感じるよね。沙我様も虎も、原曲者が歌メロもつけるようにしたことが、将くんにとっては、すごくいいことだったように思うんだよね。歌1本に集中出来てる気がする。**

「ひたすら歌い込んで、今は、他のこと考えずに、歌に集中してると思いますね」

**──じゃあ、武道館に行くにあたって、今の段階で自分が具体的にこうしていきたいなとかある？**

「武道館っていうのはホント特殊なハコで、イメージ的には、前は巨大なモノとしてとらえてたんですけど、どっちかって言うと、あそこはライヴハウスだって僕は思うんですよね。なんかすごく不思議な場所なんですよ。アリーナでもなく、かと言って普通の、狭いハコでもなく。武道館ていうひとつの場所というか。ホールでもないし。だからって普通のライヴハウスでもないし。やるアーティストによって、巨大なアリーナに変わったりライヴハウスに変わったりする、不思議な場所だと思うんで。ホントにそのアーティスト次第だなって思うんですよね。だからって、無理に武道館に合わせる必要はないなって思いますよね。武道館だからこうしなきゃっていうような気持ちはないかな。やっぱり、一番Ａｌｉｃｅ Ｎｉｎｅらしいことを出すのがベストだと思うし。変に、こう大風呂敷広げて、いろんなもん見してやろうっていうのはないですね」

**──ありのままで。**

「そうですね。ファンのコもそれを望んでいるんじゃないかなって思うし。そんな特別なことをやってやろうって気分では、今はないかな。今、自分たちが大事に積み重ねていってるものを、ちゃんと武道館で出して、みんなを1つにしたい。それが今の具体的な気持ちですね」

Alice Nine 閃光

# NAO

## 俺が見てる先は、60歳のNaoなんで(笑)

**―武道館決めるときってどうだった?**

「武道館決めるとき…いやあー。難航しましたよ。どのタイミングでいくのか」

**―それは、ひとつの目標だったから、ここぞという時に行きたいってことで?**

「そうですね。登竜門的な場所でもあるし、バンドを始めたら、誰しもが目指したくなる場所でもあるし。やっぱり、やるからには、もう一歩ひらけたバンドの姿とライヴが出来るっていうのが第一条件だったんで。そんなこともあって、俺は、1番、その場所に踏み切ろうとしなかった人ですからね」

**―Naoは、初めての国際フォーラムのライヴがソールドしなかったときに、悔し涙を流したでしょ。それもあるから、早いと思ったってこと?**

「素直に言うと、早いとか早くないとか、埋まる埋まらないじゃなくて…、もっと自分たちが意識を高く持てるようにならなくちゃ、立つべきじゃないと思ったんですよ。決まったのは、はっきり覚えてないけど、結構前だったりもしたんで。プロとして恥じない意識で次なるステージに立ちたかったんです」

**―7月28日のLIQUIDROOMのライヴ観てたら、全然そんなことはなかったけど。**

「最近はね。その頃からはやっぱ、変わってきてますよ。武道館を決める時期が、いろいろとそんなことを思ってた時期でもあったんで。自分の気持ち的に躊躇してたんですよね。今は、もう行くしかないって思ってますけどね。これって、前向きな発言じゃなく聞こえます?」

**―いや。そんなことはないよ。正直〝武道館だ、やったー!〟っていう感じじゃなかったのは、逆に好印象だもん。いい加減に考えてない感じがする。**

「ほう。じゃ、前向きにそれを表現しといて下さい(笑)!」

**―甘えるな(笑)。メンバー同士のことは、私たちが見えてない細かいところも見えてるわけだし。それって、バンドとして進んでいく上で大事な事だと思うよ。**

「うん。俺はよくみんなにも、思ってることはハッキリと言っていますからね(笑)。ハッキリと言う分、自分も頑張るけど

**―LIQUIDROOMでのライヴを観てて思ったけど、ドラム、すごい安定してサウンドを引っ張れてるよね。毎日いかなるときも練習パットをパタパタやってる成果が出てるよね。**

「出てますか! 嬉しい! キックも人よりもひとまわりデカいの使ってるんで、力がないとね。やっぱ基礎って凄く大事だと思うんで」

**―Naoは自分がどういう風に変化してきてると思う?**

「自分自身、第三者目線で、ステージに立ってる自分を見れないんで、〝俺ってどうなんだろう〟っていまだに思うし、プロデューサーにも、レコーディングとかのスタジオで〝ヘタクソ、ヘタクソ〟って毎回言われてたから(笑)、〝やべえ、練習しないと〟っていうのが頭から離れないですからね(笑)。でも、すごく良い刺激になってますよ。できなかったことが、何時間もかけて少しずつできるようになる喜びはヤミツキです(笑)。これだから音楽はやめられない。まあでも褒められても、自分のことだと嬉しいんだけど、あんまピンと来ないっていう(苦笑)。俺が見てる先は、60歳のNaoなんで(笑)。その歳までずっとドラムと共にいたい、っていう。むしろそこです」

**―バンドとしては、良い方向に行ってると思う?**

「うん! 思う。なんだかんだ、今も、すごく遠回りしてると思ってるけどね。俺は、言い方は良くないかもしれないけど、もっと、もっと、商業的に結果の出るやり方はあると思ってる。そういうのもアリだとは思うよ。だけど、俺達は、アーティストだから、それをやりたくないと思ってて。だから、そんな遠回りでも良いと思ってるんですよ」

**―それは、もっと自分たちを売ってしまえば良い、ってこと? 自分たちのやりたいことじゃなくて。**

「うーん、自分たちの良さ、核となるものがまだ生かしきれてないというか」

**―安易な道を選ぶんじゃなくて、自分は着実にアーティストとして、バンドは一歩ずつ進んでいった方が良いって思ってるわけじゃないの?**

「ん〜、ちょっと、違うなあ。それもない訳じゃないんだけど、我が侭っていうか、あれもやりたい、これもやりたいの

バンドなんですよ。だから、はたから見たら逆にもったいないなって思うこともやってると思うし。……ま、不器用なバンドなんですよ。本当に(笑)」

**―そういう真面目さも、表に出てるバンドだからね。じゃぁ、NaoがAlice Nineに足りないって思ってるところってある?**

「足りないところ…。愛、かな」

**―(笑)。どういう愛?**

「足りてないっていうか、いろんな人からもらってる愛を、もっと大切にしなきゃいけないなと思う。足りてないわけじゃないな」

**―愛を受け止りきれてないってこと?**

「愛を受け止りきれてない? あぁ…うーん、なんだろうな。気づいていない、逆にもらってばかりであげれてない、って言った方が近いのかな。これだけ沢山の愛をもらって、それを返しきれてないと思う。でもそれができれば、もっと、魅力的なバンドになれるんじゃないかと思いますよ。まあ、不器用なバンドなんですよ(笑)。日本武道館に行く、Alice Nineに足りてないものをこのツアーで学んでるわけですよ。自分たちの成長のためにも武道館に立って、課題を見い出したい。今はそう思いますね」

**―Naoは、メンバーそれぞれの変化って感じてる?**

「メンバーみんな、今まで以上に真剣ですね、最近。ホント、それは思うかな」

**―まず虎は?**

「真剣っすよ。虎もねー、俺と一緒で、あんまり自分自身の内面は語らないからねー(笑)。でも、虎の最近の変化と言えば、パソコンで曲を作れるようになったんで、それが楽しいのか、すごく曲を作ってますね。出会った頃は、MTRってものが使えなかった気がするんだよな。録音を、かなりアナログなやりかたで作ってたんですよ。〝うそおおおー〟って感じでしたね(笑)。それが、ちゃんとしたパソコンと、ちゃんとした機材を持って、今、楽曲制作に励んでいる、と。すばらしい変化ですね、これは!」

**―沙我様は?**

「沙我様は。彼もね、変わらずに、最近よくベースを触ってるみたいですね。良いフレーズが聴こえてきます。精神面的な変化は、ちゃんと、自分のやることに情熱とプライドを持ってると思うんで、良いと思いますよ。すごく音楽に対して真面目だと思うし、良い曲作ってくれますからね」

**―ヒロトは?**

「ヒロトは…ギターについて悟ってしまったような気がしますね。ギターという楽器を悟ってしまった気がします」

**―悟り終わったってこと?**

「いや。終わりは、たぶん、見えないすよ。その逆。ギターという楽器について悟ってしまったと思うんですよ。果てしないものだった、ってことに(笑)。そこが楽器の楽しさであり、奥深さであり、越えられない壁でもある、みたいな。でも、その気持ち、わかるんですよね。気が遠いっすもん。俺も、ドラムのこと考えだすと」

**―世の中、追求して、ここで終わりですってモノなんて何もないもんね。ドラムもギターも、Alice Nineってバンドも。人生というモノも。**

「ホントホント。死ぬまでにはこうなれんのかなとか、いろいろ考えるけど、それじゃ遅いなって思ってみたり(笑)」

**―うん。自分の最期が、自分の極めた最終地点なのかもしれないし。ね。**

「うん。そう思う。なんか、ホント、深いですよね、そう考えると人生って」

**―将くんは?**

「将くん、頑張ってますね。将くんも、自分とすごく向き合って、頑張ってると思いますよ。自分がどうあるべきかとか、これから、どういうアーティストに成長していったら良いかっていうのをすごく考えているんだと思います。」

**―じゃあ最後に、Naoの今の望みは?**

「新しいパソコンが欲しい! あ、なんか視線が細いぞ(笑)。そういうことではない?」

**―そういうことではない(笑)。**

「俺は…家でドラム叩けるようになりたいっす(笑)。どこでも、いつでも叩きたいですね、やっぱ。もっともっとドラムを学びたい、ドラムについて知りたいです。目の前の目標としては、このツアーでいろいろな武道館に向けての可能性を、自分達の潜在能力を見つけていきたいです」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

“閃光のように　深い闇抜けて”辿り着いた場所

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Alice Nineは今、7月5日のshibuya O-EAST (club ALICE only) を皮切りにスタートしたツアー『FLASH LIGHT from the past』の真っただ中だ。本誌の取材が行なわれたのは、ツアーの3分の1を終えようとしていた、7月28日の恵比寿LIQUID ROOMでのライヴの翌日であった。彼らは2010年の初ツアー『幾何学ノ理』のファイナルのZEPP TOKYOで、最高の景色を見せてくれた。メンバーと共に感じた手応えは十分だった。ライターにとって、共に歩んで来たバンドが最高のライヴをしてくれたときほど嬉しいことはない。この時私は、興奮気味でそのライヴを絶賛したレポートを書いたが、同時に、〝彼らは大抵決まって、最高のライヴをした後にバランスを崩すことが多い〟と、次のライヴの期待を煽る言葉を残した。すると、その言葉に対し、〝大丈夫です。もう俺たち、ブレませんから! 次も絶対に「最高だったよ!」って言ってもらえるライヴしますから〟という言葉を沙我が返してくれたのだ。

LIQUIDROOMでのライヴは、まさに、その言葉どおりのライヴだった。見せ方と歌に対する表現力の増した将のヴォーカル。まったく違う個性を持つギタリストであるヒロトと虎の、さらなる個性の際立ち。楽曲面を引っ張る役割りを担う者としての自信を感じた沙我。数分の間も惜しみ、移動先でも日々練習パットを叩いて、自らのスキルを磨いていたNaoの安定したドラミング。その全てが合致して生み出されたバンド感は、とにかく最高のライヴを作り出していたのだ。アルバムツアーではないセットリストは、縛りのない現在のAlice Nineが赤裸裸に出たモノ。ライヴ用のアレンジは沙我が手掛けているらしいが、この日の「華」への入りには思わず拍手した。全く違ったアプローチのイントロから繋げられたそのギミックは、〝最高〟であった。

2011年1月6日・日本武道館という次のステップに向かい、確実な成長を手にしている彼ら。そんな彼らから届けられる傑作曲「閃光」への思いを訊いた。

*

**——今作はどういう経緯で作られたの?**

**沙我：**『戦国無双』のパチンコヴァージョンのテーマソングのタイアップのお話をいただいて、それをイメージした上で作りましたね。世界観とかはそんなに意識してないですけど、4曲全部パチンコに入る事になってるんで、そこのイメージは持ちながら。「閃光」は俺で、「Le Grand Bleu」は虎、「Solar Eclipse」と「涙の在る場所」はヒロト曲です。

**——前回のツアーのクラブチッタで「閃光」を初めて聴いた時、イントロで、〝どわぁ、めっちゃ好き!〟って思った。ツインギターが印象的だよね。**

**ヒロト：**先方からイントロでガッとくるモノってリクエストがあって。そこを目指した曲作りとアレンジだったんです。

**——間奏のギターソロも印象的。ヒロト、虎、またヒロトに戻って、さらに熱くなる! みたいな。超見せ場だよね。**

**ヒロト：**最初の、ソロ第一弾みたいな1ブロック目は、アレンジャーさんのアイデアで。あんまり自分達ではやんない感じのを、〝こういうのどう?〟って提案してもらったんで、やってみたんですよ。

**沙我：**原曲の雰囲気自体が自分の作るど真ん中ではなかったんで、作るとこまで作って、自分の中でまだ躊躇してたんです。その中途半端感が嫌で、一旦アレンジ面は完全に投げてしまうのもありかなって。メロディーは9割くらい自分で作って、Bメロに関してはアレンジャーさんのアイデアを元に固めていきましたね。

**虎：**もともと出来上がってたものを崩したんで。和的なフレーズが間奏に入って来て、〝ああ、こういう感じになるんだ〟って。敢えての和的なフレーズってのは、たぶんウチらだけじゃやってなかったなってとこを出してくれたりしたので、すごく勉強になりましたね。

**将：**ちなみに歌詞をハメて行くのは難しかったですね。ハードロックの上、歌謡曲なメロを持った曲だったんで。すごい知的なメロディーだと思ったから、それを邪魔しないようにした感じ。良い意味で、変に浮かない言葉を選びましたね。一応、パチンコのシーンとリンクさせながら、アンサンブル一緒になって状況を作るような言葉を選びましたね。

**——〝時計の針がゼロを指した〟とか〝賽は投げられた〟って表現が歌詞によく出てくるけど、将くんがよく使う表現でもあるよね。**

**将：**ですね。普段からよく思うことなんですよ。今回も、自分達の今の心境とリンクしてたから自然に使ったんだと思います。針がゼロを指してるのは、〝さあ、ここからだ〟ってとこで、賽は投げられたは、〝進むしかない〟みたいな、前向きな気持ちが歌詞に出てるんだと思います。この曲達が作られた頃って、今のツアースケジュールや武道館が決まった時期でもあったんで、2曲目なんかは特にその気持ちが如実に出てる感じしますね。

**沙我：**メロに関してなんですけど、俺、来生たかおさんの書く曲の影響があると思うんです。エンジニアさんにも〝沙我くんて、来生たかおとか聴く? ぽいよね〟って言われて気づいたんです。

**——来生たかおと言えば昭和のヒットメーカー。「セーラー服と機関銃」を(「夢の途中」) 作った人だよね。**

**沙我：**そう。今回の曲って、そのあたりの懐かしさがある曲なんですよね。

**——そうかもね。ドラムはオカズで見せていく、盛り上げていく感が強いよね。**

**Nao：**ドラムもアレンジャーさんと相談して、〝俺、もっといけますよ! デキル子ですよ!〟って、どんどんアレンジでドラムを詰めてもらって頑張りました。

**沙我：**たぶん、この曲がバンド感があるのは、音作りだと思うんですよ。レコーディングをしてる、楽器が鳴ってる空間の雰囲気も入れようと、マイクの置き方とか、録るときの勢いにこだわったんです。

**虎：**「Le Grand Bleu」は沙我くんが整理してメロディーと歌メロをつけてくれて完成したんですよ。サビのパワーコード一発みたいなのも沙我くんのアイデア。

**沙我：**マッチョな曲にしたかったんです。最初、サビは埋めてたんです。〝絶対ダメだ、そんなの! バーン! と白玉(全音符)。絶対このほうが気持ちいい〟って。

**虎：**よくも古くさいというか。そういうのは出てきて、良かったですね。

**ヒロト：**僕は、体育会系な感じが出たら良いなと思ってギター弾きましたね。

**将：**「ヒロトの男塾」っていうサブタイトル付けたかったくらい(笑)。

**ヒロト：**これ弾いてるとき、ギターもドラムもベースも、血管浮き出てますから(笑)。ライヴでこの曲やってるときは腕っぷしに注目して欲しいです。血管フェチの人にはたまんないんじゃないかな。

**沙我：**全員男らしい腕になります(笑)。

**ヒロト：**この、ザクザク感とグイグイく感って新鮮だなって。メタル調の曲って今までもやってるけど、さらに男らしいアレンジをしてる。ライヴのときは、白玉のとこで虎と2人同時に手を上げるんで、そこがまたちょっと古くさくて良いんですよ! そういう意味でも、新しいAlice Nineが見れる曲だと思います。

**Nao：**これはドラムも結構シビレましたね。虎がデモで持って来たとき、俺を試しているかのようでしたからね。1カ所、テンポ210以上のバスドラの16分音符が入ってて、焦りましたからね。

**沙我：**ベースもヤバかった。俺が作った1コーラスよりも、テンポが10以上上がってて、そんな上げたら、ダウンピッキングできねえじゃないか!って。

**——根性曲なんだね(笑)。歌詞は?**

**将：**アンサンブル、メロディーを聴いて言葉が浮かんできましたね。この時の心境を表してると思う。そういう意味でこの曲は、特にみんなと一緒に深いところにまで行きたいっていう強い思いが素直に書けてると思いますね。海に例えたのは、リフが青いイメージだったんです。

**——「Solar Eclipse」は? これはギターがずっと休まず動いてる感じがする。**

**ヒロト：**腕がつりそうなね(笑)。緊張感のある音が続いてる感じにしたかったんですよ。でも、そんなに無理はしてないです。目立つ所でそれを入れたからこその効果かなと。プレイ的には、ピロピロいってないAメロの方がきつい。

**虎：**個人的にBメロは大変でしたね。沙我くんから、〝もっと軽く弾いてくれ〟って言われて、もはやギターを弾いてるレベルじゃないくらい、触れてるか触れていないかで弾いてるからね。

**沙我：**各パートが全くかぶってないことをやった方が良いなって思ったんです。

**Nao：**ドラムは【逆タムまわし】っていう新しいプレイが生まれたんです! 2回目のBメロをドラムだけ追って聴くと、流れてる流れてる戻ってる戻ってる流れてる戻ってる[illegible]て新しい(笑)。ドラムのタムの流れは、人の一生と同じです。つまり。適当に回すなよってことですよ。

**将：**「Solar Eclipse」は日食のことを歌っているんです。好きな現象だったから。光がなくなっても「I Love you OK?」って感じなんです。

**Nao：**つまり日食とは、男と女が重なることと一緒だ!ってことです。

**将：**そう。心が重なる感じ。いろんな比喩、表現をしていているんです。ヒロトの曲はプリミティブっていうか。素の感じの言葉が浮かぶんですよ。恥ずかしいくらいのが感情が引き出されましたね。

**——「涙の在る場所」は? このイントロの入りもすごく好き。ロッカバラードの王道だけど、最近こういうのないよね。**

**ヒロト：**この曲は間を大事にしたいって。あまりそういうこと思わないんですけど。あと、ラブソングとも違うんだけど、〝愛を歌う曲やりたいな〟と思ってて。将くんに直接的な愛を歌って欲しいって伝えたんです。あんまりウチらにはないんで。その頃GLAYさんの曲を聴いて、こんな風に真っ直ぐに愛を歌えるって凄いなって思ったんですよね。それで、自分たちもそういう曲を作りたいなって。

**将：**繊細に歌いました。もっとR&Bっぽく歌おうかと思ったけど、ロック寄りなビブラートで良い感じになったんです。しばらく音程をしゃくる歌い方を控えていたんですけど、ここではまたトライして。繊細な表情が出て愛がある曲を歌えたなあって思ってますね。

**ヒロト：**3曲目、4曲目はベースを聴いて欲しいですね。3曲目のベースがアメリカンだったら空気感が違ったんです。こういう雰囲気になれたのは、ベースのおかげでしたね。4曲目はドラムとベースの間合いを凄く感じる曲だと思います。

**Nao：**これはプレイする分にはいちばん好きな曲です。とても一拍一拍が有意義な時間で、一発一発タイコを叩くたびに、俺の過去の愛のメモリーがフラッシュバックするんですよ。

**一同：**(シーン)

**Nao：**え? 良い事言ったと思ったんだけど……。でも、本当に、そんな感情が込み上げてくる曲だと思うんで、早くライヴで聴いてもらいたいですね。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
budie.com

SHOXX創刊20周年記念

# オリジナル・フォトカード 応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、
応募者全員にサービスしちゃいます
全部で21パターン。
応募券1枚でご希望のフォトカードを
1枚あなたのお手元に!!

## Alice Nine

A-1:将

A-2:ヒロト

A-3:虎

A-4:沙我

A-5:Nao

## Kagrra,

B-1:一志

B-2:楓弥

B-3:真

B-4:女雅

B-5:白水

## SuG

C-1:武瑠

C-2:masato

C-3:yuji

C-4:Chiyu

C-5:shinpei

## ViViD

D-1:シン

D-2:零乃

D-3:怜我

D-4:イヴ

D-5:Ko-ki

## 雫(TOON-FACTORY)

E

●応募に必要なもの
- 80円切手2枚(申し込み用の封筒に貼るものと返信用の封筒に貼るもの)
- 20円分の切手(手数料用)
- 定型封筒2枚
- 応募券(このページの左下にあり)

【応募方法】
①フォトカード(9cm×13cm)が入る大きさの定型封筒(定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を2枚、手数料の20円分の切手を用意します。
②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォトカードのナンバー(例えばAlice Nineの将であればA-1)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒とも手数料の20円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 株式会社 音専科社 SHOXX編集部 残暑のフォトコーナー●係(●の中には返信用封筒に書いた希望写真フォトカードナンバーを必ず書いてください。例えばAlice Nineの将であればA-1

【締め切り】
2010年9月21日(当日消印有効)

【発送】
2010年10月下旬からになります。11月10日になっても届かない場合はご連絡くださ
(03-3574-0205/月~金 11:00~18:00)。

【お願い】
- 希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせていただきま
- 応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
- 応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分応募でお願いします。

SHOXX VOL.212
残暑のフォト
応募券

# 枢×咲人（ナイトメア）

SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』
不定期連載でお届けしている、ナイトメア結成10周年記念企画・バンド内対談『枢×咲人』。対談撮影の様子をムービーにて公開!!

■Lc5
本格始動となったLc5の初撮りおろしのメイキング・ムービーを公開いたします!!

■雫（TOON-FACTORY）
TOON-FACTORY初のパーソナル撮影。ギターの雫が美しく変身です。メイキング・ムービーを公開!!

■愛狂います。
『スターマイン』のPV撮影メイキングをムービー、待受画像、着うた、PV視聴。特集です！

■【_Vani;lla】
『sugar days to melt』連動企画。KEYWORD Q&A、セルフレビュー、待受画像、楽曲視聴など、配信！

## 音楽せんか?

音楽専科社公認公式携帯サイト
http://mobile.ongakusenka.com/

37℃とSHOXXに掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん！ ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!
…5円の会員になれば、待受取り放題・ムービー見放題!! その他楽曲試聴や、着うた、アーティストのコラムも読めます!!

ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾!
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→

## びじゅけいpresents
## 「Revolutions」- 四面楚歌 出演者募集!! -

2008年から始まり、シーンの登竜門として
ビジュアルシーンの旬なバンドが多数出演するお祭りイベント!!

出演希望バンドは、バンドの紙資料、音源を右記宛先へお送りください。

150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-28-5 プレサージュ 406
株式会社 VisualRock.NET『びじゅけい』係まで

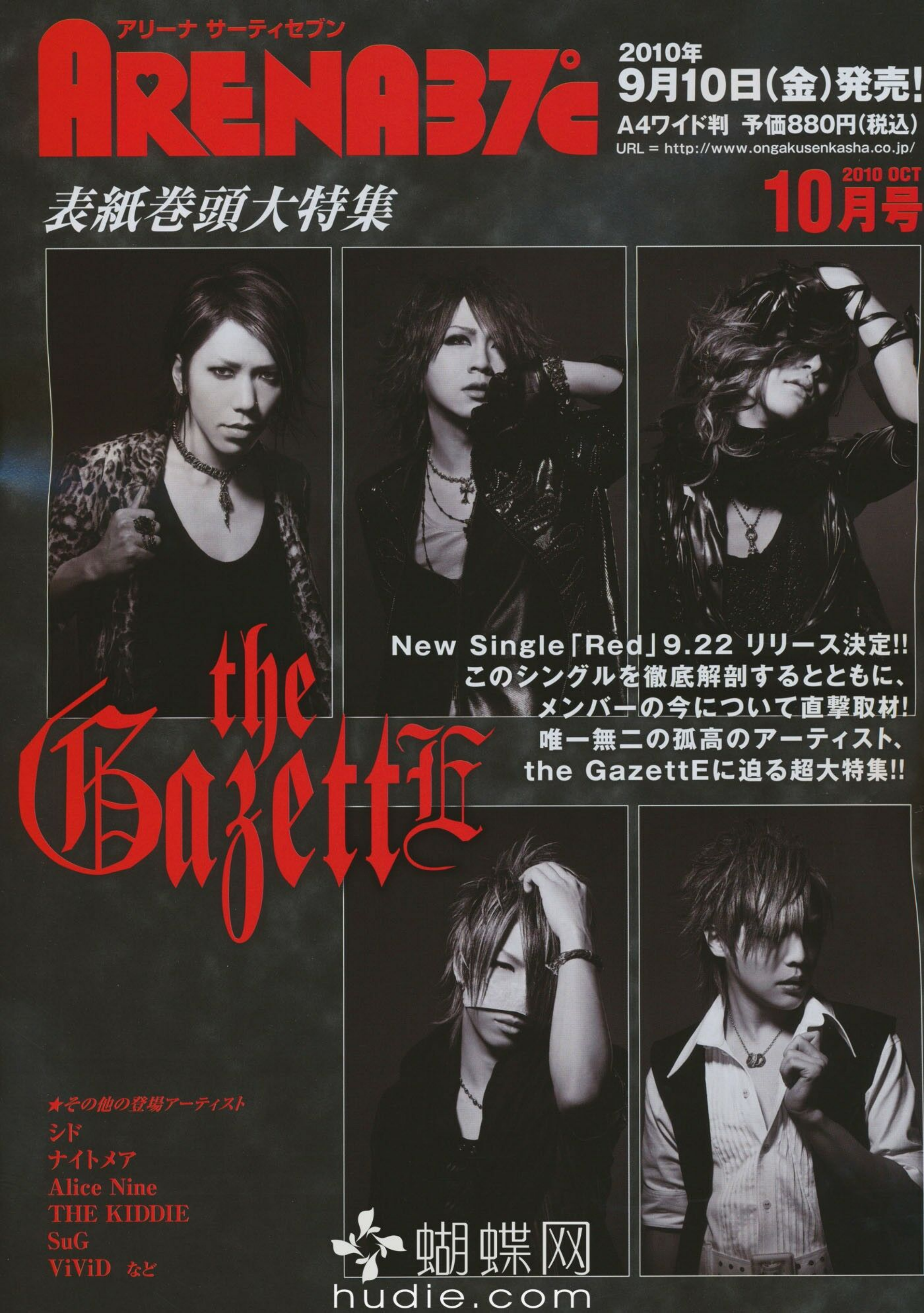
## 数々のアーティスト電子書籍を配信中!!

### ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

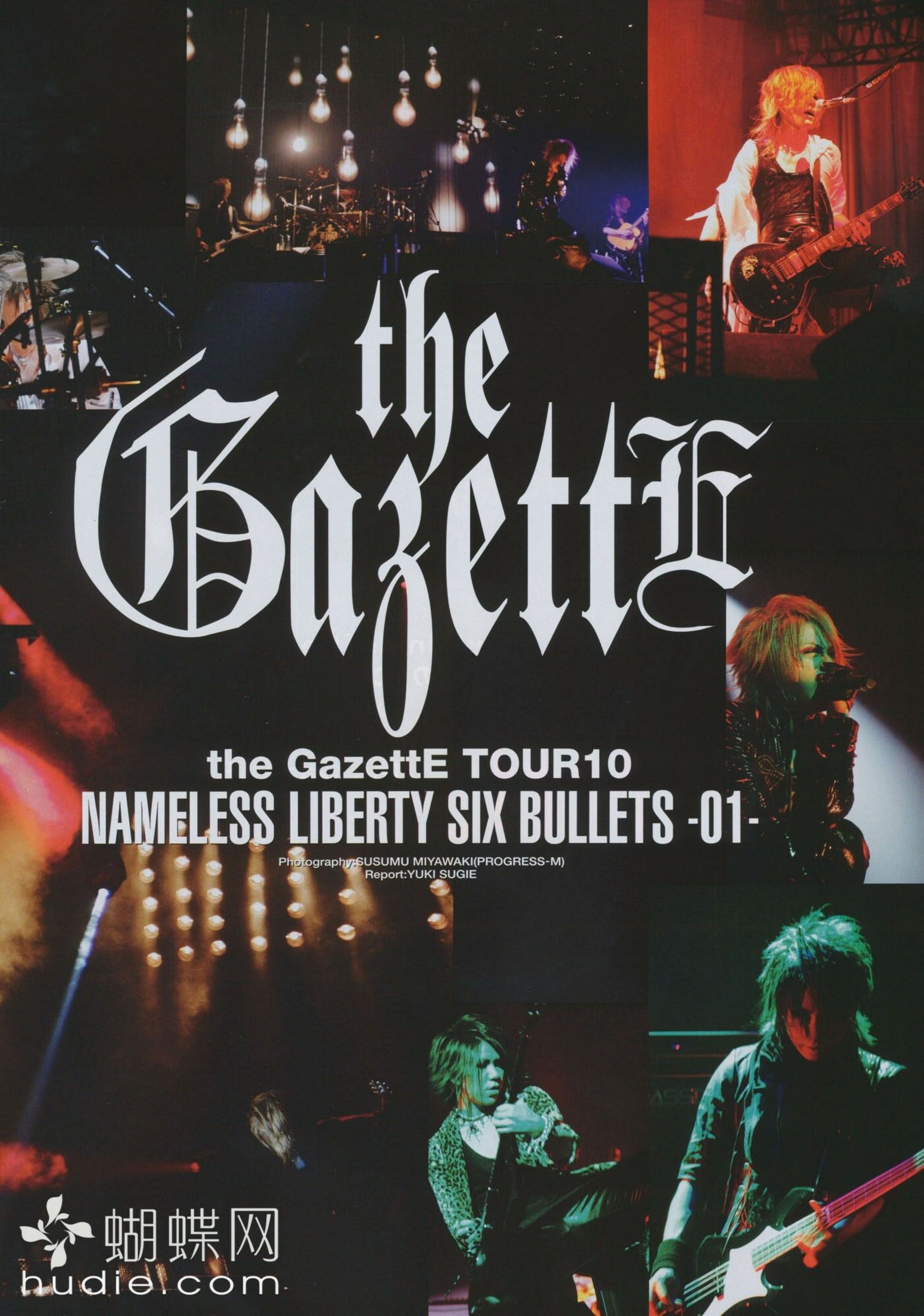
ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」がケイタイ書籍になったよ！

〜グラビア愛書店 Presents〜
モバフォト!

QR コードからアクセス！




蝴蝶网
hudie.com



# the GazettE

## the GazettE TOUR10
## NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Report:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

【7/22 SET LIST】

M1.Nausea & Shudder
M2.SHIVER
M3.AGONY
M4.BEFORE I DECAY
M5.Hyena
M6.13STAIRS[-]1
M7.奈落
M8.Bath Room
M9.体温
M10.Carry?
M11.The $ocial riot Machine$
M12.HESITATING MEANS DEATH
M13.HEADACHE MAN
M14.COCKROACH
M15.DISCHARGE
M16.Filth in the beauty
——encore——
En1.Ride with the ROCKERS
En2.SWALLOWTAIL ON THE DEATH VALLEY
En3.Anti pop
En4.関東土下座組合
En5.LINDA～candydive pinkyheaven～

【7/23 SET LIST】

M1.Filth in the beauty
M2.HEADACHE MAN
M3.HESITATING MEANS DEATH
M4.SHIVER
M5.A MOTH UNDER THE SKIN
M6.Ruder
M7.赤いワンピース
M8.蜷局
M9.奈落
M10.枯詩
M11.D.L.N
M12.LEECH
M13.Maggots
M14.OGRE
M15.DISCHARGE
M16.COCKROACH
——encore——
En1.Ride with the ROCKERS
En2.LINDA～candydive pinkyheaven～
En3.［DIS］
En4.関東土下座組合
En5.☆BEST FRIENDS☆

蝴蝶网
hudie.com

# Live at 日本武道館 7月22日、23日
# 白熱の2days完全レポート!!
## 更なる高みを目指す旅路人のあらたな出発点

## ve Report 7.22

あの頃の彼らにとって終着点だった場所は、今や更なる高みを目指す旅路への、あらたな出発点へと変化した。
　話はまず、2006年5月7日にまで遡る。the GazettEにとって試練の大全国ツアーとなった[Nameless Liberty.Six Guns…]最終日。彼らは、自身初の日本武道館公演に臨むこととなり、珍しく緊張した面持ちでそのステージに立っていたことを、今でも良く覚えている。そして、その日の記念すべき1曲目として演奏されていたのが、"ナモナキジユウ"に対する思いを謳った「Nausea&Shudder」だったのだ。
　あれから、約4年の時が過ぎthe GazettEはここに来て、[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-]と冠したツアーを行うに至り、その初日を飾る場所として、もはや彼らにとっては東京における常打ち小屋となりつつある、日本武道館を選んだ(しかも、今回は2デイズ!)。
　the GazettEが、今あらためて"NAMELESS LIBERTY"という言葉を掲げ、かつては最終到達点だったはずの武道館から、久々の長旅に出るということ。そこに込められた意味は、このツアー初日におけるオープニング場面に凝縮されていたと言っていい。そう、ここで選曲されていたのも、「Nausea&Shudder」だったのである。
　ここから、最新シングル曲でありライヴ初披露となった「SHIVER」へと続いたくだりは、まさに旅の始まりにこそ相応しく、繰り出される音たちに煽られようにオーディエンスたちもしょっぱなから激しく湧き出し、瞬く間に武道館はライヴハウスの如き様相へと化した。
　そんな中、この夜のライヴでは中盤に映像を用いながらの演奏により、深く圧倒的に聴かせた「Bath Room」と「体温」の後、フロントマン・ルキが以下のような言葉を述べていたので、その内容も抜粋しつつご紹介しておこうと思う。
「今回のツアーは、昔やったツアー[Nameless Liberty.Six Guns…]と、ほぼ同タイトルというか近いタイトルになってます。これは、俺たちの意思表

せん。前に進もうという気持ちを持ちながら、今も俺たちは"NAMELESS LIBERTY"っていうものを追ってる。そこに向かって、ずっと走ってるっていう意味です。ここから、the GazettEはまだまだ加速して行きます。つまり、今まで以上に暴れて行くということです。もちろん、ただ暴れるだけでは御座いません。死ぬまで行きましょう!!」
　時に笑顔をみせながらも、威厳のあるリズムワークでバンドの音を支える戒。攻撃的な斬り込み隊長としての側面だけでなく、プレイ面での安定感を醸し出すことも忘れないれいた。以前よりも、ギタリストしての意識が高まってきたことを端々から感じさせる葵。ラウドで濃密なサウンドをもって、様々な情景を生み出す麗。the GazettEの顔であり、核でもあることを歌とパフォーマンスから感じさせるルキ。
　彼ら5人が織りなす熱き空間は、本編後半からアンコールにかけても、怒濤のように人々を力強く呑み込んで行った。
とはいえ、これでもツアーは初日を迎えたばかりに過ぎない。一体これから先の彼らは、どうなって行くのだろう??
　そんな疑問に対するひとつの答えは、実はこの後に用意されていた。初日終演後、メンバーが去ったステージ上ではスクリーン上映形式で、幾つかの告知がされたのだ。なんでも、このツアーが続いて行く間にも彼らは9月22日にニューシングル『Red』、さらに12月にもシングル『PLEDGE』を出して行くのだという。
だが、ここで発表されたのはリリース情報だけでは無かった。
　真っ白なスクリーンの上で、デッサン画のようなタッチの線たちが踊りだすと、刻々と描かれて行ったのは見覚えのある構造物。丸みを帯びた屋根の輪郭がそこに映しだされた瞬間、場内は狂喜の歓声に包まれ、次に12月26日・東京ドームの文字が打たれると、響く声は感嘆の色を含む轟きへと変わった。
　4年前。今思うと、ルキはあの時からこう言っていたではないか。
「マジで一生かけて頂点狙うんで、着いて来て下さい」

## Live Report 7.23

　the GazettEにとっての、生命線。それはやはり、名実ともにライヴにあると言えるだろう。
　今回、同時掲載されているルキのインタヴュー内容にもあることだが、今回のツアー[NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS]は、なんでもメンバーたっての希望で文字通り"敢行"もしくは、強行されたものだという。
　当初は、夏に武道館3デイズをやり、そこから年末の東京ドーム公演へと繋げて行く案が周囲からは出ていたそうで、実際に諸々のスケジュールを考慮すると、レーベル移籍直後のこの時期にこれだけのロングツアーを組むことは、相当難しいことだったと思われる。
　結果的には、今回の場合タームを分けるかたちで[NAMELESS ~-01-]、[NAMELESS ~ -02-]という2期制のツアーを行うことに。そのインターバル期間は音源の制作活動等にあてられることになったようで、年内の彼らは終始過密な行程を乗り越えて行くことになってしまった。
　そこまでして、彼らがツアーというものにこだわる理由。それは、the GazettEのライヴを体験したことがある人ならば、誰もが分かっているはずだ。全てのリミッターが開放され、バンドとしての野性と本性が前面に出て来るあの空間ほど、彼らが活き活きとしている瞬間は無いのだから。
　前日に、衝撃的な年末の東京ドーム公演を告知したうえで行われた、注目のツアー2日目。この夜も、5人のメンバーは全力かつ渾身のパフォーマンスを展開してくれていた。それも、昨日とは全く異なるセットリストを持って来るかたちでだ。今までにも2デイズのライヴというのは何度か観ているが、ここまで異なるアプローチで彼らが積極的に攻めてきたことは、無かった気がする。
　なにしろ、これまで基本的にアンコールでしか聴いたことなかった「Ruder」が、さりげなく本編中に演奏されたという事実だけを取り沙汰しても、この日のライヴ構成がいかに異例だったかはきっと分かって頂けると思う。

中盤に戒のドラムフレーズから始まる「赤いワンピース」と、ルキの発した〈ぐるりぐるり〉という歌詞が強烈なインパクトを放った「蜷局」が並べられていた場面では、あまりのレアさに武道館中が上へ下への大騒ぎとなったほど。
　また、アッパーな楽曲たちだけでなく、葵のソロが映えた「枯詩」や、れいたのベースラインと麗の弾くアコギの旋律が曲に深みを与えていた「D.L.N」、the GazettEの持つ繊細な[illegible]を堪能することが出来る曲として、独特の存在感を放っていた。
　ちなみに、今回のツアーにおいて彼らがこれだけ昔の曲を連発している理由や、聴かせ方・見せ方を日によって変えている理由についても、今回同時掲載のインタヴューで各メンバーが語ってくれているので、こちらも是非熟読して頂きたいところだ。
「ツアー2日目です。皆さんは、普段ほかの方のライヴなんかにも行ってると思うんで（笑）、カラダとかはそんなに痛くないかもしれないですけど、僕たちの相手は君たちしかいないんで昨日1日やっただけで既にもうズタボロです（苦笑）。あと何回ズタボロになれば良いのか分かりませんが、ここからラストに向かってボロボロになりながらも、突っ走って行きたいと思ってます」
　少々冗談めかした言い方ではあったが、この夜ルキがMCで言っていたこの言葉は、一方でこれからのツアーの行く末をリアルに示したものとしても受け取れた。12月26日の東京ドーム公演に至るまでの日々には、きっと幾つもの局面が待ち受けているに違いないのだ。
　もっとも、ここから続いてゆく旅は決して彼ら5人だけのものではない。彼らを支えている全国各地のファンたちにとっても、意味深く思い出深いものとなっていくことは必至だろう。
　ライヴバンド・the GazettEと、彼らを愛するファンが一蓮托生の関係性にあるということは、この夜の最後に歌われた「☆BEST FRIENDS☆」が見事に証明してくれていた。
　ここから続く〈光に満ちたイバラの道〉

蝴蝶网
hudie.com

the GazettE

the GazettE TOUR10
NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-

蝴蝶阙 hudie.com

# 決して揺るがない状況を作って行きたい。

## ルキ After Live Interview

**一切の禁じ手は無いと、そうルキは言い切った。これまでのライヴにおける暗黙の了解や、彼らにとってのセオリー。それらをここで一旦捨て去ることにより、the GazettEは今の彼らに本当に必要なものを、シビアに見極めようとしているのではないだろうか。今冬、12月26日に決定した自身初の東京ドーム公演を前に、ルキは全てを手放すことで、全てを掌握しようとしている。**

**NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-」が始まりました。最初の武道館2デイズに関して言えば、各日ともセットリストの内容は違いましたよね。あれは観ていて大変面白かったです。**

「それがここまで武道館、中野、札幌、八王子ってやって来てますけど、実は今のところ全部セットリストって毎回違ってるんっすよ」

**——凄いですね。基本的な流れは一緒で、一部の曲が入れ替わるくらいの変化であれば、こちらもそこまでは驚きませんが、あの武道館にしても1日目と2日目では、始まり方からして全く違いましたし。もしや、今ツアーにおいては毎回違ったライヴを展開して行く、というのがひとつ**

「いや。そこまであまり細かく考えてるわけじゃないです。とりあえず、いろいろオールマイティにやってこうっていうとこが大きいというか。だから、ツアー前に候補曲の数はかなり出してたんですよ。確か、あれが55曲あったのかな」

**——その55曲を、全てツアーリハーサルでやったのですか!?**

「あ、それはやってないです。リハやったのは、あの武道館の2デイズ分だけ」

**——ということは、それ以外の楽曲たちはツアーの中で体当たり的にやっていく、というかたちになるわけですね。**

「ってことになります(笑)。でもね、あの武道館よりそれ以降の方が、もっと良くなってるんですよ」

**道館自体については、あらためてあの場に立ってみて如何でした?**

「ワンマンとイヴェントと合わせて、今回で4回目っていうのもあるし、別に武道館だからどうこうっていうのは特に無かったです。ただ、俺らとしては2日目の方が楽しくやれました。どうしても、1日目の方は初日っていう部分で、映像面の演出のタイミングとか、ちょっと難しいとこなどがあって、裏ではけっこうバタついてたんでね。ライヴそのものを楽しんでる余裕が、イマイチ無かったんです。あれはちょっと、自分でも悔しかったなぁ。声もどうもちゃんと出切ってなかったし。多分、まだあの日は俺も周りもライヴモードに入り切れてなかっ

分かったことを踏まえたうえでやれたし、そのまんまこうやってツアーにも出られたから、それ以降ここまではもうずっと上り調子」

**——頼もしいです。なにしろ、先日の武道館初日の最後には年末の東京ドーム公演も発表となりましたから、ここから12月26日まではその調子でアゲて行って頂けると、非常に理想的かと。**

「うん、そうっすね。俺らもそうなっていけば良いなとは思ってますよ」

**——ルキくんとしては、このツアー全体を通して、どんなところをさらに掘り下げて行きたいと考えています?**

「そうだな。the GazettEがここまでやって来たことを総括して見せて行きたいっていう意味では、やっぱり1曲1曲をちゃんと聴かせたいし、見せたいし、っていうところでしょうね。音にしても、照明にしても、やってみては何かを発見して、それをまた次のライヴに活かして、っていうのをツアーの中で繰り返していくしかないですよ」

**——地道な積み重ねこそが、大事になって来るわけですね。**

「いかにも、そういうのってツアーらしいでしょ(笑)。当初は、いきなり武道館を3デイズでやって、そこからドームまで空けるっていう話も一部でちょっと出てたりしたんですよ。でも、それは俺たちからしたら「無い!」っていうことだったんでね。今回は、ツアーを半ば無理矢理に組みました」

**——なるほど、ライヴバンドとしての意地を通しましたか。**

「そう、だから今回は俺たちも、ツアーを支えてくれてるスタッフも、ほんといつも以上にハンパなく気合い入ってますよ。いわゆるアルバムと連動したツアーでもない分、何やるにしても自由だし、いろんなことを試せるから、今回はそういう空間を大切にしたいですね」

**——ちなみに、ここまで5本のライヴを通しては、ルキくん的にどんな発見がありました?**

「あらためて前の曲をやると、当時では表現し切れて無かったものまで出せるんだなっていうことが、多々出て来てますね。たとえば、札幌でやった「CALM

良かったですもん」

**——アルバム『STACKED RUBBISH』のリリース当時、あれだけライヴでやっていたにも関わらず?**

「うん、どういうわけかね。曲ってどんどん増えてくものだから、それの入ってるアルバムのツアーが終わっちゃうと、またしばらくライヴでやらないっていうケースは、どうやったって出て来るじゃないですか。でも、こうしてまた少し時間が経ってからライヴでやってみることで、なんか微妙に手触りが違って来るんですよ。「BATH ROOM」とか、「体温」なんかもそうだなぁ」

**——そもそも、今ツアーに「TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-」と冠してあるのも、06年に行われたロングツアー「Nameless Liberty.Six Guns…」で多くの収穫があった、という事実を鑑みてのことですものね。**

「今日(八王子公演)も、セットリストに「DISCHARGE」が入ってなかったりするし。こんなの初ですよ」

**——しかも、後半には「No.[666]」(アルバム『斑蠱~MADARA~』)まで入っているではないですか。**

「これに至っちゃ、最後にやったの初EASTワンマン(04年)ですよ。今や知らねぇヤツの方が多いんじゃね?っていう(笑)」

**——確かに。**

「もうね、俺たち自身のライヴに対する固定観念とかも、別に要らないなって思ってるんですよ。今まで絶対外せないと思ってた曲をやんなかったり、多少セットリストの内容を変えたところで、the GazettEとしてのライヴっていう意味では、決して揺るがない状況っていうのを作って行きたいし」

**——そのスタンスは、自然とドーム公演の内容にも繋がって行くことでしょう。**

「だから、今回のツアーってファンの為にやるっていうより、むしろ自分たちの為の旅っていうのが大きい気がしますね。その中でいろんな可能性を見つけて行って、最後のドームも祭り的に騒いでやるんじゃなく、きっちりthe GazettEとして出すべきものを出し切る。ひたすら、そこに尽きます」

# 麗 少しでもライヴの音をCDクオリティに近付けたい。

## After Live Interview

**対してはとにかく凝り性で、几帳面で、貪欲。にも関わらず、麗は"かといって、マニアックにこだわることが全てではない"と言い切る。までも、大事なのはバンドとしての全体像であり、ひいては受け手であるオーディエンスの為。the GazettEの一員として、その精神を貫きながら今この長い旅を続けているのだ。腹を括った男の言葉は、何処までも頼もしい。**

**──武道館2デイズ、中野、札幌、そして八王子とここまでライヴを行って来て、今のところ麗くんにとってのツアー[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-]は、どんな感触を得られる場となっていますか。**

「今回は候補曲が50曲以上ある中で、その日によって違うセットリストを組みながらやってるせいか、飽きないし、飽きさせないツアーになって来てるんじゃないかと思います。まぁ、その分いろいろ大変なことは多いんですけど」

**──ですよねぇ。日によっての様々な状況に、全て対応出来るようにしておかなければいけないというのは、我々が思う以上に難しいことのはずです。**

「そこは僕ら以外のスタッフさんたちにも言えることで、本来なら毎回同じような流れでやる方が、きっと仕事としては全然やりやすいんだと思うんですよ。でも、今回はそれよりも僕らの我がままというか、希望を通させてもらってるかたちなんです」

**──麗くんが、今ツアーに向け留意したり、こだわっていたことは何でしたか。**

「もちろん、ギターの音をしっかり作ってくのはいつものこととして、今回は舞台セットに関するディスカッションっていうのに、けっこう時間がかかりましたねぇ。あぁでもない、こうでもないって、事前にかなり話を詰めました」

**──その際には、麗くんから具体的にオーダーを出す場面もあったりして?**

「まぁ、要所・要所で打ち合わせの時に多少言ったくらいですけどね。でも、最初に出て来たプランからすると、今のかたちはかなり変わったと思います。もともとは、ツアータイトルの中に入ってる"BULLET"っていう言葉をストレートに感じさせるようなイメージのセットが案として出てたんですよ。だけど、さすがにそれだと「そのまんま過ぎて、ちょっと…」っていうことになって、そこからはもっと広い視野で考えてくようにしてもらったんですね。だから、結果的にはすげぇゴスな雰囲気が出てる場面もあれば、ルキが細かくこだわった映像を使っての演出なんかもあるし、1本のライヴの中でも、かなりいろんな面を見せて行けるかたちになって良かったです」

**──では、ギターに関してこのツアーで追求しているのはどんなことです?**

「ひとつの前提として、やっぱり少しでもCDのクオリティに音を近付けたい、っていうのは大きい目標ですね。レコーディングとライヴでは環境も、ひとつの音を作るのにかけられる時間も全く違うし、同じ次元で考えるのが難しいっていうことは、僕も分かってるんですよ。でも、"ライヴだから"の一言で済ませちゃうのは違うかな、っていう思いもあるんです。だって、凄いアーティストになると、ライヴでもCDみたいな音出してないですか? まぁ、ほんとにCDの音源流してるだけかもしれないですけど(笑)」

**──その真偽のほどは何とも分かりかねますが(笑)、スタジアムクラスでも信じられないような音を出すアーティストは、確かに存在しますね。**

「ライヴバンドとしての勢いをしっかり持ってて、その上でそのくらいの音が出せたら、俺が観てる側だったら絶対それって衝撃だと思うんですよ。そういう意味で、ここから先はなるべく妥協しないで音を出して行きたい、って最近良く思ってるんです」

**──機材面でも、今ツアーに向けてその為に用意したものはあったのですか?**

「あります、それは。ただ、突き詰めてくとライヴのサウンドって、俺ひとりだけの問題でも無いっていうか、全体のミキシング的にどうなのか?っていうことでもあるわけじゃないですか」

**──その日の会場の、音響特性も大きく影響するでしょうしね。**

「要するに、ひとりだけどんなに良い音を出してたとしても、客席にそれが届かなきゃ何の意味も無いんですよ。バランス悪くてギターの音だけ出てなかったとか、逆にギターだけデカすぎてうるさかったとかじゃダメだし、最後に大事になって来るのは個々の音作り以上に、全体的なバランスなんですよね」

**──どんなに良い素材を使っても、味のバランスがとれなければ美味しい料理にはならないのと似ていますね。**

「やっぱり、受け手のことを考えないと、大事なものを見失っちゃいますよ。機材

せる為なんだっていうことを常に意識して、スタッフチームと連携してくことが何より大切なんだって、最近そのことがあらためて分かって来ました」

**──麗くんは、ストイックですね。**

「いや、でもキリないって言ったらキリ無いですけどね。同じようにやってるはずなのに、この間は良かったのに、今日はダメじゃん!とか、普通にそんなことも起きますから、面倒くさいっちゃ面倒くさいっす(苦笑)」

**──ちなみに、そんな麗くんが出しているギターの音に対して、相方さんは最近ジェラシーを感じているらしいですよ。**

「え、マジっすか?そんな素振りは全く感じてないんですけど(笑)」

**──傍から見ると、ツインギターの場合はお互いに切磋琢磨しあえるというのが、何だか素敵だなと思います。**

「俺は俺で、今出来る限りの最高な状況でやってるって思ってるし、葵さんは葵さんで自分のスタイルを追求してると思いますからね。あとはもう、バンドとしてまとまった時に、どれだけの力を出せるのかっていうだけの話ですよ」

**──なお、今回のツアーについては最終目標地点として、先日の武道館公演後に年末の東京ドーム公演が発表となりました。この件に関して、麗くんの見解を教えて下さい。**

「あの発表をする以前に、自分たちでやるって決めた時から既に腹は括れてたんで、今はやっと皆に対して発表出来[illegible]すっきりした気持ちです。"これでほんとに、もう逃げら[illegible]な"っていう話は、冗談半分にメンバーとしましたけど(笑)、俺は凄い[illegible]ですね」

**──ここから続いてゆくツアー[illegible]どんな成果を見せつけてもらえる[illegible]か、我々も楽しみですよ。**

「東京ドームに立った時にも、[illegible]と地に足が着いた感じでいたいですよ。ドームだからって特別なことをす[illegible]んじゃなく、あくまでも素のthe GazettEで勝負したいですから[illegible]。そうなると、何が大事になるかって言[illegible]たらここからのツアーなんで。1本、1本

蝴蝶网
hudie.com

# この何とも無茶な感じが俺達っぽい！

## 葵 After Live Interview

**退路を断ち、無茶を承知で全速前進を続けるということ。それはすなわち、the GazettEとしての、バンド魂を掛けた真剣勝負を意味する。葵は今、本来とてもシビアなその状況を最大限に楽しみつつ、同時に出来る限りの可能性を試している途中のようだ。ギタリストとして、ミュージシャンとして、パフォーマーとして。全方位的に完璧な姿を目指す、彼の胸の内をここに。**

**りとなった武道館2デイズは、葵くんにとってどんな手応えを得られるライヴになりましたか。**

「え、武道館ですか？ いやー、別に何とも。僕はただ、自分のやらなきゃいけないことを普通にやってただけですね」

**——ちょっと贅沢な話ですね。武道館を、夢として語るバンドマンも多い中。**

「ほんと慣れって怖い（笑）。いや、っていうか違うんですよ。武道館に関しては、今回のツアー用に一新した機材が初出しだったんで、ついそっちに気持ちがいっちゃってたんです」

**——導入した機材たちは、葵くんが思った通りの働きをしてくれていますか？**

「そうっすねぇ、基本的には。でも、まだこれからも気になったとこはその度に変えてくと思います。今回のツアーは、いろいろ試しながらやってるんですよ」

**——随分と、攻めの姿勢なんですね。**

「やっぱ、麗が最近けっこうイイ音出してるんでね。それがちょっと、悔しいんですよ（苦笑）。こっちも何とか追いついてかないと…みたいな」

**——葵くんとしては、具体的にどんな方向性の音を求めているのでしょう。**

「ミッドがブリッとしたカッコ良い、もっとロックな音」

**——武道館で聴いた限りでは、既に輪郭はハッキリした音でしたけれども。**

「マジっすか？ でも、まだちょっとドンシャリ気味（高音と低音が強調され気味）になっちゃってるじゃないですか。そこを何とかしたくって。音の帯域で言えば真ん中を持ち上げれば良いのは分かってるんですけど、それにあたってギター本体の方を改善すれば良いのか、それともアンプの方の問題なのかが、まだちゃんと特定出来てないんです」

**——難しいですね、そういうところを突き詰めていくのって。**

「前だったら、音以外の部分でもステージ上でこういう風に立っていたいとか、パフォーマンス的なことも考えてはいたんですけど、今回はもうそういうのは良いかなって思ってるんですよ。あ、別にそれは〝やんない〟っていう意味ではないですよ？ そこはもう、考えるまでも

**——あはは（笑）。それに、自然なふるまいがカッコ良いミュージシャンというのは、ひとつの理想形とも言えますしね。**

「うん。それに、動きとかも大事は大事ですけど、もっとプレイ面も強化させないと、っていうのは自分的に大きな課題なんでね。実際、今回の武道館でもちょっとミスがあったりしたし」

**——確かに。正味な話、1日目に関しては部分的に若干ハラハラさせられる場面がありました。2日目は、そういうことは無かったので安心でしたが。**

「感覚的には、札幌あたりで馴染んできたような気がします」

**——今ツアーは、日によってセットリストの内容が違うそうではないですか。そのあたりも、プレイヤーからすると決してやりやすくはないですよね？**

「でも、そんなのは全く言い訳にはならないんでね（笑）。それに、これだけ毎日メニューが違うと、〝なぁなぁ〟にならないから逆に良いです。常に、気を張ってられますよ」

**——場合によっては、昨今ライヴで殆どやっていなかった楽曲もセットリストにエントリーされて来ているようですが、それらを演奏してみて葵くんが感じるのは、どんなことですか。**

「昔の曲は、やると〝いいな〟って思うことが多くて楽しいです。武道館でやった「☆BEST FRIENDS☆」とか、「Anti pop」も良かったし。ここ（八王子）でやる「No.[666]」も、きっと面白いことになりそう。今日もね、また違うアンプ使ってみようと思ってるんですよ。機材はいっぱい持って来てるんで、選び放題なんです」

**——まさか、あのツアートラックに機材をギッシリ総動員してあるのですか??**

「そうそう。俺が自分の力で運ぶわけじゃないんで、ちょっとこれ全部積んどいてくれる？って（笑）」

**——クルーの方たちも、大変ですねぇ。**

「ほんと、そういうクルーの皆のおかげもあって、今回は音の幅も広がってきて、より出したい音に近付いて来てます。ぼーっとしてるとタダ歳食ってっちゃうばっかりだし（笑）、とにかくここは日々精進してかないとね！」

**——頼もしいお言葉です。**

「でしょ？ 今回はちょいちょいヒマ見つけて遊んだりなんてことも、一切してないですもん。楽屋でダーツやったりなんて、したこともないです（笑）」

**——まぁ、ダーツくらいは可愛いものだと思いますよ（笑）。それに、ツアーも長くなって来ると心身ともにケアや、ガス抜きも必要ですし。**

「そういう意味では、今回のツアーは今までよりもラフなスタンスで臨めてますよ。いろいろ、向上させてかなきゃなって思ってることは多いけど、だからってヘンにピリピリすることもなく、楽屋の雰囲気も良い感じだし、遊ぶ時は遊びつつ、時間を区切って練習する時はしっかり練習する、ってやれてるんです」

**——そうした段階を経たうえで、うまく繋げて12月26日の東京ドーム公演まで行けると良いですね。ちなみに、武道館初日にて情報解禁された瞬間、葵くんはどんな心境になっていましたか。**

「あれは…やっぱ感動的でした。ある種、ああいう瞬間の為にバンドやってるようなもんですからね。皆が驚いたり、喜んだりしてる姿っていうんですか。それを見るのが、嬉しいっていう。あとは、ああやって公式に発表しちゃった以上、「もう、戻れないな」っていう気持ちもそこにはありますよ」

**——まさに覚悟が決まったのですね。**

「今度のドームっていうのは、今年の初めに久々にメンバー5人で飲んだ時、最終的にやるって決めたことだったんですよ。それに向けて、いよいよ動き出したんだっていうことが、なんか感慨深かったんです。久々に、この何とも無茶な感じがthe GazettEっぽくなって来たな！って（笑）」

**——the GazettE魂に、あらためて火が着いたのかもしれません。**

「ここ2年くらいって、バンドとしてそこまで無茶なチャレンジはして来てなかったですからね。その点、こうして切羽詰まった状況に自分たちを追い込むってなったら、きっとthe GazettEは絶対また一皮むけると思うんですよ。その為にも、やれることは今のうちに全てやっておきたいんです」

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# the GazettE

the GazettE TOUR10
NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-

## 今も鞄の中に日記を忍ばせてあります。

# れいた After Live Interview

的でワイルドなそのライヴパフォーマンスの裏には、それだけで終わらない客観性と広い視野、そして影ながらの努力というものが
している。れいたは彼独自の方法論をもって、今回のツアーの中でより効果的に自らと、バンドの持つ潜在能力を引き出して行こうと
いるのだ。the GazettEが、名もなき自由を手にしてゆく為の長き旅路は、ここからがまさに本番となる。

――現在進行中のツアー【TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS は、the GazettEとしてイレギュラーのことも多い内容になっているようですが、れいたくんが事前に「今回はここにこだわりたい」と考えていたのは、どんなことでしたか。

「今のところ、なるべく継続していきたいって思ってるのは日記を書く、ってことですね」

――ブログではなく、日記ですか。

「そう。いわゆる、ツアー日記みたいな。いや、むしろメモって言っても良いくらいなのかも。人に見せる為のものではない日記を書いてるんです。今も、ひっそりと鞄の中に忍ばせてありますよ（笑）」

――それは興味深い。

「大体いつも、ライヴ終わってシャワー浴びた後に書いてるんですけどね。でもなんか、そういうのってイマイチ俺のキャラじゃないでしょ？」

――ステージ上でのワイルドなパフォーマンスからいけば、やや意外性はあるかもしれません。

「ってことは、あんまり表で言わない方が良いんだろうなぁ。イメージ的に、ちょっとマズい気がする（苦笑）」

――いえいえ。むしろ、その意外性が良

いう気概が伝わって来ます。

「結局、ツアー中でも冷静な部分って必要なんですよね。ライヴ中に盛り上がりながらも、自分でいろんなことに気付く余裕っていうのは必要で、なおかつそれを記録にすることで、さらに見えてくるものがあると思うんです」

――今回のように長いツアーの場合、日々のライヴを重ねて行くだけでも身になるものは多いと思うのですが、今回れいたくんが付けている日記は、やがて大きな武器になって行くはずですよ。このあたりは、学生さんや受験生の方々にも、是非参考にして頂きたいものです。

「現実とか現状を知る、っていうのは意

うのも、分かって来るはずなんですよ」

――ごもっともです。

「今回ひとつの狙いとしては、このツアー長いじゃないですか。だから、途中でセットリスト組むのに悩んだ時とか、日記をパッと見返して、ひとつの参考に出来たら良いなって考えてるんです」

――素晴らしい。それにしても、昨今アナログなリアル日記を書くというのは、極めてレアな行為ではないですか。よくぞ思いたちましたね。

「たまたまなんです。ツアー前に日用品をスーパーに買いに行った時、文房具コーナーを通りかかって、ふとノートが置いてあるのが視界に入って来て、「そうだ、日記書いてみよ」って（笑）」

――ちなみに、そのお買い物ではノートの他にどんなものを??

「あぁ、もう普通にシャンプーとかですよ。ツアー出るってなると、どうしてもそういうモノも必要なんでね」

――れいたくんの場合、日用品以外でツアーにおける必需品というと何ですか。

「とりあえず、本とかゲームかなぁ。でも、今のところ全然やってないし、読んでないんですけどね。あとは、iPodでしょ。それと、昨日買ったiPad」

――出ました、最新デバイス！ the GazettE内では、葵くんに続いてれいたくんのご購入となるようですが、れいたくんはどんな用途で使おうと？

「それはね、実は俺も知りたい（笑）」

――えー、そんな勿体ない（笑）

「買ったは良いけど、まだ何に使うかとかそんな決めてないんですよ。ほら、葵さんは最近twitterやってるからフル活用じゃないですか」

――でも、れいたくんにもブログがありますよね？

「確かに、ブログは今までより手軽に書けそうな気がしてます。ただなー、こう言うとそれがヘンな重荷になっちゃいがちなんで（苦笑）、そこはあんまり明言しないでおこうかなと。あとはそう、iPadに動画を入れてみるのも良さそうですよね。ライヴのやつを」

――それはいいですね。あの画面サイズでライヴ映像を移動中に観られたら、こ

「さすがに、ライヴを観るにはiPhoneだと画面ちっちゃ過ぎて良く分かんないし（笑）。まぁ、iPadの使い道はそんなとこですかね」

――分かりました。ところで、今のところ武道館、中野、札幌、と各地でライヴをやって来た中、れいたくんは今後このツアーに対してどう臨んで行こうと考えています？

「俺は、精神的に今までよりラフに行きたいなと思ってます。年末のドームまで決まってる中で、もちろんプレッシャーとかも無いワケじゃないんですよ？ でも、あまりにも年末のドームっていう部分に捕らわれ過ぎちゃって、ツアー自体を楽しめなくなったら、そんなのつまんないですもんね。何だったら、トラブルのひとつも起きねぇかな？ くらいの気持ちで（笑）、やって行きたいっす」

――そのくらい大きく構えていれば、ドーム公演も何も怖くはありませんね。

「うん。怖くはないけど、でもどうなるか分かんないっていうのは、それもまたひとつの事実ですよ。おそらく、〝まだ時期的に早いんじゃないか〟とか、〝このライヴじゃ、ドームには似合わないだろう〟とか、俺らに対して今後いろんなことを言うヤツは、一杯出て来ると思うんです。でもね、そんなの実際に立ってみなきゃ分かんないじゃないですか」

――挑戦者たるもの、それで良いのだと思いますけれどね。

「実際、初めての武道館の時だって立ってみなきゃ分かんない、っていうのは全く同じだったんですよ。その前だって、何時だって、このバンドはずっとそういうことを繰り返して来たわけで、その流れの延長線上に、今回のドームもあるっていうことだと思うんですよね」

――同感です。

「それに、やって失敗したところで恥かくのは他ならぬ俺らですから。もちろん、そうならないように頑張ってやってかなきゃいけないし、俺らをずっと支えて来てくれるヤツらの為にも、ここはthe GazettEとしての最高のライヴを全力で見せないとね。多分、俺はドームの翌日とか、マジで立ち上がれないくら

SIX BULLETS」は、the GazettEとして異例のツアーですよね。アルバムに付随しない全国ツアーであるということ自体も初になるそうですし、皮切りとなった武道館2デイズを観ただけでは、今後の行く末が良い意味で全く予想出来ないように感じました。

「確かに、そう見えるかもしれないですね。冒頭のSEや、1曲目の選曲も日によって違うし、今回は特にコンセプトが無いのがコンセプト、みたいなところがあるのかなぁ。次に行く場所でやるライヴのセットリストが、自分たちで見えてないっていうか、敢えて決めてないっていうのは、さすがに今までは無かったですからね」

**——戒くんの場合、ドラマーという立場だと曲のカウント出しをすることも多いでしょうし、日によって進行が違うというのはプレッシャーが強いのでは?**

「あぁ、そこは大変ですよ。今日（八王子公演）だって、〝「Psychedelic Heroine」の前にドラムソロ入れてくれる?〟って突然言われて、びっくりしましたもん。その前の曲が「Ruder」なんで、チューニングの関係上、弦楽器隊が楽器チェンジの時間が必要だっていうんですよ。何やったらいいかな?って」

**——何とかアイディアがまとまるといいですね。（注・この取材は八王子公演当日の昼間に楽屋にて行われた）**

「まぁ、大丈夫でしょう。僕としては、そういういきなりの出来事も含めて、今回のツアーは全部を楽しんじゃってますから。ほんと、面白いんですよ。〝えっ。この曲、こんな位置に入れんの!?〟みたいなこともあったりして、その中でまた新しい発見が出て来たりするんです。今までに作り上げて来た基礎がしっかりしてるからこそ、その上でより自由にやれてるっていうのが、今回のツアーなんだと思います」

**——その自由を謳歌するにあたっては、なんでも55曲の候補曲を準備したそうではないですか。**

「そのうち、新曲は「SHIVER」を含めたシングルの3曲だけっていうね（笑）。でも、ほか52曲は全部昔の曲である反面、中には何年ぶりだろ?っていう曲も新曲同然といえば新曲同然だったんですよ。自分たちの曲をコピーする（笑）、っていうとこから始めたものも今回は何曲かありました」

**——あらためて過去の曲に触れた時に、何か感じたことはありましたか。**

「あぁ、当時ってこんなことやってたのかっていうのはありましたよ。ただ、アレンジ的な面で昔やってた曲を今の自分たちから見た場合、ちょっと見当違いなことをやってたケースっていうのも、実はあったりするんですよね（苦笑）。そのへんを修正する時間も必要だったんで、今回は思ってた以上にツアーに出るまでの準備に時間かかっちゃいました」

**——そんなツアーの初日にあたった武道館公演の際、戒くんはどんな心境でいたのでしょうね。**

「なんだろ。準備をきっちりやったっていうのもあったし、目指すところはファイナルの東京ドームだっていう気持ちもあったから、何時もの初日に感じるような緊張感や気負いとか、武道館だからどうとか、そういうのは一切無かったです」

**——それは良い傾向ですね。**

「その感覚は、今日この八王子までずっと続いて来てて、多分これからも何処でやろうが、どんな状況だろうが、俺はどのライヴも純粋に今回のツアーのうちの1本として、平常心でやれるんじゃないかと思ってるんですよ」

**——the GazettEが、東京ドームで年末にワンマンをやるっていうこと、この事実を、戒くん自身はどんな風に捉えていますか。**

「ドームですか。やっぱり、間違いなくこれは自分たちにとって挑戦ですよ。それも、かなり久々の[illegible]思う。何時頃からだったかな…俺の中ではこの挑戦するっていう感覚が、多分「Nameless Liberty.Six Guns…」の頃以来、ちょっと無くなってたんですね」

**——なるほど。あのツアーは、ファイナルに初の武道館公演を見据えたうえでのものでしたよね。**

「そうそう。あの当時は、自分たちでも〝まだ早いんじゃない?〟って思ってたわけですよ。だけど、それがあぁやって成功して以降、ライヴに関して言えばちょっとも〝まぁ、大丈夫だろう〟くらいの感覚のことが多かったんですよね」

**——実際、それだけの実績と結果を残して来てもいますしね。**

「でも、さすがに今回のドームっていうのはねぇ。もう、まさに未知の世界じゃないですか。埋まるかも分かんないし、どうなるのか当然立ったこともないし、どうなるのか全く見えてない中で、これは挑戦以外の何ものでもないわけですよ。その感覚を久々に味わえてるっていうのが、俺は今凄く心地良いんです」

**——その言葉をうかがうと、今回のツアータイトル「NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS」というのが、より意味を持ってくるんですね。**

「うん。無謀かもしれないけど、それでも挑戦するっていう姿勢そのものは、あの時と何ひとつ変わってないんですよね。でもこれ、自分でも不思議な感覚なんですけど、だからって不安とかは無いんですよ。なんか、根拠もなくどっか自信を持ってるんだよなぁ（笑）」

**——言葉の通り、自らを信じているということなのでは?**

「そっか。実はこれ、昔からなんですよ。バンドを始めた時から、まるで根拠も無いのに自分は成功するって思ってましたからね。それで、何か気が付いたら〝ここまで〟は来てたっていう事実もあったりするから、今度もきっと行けるんじゃ

**——念ずれば花開く、という言葉もありますが…思い込みって大事だと思いますよ。もちろん、思い込みのままで終わってしまっては困りますが、思い込むことによって自分の中の潜在能力を引き出すことは、きっと出来るはずです。**

「ほんとのこと言えば、このドームっていうのも俺の頭の中ではもうずっと前から〝決まって〟ましたしね（笑）。ここからツアーを廻ってく中で、もっともっと唯一の存在になって行って、〝こういうことは、絶対the GazettEにしか出来ないよね〟っていうものを、あの場所で皆に見せたいと思ってます。この、腕っ節で勝負するしか無いです」

## ドームっていうのは俺の頭の中ではもうずっと前から決まってました。

# 戒 After Live Interview

**未知なる世界を前にして、戒は今どこか武者震いするような感覚を得ているのかもしれない。彼の言う、根拠の無い自信。それは、きっと自らの潜在意識の中に眠る可能性に違いないのだ。唯一無二の存在を目指し、果敢に未来へと立ち向かおうとしている戒の言葉は、どれをとっても力強さに満ちている。自らの腕っ節を信じ、勝負をかけようとしている彼の思いをここにそのまま届けよう。**

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# シド

## 限りない明日への希望と確かな自信を見た!!
## 膨張し続けるシドワールドを速報レポート

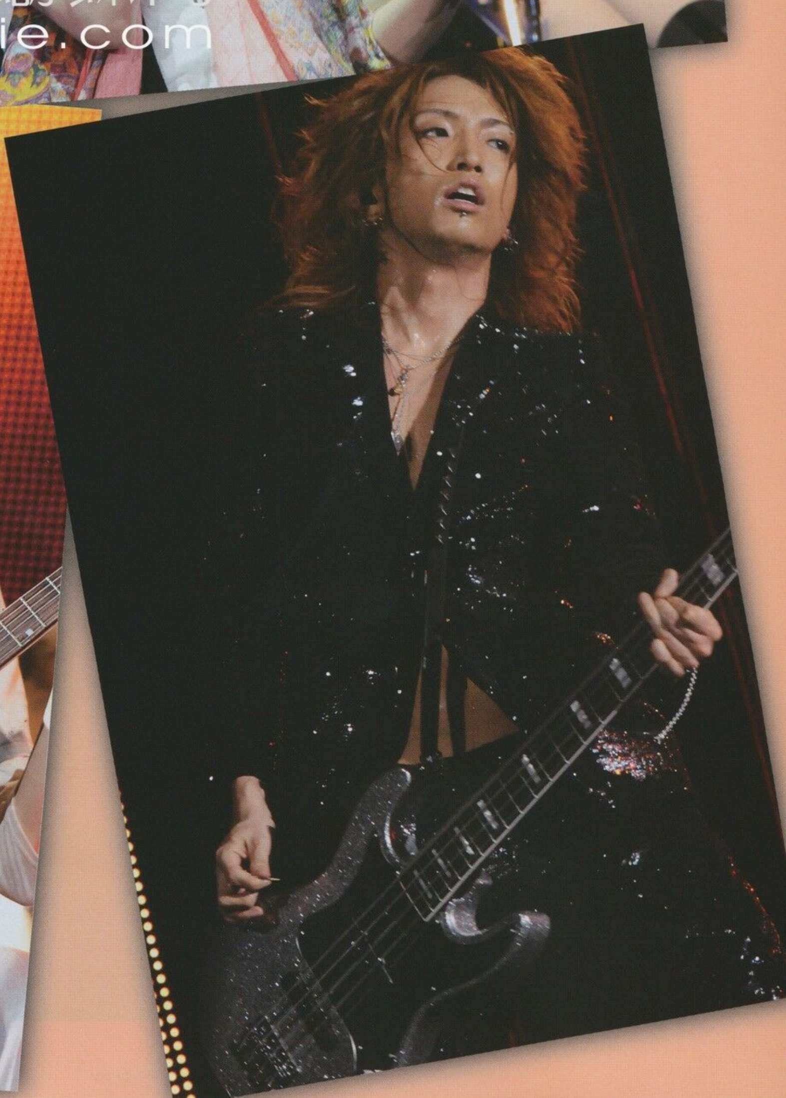
### Summer Festa 2010
### Live at さいたまスーパーアリーナ 2010.7.31

夏の盛りである7月31日に、さいたまスーパーアリーナ・スタジアムモードで行われた単独公演
[SID Summer Festa 2010 ～SAITAMA SUPER LIVE～]でさえ、
シドにとってはまだ通過点だというのだから、彼らのポテンシャルには圧倒されてしまう。
この秋、彼らは9月29日にニューシングル『cosmetic』を発表し、
年末には遂にあの東京ドームへと駒を進めるのだ。

Photograhy:SHIN WATANABE/HIDEAKI IMAMOTO
Report : YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



蝴蝶网
hudie.com

# シド

**Summer Festa 2010**
**Live at さいたまスーパーアリーナ 2010.7.31**

ライヴ、コンサート、ロックショウ。もはや、いずれの言葉でも表し切れないような一大スペクタクル的空間が、そこには存在していた。

メジャーデビューから実に2年足らずで、今回シドが行ったのは史上12組目の挑戦であったという、さいたまスーパーアリーナ・スタジアムモードでの単独公演［SID Summer Festa 2010 ～SAITAMA SUPER LIVE～］。なんでも、この日の為に用意された3万2000枚のチケットは、ほぼ瞬時にソールドアウトしてしまったそうだ。

開演前から既に熱気を帯び、期待感に溢れた場内。その空気を煽るように、この夜のオープニング場面では、設営された巨大スクリーン郡を用いて4人がこの会場にヘリコプターで乗りつける、という内容の映像が流された。そこから、割れんばかりの大きな歓声が湧き上がる中で彼らが最初に発したのは、最新シングル曲「レイン」。

派手な映像演出から、そのまま派手な楽曲へと繋がるのかと思いきや、シドはこの場面で彼らにとって大きな武器である〝聴き手の胸を打つ歌〟を、まず持ってきたのだった。押さえるところを押さえた上で、その後には軽快でダンサブルなビートがハジけた「歌姫」で勢い良くスパークし、ここではアリーナの上手と下手にしつらえられた、長い花道をフロント陣3人が疾走する姿もみられた。

これ以降、この日のメニューには新旧問わずに色とりどりなものが並べられており、比較的初期の楽曲である「妄想日記」と、それとは対照的な世界観と季節感が漂った「夏恋」が続けられたくだりでは、あらためてシドというバンドのレンジの広さを思い知らされることに。

また、これだけ広い会場でのライヴにも関わらず、メンバー各人が地に足の着いたプレイを終始していたのも特筆すべき点で、そこには一朝一夕で成り上がってきたわけではない、バンドとしての風格が備わっていたと言っていい。

Shinjiのアコギが良い味を醸し出していた「モノクロのキス」、ゆうやの叩き出す16ビートが心地良かった「2℃目の彼女」、マオの自在なスキャットが広い場内に響き渡った「刺と猫」、明希の華麗な指弾きベースが光った「マスカラ」。どれも、本当に聴きごたえのある曲たちばかりで面白い。

しかし、一方でこの夜の公演にはこんな一幕も…。なんと、本編後半の「日傘」で同期周りのトラブルが起きたらしく、イントロで演奏がストップしてしまうという、珍しいハプニングが勃発。このとき何とも絶妙な一言を発したのは、ほかならぬShinjiだ。

「えー。こんばんは、埼玉県出身のShinjiです。昨日は実家に泊まって、今日はそこから来ました（笑）」

難しい局面で最高のボケをかましてくれた彼は、このあとアンコールの〝金曜シンジショー〟でも大活躍し、二十歳の頃の苦労話を綴った新曲（?）「僕と金利と手数料」で、我々を魅了してくれた。

魅了といえば、このアンコールではマオがキュートな浴衣姿を披露していたのもレアな出来事で、本編よりもくだけた雰囲気の中、このあたりで遂にSummer Festa気分は最高潮へと到達。

「いやー、凄いね。人いっぱい。まさかシドがこんなことになるとは。もちろん、願ってはいたけどさ。実現するのは難しいことじゃないですか。なんかもう、言葉が出ません。最高です！」

晴れの舞台という言葉が相応しいその場所で、彼らはアンコールの最後を今春のヒットチューン「sleep」で飾り、そしてそのまま静かにその場を去った。

だが、当然それでもさらなるアンコールを求める声は止むはずもない。すると、程なくしてスクリーン上にて始まったのは、シドの輝かしいライヴヒストリーを辿った映像たち。さらに、それに続くかたちで、ここでは12月11日の東京ドーム公演［YEAR END CLIMAX 2010 ～全てのシドへ～］が、正式に告知されたのだった。

完全なる祝賀モードで狂喜乱舞するファンたちの声に応えるように、このあと再びステージ上へと現れた彼らは、最後の最後にもう1曲だけ、万感の想いを込めた「微熱」を我々に贈ってくれた。

「ここまで連れてきてくれて、ありがとうね。次のドームも一緒に行こうな！」

マオが残した約束の言葉。それの果たされる日が、今からとても待ち遠しい。

【SET LIST】
M1. レイン
M2. 歌姫
M3. 妄想日記
M4. 夏恋
M5. モノクロのキス
M6.2℃目の彼女
M7. 嘘
M8. 刺と猫
M9. マスカラ
M10. ホソイコエ
M11. 日傘
M12.cut
M13.dummy
M14. プロポーズ
M15. 眩暈

——encore1——
En1. 金曜シンジショー「僕と金利と手数料」
En2. ミルク
En3. ノイロヲゼバアティー
En4.Dear Tokyo
En5. 循環
En6.one way
En7.sleep
En8. 微熱

# 枢 × Nightmare 咲人
## Symmetry

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:FUMIE NOZAWA

蝴蝶网
hudie.com

### つかず、離れず

ナイトメア10周年記念企画・大好評！　不定期メンバー内対談。
先月のYOMI&RUKAの凸凹コンビに続き、
今月は枢&咲人のギター隊が登場！　異なる個性が魅力の二人。
つかず、離れずの絶妙な関係性をお楽しみ下さい。
8月25日に、自身二度目となる、日本武道館公演を控えているナイトメア。
また、同日に、1月9日さいたまスーパーアリーナで行われた
ライヴの模様を収録したDVDのリリースも決定。
ナイトメアの勢いはまだまだ止まりません！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

**―最初に会ったときのこと、お互いに憶えています？**

**枢：**高校の文化祭だよね。ステージに立つ咲人を見て、〝話してみたい〟って思ったの。産まれて初めて、生で見たバンドマンだったからね。

**―周りの高校生とは一線を画すオーラが、当時からありましたか。**

**枢：**うん、周りは普通だったけど、咲人はちょっと化粧して、髪の毛もわりと長くて。俺、ライヴ終わって5分もしないうちに話しかけに行ったもん。シールド巻いてたよね。

**咲人：**巻いてたね（笑）。

**枢：**で、確か〝この後、みんなでどっか行くの？〟って聞いたと思うんだけど…。

**咲人：**いや、違う。いきなり、〝プロになるためのバンド組まない？〟って言われたんだよ。

**枢：**ホント⁉

**咲人：**うん、絶対言った。

**―にしても、いきなり〝プロになるためのバンドを組もう〟って、なかなか人に言われないじゃないですか。**

**咲人：**うん、言われないね。でも俺、それに〝いいよ〟って返したんだよね。初めて会った人種だったし、見た目的に、俺が友達になりそうもない路線だったんだけど。

**―当時の枢さんは、一体、どんな風体だったんですか。**

**咲人：**金髪で、ピアスが1コだけ口に開いてて、ボダボのオーバーオールと、オレンジ色のパーカー着てた。で、両脇にジャージの男の子たちを連れてて。絶対、因縁つけにきたなって思ったもん（笑）。俺、男子校だったんだけど、軽音部は近くの女子校と交流があって、客席は女子高の女の子たちが結構いたから、〝調子に乗るなよ〟って言われるのかと思ったのが、最初。

**咲人：**…ありがちだね、うん。それなのに〝プロになるためのバンド組まない？〟って…拍子抜けだよね。

**枢：**ホント。でも、しゃべってる顔を見てたら、悪いこと考えてる顔はしてなかったし。

**枢：**ピースフルですから、基本（笑）。

**―何にせよ、その後、本当に一緒にバンドを組むことになるわけですよね。**

**枢：**まず、咲人が高校で組んでたバンドの、もう1人のギターの人の代わりに俺が入ってね。そのメンバーで1回だけライヴをやったんだけど、それが俺の初めてのライヴで。

**―咲人さんを誘ったときは、まだステージを踏んでいなかったってことですか⁉**

**枢：**すごいでしょ？ バンド組んだことのない、ライヴすらやったことがないのに、バンドやっている人をプロに誘ったんだからね（笑）。

**―その、初ステージでの枢さんのこと、咲人さんは憶えていますか？**

**咲人：**いや…ステージ狭いし、メンバーを見る余裕ないしで、あんまり憶えてはいないんだよね。

**―でも、2人とも楽しくはあったんですかね。**

**枢：**当時は、ステージに立つことより、普段仲良くできてることとか、仲間でライヴをできてることが楽しかったんじゃないかな。

**咲人：**しょっちゅう、枢の家に遊びに行ってたもん。だから、ギタリスト同士っていうより、友達同士っていう感覚のほうが、当時はまだ強かったのかもしれない。もちろん、バンドの話とかギターの話は、よくしたけどね。

**―じゃあ、お互いをギタリストとして見るというか…意識が変わってきたのは、いつ頃なんでしょう。**

**枢：**やっぱり、ナイトメアでレコーディングをするようになってからじゃない？

**咲人：**かもね。

**枢：**最初のころ、ゾジー（YOMI）の家でみんなで泊まってデモ音源を作ったり、ライヴをしてる頃はまだ、そこまでだった気がするけど…2人とも、曲に対して考えるフレーズは、当時から話をしなくても、咲人がウワモノで、俺がバッキングっていう風に、分かれてたと思う。もともと、咲人はLUNA SEAが好きで、俺はhideさんとかX-JAPANが好きだからね。

**咲人：**だから、わりと自然に、役割分担ができていったと思う。

**―そのうち、ギタリストとして尊敬すべき点も、お互いに見えてきますよね。**

**咲人：**あぁ…たとえば、枢にアルペジオを入れてもらうと、絶対俺には考えつかないようなアルペジオを考えてくるのね。わりとミュートリフでガンガン攻めてるイメージがあるけど、アルペジオのフレーズ選びのセンスは、完全に俺にないものを持ってると思う。

**枢：**へぇ…初めて知った。

**―発想の違いですよね。**

**枢：**でも、俺も今、同じことを言おうとしてて。ギターソロにしても、アルペジオにしても、咲人から出てくるフレーズって、純粋にカッコイイなって思う。それがどんどん出てくるから、ホントすごいなって。それだけいろんな音楽を聴いてるからだろうしね。

**―だからこそ、〝負けられないっ〟っていう闘志を内に燃やすこともありますか？**

**咲人：**どうだろう…でも、自分にないものを持ってることはわかってるし、そこは同じような方向性に向かってもしょうがないし。同じタイプのギタリストだったら、そうやって負けたくないって思うこともあるかもしれないけどね。

**枢：**そうだね。

**咲人：**だから、ざっくり言うと〝そういう（枢の得意な）系は任せた〟っていう感じになる。

**枢：**〝どうしたらいいかな〟っていう相談をもらったら、それに対して答えたりはするけど…基本的に、咲人の好きなようにやってもらいたいし。

**―ギタリストが2人共存していくのは大変なのかなというイメージもあるんですが、突き放すでもなく、寄り過ぎることなく、それぞれの立ち位置がしっかりあるわけですね。**

**枢：**咲人としかツインギターでやってきてないから、これが自分の当たり前だけど…周りから話を聞くと、〝ツインギターってそんな大変なんだ〟って思ったりするからね。

**―とはいえ、これまで、2人の間に不穏な空気が漂ったことはないですか？**

**枢：**…ないよね。

**咲人：**うん。それぞれ、人間だからバイオリズムはあるけど、ぶつかるようなことはないな。それはメンバーみんなそうだし、唯一、メンバーの誰かが感情的になったのは、初期のライヴで、ゾジーのMCにNi~yaが〝なんであんなMCするんだよ！〟ってブチ切れたぐらいかな（笑）。

**枢：**今考えると、当時のゾジーさんのMCはまだかわいいけどね。素の状態でしゃべってるみたいな感じでさ（笑）。

**―それだけ、Ni~yaさんも本気だったっていうことですもんね。**

**咲人：**そうそう。それ以外は、みんな声を荒げることもなくね。

**枢：**うん、俺と咲人の間では、まずない。

**―お互いに何か思うところがあったとしたら、どう対処するんですか？**

**枢：**フラットに言うか…ツアー先とかで呑んでるときに話すかな。深刻な感じでは言わないけどね。

**咲人：**結構、語るよね。

**枢：**音楽とかバンドのことはもちろん、趣味のこととか、雑談もあるし…ゲームのことも話すね。

**咲人：**だいたい、最初にバンドとか音楽の真面目な話をして、だんだんプライベートな話に流れていくよね。

**―だとすれば、100がマックスだとして、お互いのことをどのくらい知っていると思いますか？**

**咲人：**俺、70~80ぐらいは知ってると思う。〝今こういうこと考えてるだろうな〟とか、だいたいわかるもん。

**枢：**おぉ、そうか。俺は、60とか70。半分は、わかってる。そりゃあ、10年一緒にいるからね。

**―100に満たない部分は、敢えて知りたいとは思わない？**

**咲人：**うん、逆に知らないほうが良いところだと思う。

**枢：**だね、知らなくて良い事だと思う。

**―お互いそうなら、2人の間合いってやっぱり、すごく良いでしょうね。**

**咲人：**距離感はすごく良いと思う。

**枢：**幼馴染とか、ただの友達だったら、知れるだけ知っておいたほうが良いのかもしれないけど…それとはまたちょっと違うでしょ？ だから、ちょうど良いんだよね。どうでも良いわけじゃないし。

**―そんな2人が、バンドじゃなくて、同じクラスにいたとしたら、友達になっていると思いますか？**

**咲人：**完全に、俺は普通グループ。で、枢はヤンキーグループだよね（笑）。

**枢：**俺は今、〝友達になってるよ〟って言おうと思ったんだけど⁉

**咲人：**いや、同じクラスで俺がバンドやってたら、たぶん友達にはなってる。ただ、俺は自分から声をかけられないタイプだからね。

**枢：**ま、俺は話しかけに行くと思う。

**咲人：**俺は、1人でギター雑誌を読みつつ、誰か話しかけてくるのを待ってると思うよ。

**―教室での1コマが目に浮かぶようです。この流れで、お互いに〝ここは足りないよ〟と思っている部分、せっかくだから言っちゃいましょうか。**

**枢：**もっと〝キャッキャ〟して良いんじゃないかな。咲人は基本、落ち着いてるから。

**咲人：**人見知りは直らないからなぁ…。枢に関しては、いろんな面で本気を見たい。まだ7、8割しか知らないって言ったけど、そのぶん、残りって未知なわけじゃない？ だから、伸びしろに秘められたポテンシャルを見てみたいなって。俺から見た印象だと、まだそのポテンシャルに気付いてないと思うから。枢は人との付き合いは得意だろうけど、自分と向き合ったら、よりすごい力を発揮しそうだもん。

**枢：**自分とのお付き合いも、もっとしろってことだよね（笑）。心がけてみますよっ。

**―ここが天井じゃなくて、お互いに可能性を感じられたら、バンドももっともっと上昇できますしね。**

**咲人：**うん。そうやってお互いに刺激し合えたら、それが一番かなって。

**―さて、いろいろとお話いただきましたが、それらを踏まえ、最後にお互いを励ます一言、いただけますか？**

**咲人：**励ますの⁉ ……じゃあ、お互いハゲないように気をつけよう（笑）。

**枢：**それ大事。昔から、ナイトメアはハゲたら脱退って言ってるもんね。

**咲人：**せめて、45歳ぐらいまではなんとか保ちたいよね。その後は、諦める。

**枢：**45歳までなら、俺は大丈夫そうかな。

**咲人：**俺は…わかんないけど。ま、遠回しに、自己管理をしっかりしようってことだよね。

**枢：**そうね。ま、ギタリストとしても人としても、俺は咲人を信用してるから。安心感はあるよ。

（問）<伊達漢>〒162-0831 東京都新宿区横寺町32TR神楽坂Bld.　TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00〜18:00）　dateotoko@nightmare-web.com

hudie.com

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# 誰がための嘘なのか——
# 10周年YEAR第二弾シングル『白ゐ嘘』
## “希望を持とうとする中での悲しさ”とは

**大切な何かを守る為の手段として、やむを得ず嘘をついたことがある経験は、きっと誰しもあるだろう。Kagrra,が最新シングル『白ゐ嘘』の中で描いているのは、嘘にまつわる優しく美しい物語。結成から10年の時を経て、現在進行形で高純度な音楽を生み出し続けて彼らの輝きは、今後始まるツアー［行脚　百鬼夜行~陰~］の中でも、間違いなく発揮されてゆくことだろう。**

Photography:SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M)
Hair & Make-up:MICHIKO MOMMA,SHUNICHI KAWADA
Interview:YUKI SUGIE

**——前回の『月に斑雲　紫陽花に雨』が梅雨を彩った作品だったのに対し、今回のシングル『白ゐ嘘』は、夏を背景に描かれた1曲となったようですね。**

一志：確かに、歌詞の中に向日葵って出て来るし、夏に出す曲だっていうことは意識してましたけどね。ただ、この曲の場合はそれよりも物語性というか、この中にあるドラマのほうを軸にしていたので、そこまで夏の歌として作ったものっていうわけではなかったです。

**——ちなみに、こちらの原曲はどなたがお書きに？**

真：僕です。始めは、この完成形とはだいぶ違う感じだったんですよ。一度作り終わった時点でちょっと気に入らなかったんで（苦笑）、もう一回そこからまた手を入れてったんです。

**——印象としては、軽やかで美しい仕上がりの音だと感じましたが、そこは真くんとしても重視したところでした？**

真：そうですね。リズム的に四つ打ちな感じは最初からあったし、そこにプラスαっていうか、さらにいろいろ面白そうな要素を足してってたら、自然とこういう音にまとまりました。なんか、結果としてKagrra,にありそうでなかったタイプの曲になったと思います。

**——言われてみると、そうですね！**

真：ちゃんと和風だし、しっかり箏の音も入ってるんだけど、意外とデジタルな要素も含まれて、バンドの音が基本になってる反面、けっこうポップス寄りな色なんかも出てますから。

**——特に、あのサビのメロディ展開にはポップス特有の心憎いキャッチーさが、絶妙なかたちで出ていますよ。**

真：そういう意味では、凄くハイブリッドな曲になりましたよね。

**——楓弥くんは、そんな表題曲「白ゐ嘘」に対して、どんなアプローチを取っていったのでしょう。**

楓弥：ギタリストとしての立ち位置を考えた時に、この曲の場合はギターで和な部分を出してくのは難しい曲だったんですよね。だから、サビの裏でメロディ的なフレーズを弾いていったり、自分ならではのプレイをあっこっちに入れてくこ

**までバランス良く音を出せましたよね。**

楓弥：そうなんですよ。ソロとか弾いても、ヘタすると埋もれちゃいそうだったんで、今回はサビの裏に回ってみました。正直、作ってる途中はちょっと不安もあったんですけど、完成してみたら新しい要素と、ちゃんとKagrra,らしいとこが両立してて良かったです。

**——音数が多いといえば、今回はアレンジ的にシンセベースが入っているところも、大きな特徴です。それを前提とした際、女雅くんは生のベースをどう組み込んでいったのですか。**

女雅：この曲に関しては真からの要望もあって、Kagrra,の曲の中で初めてなんじゃないか？っていうくらい、ハイポジションで弾きました。

**——つまり、ベース部分が二層構造になっているわけですね。**

女雅：しかもこれ、イントロから相当テクニカルなことやってるんですよ。〝えっ。ここまで弾かせるんだ!?〟って、ちょっと思いました。

真：えへへ（笑）。

女雅：でも、おかげでイイ感じに仕上がったのは事実ですね。弾いてて新鮮だったし、良い意味で〝やっちまった感〟満載です（笑）。

**——ドラマーの立場からすると、白水くんがこの曲の中で大事にしたのはどんなことでした？**

白水：まずは、さっき真が言ってたKagrra,としての〝ありそうでなかった感じ〟っていうのを出しつつ、そこに四分打ちや縦ノリを入れてくことで、ある種の爽快感が出せたような気がします。そのへんが、きっと夏っぽさにも繋がったんじゃないかなぁ。

**——今年の日本は、異常なくらいうだるような暑さが続いていますけれども、ここでいう夏っぽい感覚は、それとは明らかに違うものですよね。**

白水：うん、そうですねぇ。

一志：全然もっと、カラッとした爽やかな夏！っていうイメージだよね（笑）。

**——さて。ここからは「白ゐ嘘」の歌詞についても伺いたいのですが、インタビューの冒頭で物語性というキーワード**

# Kagrra, 10th Anniversary

一志：実はこれ、前から温めていたプロットを歌詞にしたものなんですよ。

**——曲の持つ軽やかな印象とは裏腹に、この詞はストーリーとしてみると悲劇の色合いが強いですよね。聴いていて、そこにちょっとしたギャップも感じたのですが、このような描き方をしたねらいは何だったのですか。**

一志：真からも、今回は曲の雰囲気より詞は少し暗めというか、悲しいほうが良いんじゃないかっていう意見が出てたし、僕としても表現したかったのは、〝希望を持とうとする中での悲しさ〟みたいなものだったんです。だから、あからさまに曲も詞も全てが悲しい感じになっちゃうのは違ったんですよ。

**——とはいえ、この詞を見ていると、いっそあからさまに悲しい物語のほうが、まだ救いがあるような気もします。ネタバレを避けるために詳細については敢えて触れませんけれど…この詞の中における希望というのは、切なすぎますよ。**

一志：だからこそ、なんですよ。まさに、描きたかったのはそこなんです。

**——きっと、この「白ゐ嘘」というタイトルは、〝真っ赤な嘘〟という言葉に対しての対語のようなものなのでしょうね。善良な嘘とか、優しい嘘、のような意味合いがここには含まれていそうです。**

一志：そういう感覚で捉えてもらうのが、わりと分かりやすいでしょうね。元ネタとして、僕の好きな作家さんの作品の中にそういう一節があったんですよ。自分のためにつく嘘は真っ赤な嘘、人のためにつく嘘は真っ白な嘘、っていうのが。

**——では、「白ゐ嘘」という古めかしい表記方法をとった理由というのは？**

一志：自分の中で、この物語は現代の話ではなかったからです。確実に近代ではあるんですけどね。具体的に言うと、昔『白い手』っていう映画があったじゃないですか。時代背景的なイメージは、それと近いです。

**——あぁ、昭和30年代くらいの設定ということですか。…なるほど、それで今回のPVも少しクラシカルな空気感になっていたのですね。**

一志：あれはこの詞の内容を下敷きにし

**——これまでもPVはいろいろありましたが、今作ほど映画的な映像は初かもしれません。力作ですね。**

白水：ホントですか、ありがとうございます（笑）。いつもは口頭で監督さんに〝こうしたい〟って説明することが多いんですけど、今回の場合は一志の詞の内容を映像化する必要があったし、それには脚本を書いて渡しちゃったほうが早い気がしたんで、ちょっと頑張りました。

**——なお、この「白ゐ嘘」については、いわゆる〝MUSIC CLIP〟の他に、〝Short Movie〟というものも作られていますよね（前者は初回盤A、後者は初回盤Bに収録）。2種類の見せ方をした理由は何だったのですか。**

白水：やっぱり、MUSIC CLIPとなるとバンドの存在を見せるっていう役割がどうしても大きいですよね。でも、ウチの場合は詞の世界を映像でも表現したいっていうのがありますし、特にこの曲に関してはストーリー性も強かったんで、MUSIC CLIPとは別に物語重視で映画っぽく編集した映像、っていうのも作っておきたかったんです。

**——両方を観ていただきたいですね。**

白水：はい。両方観てもらうことで、より、「白ゐ嘘」の世界を深く味わってもらえるんじゃないかと思います。

一志：最近、前にも増してKagrra,の世界を余すところなく伝えたいっていう気持ちが高まってるので、今回みたいに音と詞と映像、その全てを使って世界観を提示できたのは良かったです。

**——加えて、今回のシングルには他にも個性的なカップリング曲が収録されています。「怪談」（くわいだん、と読むそう）は、これまた夏にツキモノの怖い話がモチーフのようですね。**

一志：このテーマと曲は、楓弥が持って来ました。

楓弥：夏＝怪談っていうのもあったんですけど、ちょうどこれを作ってた頃、宮部みゆきさんの「あやし」とか「おそろし」を読んでたんで、そのゾクゾクする感じを曲にしてみたかったんですよ（笑）。

女雅：アレンジ的には、今っぽいとこもありつつ、微妙にスケール感とかの面でなんか妙に面白い曲になりましたね。

白水：怪談っていうわりに、音そのものには気持ち良い軽快さもあったりするんで（笑）、たぶん今後のツアーでも映えていく1曲になったと思います。

真：このシングルの中では、バンドの顔がいちばん見えやすい曲になったよね。ツイン・ギターのカラミとかも、ちょっとメタルっぽい感じになってます。

**——なお、このタイトル表記は造語になるようですが。**

一志：最初は、古典怪談の『累ヶ淵』をモチーフに詞を書いていこうかなと思ってたんですけど、たまたまその頃に京極夏彦先生の『数えずの井戸』っていう本を読んでて、〝いや、これだ！〟ってひらめいて書いた詞がこれだったんです。怪談って、けっこう愛憎劇が多いんですよ。それで、こういう表記にしました。あと、読みに関しては英語圏での怪談って〝kwaidan〟なんですよね。その音を、ここにあててるんです。

**——分かりました。それから、このシングルには戯曲シリーズ第三弾「戯曲　通りゃんせ」も収録されました。「戯曲　かごめ謡」、「戯曲　華一匁」はやたらと妖しさ全開でしたが、今回のはそれに加えて恐ろしさが前面に来ていませんか。**

楓弥：元々の歌自体、俺は子供の頃から聞いてて怖かったです。

一志：帰りは怖い、だからね（笑）。「通りゃんせ」って、僕的に凄い謎が多い歌なんですよ。やっぱり、シリーズ第三弾はとりあえずこれしかなかったです。

楓弥：っていうか、四弾とかあるの??

一志：どうかな？　まだ分かんない。

楓弥：だって、もうネタなくない？

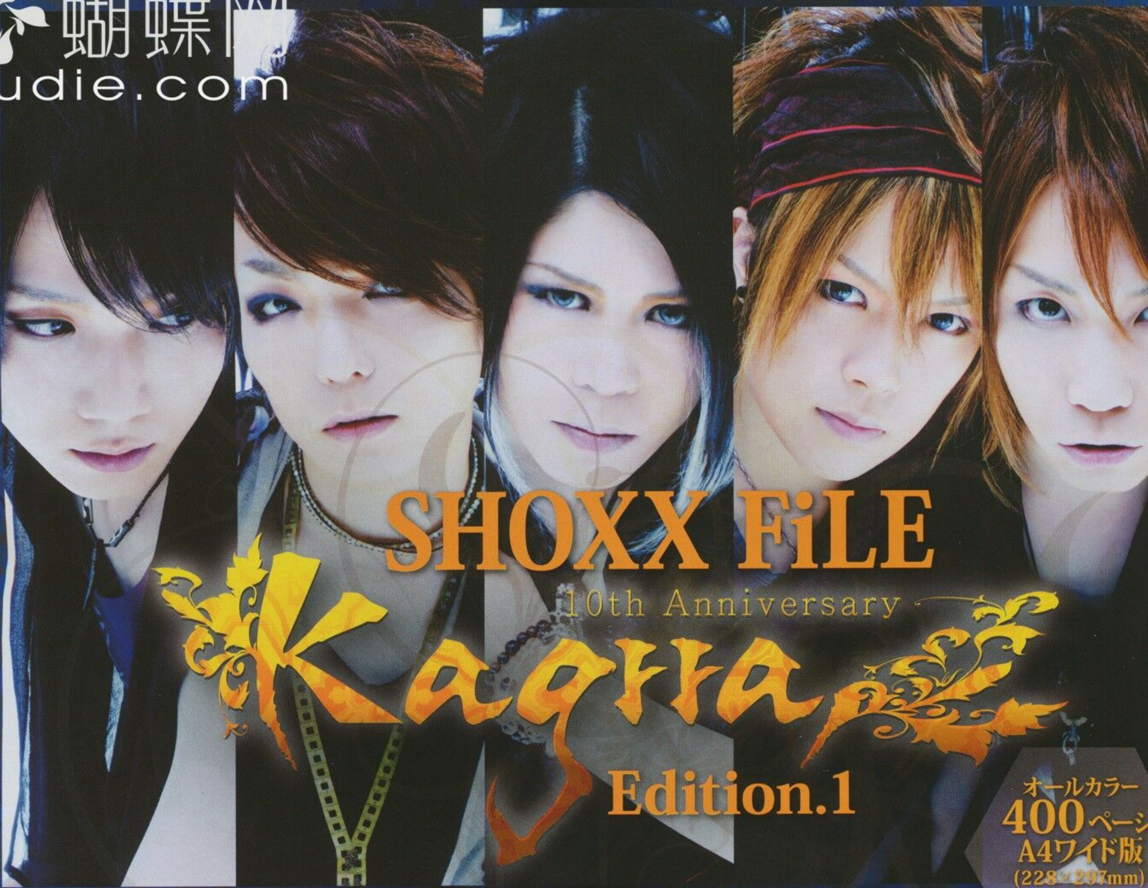
一志：そんなこともないでしょ。「ずいずいずっころばし」とか出来そうだけど。

真：でも、「戯曲　ずいずいずっころばし」だとちょっとカッコ悪いなぁ（笑）。

**——まぁ、そのあたりはまた追い追いということで（笑）。ここからの夏後半は、ツアー【行脚　百鬼夜行～陰～】に全力を傾けていただけると嬉しいです。**

一志：もちろんです。今回はメンバー全員の地元でもやりますし、10周年の節目でのツアーでもありますから、いつも以

蝴蝶网
hudie.com




# 2010年9月発売決定!!

## 2010年、結成10周年を迎えたKagrra,10周年YEARを彩る『Kagrra,FiLE』の発売が決定しました!!

- 2000年9月号(Vol.91)での初登場より現在までにSHOXXに掲載された全記事をファイル。
- 特別企画として、SHOXX掲載のメンバーコラム(一志『徒然日記』、女雅『女雅ッス!』)を一挙掲載。さらに、増刊『SHOXX bis』『SHOCK WAVE』に掲載された記事も同時掲載。
- もちろん、新規撮り下ろし美麗フォトも掲載!!

## 第1次受付、締め切り迫る!!

【受付期間】
- 第1次:2010年8月2日~9月10日締
(消印有効)※この期間にお申し込みいただいた方に、あなただけの[シリアナンバー入りポストカード]を封入!!
- 第2次:2010年9月21日~10月29
(消印有効)※特典は付きません。
≪弊社通信販売のみの、期間限定販商品になります≫

【商品発送】
- 第1次受付分:2010年9月下旬より
- 第2次受付分:2010年11月中旬より

【お申し込み方法】
★郵便振替でのお申し込み:お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、定価に送料を加えた代金(1セット:定価7,000円+送料600円=7,600円)をお振込み下さい。

郵便振替口座番号:00180-6-549493
加入者名:㈱音楽専科社
通信欄:「Kagrra,FiLE」
払込人住所氏名:あなたの住所(マンション/アパート名、部屋番号を正確に。引越しされる方は現住所の他に移転先の住所も記入して下さい)、氏名、電話番号を忘れずにご記入下さい。

★ウェブサイト、携帯電話でのお申し込み:PC(パソコン)、携帯電話(一部対応できない機種もあります)からもお申し込みできます。
※お支払いは、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマート各店でできます。商品は宅配便にてご自宅に届きます。

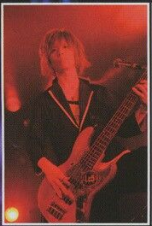
<PCからのお申し込み>音楽専科社オフィシャルHP→http://www.ongakusenkasha.co.jp/
または専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index.html
<携帯電話からのお申し込み>専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index_mob.html
または右のQRコードにアクセスの上、お申し込み下さい。

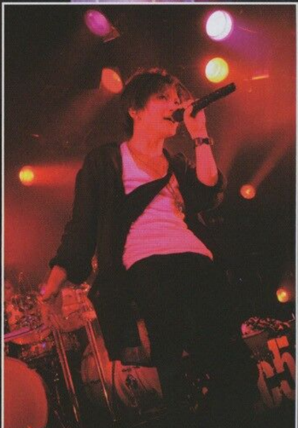
制作/発行:㈱音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

振込取扱票
口座番号 00180-6-549493
加入者名 ㈱音楽専科社
通信欄 「Kagrra, FiLE」
支払人住所氏名 (郵便番号 ) あなたの住所、氏名、電話番号 (電話番号 - - )

# Lc5

1.DIRTY STAR 2.Angel or Devil
3.COLD SEA 4.夢バラ
5.LOVELESS 6.Lc5～Love&Crash～
7.Tell me 8.Story
EN1.THANKS!! EN2.DEEP IMPACT





Live at 渋谷CLUB QUATTRO
2010.7.14

7月14日、渋谷CLUB QUATTROにて、Lc5 presents『Live Crash#1』が行なわれた。主催者であるLc5と、葵の2組によるライヴだけあって、多くの観客が足を運んだのだった。また、どちらも、9月にリリースされる新曲を逸早く披露したこともあり、会場は大いに盛り上がったのである。では早速、その様子をお伝えしていこう。

Report: ERI MIZUTANI

# Live & Crash #1

# 葵 From 彩冷える

1.Guilty 2.Butterfly 3.声
4.会いたくて 5.春風 6.涙リフレイン
7.MI DA RA 8.合鍵 9.GemCEREY
10.どうしようもない僕に天使が降りてきた
11.youth

2組のライヴとも、まるで未知。それだけに、誰しもの胸が高まるのも無理はない。両者、どのようなステージングを見せてくれるのだろう。会場にいたお客さん全員がそう思ったはずだ。そんな期待が熱へと変化したとき、『Live Crash#1』の幕が開いた。

最初に姿を現したのは、葵。ふんわりとした笑顔をフロアに向けると、1曲目の「Guilty」へと入っていく。まず、注目すべきは、メンバー。バックに従えたバンドは、ギター、ベース、ドラムといった基本人員に加え、マニュピレーターが入っているおかげで、葵の伸びやかな声を引き立たせている。まさに、バンドとソロの良いとこ取りといった感じだ。爽やかさがハジけたのは、次の「Butterfly」で。サビでのノリの良さが抜群で、観客も自然と体を揺らしていた。

"クアトロこんばんは、葵です。こんばんは！ ウァーオ！"いつになくゴキゲンな葵。それもそのはず、クアトロでのツアーはこれが初めて。地方を含め、たったの3公演だったが、彼の中では得たものが大きいのだろう。それ [illegible]

奏された「会いたくて」。ソロ用に変化を付けてはいるものの、メロディの素晴らしさを再確認させられる楽曲となった。そこからミディアムロックチューン（タイトル未定）と「涙リフレイン」を歌い上げると、MCを挟み、9月8日にリリースされる1stマキシシングルより、「MI DA RA」を初披露した。

余談ではあるが、こちらの曲、葵がタイトルコールをした瞬間、フロアからはクスクスとした笑い声が漏れた。それを見て、"18禁の曲ではありません！"と即座に切り返した葵はさすがと言えよう。大人の魅力を存分に出したというこの曲、彼の持つ可愛らしさを覆すかのような衝撃的な内容になっている。が、聴きどころはそれだけではない。振り付けも印象的なサビの部分では、初めて耳にする観客が一斉に手の動きを真似していたのだ。一瞬にして聴く者を引き込む曲だけに、リリース後の反応が楽しみだ。この後には、同じく9月8日 発売の1st Maxi Singleから「GemCEREY」を。また、音楽を始めるきっかけとなったという [illegible]

うもない僕に天使が降りてきた」は、カバー曲とは思えないほど、自分のものにしていた。ラストを「youth」で締めくくると、"楽しかった、ありがとう"と口にしてステージを後にした。

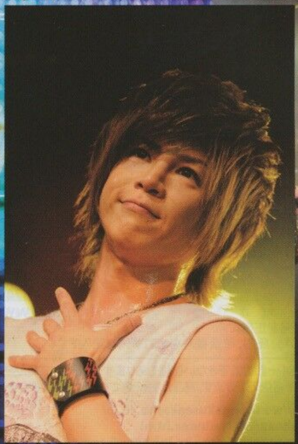
続いては、Lc5。この日のライヴの主催者ではあるものの、彼らのことを初めて見る人は8割を占めていたはず。それ故、葵同様、どのようなパフォーマンスを見せてくれるのか期待が高まる。

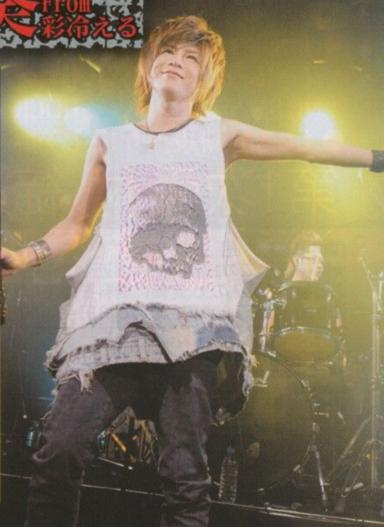
心音にも取れるSEに乗せ、徐々に盛り上がっていくフロア。すると、スポットは誰もいないステージを照らしていく。最近の若手バンドには珍しいオープニングだ。今までにないものが見られると思ったそのとき、メンバーが順に登場。Aki、Sato、夢時、Reo、4人の楽器陣が全員揃ったところで、ヴォーカルのmikuがセンターへと。するりと右手を上げると、「DIRTY STAR」が始まった。この衝撃、何と表現したらいいのだろう。それほどまでに、Lc5のステージングには度肝を抜かれた。ハードなイントロから繰り出される良質な音、それ [illegible]

うに、実にクール。mikuの声はワイルドさと艶っぽさを兼ね備えており、楽曲が提示するロックを一層引き立てていた。

既に1曲目で調子が掴めたのか、その後も良い調子でライヴは展開されていった。結成されたばかりということもあり、完璧とまではまだ言えないが、可能性を感じるパフォーマンスでもって我々を楽しませてくれた辺り、貫禄充分。9月15日にリリースされるデビュー・シングル「Loveless」では、深く潔い音が脳内に刻み込まれる。また、このカップリングとして用意された「Lc5～Love&Crash」は、シャウトあり、掛け合いあり、内容盛りだくさん。それだけに、これからのライヴには欠かせない1曲になることは間違いないだろう。

本編が終わり、アンコールでは心からの笑顔がこぼれた。第一歩を踏み出した彼らに迷いなどない。"これからもよろしくお願いします！"高らかに告げたその一言が、非常に頼もしく感じられた。とにもかくにも、彼らのライヴ、[illegible]





蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Reo

mik

# [Lc5]

## Loveless

**数があったりするの？**

**Aki**：今ライヴでやっているのは10曲ちょっとくらいですかね。

**miku**：実際は、もう少しありますね。軽く50曲はあるんじゃないかな。僕以外全員が曲を書くんですけど、それぞれすごく個性的なんで、まったく違うんですよ。だから、すぐ誰が作ったか解ります。今回の2曲は、バンド感が出せて、一発目でLc5の名刺代わりになるような曲だってことで選びました。

**——個人的にLc5の音は、カップリングの「Lc5 ～Love&crash～」の様な感じなのかと思っていたから、ドラマチックで女性目線の歌詞の乗った「Loveless」は正直意外だった。**

**miku**：勢いだけのバンドには絶対したくないなっていうのがあって。

**夢時**：うん。聴かせたいよね。

**Aki**：あくまでもメロディーは大切にしたいんで、最初にシングル決めたときに「Loveless」が1番いいねってなって、カップリングの方を後で考えたというか。なので、やっぱり一番Lc5的に伝えたかったのは「Loveless」ですね。

**Reo**：一番、カッコよく5人が見せられる曲なので良いと思いますね。スタジオとかでやっててバシッと決まる感じがあって、そこにLc5らしさを感じてるんですよ。今ある曲達を見てても、曲調は結構幅広いと思うんですよ。だから、そういう曲調ということじゃなく、〝スタジオとかでやっててバシッと決まる感じ〟っていうところが、このバンドの軸なんじゃないかなって思ってますね。

**Sato**：今のLc5のド真ん中っていうか、攻撃的な演奏、勢いみたいなのがあるなって感じたし、ちゃんとメロディーはキャッチーだったんで、〝今のLc5のド真ん中選ぶならこれかな〟っていうのが、「Loveless」だった気がしますね。個人的に、すごい好きです。

**——Akiくんは、この曲を作るにあたって何をここに込めようと？**

**Aki**：そうですね、基本的に、俺は切ない感じの曲しか作れないんですよ。それはたぶん、今まで聴いてきたものであったり、自分の中にあるものがそう

蝴蝶网
hudie.com

# Love&clash

**2010年1月4日の日本武道館にて活動休止したアンティック-珈琲店-。現在は、"修行"としてそれぞれの道を歩んでいるメンバーだが、ヴォーカルのmikuがLc5としての初音源をリリースすることになった。生音を前面に押出した"音"にこだわったスタイルのバンド、Lc5。"音"を共通のツールとし、それを持って"目指すひとつのサウンドを表現するため"に集まった5人。メンバーはGt.Reo、Gt.夢時、Ba.Sato、Dr.Akiだ。今回は、デビュー・シングル「Loveless」について訊いた。**

Photography:SHIGERU TOYAMA(starmine)　Interview:NAOKO TAKEICHI　Hair&Make-up:CHINATSU TABATA

なっちゃってると思うんで、他の曲も俺の作ってる曲は切ない感じなんです。「Loveless」は、バンドが始まって最初の方に作った曲なんですよ。それもあって、やっぱり最初はバンドの勢いっていうのも出したかったし、解りやすいものだったり、切なさっていうのを自分の中に置いて作ったのが、「Loveless」だったって感じですね。それをみんなでいろいろ練って、一番Lc5として良い形になったと思います。歌詞も、mikuくんが曲を聴いて、そこからいろいろ感じてくれるモノが、俺と近いんで、その辺はすごく自分的にも歌詞がマッチしてるなって感じてますね。

**――ラストのアウトロのリズムが変化していくところがね。見せ場みたいな。**

**Aki：**ですね。ドラムに関してはやりすぎず、でも主張はしたいし。1サビ前のドラムソロだったりするのも、ここはちょっと出しても良いかなとか、サビは複雑にしないでメロディーを聴かせた方が良いなとか、いろいろと考えましたね。

**――夢時くんはどうでしたか?**

**夢時：**この曲は、シーンの展開がたくさんある曲だと思うんですね。イントロ、Aメロと表情が出て来て、サビでバーンといくとか。全トラックがメイン、みたいな感じではありますね。シーンの移り変わりがある曲調って、下手なアレンジすると、中途半端な曲になってしまうんですけど、ちゃんとサビでの転調でバキッとくる曲で、シリアスで疾走感みたいなところが、しっかり表れてて気持ちいいですね。シリアスでカッコイイ感じがデビュー・シングルにはピッタリなのかなと思いますね。

**――間奏の、二人のギターソロ的なところって、前半・後半ですごくギタリストの個性が出てるよね。ギタリストとしてのルーツをプレイに感じた。前半がReoで後半が夢時でしょ?**

**Reo：**そうです。そうです（笑）。僕、あれ、1テイクだったんですよ。

**miku：**カッコイイですよね、間奏のギターソロ。一発聴いた瞬間に、〝カッコイイ！〟って思って。Reoくんのギターソロって、頭に残るフレーズっていうか、すごいキャッチーだし。でも、そんな簡

蝴蝶网
hudie.com

# 【Lc5】

いし。すごいなと思いましたね。その場で考えたソロだったんだよね？

**Reo**：そう。ちょっとラフな感じで弾いてみたら、〝これで良い！　これが良い！〟って（笑）。で、もうちょっとなんかしたいねってことになって、じゃぁ、夢時くんと前半後半で弾いてみることにしようって。

**夢時**：前半、良い感じにきてるから、後半はこう攻めるわ。みたいなやりとりで出来ていったんです。でも音色はかなり悩んだよね。

**Reo**：音色はすごいこだわった。

**miku**：みんなで意見言い合って、自然とみんなの意見が取り入れられてるっていう。みんな折れないしね（笑）。

**――ベースも肝になるフレーズ弾いてる。**

**Sato**：ですね。ベースは当日に、ガラっとフレーズをいじっちゃったんです。勢い一発っていうか、大胆で解りやすくて、メロディーを邪魔しなければ、みたいな。解りやすくて大胆なのをっていうのが自分の中のテーマでしたね。なので、勢いのある感じで録れてるんじゃないかなと思います。シーンが結構変わる曲だと思うんですけど、それに合わせて、フレーズをいろいろと考えられたのも楽しかったです。

**――miku、歌詞は？**

**miku**：俺は女性の悲しい曲とか聴くのが普段から好きなんで、シリアスな歌詞っていうか、ちょっとプラスじゃない歌詞が好きだったりするんですよ。マイナス志向だったりとか、ちょっと自分をみじめに追い詰めるというか。そういう哀愁系が好きなんで、まさにそういう曲だなって感じがしたので、最初はそういう感じに書いたんですよ。けど、アンダーグラウンドな世界に入り過ぎちゃって、歌詞がネクラになりすぎちゃったんで、何度も書き直して完成させました。

**Aki**：最初、〝重っ！〟って歌詞でしたからね（笑）。

**――「Lc5 ～ Love&crash ～」方は？**

**miku**：俺達の意思表明みたいなことを書きたくて書いた歌詞。で、プライベートでバンドについて語り合っていた時のことを思いだしながら、こういう景色が形に出来たら良いなあと思って書きました。この曲がLc5の中では一発目にレコーディングした曲だったんで、その、なんか、〝やるぜ！〟的な勢いもあると思いますね。ライヴでのマスト曲になりそうだったんで、早くファンのコに聴いてもらって、聴いてもらった上で、ライヴで楽しめたらなって思ってデビュー・シングルに入れたんです。

**Aki**：最初の頃、ライヴを想定して作ってた時期があって。その頃の曲ですね。

**――これヴォーカルは。**

**miku**：夢時と俺です。【Lc5＝Love&Clash】っていうバンドコンセプト的なサブタイトルも付いてるくらいなんで、5人がぶつかりあってなきゃダメだと思い、ツインにしましたね。

**――掛け声もみんなで言ってるしね。男臭い（笑）。ギターも結構ディープだし。**

**Reo**：ちょいちょい出てますね、ハードな面が（笑）。僕はこの曲では低音を頑張って弾いてますね。

**夢時**：2番のAメロでワウが炸裂してるんですけど、なんとあの音、500円のワウなんですよ！　このワウが良い音出してて。値段じゃないなと（笑）。でも、この曲はラップとかmikuくんとの掛け合いで頭がいっぱいいっぱいだったんで、この曲のギターはReoくんに任せ、俺は上と中域の方を頑張りました。ギターもベースもユニゾンが多くて、潔い感じになりましたね。

**Aki**：俺も、どうにか弦楽器みたいにユニゾンをしたいなと思いツーバスで参加しましたね。1曲を通して隙間さえあればツーバスを入れていったんですが、ツーバスには難しいテンポなので難しかったですね。あと、オカズも今まで自分がやったことないようなのを絞り出してやってみたりとかもして、自分的におもしろいドラムが出来ました。

**――Satoくんのベースも際立ってますが。あれはスラップではないよね？**

**Sato**：ライヴではスラップしてます。レコーディングでは4弦弾いたんですけど、ライヴでは5弦使って今回ツアーで弾いてみたり、スラップしてみたりとか、いろいろ遊んでますね。

**miku**：ライヴで聴くと、細かい発見があったりもすると思うし、音源とは印象が違うと思うので、いっぱい聴き込んで、ライヴに来てくれると嬉しいです。

（問）http://www.lc5.jp

蝴蝶図
hudie.com

——本題に入る前に……。急なことで驚いたのですが、彩冷えるから、葵さん以外のメンバーが脱退するとのことで…。まずは、その件について、お話を聞かせてもらえますか？

「…ごめんなさい。本当に急なことで、ファンの方には申し訳ないという気持ちでいっぱいです。自分としてもうまく言葉にできないんですけど、決して、喧嘩別れというわけではありません。活動してきて6年、ここにきて、メンバーそれぞれのバンドに対する考え方というのが少しずつ変わり始めてしまいました。各々が色んなことを吸収した中で、やりたいことが変わってきてしまったのが、原因の1つなのかもしれないです。でも、何とか続けていきたいという思いはありました。そして、何度も何度も話し合いを重ねました…。そして、その中で、僕達が出した答えが、僕以外のメンバーが彩冷えるを脱退すると言うもので…」

——残念です。

「僕のソロプロジェクトが始まってすぐのタイミングということもあり、そこが原因なのではないかって誤解されてしまうかもしれないんですけど、そういったことは全くなくて。僕がソロをやろうと思ったのは、バンドでは得られないものを得て、バンドにフィードバックしようと思ったから。けど、こうなってしまった以上、どうしていけばいいのだろうと。僕自身、今はまだ、先のことは全く考えられない状況です。とりあえず、決まっているスケジュールをしっかりとやる中で、これからのことをじっくりと考えていくしかないのかなって」

——そうですね、このことが前向きな決断だったと思えるためにも…。では、この話はこれくらいにして、本題へ……。このたび、〝葵〟名義でソロ活動を展開されるわけですが、ここでは、どういった自分を見せていこうと考えたのですか？

「どうせやるなら、〝彩冷えるの葵〟とは全く違ったものを見せようと思いました。皆さんが知っている彩冷えるのセンター・葵のイメージというのは、どちらかというと、キャラクターちっくなのかなと。だったら、そのイメージを変えていっても面白いんじゃないかと思い、今回、こうして大人っぽい感じを出してみたんです。意外に見えるかもしれませんが、等身大の自分が出せたかなと思います」

——等身大といえば、先日行われたライヴツアー（Lc5主催「Live Crash#1」）でも、かなり素に近い状態でしたね。

「Lc5のmikuくんは昔から知っているので、楽しく廻らせてもらいました。この3本のライヴをやってみて気付いたことは、いつもの5人のステージと、こうして1人でやるステージっていうのはかなり違うんだなって。バンドのときは、ここで誰かが出てくるだろうから、僕はこうしようとか考えて動くんですけど、今回、サポートのメンバーはいるにせよ、僕がステージを作り上げていかなくてはいけない。そんな中、どうやったら、見ている人を惹き付けられるのかっていうことを意識しながら、1時間のステージをやっていったんです」

——1時間というステージは長かったですか？

「最初は、長いかなと思ったんですけど、実際には短く感じました。それはきっと、曲をしっかりと作ったおかげでもあると思うし、かっこつけないで素を出したことが良かったのかなと。その甲斐あって、多くの方から反応をいただきましたし、本当にやって良かったと思えるライヴになりました」

——ツアー最終日の東京公演では、新曲「MI DA RA」も披露されました。こちら、9月8日にリリースが決定していますが、制作に取り掛かったのはいつ頃から？

「取り掛かったのは、ソロワークが決定した段階からですね。「MI DA RA」を作曲してくれた後藤康二さんは、彩冷えるの「ドラマティック」等のアレンジを担当してくれた方なんです。気心が知れていることもあり、日頃から大事にしている、メロディの綺麗さだったり、覚えやすさだったり、〝葵〟という人物をすごく活かしてくれる曲を書いていただけたので、リード曲は絶対に、「MI DA RA」でいきたいって思ったんですよね」

パクトのある楽曲に仕上りましたね。

「懐かしいメロディの中、アレンジをデジロックにして、面白さを出してみたんです。だからこそ、詞の内容も印象的なものにしたいなと思って、男性の心変わりというのを、危険な愛の形に置き換えて描いていったんです。メッセージソングではないにせよ、伝わりやすさは心掛けました。なので、こうしたストレートな感じになったんですよね。もちろん、歌うときは、いかに淫らになれるかってことを意識しながら…。って、そこは笑うとこではないです」

——いやいや、どうも葵さんにはかわいらしいイメージがあったもので（笑）。じゃあ、歌入れのときは、さぞかしアダルティに？

「部屋を暗くして、タバコを吸ってエロティックに…って、そんなわけないじゃないですか（笑）。けど、気分的にはそんな感じでしたね。僕、ステージに立つときと同じで、いざレコーディングとなるとスイッチが入るんですよね。そこからはもう、世界観に入って歌うことができました」

——その世界観は、PVで確かめていただきたいですね。

「内容に関しては、監督さんとディスカッションしながら作っていったんですけど、自分にはなかった表現が多かったので驚きました。何せ、今回、女性との絡みが含まれているので。そういった演技の場面を入れた方が、曲の世界観がより伝わるだろうということで頑張って挑戦してみたんです。でも、すごく緊張しましたね。モデルさんの腰に手を回すシーンがあったんですけど、その瞬間にえらい緊張感が襲ってきまして。〝すいません！すいません！〟の連呼ですよ」

——あはは（笑）。で、最大の見所は？

「振り付け部分に注目してほしいですね。彩冷えるのときは全て僕が振り付けを考えてきたんですけど、今回は振付師の方に考えてもらったんです。サビで出てくるポップな振り、そこは見所かなと」

——そして、カップリングには、「GemCEREY」と、「Butterfly」が収録されます。

「そもそも、ソロワークがスタートしたブランドとのコラボ企画からのものだったんです。僕としては、顔を出さずに楽曲だけ提供出来るというのがすごく嬉しくて。作るからには、いかにブランドを表現できるかということを考えました」

——アクセサリーブランドのために作った曲らしく、歌詞にもばっちりとアクセサリーに欠かせないキーワードが散りばめられていますね。

「ジェムケリーは、ブライダルアクセサリーも手掛けられているんです。それもあり、キラキラした言葉を使って曲を作りたかったんですよね。なので、ここでは、〝プラチナ〟や〝ダイヤモンド〟といった言葉や、〝胸光る〟というところから〝指光る〟という表現を用いて、ロマンティックさを出してみました」

——素敵ですね。また、曲調が良くて。

「僕が歌ってきた楽曲って、マイナーチューンのものが多かったんですけど、今回、こうした表現もあり、メジャーチューンにしたんです。一見、癖があるかもしれないけれど、何回も聴いているとと馴染んでくると思います。そして、通常盤のみに収録される「Butterfly」は、作曲者が渡辺拓也さんといって、前にも一緒に作品を作ったことのある方なんです。後藤さん同様、葵のソロワークには欠かせない存在だけに、僕にぴったりの曲を作ってくれました。3曲の中で最も、僕のイメージに近いかな。ライヴでもすぐに盛り上がれる明るい曲になっているんですよ。この曲を聴いた瞬間、鮮やかな空が浮かんだんですよね。そこで、羽ばたいていけたらなという想いを込めて、歌詞を書いていきました」

——後付けですけど、葵さんの今の心境を表わしているようにも感じられます。

「確かに。そんなつもりはなかったけど、自分に向けたメッセージソングなのかもって思いますね」

——3曲ともタイプがバラバラなだけに、聴いていて面白かったですよ。

「作曲者もアレンジャーも演奏者も違うからこそ、こうして様々なタイプの曲が揃ったと思うんです。今回、色々な方と関わったからこそ見えてきたものがあったし、ソロを経験して良かったなと思える作品になりましたので、皆さんにも、

) http://www.ayabie.net/

蝴蝶网
hudie.com

# 葵 from 彩冷える

MIDARA

## 等身大の自分が出せたか

本来なら、葵のソロワーク開始という、嬉しい
けで取材を進めていくはずだった。……しかし、
に聞かされたのは、彩冷えるから、葵以外のメン
退するということ。無論、そこに触れずに取材を
けにはいかない。そこで、始動したばかりのソロ
クトについて話を訊くと同時に、彩冷えるのセ
して、今の心境を赤裸々に語ってもらった。

Interview:ERI MIZUTANI

# 葵 from 彩冷える × GemCEREY

## GemCEREY

9月8日にリリースされるソロシングル「MI DA RA」に収録されている「GemCEREY」は、葵というアーティストを表現するに相応しいものとなった。ジュエリーブランド・ジェムケリーとのコラボ企画として行われた楽曲提供、ついにはアクセサリーデザインまでも手掛けることに！　しかし、そもそものきっかけとは何だったのだろう。アクセサリーの詳細も含め、葵に話を訊いた。

Interview:ERI MIZUTANI

**——秋に、葵さんがデザインされたネックレスがジェムケリーから発売されることになりました。そもそも、ジェムケリーとコラボすることになったいきさつというのは？**

「きっかけは、楽曲提供のお話をいただいたことなんです。それで、「GemCEREY」という曲が出来上がったんですよね」

**——ソロプロジェクト第一弾シングル「MI DA RA」に収録されていますが、バンドで出してきたアプローチとは全く別物の曲になっていますよね。**

「曲調もそうですし、バンドでやるとしたら、ここまでブランド名推しで作ることは難しいのかなって。でも、ソロでならやってもいいんじゃないかと思い、新しい部分に挑戦してみました。こうして楽曲が出来上がった後に、アクセサリーのデザインをしてみないかというお話をいただいたんです。ジェムケリーでは、過去に、the GazettEさんや、シドさん、そして、VAMPSさん等、多くのアーティストがコラボしているんです。どの方も、楽曲制作を手掛けるだけでなく、アクセサリーのデザイン＋CMにも出演されていて」

**——けれど、葵さんの場合は、CMには出演されていませんよね？**

「はい。CMには陣内智則さんが出演して下さいました。楽曲を純粋に評価して下さったのは、ミュージシャンとしてすごく光栄なことですし、こうやって、通常とは違ったパターンでのコラボというのは、やっていて面白かったですね」

**——葵さんがデザインされたものは、実際に、「MI DA RA」のジャケット写真とPVで着用されているとか。**

「はい。ここでは、ジェムケリーのアクセサリーを何種類か重ねて着けているんですけど、1番下のクラウンの型をしたネックレスが、僕がデザインしたものです。これ、僕の意見を元に、デザイナーさんとディスカッションしながら、可能な限りを形にしていったんですよ。個人的にユニセックスのものが好きなんで、あまりゴツいものにはしたくなかったんですよね」

**——確かに、この形なら服装を選ばないですしね。**

「男女ともに、シーンを問わず付けられるものになったと思います。色

類ありますし、大きさもちょうどいいんじゃないかな。あと、普通、ペンダントトップがクラウンになっているものって横長が多いんですけど、僕がデザインしたものは縦長になっているんです。それに加え、裏面が平らな作りになっているので、動いてもずれにくいという利点があります」

**——チェーンの長さもこだわったそうで。**

「首回りって、人によって違うと思うので、後ろで長さを調節できるようにしました」

**——なるほど。本当に、着ける人のことを考えて作られたものとなっているわけですね。それだけに、誰にでも似合うものになりました。ピンクゴールドなんて、女の子がとても喜ぶ色だと思いますよ。**

「珍しい色ですよね。でも、優しい色なので、どなたにでも似合うのではないでしょうか。そして、この土台に合わせて選んだのが緑の石なんです。ピンクゴールドに緑色の石は、日本人の女性の肌を綺麗に見せてくれる効果があるらしいですよ。色のバランス的にも、ピンク×グリーンが1番いいかなって思って入れてみたんですけど、最高の組み合わせになったと思います。こうして出来上がったものを見てみると、今までコラボされてきた方のアプローチとはまた違った感じになったんですけど、それも僕らしいんじゃないかな」

**——ちなみに、こちらの商品、どこで購入できるのですか？**

「9月1日から、ジェムケリーの通販サイトと店舗にて発売されます。ピンクゴールドのみ、店舗での販売となっているんですけどね」

**——これはもう、お店に足を運ぶしかないですね。**

「ですね。来店イベントも考えてますので、ぜひ！」

**——ところで、葵さんとしては、どのような着け方がオススメなのです？**

「普段使いならば、これだけで存在感があるので、あんまりジャラジャラさせなくてもいいかな。逆に、男性なら、たくさん着けた方がかっこいいかもしれない。カップルや友達とお揃いっていうのも素敵だと思います。どんなアクセサリーとも相性が良いので、自分なりの楽しみ方で着けてもらいたいで

（問）ジェムケリー ポータルサイト http://gc55.jp/

hudie.com

葵 Aoi from 彩冷える
1ST MAXI SINGLE
MI DA RA
C/W GemCEREY
〈ジェムケリーCMタイアップソング〉
2010年9月8日 Release!!
初回限定盤
通常盤
◇初回限定盤 KCA-73563 価格:1,500円
◇通常盤 TKCA-73567 価格:1,000円
葵プロデュースモ
クラウンネック
Crown Neck
B賞
葵着用モデル
Gerezza Ring
Gerezza Necklace
葵着用モデル
C賞
Gerezza Ri
葵着用モデ
D
葵プロデュースモデル&着用モデルジュエリーを各5名様にプレゼント!
さらに抽選でGemCEREYオリジナル葵ポスターを100名様にプレゼント!!
Aoi×GemCEREY
Present Campaig
応募方法 応募締切:2011年2月末日
1 ケータイまたはパソコンからc148@camg.jpに空メールを送信!
2 応募URLの記載された返信メールが届いたらそのURLへアクセス!
3 必要事項を記入したら応募完了
右記メールアドレスに空メールを送信! c148@camg.jp
※ご応募はお一人様1回限りとさせていただきます。※こちらのURLからでもご応募できます。http://camg.jp/c95/148にご応募される際、携帯メールのドメイン指定受信設定をされているお客様はcamg.jpを指定していただき、メールを受信できるように設定してください。
応募者全員プレゼン
ご応募された方全員に
特製アクセサリーをプレゼント!
Aoi×GemCEREY特設サイトまもなく公開!!
特設ページで来店エントリーされた方にはオリジナルポスターをプレゼント!!
Aoi×GemCEREYコラボレーション記念来店イベント決定!! 詳しい情報は特設サイトから⇒
9/4 GemCEREY横浜店 9/5 GemCEREY名古屋店、GemCEREY 京都本店 9/20 GemCEREY福岡店
http://
【個人情報の取り扱いについて】●お客様よりお預かりした個人情報については、株式会社ジェムケリーより賞品の発送・電話・メール配信・ダイレクトメールにより、商品・展示会・サービス提供のご案内のため利用いたします。お客様の個人情報は、厳正なるシステム下
いただきますので、外部へ流出することはございません。【応募規約】●応募が完了された方へは、全員プレゼントの引き換えメールをご登録アドレスへお送りいたします。●ご登録後、メールアドレスの変更、ドメイン指定受信設定をされると、メールをお送りすること
のでご注意下さい。●全員プレゼントの賞品につきましては、在庫の都合上デザインや色が予告無く変更される場合がございますので予めご了承下さい。●全員プレゼントの賞品はお1人様1点限りとさせていただきます。●全員プレゼントの賞品はジェムケリー各
地域で開催している展示会場での引換となります。予めご了承の上ご応募下さい。●必要事項(お名前、ご住所など)に不備がある場合は、応募が無効になる場合があるほか、プレゼント賞品の発送ができない場合がございますのでご注意下さい。●プレゼントの当
を行い当選者様にご連絡させていただきます。予めご了承下さい。
GemCEREY 株式会社ジェムケリー 〒600-8170 京都市下京区諏訪町通五条下る上諏訪町294-5
ポータルサイト http://gc55.jp/ キャンペーンサポートセンター ご質問・ご意見はこちら 0120-554-323 (平日10:00～18:30) support

蝴蝶网
hudie.com

# LM.C

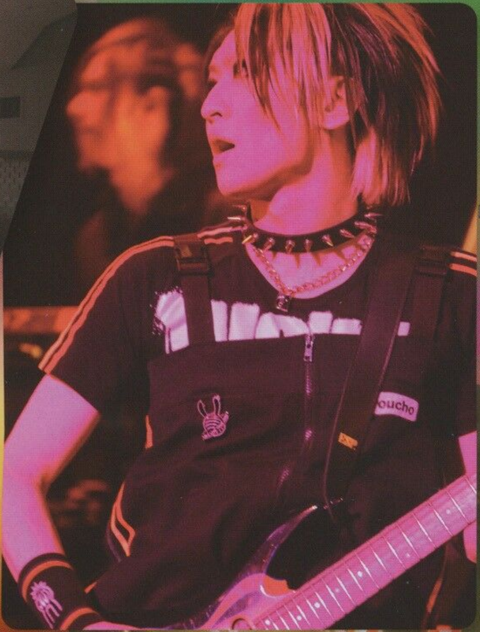
## We're Just WONDERHOLIC!!

## 2010.7.19 @ 渋谷C.C.Lemonホール

### 終わりなき、摩訶不思議な素晴らしき世界

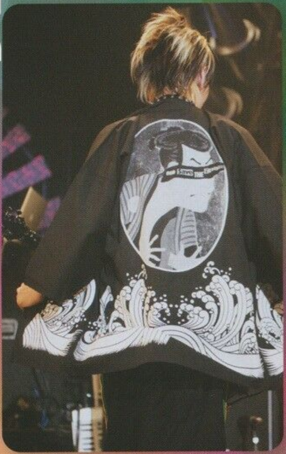
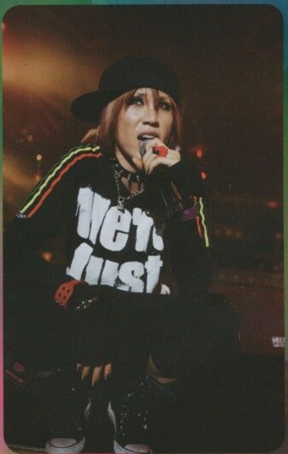
結局のところ、夏はとことん楽しんだもの勝ちだ。
梅雨明け直後の7月19日、LM.Cは渋谷C.C.Lemonホールにて今年5月以来のワンマン[We're Just WONDERHOLIC!!]を行なったのだが、
とある理由により浴衣姿の観客が大半以上を占め、場内は完全にお祭りモードへと突入。
来たる始動5周年に向けて、より加速しだしたLM.Cの姿がそこにはあった。

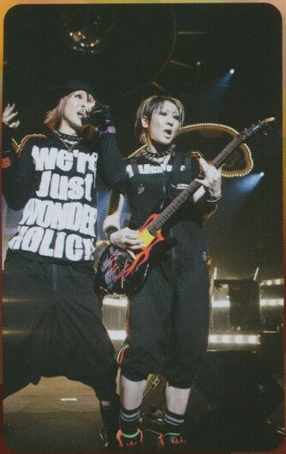
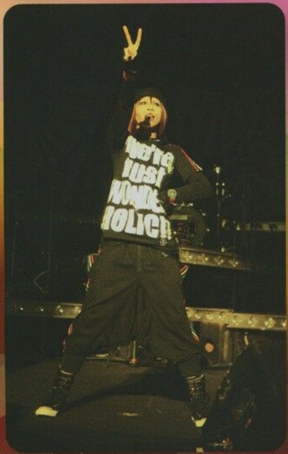
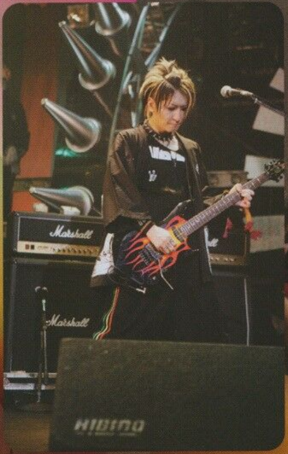
Photography:HIROE YAMAUCHI (PROGRESS-M)
Report:YUKI SUGIE



【set list】
SE (No.9)
1.Loud Mucker Complex.
2.GHOST†HEART
3.Bell the CAT
4.JOKER-my name is-
5.*BOOST BUSTERz*
6.The Midnight Museum 4
7.ningyo no namida
8.@FUNNY PHANTOM@
9.CRAZY A GO GO
10.OH MY JULIET.
11.METALLY
12.Space Wannabiez
13.EDO FUNK
14.Optimisland
15.marble-s
16.88
17.meteorion
18.僕らの未来。
19.pOlyLifE
20.BOYS & GIRLS
21.It's a Wonderful Wonder World
22.PUNKY♥HEART
23.☆Rock the LM.C☆

蝴蝶网
hudie.com

と、うだるような熱気に包まれた渋谷の街の一角は、花火大会でもないのに浴衣姿の人々で溢れ返っていた。

実はこの日、LM.Cが渋谷C.C.Lemonホールにてワンマン・ライヴ[We're Just WONDERHOLIC!!]を行なったのだが、これに付随して〝夏だ！渋谷だ！浴衣で集合ぉぉおおッ!!企画☆〟なるものが同時進行していたのである。これは浴衣でのライヴ参加を推奨(強制ではない)するもので、該当者にはLM.Cオリジナルの〝うちわ的なモノ〟がプレゼントされるという、嬉しい特典が！

よって、この日のC.C.Lemonホールは純和風な王道浴衣に始まって、フワフワ&ヒラヒラしたギャル系浴衣や、ミニワンピ的なゴスロリ系浴衣、はたまた渋い甚兵衛姿の人もアリと、見たところ来場者の8～9割が、浴衣もしくはそれに準ずる装いをしていたように見受けられた。もはや、こうなって来るとそこはライヴ空間というより、どちらかというと祭り会場に見えて来てしまう。

実際、「Loud_Mucker_Complex.」から威勢よく始まったライヴは終始お祭りモード全開のハジけぶりで、5月に同会場で行なわれた2デイズ・ライヴをさらに上回るくらいの、かなり高いテンションをもって展開されていった。

『みんな、楽しむ準備は出来てるかい？おっ！今日は浴衣の人多いね（笑）。浴衣の人も、そうじゃない人も、今日は思いっ切りはだけてこうぜ!!』

mayaのいう、〝はだけて〟＝開けて〟というのはつまり、より開放的に！ということを意味していたに違いない。確かに、夏というのは何かと開放的になってしまうことが許される、どこか特別な季節でもある。当然、これを心底楽しまない手はない。

かくして、この日のライヴでは前半戦早々から、「JOKER -my name is-」や「*BOOST BUSTERz*」にて、2階席の床がリアルにボヨンボヨンと弾み出すほど、場内のノリが一体化する事態にもなった。見やれば、メンバーたちの表情も実に楽しそうではないか。

雰囲気を醸し出すべくDENKI-MANが冒頭でオーシャンドラムを用いながら、まるで音効さんのような仕事ぶりで優しいさざ波の音を演出。Aijiが刻むギターの軽やかな音と、mayaの良い意味で力の脱けた歌もあいまって、自然と意識が南の島あたりへトリップし、しばしのバカンス気分を味わった人も多かったのでは？

また、中盤戦ではさらに日本の夏を謳歌すべく、アルバム『WONDERFUL WONDERHOLIC』の中でも異彩を放っていたダンスチューン「EDO FUNK」が、特別な趣向で披露される一幕も。5月のライヴにも登場していたDENKI-MANズが現れ、maya、Aijiとともに、粋なハッピ姿に変身して、観客をおおいに沸かせたのだ。mayaが、歌詞を♪横目でAijiを見てた～♪と変えて歌ったのも、ちょっとしたご愛嬌で、LM.Cらしい遊び心がいかんなく発揮されていた場面だったと言える。

その後、「88」から「meteorion」、「僕らの未来」と星空シリーズの楽曲たちが並んでいたくだりや、あらためてじっくり聴けた「It's a Wonderful Wonder World」も聴き応えがあって印象的だったのだが、そのうえで最後はやはり定番中の定番「☆Rock the LM.C☆」で大団円。

なお、終演後にはスクリーンでの映像を通して今後の予定も発表され、10月27日にはニュー・シングルを発表し、11月17日には渋谷AXでのワンマンを行なうこと、そしてここからのLM.Cは来年に控えている5周年の節目を視野に入れつつ、より攻めの姿勢をとっていくことになるということも、我々に向けて告げられた。なんでも、すでに来春4月2日には日比谷野音でのワンマン[～Go to the 5th Anniversary～ LM.C LIVE 2011 YAON de FEVER FEVER!!]まで決まっているのだとか。

そして、この夜最後にスクリーンに提示された言葉は、〝WONDERHOLICは止まらない――〟。夏は終わって行くとしても、LM.Cの生み出す摩訶不可思議な素晴らしき世界（しかも中毒性アリ）に、終わりなどあるはずもないのだ。

蝴蝶网
hudie.com

# ヴィドール
## meet you with a smile!!

蝴蝶网 hudie.com

**の点に意識しましたか？**

**ジュイ：**僕は、個人的にそういうつもりで「Crescent gazer」を作りました。思い切り良いものを作りたいと思ったし、今自分がいるバックグラウンドを全部打ち出せるような感じにしました。

**ラメ：**活動休止前だからこういう曲調にしようというのはなかったんですけど、ジュイくんからはメッセージ性のある曲だと聞いてたんで、それにそぐうような曲になればいいかなって。

**——メッセージ性がある曲とは言え、曲調的には「Crescent gazer」は、すごく勢いのあるものですよね。**

**ギル：**原曲を聴いた時、疾走感があって速いなって思ったので、それをどう崩していこうかなって。それでシュンさんとも話しながら考えていきました。

**シュン：**デモの段階からすごく速かったんで、逆に僕はシンプルでもいいのかなと思ったんですけど、ギルくんやプロデューサーさんと話し合いつつ、色を足してアレンジしていきましたね。

**——リズム隊も疾走感というところをいちばん意識して？**

**テロ：**テンポが速くて、特にサビは勢いがすごくあるんで、そういうのを全体的に落とさずにシンプルなリズムにしました。真ん中辺りのジャズっぽいところでは滑らかな感じも出してるし、切り替えが面白いですね。その中でも疾走感をどんどん出していく感じです。

**ラメ：**デモの段階で、イメージしてる曲とかも聴かせてもらったんですけど、激しい曲なんだというのがいちばんにありました。だから、激しくて疾走感のある曲にしようということで仕上げましたね。

**——そこにストレートに心情を綴る歌詞が乗っていますね。**

**ジュイ：**曲とほぼ同時に歌詞も作っていったんですよ。同時に言葉もメロディも並行してったみたいな感じでしたね。

**——活動休止前だからとか、そういうことは意識しました？**

**ジュイ：**そういうつもりは別にないんですけど、ただ自分がこういう風に歌いたいなっていう歌詞をつけただけですね。

**——前号のインタビューで話していた、素直になった点が出ている気がします。活動休止前の今だからこそ書けた歌詞なのかなと。**

**ジュイ：**喉のこともあって、自分の中で分でパートするかを見つけられたし、今回のことは俺の中で今後の自分にとって、ものすごいプラスになると思ったんです。そういう状況の中で、何が自分に出来るかって言ったら歌うことだけだし。そういう意味では、今じゃないと書けない歌詞かもしれないですよね。

**——激しいサウンドに、ジュイさんの素直な心情の歌詞が乗って、曲の印象は変わりました？**

**ラメ：**最初のイメージではもっと激しい曲になるのかなと思ってたから、歌詞とかメロディの乗り方で、すごいポップな曲になったなと思ってますね。だから僕は最初のイメージからすごい変わったと思いますね。

**——初回盤に付く「Crescent gazer」のPVはどんな映像になりそう？**

**ジュイ：**撮影自体はシンプルに撮ったんですけど、今までにない感じですよ。

**テロ：**ひたすら回ってました。

**ラメ：**メリーゴーランドのように。

**——自分たちが？**

**ラメ：**そう（笑）。それを撮られてて、CGで後処理するらしいんですけど、どうなるのかな？って。

**ギル：**CGでポリゴンのように砕け散ったりとかだと思うんですけど。

**——カップリングの「ゴシカロイド改」は、映画『ゴスロリ処刑人』の主題歌に決まったそうですが、今回はそのための再録だったんですか？**

**ラメ：**はい。映画の話ありきですね。

**——〝「ゴシカロイド」を〟という指定があった？**

**ジュイ：**僕だけはちょっと映像を観てたんですけど、どの曲がいいですかね？って言われたんで、ポップな曲は全然合わないし、タイトルから「ゴシカロイド」じゃないですかねって言って。そこで、ぜひこの曲でやらせていただきたいと。

**——歌詞は少し書き直していますね。**

**ジュイ：**ちょっと書き直した部分はありますね。映像を観て、話し合いをして。でもこの曲は、ライヴに来てるお客さんにものすごい人気のある曲なんで、イメージだけは崩れないようにしようと思いました。

**——演奏面は大幅に変えたわけではなく。**

**ギル：**音質向上がまず第一にあって。俺はちょっとフレーズを変えたり、楽器とかアンプを替えたりして、音にこだわり

# すべての“キミ”へ贈るシングル

**突然の活動休止を発表したヴィドール。その日が刻々と近づいて来る中、9月15日、ニュー・シングル『Crescent gazer』がリリースされる。活動休止に向けた、メンバー各々の心情が様々に込められたのではないだろうか……そんな新作についてじっくりと訊いてみた。そして9月18日には新木場STUDIO COASTへ足を運び、その姿を最後まできっちりと見届けると共に、必ずや再会できることを待ち望んでいてほしい。**

Interview : MIYUKI MURAYAMA

ライヴではずっとやってるんで、その流れで録っていった感じですね。

**テロ：**やってる期間が長いですからね。自然に成長したなと思われないと良くないと思うんですけど、ライヴで叩いてるのと変えてはいないし、ノリで叩いてます。

**ラメ：**逆に新しくシャウトが増えて、新鮮に感じるところもありつつ。プロデューサーも今回は新しい人なんで、新しい感じになりましたね。それで「ゴシカロイド改」です。

**——通常盤のみに収録される「死兆線」は、シュンさん作曲のバラードです。**

**シュン：**いつもは、ライヴでどういう風になるかを想像して作ったりするんですけど、今回は今の気持ちみたいなのもを曲にしようと思って作ったんです。

**——その時の気持ちというのは？**

**シュン：**僕のイメージでは、活動休止って、やっぱり〝終わり〟みたいなところがあったんですよ。そういうのを考えた時に、明るい気持ちではなかったんですね。速い曲を作る気分ではなかったんです。その時期にバラードしか作らなかったわけではないんですけど、その中でもいちばん（テンポの）遅いこれが選ばれました。

**——ストリングスとかも入って、バラードの王道的アレンジですよね。**

**シュン：**そういうのが入った、雰囲気のある感じにしたかったんです。ギターもチューニングが1音下がってるんですね。ダウンチューニングにするとどんよりした感じがして、チューニングをぴったり合わせても、何かズレてるような変な感じがあって。

**——そういう雰囲気を重視したと。**

**ギル：**ドライで張り付いた感じのイメージと聞いてたんで、僕がそれに合うようなギターを持って来て。今回レコーディングした場所は、いろんな機材もレンタルできたんで、音作りに関してはすぐ終わったんです。問題はプレイだけでした（苦笑）。僕には苦手な音色だったし、1音下がってると、弦のテンション感が緩いんで、ちょっと強く押さえると音がシャープしちゃったりして。だからなぜか苦労しましたね。

**——リズム隊はいかがでした？**

**ラメ：**バラードというのを意識して、雰囲気をふんだんに出せたらいいかなって

その場の空気感[illegible]ち的なものを出して。最近遅いテンポもすごく練習してたし、そういうのも自然と詰め込みました。

**——このタイトルは造語ですよね。**

**ジュイ：**そのとおりの意味ですよね、〝死の兆し〟です。英語でも、〝Last line〟ってあるんですけど。人って、ゴール（＝死）に向かって走ってるわけじゃないですか。日々前向きに生きてても、結局は終わりに向かって走ってるという前提の中で成り立ってる。ただ、結局走る距離は同じだし、最終地点に向かうこと自体がいちばんの目標ではないですよね。だから、ちょっと休憩するのもいいんじゃないかと。

**——活動休止するにあたって、そう考えた？**

**ジュイ：**これに関してはそうですね。自分の中でそういう心境がすごくあったし。歌詞に出て来る〝キミ〟は全部違うんですけど、8年間でメンバーが替わったりして、そのたびに離れたお客さんもいれば、また戻ったりする人もいて。そういう人たち全部含めて、伝えています。

**——さて、活動休止前の東名阪ツアーに向けては、やはり特別な想いもありますか？**

**ギル：**僕は再開する時のことを考えて、キャビネット改造しようとか、アンプはこれを買おうとか、そこはもう通過しますよって感じなんです。だから重くのしかかるものは一切ないです。

**——みなさんはどうですか？**

**ジュイ：**喉があんまり思わしくないってお客さんも知ってるんですけど、だからと言って、声が出ないとそれはショックなんですよね。だから、そこまでコンディションを整えて、ちゃんと歌いたいと思ってます。

**ラメ：**活動休止と銘打ってライヴをするのは8年やっている中で初なので、そうなってはいけないんですけど、最後のライヴになっても後悔しないようなライヴにしたいですね。

**シュン：**自分たちも観に来た人も、いちばん良いライヴだったって思えるようなライヴにしたいなと思ってますね。

**テロ：**ワンマンだと曲も多くて、歌は大変だと思うし、今まではどっちかと言うと歌に支えられてた部分があると思うんで、今回は僕たちが頑張りたいです。

## 010年9月18日 活動休止となる、ヴィドールからのメッセージ

蝴蝶网
hudie.com

# VIDOLL

## New Single Crescent gazer

## 2010.09.15 OUT

**CD+DVD【初回限定盤】**

CD 01.Crescent gazer
02.ゴシカロイド改

DVD Crescent gazer
-MUSIC VIDEO-

POCE-94204 ¥1,800(tax in)

メンバースペシャルジャケットカード・
ランダム封入 5種類
※POCE-14207とは別バージョンデザイン

**CD ONLY【通常盤】**

CD 01.Crescent gazer
02.ゴシカロイド改
03.死兆線

POCE-14207 ¥1,260(tax in)

メンバースペシャルジャケットカード・
ランダム封入 5種類
※POCE-94204とは別バージョンデザイン

## VIDOLL LIVE Reset

**0.8.24(火)**
**屋 ell.FITZ ALL**
SOLD OUT
EN/START 18:30/19:00
nding ¥4,200(tax in/drink代別途¥500)
● 7/24(土)~ チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-006
● ダイレクトセンター 052-320-9000
● TANK ! the WEB http://www.sundayfolk.com
● ライカエジソン名古屋店 052-229-8211
ンデーフォークプロモーション 052-320-9100

**2010.8.25(水)**
**大阪 THE LIVE HOUSE soma**
SOLD OUT
■ OPEN/START 18:30/19:00
■ Standing ¥4,200(tax in/drink代別途¥500)
TICKET ● 7/24(土)~ チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-005
● e+ http://eplus.jp
● ライカエジソン大阪店 06-6459-5988
INFO 夢番地・大阪 06-6341-3525

**2010.9.18(土)**
**新木場 Studio Coast**
■ OPEN/START 17:00/18:00
■ 1F Standing ¥4,500(tax in/drink代別途¥500)
TICKET ● 7/24(土)~ チケットぴあ 0570-02-9999
● ローソンチケット 0570-084-003
● e+ http://eplus.jp
● ライカエジソン東京店 03-3369-3708
INFO HOT STUFF PROMOTION 03-5720-9999

UNIVERSAL MUSIC

http://www.vidoll.jp/

前作「小悪魔Sparkling」（6月30日リリー
から、わずか約2ヶ月。9月1日に、早くもNE
SINGLE「R.P.G.～Rockin'PlayingGam
をリリースすることが決定しているSuG
作は、テレビ東京系アニメ「FAIRY TAIL
オープニング・テーマ曲ともなっている。何
飛び出してくるかわからない、遊び心満載
SuGらしい、パンキッシュなナンバーに仕
がってる。そんなNEW SINGLEに込めた
いを、メンバー5人にじっくり語って貰い
した。

## SuG流、パンクロック♪

Photography:HIROE YAMAUCHI（PROGRESS-M）
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:KAOLU ASANUMA（Deep-End Co.,Ltd.）

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

―アニメ『FAIRY TAIL』のオープニングテーマでもある「R.P.G.～Rockin'Playing Game」は、タイアップを意識しての制作だったわけですか。

武瑠：作ってるときはまだタイアップは決まってなかったけど、このタイアップが獲れたらいいなと思って、歌詞も書いてましたね。

yuji：なので、僕は『FAIRY TAIL』を読んで。アドベンチャーなイメージで曲を作りましたね。

―結果、SuGらしい奔放な勢いが滲みますが…個々、どう感じました?

Chiyu：俺は、ドラムから入る頭から、勢いがある感じがすごい好きで。あと、曲全体のイメージがストレートなのがいいなって。

shinpei：僕もやっぱり、ストレートなパンク・ロックっていうイメージが聴いてすぐ浮かんだし、それが『FAIRY TAIL』の内容とリンクしてたんで。わかりやすかったですね。

masato：僕は、サビの途中でドラムのリズムが変わって、さらに加速した感じになるあたりですね。自分自身、弾いてて気持ち良いんで。

武瑠：俺は、大サビが好き。あと、この曲は次のアルバムには必要な曲だなっていうのも思ってて。歌詞では次のアルバムの世界観も担えて、かつ『FAIRY TAIL』の冒険とか、RPGの世界観も描けたんで、両者の間をもつ点にはなったかなって。

―その歌詞は随分簡潔に綴られていますが…それは心がけたこと?

武瑠：うん、たくさん引っかける言葉を置くより、男の子っぽく、投げやりなメッセージにしたかったんで。言葉に凝れば良いってもんじゃないなって、最近思うし。SuGの初期なんか、全部プラスなだけに、逆にゴチャゴチャしてどこを見たらいいかわからないから(笑)。

―その過剰さが面白くもあるんですけどね。

武瑠：俺もその過剰さは好きだけど、それればっかりだと逆に過剰さが目立たなくなっちゃう気がして。今は、歌詞がシンプルなら、衣装は安全ピンだらけの変な感じで、PVでも変なことやってOKとか、そういうバランス感覚は備わってきたと思う。しかも、その曲を後でアルバムのどういう位置に置くかっていう仕掛けも、今から考えてるんで。それは前のシングル「小悪魔Sparkling」にも言えるけど、入口になりやすいキャッチーなシングルが、後々のコンセプチュアルなアルバムに繋がるのが面白いなって。

―感覚だけでなく理論も駆使して、向かうべき場所を目指していると。ちなみに、歌詞に〝男なら強がって〟というフレーズがあるんですが、それぞれ、最近つい強がってしまった瞬間、あります?

shinpei：一昨日、ムリして服を買ってしまいましたね。でも、武瑠くんが〝作品を生み出していくアーティストは我慢しちゃダメだ〟ってずっと言ってたんで、なんか僕もそんな気がしてきて。

―洗脳!? でも、確かに言えるかも。

Chiyu：俺は、後輩とかと呑みに行ったら、全部自分が出したりするんで…そこは強がってるかな。

yuji：俺は…強がる気力がもうないですね。昔は〝アイドルなんて興味ないし〟って強がってたけど、今は週刊誌の表紙がAKB48だったら即買っちゃうし。

shinpei：(笑)よく買ってるね。強がるのとは真逆の方向だ。

yuji：…ってことは、今の自分、男じゃないのかなぁ!?

masato：でも、僕も強がらないかもなぁ。それこそ初めて彼女ができたときは、男が全部デート代を出すものだ、って強がってましたけど。だから、バイトしててもヒーヒー言ってました。

武瑠：まーたん、そういうのムリしそう。俺は基本的にあんま強がらないけど…。最近、いいスタイリストさんに出会ったり、自分のブランドを始めたこともあって、各方面から〝SuGはオシャレだ〟みたいなことを言われるようになって。買い物に行く先々で、みんなに顔を知ってもらってるから、行ったら買わなきゃいけないみたいな空気になるんですよ! あと、他のブランドさんがサンプルを送ってきてくれたりすると、自分で自分のブランドの服を買ってお返ししたりとか。

yuji：それさ、強がってるっていうか…むしろ男気だね! エライよ!

―その男気があってこそ、SuGを取り巻く人の想いが一際熱いんでしょうし。

武瑠：ホント、俺らのキャパじゃできないようなことも、そういう周りの人がいるから実現出来ているんで。自分が出来るところでは、返したいなって。

じゃあ、ツラいときはメンバーにも助けてもらいましょう？ そして、Chiyuさん作曲の「don't stop da muzic」なんですが…ラウドでミクスチャーで、ひたすらカッコイイ曲だなと。

**Chiyu**：もともとラップ押しの曲が欲しいっていう話があって、今回、やっと作品に入れることができて。ただ、ラップ押しにするけど、サビはしっかりしたかったんで、昔自分が作ってたサビをくっつけましたね。

—確かに、ただ強面なだけじゃないですからね。あと、後半のボイスパーカッションと楽器陣の掛け合いも効いてます。

**Chiyu**：デモのときは、あそこにメロディが入って歌うブロックのはずだったんですけど、ドラムとベースとボイパと、同期のソロコーナーにしたほうがカッコイイんじゃないかっていうことになって。

**shinpei**：ドラムのフレーズも、いろいろ考えましたからね。ただ、ツライフレーズがあるんで…失敗するとテンション下がるんですけど（笑）。

**masato**：僕はサビが好きです。ギターはジャカジャカ弾かないで音を伸ばしてるんですよ。そういうのは今までになくて楽しかったし、弾いてて気持ち良かったなって。

**yuji**：あと、何気にラップ重ねてるんですよ、自分。でも、武瑠に〝さすがにデカすぎる〟って言われて。

**武瑠**："What do you want?"っていうフレーズがデカくて、妙に近かったもん。

**yuji**：だから音量下げました。自分的には気に入ってたんですけど、ははは。

—でも、武瑠さんのラップも然り、洋モノっぽさが強く漂いますよね。

**Chiyu**：〝裏声交じりのラップがしたい〟から始まった曲やもんな。

**武瑠**：そうそう。洋楽聴いてて、ラップに裏声が入ってるとそれっぽくなるって気付いて。

**Chiyu**：アレンジャーさんの作ってくれた同期もカッコイイしな。あと、Bメロで、初めて歌の後ろでスラップをしたんですけど、それがあまりにも気持ち良くて。せっかくなんで、ギターのフレーズを少なくしてもらいました（笑）。

—そのへん、ライヴでも楽しみにし

録される「16bit HERO3」はshinpeiさんの初作曲なんですが…前衛的な「16bit HERO」シリーズの3作目にして、異様に斬新な曲になりましたよね。

**武瑠**：Bメロという伝家の宝刀で、他のメンバーの曲を全部なぎ倒したからね。

—お花畑を連想させる3拍子のブロックにも驚いたし、展開が読めない曲です。

**shinpei**：あえて、変な曲を作りたいなと思って。自分はドラムなんで、リズムに関しては知識があるから、それを詰め込んでみようかなって。

**yuji**：僕とか、リズムチェンジが理論的にわからないもん。

**masato**：そうだね。パソコンで作ってると、テンポとか拍の数は変えずに雰囲気を変えるとか、難しい。

**武瑠**：ま、それをこの曲に活かしたっていうのがスゴイよね。

**yuji**：確かにな、ははは。

**shinpei**：でも、武瑠くんの歌詞もすごく面白いしね。

—曲に合わせて悪ノリもしつつ、最後には背中押すメッセージもあったりして。

**武瑠**：次生まれ変わったら32bit、64bitになれるかもしれないけど、その前にボスを倒そうってね。ムリヤリ真面目にまとめてみました、ははは。あと、歌詞カードには載せないけど、「16bit HERO」恒例の叫びでは自己を解放してますっ。

—さて、8月29日には渋谷C.C.Lemonホールでのワンマンが控えていますが、何かひとつ、誓うなら？

**Chiyu**：センターのお立ち台で、今までにないわかりやすい動きをします。

**武瑠**：俺は、演出でヴァンパイアやります。新しいダンスを試みてるんで…（ニヤリ）。

**masato**：僕は、出来得る限りノールックでギターを弾いて、みんなと楽しめたらいいかなと。

**shinpei**：じゃあ…僕はノーミスでやります！

**yuji**：マジで!? なら、ノーパンでやります！ あ、アンコールだけね。本編終わって汗でビチョビチョに濡れてると思うから、アンコールはパンツなしで（笑）。

蝴蝶网
hudie.com

# THE KIDDIE

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# Calling

## より、バンド感のある曲

7月14日にリリースされた「smile.」で、念願のメジャーデビューを果たしたTHE KIDDIE。サウンドプロデューサーに、元JUDY AND MARYの恩田快人氏を迎えて挑んだその曲は、“自分達がイメージしてたメジャーデビュー曲”と言いきれる、メロディアスなTHE KIDDIEらしい歌メロが特徴の一曲だった。今回は、メジャーに羽ばたき新たなスタートを切った直後の5人に迫ってみました。

Interview:NAOKO TAKEICHI

——メジャーデビューをして新たな環境に身を置いた今、変化を感じる？　ハタチになるようなもんなのかな？

**揺紗**：うん。そうだと思う、なんか激的な変化ってのは全然ないからね。

**ユウダイ**：〝今日からハタチです！〟みたいなことないもんね。

**揺紗**：やっぱりいろんな関係者の方にも〝メジャーデビューすると変わるでしょ？〟みたいに言われるんですけど、なんも変わらないしどうしよう、みたいな感じなんですよね（笑）。

——もしかしたら、本人より周りの方が見方が変わるかも。メジャーって聞いただけで掌返す人とかいたりするはずだから。でも、本人たちの方がピンとこない、みたいなね。そんな中、早くも2枚目（9月22日リリース、2ndシングル「Calling」）の音源資料を貰ったんだけど、いつぐらいに作り始めてたの？

**佑聖**：4月ですかね？　かね？　4月ちょっちゅねー（笑）。

**揺紗**：そうだね。っていうか、今、佑聖の中で〝ちょっちゅね〟がマイブームらしいんで、今日もこの後、何回も言うと思うんでよろしくお願いします（笑）。

**そらお**：たまに、〝そこで使うの⁉〟ってとこで使ってるんで、使い方正しくないと思うんですけどね（笑）。

**揺紗**：そうそう（笑）。んで、この曲を作ってたのは4月頃。ワンマン終わってすぐぐらいからだったかな。

**そらお**：ちょうど、メジャー発表した頃だったんじゃないかな。

**淳**：それくらいの頃、いろいろ曲作りしてたんで、その中で出てきた感じですね。

——恩田さんとのやりとりの中で、いろいろな刺激があったって言ってたけど、作っていく上での変化とかは感じてる？

とりやすいというか。どんな感じかはわかっていたんで。曲を作っているなかでも、恩田さんはこうした方が良いって言うから先を読んで、たぶんこういうことじゃないのかっていうことを、アレンジの段階からより頭を使った気がします。

——「Calling」も一緒に作ったの？

**揺紗**：はい。そうですね。

——楽曲のことは来月ガッツリ話してもらうとして、今回はレコーディングしてたあたりに、こんなことあった的な面白エピソードを聞いていこうかと。

**揺紗**：「Calling」のレコーディング中って何してたっけ？

**ユウダイ**：ずっとレコーディングしてた。

**揺紗**：そうだね。真面目だったよね。

**佑聖**：うん。『桃鉄』（『桃太郎電鉄』）にもちょっちゅ飽きたころだよ。

**揺紗**：前回の「smile.」のレコーディングの時は『桃鉄』やってたんだけど、ちょうど『桃鉄』も飽きてて。

**ユウダイ**：飽きてたわけじゃないよ。

**揺紗**：いや、ユウダイくん以外は飽きていて（笑）。なんか、結構、真面目だった気がするな。曲作ってた気がする。アレンジだったり、なんだったりを、〝まだいけるっしょ！　まだいけるっしょ！〟って言いながら、やってた。

**佑聖**：たしかに余裕がなかったね。

**ユウダイ**：今回「smile.」のときより準備期間が短くてレコーディングに突入したんで。なんか、レコーディングと並行して曲を作っていた、みたいな状況だったので、わりとハードでしたね。

——スタジオ作業はこもりっきりになるから、ご飯しか気晴らし出来ないもんね。

**揺紗**：そうなんだけど、恩田さんのプライベートスタジオがマニアックな場所にあって。マニアックな場所で食べれる、キャッチーなものを探していくと、〝Hotto Motto〟しかなくて。毎日同じものを食べてたんですよ（笑）。

**淳**：〝Hotto Motto〟は正直飽きてきてる部分もあったんです。

——メニュー全部食べた？

**淳**：全部じゃないですけど。

——全部食べなきゃだめなんだよ（笑）。

**揺紗**：食べたいものって偏るんですよ。

——だから、あえてだよ。

**揺紗**：全部？　右から左へ？

**そらお**：あははは。それってやろうと思ってもなかなか出来ないですよね（笑）。ついつい好きなモノばっか食べ

ちゃう。

**揺紗**：恩田さんなんか、スタミナのり弁当しか食わないんだもん（笑）。

――回転寿しとか行くと絶対同じもの食べちゃうのと一緒だよね（笑）。

**揺紗**：僕はね、回転寿司行ったらネギトロとエンガワとタコ。タコは生ダコだと美味しいんですよ。

**佑聖**：俺、エンガワと納豆とイクラ。

**淳**：エンガワとサーモンと、みたいな。

**そらお**：俺は穴子。穴子とイワシと。ヒカリモノ。

**ユウダイ**：俺は、エンガワと生ダコと穴子とウニと…。

**揺紗**：あれ、おいしいよね。あの…。

**ユウダイ**：ちょっと！　俺、喋らして！

**そらお**：あははは。にしても、エンガワ率高いね（笑）。

**揺紗**：カレイのエンガワおいしいよね。あの白いヤツね。安っちい味が美味しい。ミルクっぽい感じで。

――でもね、やっぱり自分で選ぶと偏るでしょ。だから、たまに人に頼んでもらう訳。〝わあ、食べたくないー〟って思いながらも、ちょっと新しい経験ができる。だから、お弁当も全部いかなきゃ。同じもの食べてるから飽きるんだと思う。

**そらお**：じゃぁ次からそうしてみます（笑）。でも、恩田さんのスタジオ、すごく広いんですよ。だから、音楽をやる上では最高の環境だと思いますね。生きてく上では、自然が多過ぎて、コンビニとかちょっと遠いし、今の便利な生活に慣れちゃってる分、無理かなって思いますけど……（笑）。音楽には没頭出来る感じですね。

――合宿してるみたいだね。

**そらお**：気持ちは、そういう感じですね。

**佑聖**：ふもとで食料買って、山にこもるみたいな、そういうニュアンスです。

――プリプロはそのスタジオで？

**淳**：いや、プリプロは家でやってたんですけど。細かいアレンジはスタジオで並行してというか。ドラムを録ってる間に、ギターはプリプロしてるって感じで。

――2枚目をこの曲にしようって思ったのは？

**揺紗**：1枚目が「smile.」でサラっとしてたので、表題曲はもっとバンドっぽいのが良いなっていうのがあって、で、選曲会の中で、バンドっぽい曲が「Calling」だったかなっていうので。これにしようって。

い感じ。90年代の疾走感あるロック的な。

**佑聖**：語っちゃって良いですかっ！　そのイントロの上モノは、1番最後にレコーディングしたんです。もう1個メインとなるフレーズが入ってるんですけど、それよりもさらに、なんか欲しいってことになって、そこで考えたフレーズがそれでなんです。

――そのフレーズ、ところどころメインで使ってあるよね。

**佑聖**：そうっすね。あ、ちょっちゅね。

**そらお**：そこかよ！　そのリードのフレーズを入れるって決まってから、なんか3、4日、家で考えてて。〝決まんない、決まんない〟って。

――しっくりこなかったんだ。

**佑聖**：そうっすね。あ、ちょっちゅね。けどそれが結果いちばん目立つというか、結構ポイントになったフレーズなんじゃないかと。90年代っぽい音とかに関しては、昔から自分がずっと聴いてきたようなロックギターの音なんですよね。それを今回前面の押出してみたんです。

**淳**：次作は、3曲通して、個人的に自分にとって新しい試みのアレンジが入っていたりするんで、THE KIDDIEが得意とするところの曲調だったりするんですけど、新しさも感じられる1枚なんじゃないかなと思います。

**ユウダイ**：「Calling」に関しては、佑聖くんの上モノの話もあるんですけど、王道的というか、ど真ん中っていうか、逆にそういうことをやるのって、ちょっと難しかったりするんですよね。いまさらこういうことやんのかよって考えがちっていうか。でも、逆にそれを自信もって、よりストレートなものを詰め込みたかったので、よりわかりやすい上モノだったり、曲調だと思います。

**揺紗**：最初は、単音でソロみたいなとこから始まるのはダサイっしょみたいな空気もあり。いままであえて避けて来たとこだったんだけど、佑聖くんにいろいろフレーズ考えてもらったらいいのができたんで。最後の最後に、どんでん返しが来て良かったなあって思ってますね。

――新しくもあり、THE KIDDIEっぽさもある3曲だからね。詳しくは次号で。

**ユウダイ**：はい。俺、雑誌でエンガワの話しするとは思わなかったわ（笑）。

**佑聖**：ちょっちゅね。

〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld
3268-8804（平日12〜18時）　http://kiddie.jp/

http://versailles-w

蝴蝶网 nudie.com

## 2010年9月4日(土) 渋谷C.C.Lemonホール

Versailles World Tour 2010"Method of Inheritance"-GRAND FINAL- CHATEAU DE VERSAIL

OPEN/START 17:30/18:00 全席指定 ¥4,500 チケット販売中 チケットぴあ (P:109-333) ローソンチケット (L:77832) e+ イープラス

インディーズ初期のアルバム2タイトルがライヴバージョンで9/1発売決定!!

「Lyrical Sympathy -LIVE-」
SASCD-058 ¥2,415(tax in) 2010.09.01発売 8曲収録

1.INTRO / 2.The Love from a Dead Orchestra / 3.Shout & Bites / 4.BEAST OF DESIRE / 5.Forbidden gate / 6.The Red Carpet Day / 7.Sympathia / 8.SFORZANDO-Original Version-(ボーナストラック)

「NOBLE -LIVE-」
SASCD-059 ¥2,835(tax in) 2010.09.01発売 11曲収録

1.Prelude / 2.Aristocrat's Symphony / 3.Antique in the Future / 4.Second Fear -Another Descendant- / 5.zombie / 6.After Cloudia / 7.windress / 8.The Revenant Choir / 9.SUZERAIN / 10.History of The Other Side

## 2010年8月30日(月) SHIBUYA AX

MATENROU OPERA -1214-

OPEN/START 17:30/18:30 ADV/DAY ¥3,800/¥4,300 チケット販売中 チケットぴあ (P:111-372) ローソンチケット (L:71968) e+ イープラス http://eplus.jp (問) クラブチッタ 04

貴重なオフショット映像を含むツアー密着ドキュメントDVDと、初ホールワンマン5/6渋谷C.C. Lemon Hallライブ DVDが同時発

「Emergence from COCOON〜Tour Document Film〜」
SASDVD-017 ¥4,200(tax in) 2010.09.01発売

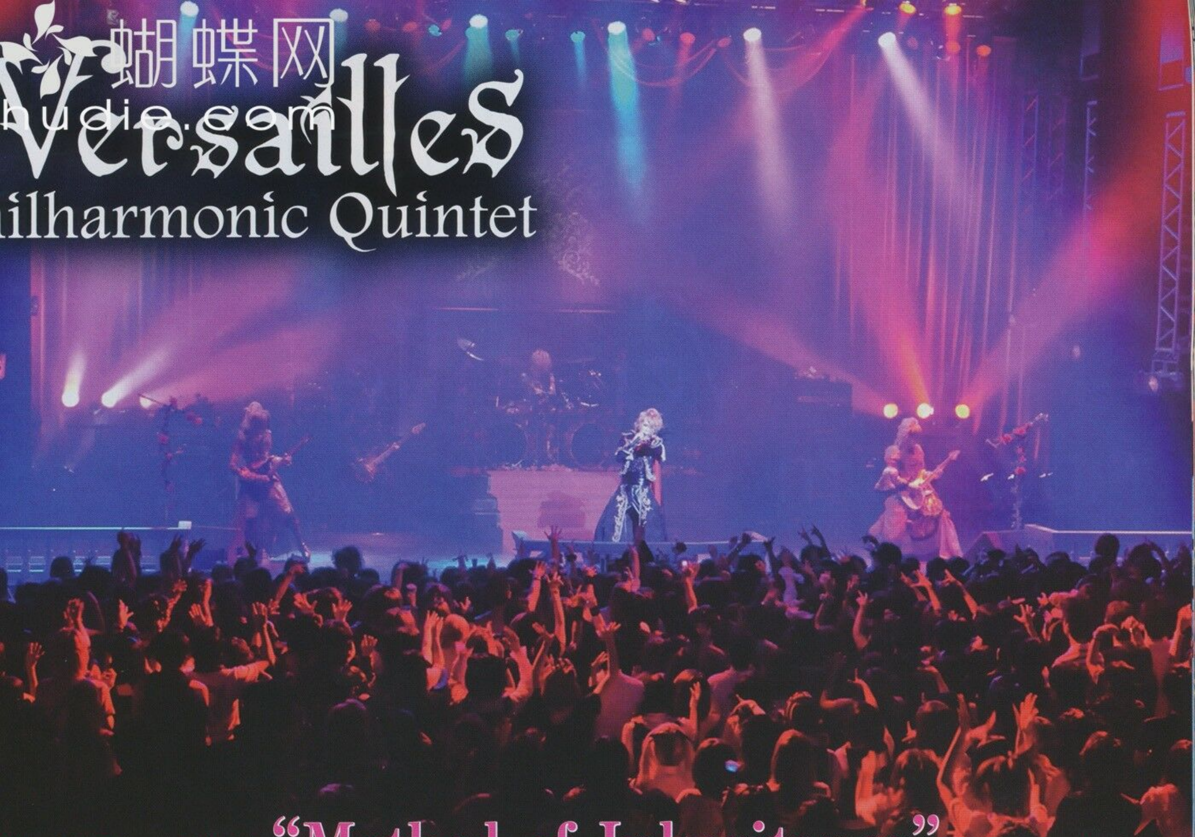
「Emergence from COCOON
〜Tour Final Live Film〜"Birth of GENESI
SASDVD-018 ¥4,935(tax in) 2010.09.01発売 16曲収録

KAMIJO Mobile
着ボイス/着ムービー/待受Flashの無料配信や、グッズ通販/着うた/着うたフル/着ムービーが会員価格で購入可能などお得な特典がいっぱいのSherow Artist Society Official M

Sherow Artist Society Official Web Site : http://artist-society.com/ 〒105-0003 東京都港区西新橋3-22-5 芝郵便局留

蝴蝶网
hudie.com

# Versailles
## ilharmonic Quintet



## World Tour 2010 "Method of Inheritance" —Arousal—

2010.7.19 CLUB CITTA' KAWASAKI

7月にかけての約1ヶ月間、南米とヨーロッパを廻っていたVersaillesが、ようやく日本に帰ってきた。"凱旋帰国ライヴ"と銘打たれた7月19日のこ
ヴは、奇しくも(?)KAMIJOの誕生日でもあり…熱狂のライヴと共に、スペシャルな企画も用意された一夜の模様をお届けする。

Photography:SAWAE HARA　Report:RINGO AOMORI

6月上旬の南米に続き、下旬から7月にかけてヨーロッパを廻っていたヴェルサイユが、ようやく日本へ帰還した。南米とヨーロッパのツアーの合間、一時の帰国はあったものの、約1ヶ月間、海外でのライヴに邁進してきた彼らが、〝凱旋ライヴ〟と称して、日本での久々のワンマン・ライヴを行なった。しかもこの日は、KAMIJOの誕生日！…となれば当然、スペシャルな出来事も用意されていた夜となったのだ。

彼らの帰国を待ち侘びたオーディエンスは、どことなくそわそわとした雰囲気。こちらもそんな緊張感を伴いながら開演を待つと…暗転した会場に〝We are Versailles!〟の声が響き始め、いよいよメンバーの登場である。歓声に導かれて姿を現した4人は、より自信が備わったようにゆったりとステージへ歩み出てくる。会場の熱が昂ぶり切ったところで放たれたのは、「Aristocrat's Symphony」だ。一斉に始まったオーディエンスのヘッドバンギングを、確かめるように愛おしそうに眺めるKAMIJO。帰ってきたことを実感した瞬間でもあったのだろうか、〝会いたかったぞ！〟と叫ぶ一幕も。笑顔を見せながら激しく動くTERUと、いつも以上にアグレッシヴなステージングを見せたHIZAKI、大きなアクションで会場を煽るYUKIという、楽器陣の一糸乱れぬアンサンブルはさらに精巧度を増したよう。アルバム・リリース時に、〝海外ツアーで『JUBILEE』をさらに育てたい〟と語っていた彼らだが、まずは初盤のお馴染みの楽曲たちでバンドの進化を感じさせてくれた。

〝『JUBILEE』の進化〟というところでも、随所で見せてくれていた。「月下香」では、KAMIJOのビブラートの生きたヴォーカリゼイションが曲の表情を豊かなものにしていた。「The Umbrella of Glass」では、全身から繰り出されるYUKIのリズムによって、全体的により力強い曲へと進化させていた。TERUのソロ・ナンバー「Reminiscence」

### 熱狂の凱旋ライヴ、そして……!?

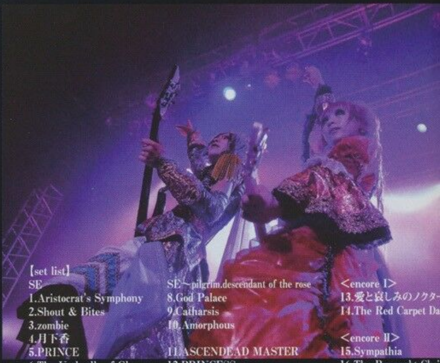
たTERUが印象的だった。4月のJCBホール公演でも大きな感動を呼んだ「God Palace」では、メロディの合間から響かせるアルペジオやヘヴィ・リフなど、HIZAKIの情感豊かなプレイが楽曲をさらにドラマティックなものにしていた。KAMIJOがライヴ冒頭で、〝(海外ツアーが)楽しかったが辛かった〟と言っていたが、海外のライヴを観ることの出来なかった多くの人にとっても(私自身も含め)、楽曲に溢れていた自信を感じることで、彼らの様々な経験をも垣間見ることが出来たように思う。

『海の向こう側でライヴをやって思ったこと——どの場所にも最高の場所があるということです。必ずこの日本でも、もっともっと素晴らしい空間を共有できると思います。2010年のこの夏を、毎年波乱の夏を、最高に幸せな夏にしようぜ！』

最後の最後に、こんなことを言ったKAMIJO。〝あの夏〟の想いを胸に、『JUBILEE』と共に進化を続けるヴェルサイユの夏は、9月4日の渋谷C.C.Lemonホールまで、まだまだ続いていくのだ。

そしてこの夜、〝凱旋&KAMIJOバースデー・パーティー〟がライヴの後に用意されていた。ライヴの時とはうって変わってシックな装いにチェンジしたメンバーが会場に再び登場すると、〝エア乾杯〟(メンバーのドリンクの用意が間に合わず／笑)から、しばしのトーク・タイム。〝普段のヴェルサイユな生活が出来ないのがキツかった〟(KAMIJO)、〝パリでは僕もお客さんを助けに行った〟(HIZAKI)、〝バスの運転手さんが食料を全部食べてしまう〟(TERU)、〝体力を維持するのが大変だったのと、パスポートをなくしかけました〟など海外での逸話を披露。そしてその後、大きなケーキが登場してKAMIJOのバースデーを祝うと、最後はオーディエンスとのトーク・タイム！最終的にはメンバーそれぞれ揉みくちゃのカ

蝴蝶网
hudie.com



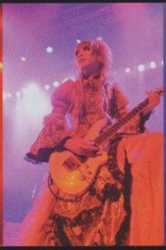
【set list】
SE
1.Aristocrat's Symphony
2.Shout & Bites
3.zombie
4.月下香
5.PRINCE
6.The Umbrella of Glass
7.Reminiscence

SE～pilgrim.descendant of the rose
8.God Palace
9.Catharsis
10.Amorphous

11.ASCENDEAD MASTER
12.PRINCESS

<encore Ⅰ>
13.愛と哀しみのノクタ
14.The Red Carpet Da

<encore Ⅱ>
15.Sympathia
16.The Revenabt Choi



## RETURN&KAMIJO BIRTHDAY PARTY!!

1 なぜか"エアー"乾杯からスタート

2 特大ケーキでKAMIJO氏をお祝い

3 今度はちゃんと、乾杯!!

4 パーティー参加者たちに囲まれるKAMIJO氏

5 サポートBa･MASASHIを交えて気合い入れでシメ!!

蝴蝶网
hudie.com

ve at 日比谷野外音楽堂 2010.7.3

16日に初のベストアルバムベスト『NEVER
DING STORY』をリリースし、7月3日の日比谷野
音楽堂で、"夢のテーマパーク"を具現化させたMix
eaker's,Inc.。この日、日比谷野外音楽堂は彼らのお
だった。そして、この日集まったファンたちは"姫"だっ
野外ならではの開放的な空間は、彼らのライヴに華を
ていた。あの日から早1ヶ月。夢のように過ぎ去った
の時間を、今一度振り返ってみることにしよう。

ography:MIWA OHYA
IAOKO TAKEICHI

# MIX LAND Mix Speakers,Inc.

蝴蝶网
hudie.com

【SET LIST】1.ANIMAL ZOMBIE ZOO 2.JUNK STORY 3.GREEN 4.Woody Nightmare 5.誘ワク星リズム 6.ロミオのメロディー 7.little star 8.コント「シンデレラ」 9.ダンスメドレー（サンバ～Go Go Bremen～ロボホッホ～BIG BANG MUSIC!～青春ウォーカー～ 10.「いつもの帰り道」 11.「SOS」Toy's Factory 12.13's Jump 対決 13.' MONSTART' Family 14.Pandora 15.青いモンスカー 16.Happyy!!Land EN1.シンデレラ（新曲） EN2.ガムシャLaLa EN3.MONSTIME～long ver.～ EN4.YOU♪愛♪メッセージ

お話の1番のファンタジー（見せ場）は、12時の鐘と共に魔法が消えてしまうというところ。まさに、今回の日比谷野外音楽堂でのライヴは、そんな舞踏会シーンを切り取ったかのような時間だった。

〝夢のテーマパーク「MixLand」無事開園しました。今回、野音でワンマンをする事が決まってから日比谷に遊園地を作りたいなぁなんて思ってました。お城があって風船がたくさんあってマスコット達（笑）が走り回ってる、MSIらしいライヴができたと思います。集まってくれたバンギャ姫のみなさんありがとう！〟（AYA）

この日AYAは、中盤に挟み込まれたお芝居でシンデレラ役を演じたのだが、はすっぱな設定のシンデレラも、ダンサーにちびっ子を起用していたところも、彼らならではのオリジナリティを感じた。

〝とにかく無茶苦茶楽しかった！ その一言につきます！ 雨バンドのMSIですが、やはり朝からどんよりとした天気で（苦笑）。本番も一瞬ぱらつきましたが、基本的には晴れてそんなん関係ない位盛り上がって楽しかったんですよ！ あれだけの素晴らしいライヴならどうせなら大雨でも良かったね…！ それすらも盛り上がってしまう位のテンションの高さでした！ さっきから楽しいしか言ってませんが本当に楽しかったんです☆ もっかいやりたいな～〟（keiji）

普段、喜怒哀楽をあまり表に出すことのないkeijiだが、この日は幾度となく満面の笑みがこぼれていたのを、バンギャ姫たちは見逃さなかったことだろう。

〝7月3日。高降水確率が毎日の様にニュースにて出ていました。今にも降ってきそうな空。耐えているそんな空でした。僕達の想いや皆の想いが日比谷という空間で雨を撥ね除けているかのようでした。野音が発表されてからの半年間。あっという間の時間の中でいろんな事を考えていました。最後の曲が終わり。ずっと客席を見ていたら僕達にはまだまだやる事が山程あるんだなと思いました。僕達の未来は野音のステージから始まっています。〟（seek）

この男。もしかしたら、照る照る坊男に[illegible]ツなのだ（笑）。その反面、男らしくバンドの軸となり、リード役を担っているため、今にも降り出しそうな空に、誰よりも深い、精一杯の祈りを込めていたに違いない。

〝MSI初の野外ワンマンは自分の全てをぶつけ、初めから終わりまで体の芯まで楽しんだ。そして間違いなく今年一番汗をかきました！ そんな感想です。野音という空間をMSIの不思議で楽しい世界観でいっぱいにできたと思います。なにより、スタッフ、出演者、観に来てくれたみなさん、みんなで作り上げた最高に幸せな一日でした！ ありがとうございました！〟（S）

MIKI・keiji・seek、YUKI・AYA・Sの2チームに別れて届けられたナンバーの中で、Sが中心となって届けた「ロボホッホ」は絶品だった。6人の中では1番キャラクター要素の強いSだが、何気にダンスの表現力はピカ1だ。次はどんな和みキャラで楽しませてくれるのだろう。

ということで。最後にヴォーカルの2人からメッセージを頂きましょう。

〝初めての野外ワンマン!! 待ちに待ったライヴで、不安もあったけど、とにかく楽しみで仕方ない日でしたん。今までで一番最大キャパでのライヴ。そんな事関係なく幸せな時間が過ごせたライヴやったなー。どんなライヴでも皆とそこにいる素晴らしさが分かった気がした。歌う事、話す一言一言の大切さもわかった気がした。まだまだ皆と一緒になって上がっていきたい!! とにかく日比谷ワンマン最高やったぞー!!〟（YUKI）

〝野外音楽堂。お疲れ様でした。初の野外。そして明るいうちからのライヴ。全てが新鮮で良い勉強になりました。ミックスらしいライヴが出来たんじゃないかなと思います☆ どの場所に立っても、変わらずミックスらしいライブが出来るように、これからも頑張りたいなと。雨上がりの日が落ちていく野音から見えた空は、とても綺麗でした☆〟（MIKI）

バンキャ姫たちの心にだけでなく、6人の心にもしっかりと刻まれたこの日の時間。お互いが残した〝また逢いたい〟という想いは、ガラスの靴となり、再会出来る絆となったことだろう。

（問）http://www.mixspeakersinc.com/

# Girugämesh

蝴蝶网
hudie.com

# シングル『イノチノキ』、最速インタビュー!!

## “失ってから気づく、大切なこと”とは——

この号が出る頃には夏のツアーも終えているはずのギルガメッシュだが、彼らは全くとどまることを知らず、常に前進を続けている。
10月6日には、ニュー・シングル『イノチノキ』をリリースし、10月2日からは秋のツアーもスタートさせる。作品の内容においても、常に意
彼らららしく、着実な成長ぶりを感じさせ、ますます今後の展開が楽しみで仕方がない。そんな新作の最速インタビューをお届けしよう

hudie.com

interview:MIYUKI MURAYAMA

——「イノチノキ」は、いつ頃出来た曲なんですか。

**愁**：デモは「COLOR」と同じ頃に作ったんですよ。

**Яyo**：『COLOR』の選曲会の時に、次のシングル・リリースも決まってたんで、同時に選ばれてたんです。

**愁**：ただ、アレンジは今回のツアー中にЯyoがやって、デモからだいぶ変わりました。

**——どんな風に変わったんですか。**

**愁**：歌始まりの曲だったのが、ギターからになったし、メロディも変わったし。今の僕らのニュアンスをもっと増やしていこうということで、もっと聴かせる曲だったのが、ノレる曲になりましたね。しんみりなっちゃうようなところを、身体を揺らせるような曲になったと思います。

**Яyo**：バラードっぽい感じだったんですけど、もうちょっとダンス・チューンが混ざったほうが楽しく聴けるのかなって。

**——イントロのギター・フレーズは新鮮ですね。**

**Яyo**：ギター・ソロっぽいフレーズで始まるのは初めてかもしれないですね。

**弐**：ツアー中にいろいろ話してて、何かちょっとひと工夫ほしいってことで、ギターで始まるのもやってみてもいいかなと。そういう案がちらほらあって。あのフレーズは、ギター・ソロでしか使われない予定だったんですけど、結構耳に残ったんで、イントロ・フレーズになってもいいかなと思って。ちょっとギルガメッシュらしくないかなと思ったんですけど、どうすか?って言ったら、いいんじゃない?って感じだったし、俺も気に入ってたんで、ワクワクしながら楽しく出来ましたね。

**——歌詞では、恋愛の別れを描いてますよね。**

**左迅**：どんなタイプの歌詞でも乗るような曲のイメージだったんで、何を書こうか苦労しましたね。結構な量のいろんな内容を書いたんですけど、ピンと来るものがなくて。それを探すのに1ヶ月ぐらいかかりました。でも、ジャケットの話をする機会に、メンバーから〝樹のイメー

なのが、樹をイメージさせたんです。

**——それで、ノリからは意外なぐらい悲しい歌詞になったんですね。ラヴソングは久しぶりじゃないですか?**

**左迅**：最初の頃は多くて、最近はバンドの意志だとか、バンドで得たものとかを書いてたんですけど、バンドとしてとりあえずひと通り経験したんで、一度バンドのことは置いておこうと。メインの曲では、一人の人間としてのものを書きたかったんです。

**——個人的な心情を歌うのは、また気持ちが違ったりもするんですか。**

**左迅**：違いますね。歌う時に思い描いてるものが、バンドから生まれたものと自分の経験から生まれたものとでは、全然違うと思いますね。

**——最近は聴き手に対してメッセージを発する形の歌も多かったですけど、これはまたそれとも違うもの?**

**左迅**：それでも、失ってから大切さに気づくものを大事にしてほしいなという気持ちはこもってる曲ですね。

**——そういう歌が乗りつつも、全体的にはノリのある曲に仕上がってるんですね。**

**Яyo**：だから、ライヴでしんみり聴いてほしくないなって思いますね。歌詞の内容はこうだけど、気持ちよく、リズミカルなダンスっぽい4つ打ちのビートに合わせて聴いてもらいたいです。静まり返ってほしくないし、そういう想いで作った曲ですね。

**——カップリングが「Vision」と「Endless wing」ですが、これは以前作った曲になるんですか?**

**Яyo**：カップリングはギリギリだったんですよ（苦笑）。

**——資料に付いていた仮タイトルが、「ロックガメッシュ」（「Vision」）と「ディスコガメッシュ」（「Endless wing」）だったので、〝ロック〟と〝ディスコ〟なのかという先入観がすっかり残ってしまったんですけど…。**

**一同**：（笑）

**——そういうイメージを意識して作ったんですか?**

**Яyo**：「イノチノキ」が出来上がって、それをメインにするのは決まってたんで、他に何が聴きたいかを考えたんですよ。

だなぁと。

**——愁くんは、〝ロック〟を意識して「Vision」を作ったんですか。**

**愁**：僕も、サンバ（「sunrise」）以降（笑）、いろいろ作ってたんですけど、ツアー出る前に録り終えちゃいたいみたいな話になって、結構期間がなかったんですね。その時に残っていた自分のデモの中で、いちばん完成形に近いのがこれだったんで、これをとりあえず作ってЯyoのところに持ってったら、ちょうどこういうのがなかったということで。Яyoはすでに〝ディスコ〟のほうの曲の作業をしてたんで、そこがちょうど上手くいきましたね。

**——これは、スピード感のあるロックですよね。**

**Яyo**：ギルガメッシュらしさも見せておこうと思ったんです。でも、新しいとは思うんですけど。結構、素だし何も（同期音も）入ってないし、スパンと行ってる感じなんですよ。

**——そういう面では、各々の楽器のプレイヤーとしての個性が出ていますよね。**

**Яyo**：それは出てますね。好きなように、ライヴを意識して叩きました。みんないろいろやってるね。

**愁**：アレンジにいちばん時間かかりましたからね。僕は、昔のギルガメッシュの曲を聴いて作ったんですよ。ヘヴィと言われる部分がギルガメッシュの第一印象にされつつも、昔は意外とこういう曲もあったりしたんで。「Reality」とか「robust conviction」とか「古びた写真」とか、メロディがポンと突き抜けて、バックはハードロックみたいな曲調もあったし、僕はそれもひとつの持ち味だと思ってたんです。弐さんがこういう曲は得意なんで、アレンジしてくれましたね。弐さんが、こうしよう、ああしよう、こうであああで…って言って（笑）。

**——イメージがどんどん湧いて来た?**

**弐**：愁が持って来るのはひと癖ある曲だというイメージがあるので、聴いた瞬間に、意外なもん作って来たなって思ったんですけど、俺、こういうの好物なんで（照笑）。だからイメージはパンパン出て来て、ここでこうなって、こう展開して、ああだこうだ、ここのギター・ソロ

がすごく気持ちよく乗ってますね。

**左迅**：これは響きを重視しました。最初のデモでは、何ちゃって英語で歌ったんですけど、その譜割りのハマりの良さを壊したくなかったんで、ちょっと英語に聴こえるような感じで、英語と日本語を混ぜましたね。歌い方も意識して、日本語のところも英語の発音みたいに歌ったりもしたんで。

**弐**：スタジオで作業してた時に、歌が入ったやつが流れてきて、その時に〝何これ、かっけえな〟って言いましたからね!（笑）〝あ、俺らのか!〟って、後から気づいて（笑）。

**一同**：（笑）

**弐**：メロがすげえ良かったんで。

**——歌詞も、英語と日本語を混ぜることを意識して書いたんですか。**

**左迅**：内容が先でしたね。この時、結構ムカついてることが多くて。ああだこうだ、いろんな人にギルガメッシュについて言われてたわけですよ。それに対して、うっせえ!っていう歌詞です。黙っとけ!って（笑）。

**Яyo**：あ〜俺、そういうの好き（笑）。

**左迅**：もう惑わされねえぞと。それがいちばんその時に思ってたことなんで、それをこのストレートな歌に乗せてみました。

**——そして「Endless wing」は、ディスコっぽい曲ですね。**

**Яyo**：ディスコっぽくて、変な要素が入って、ちょっと面白味とか妖しい雰囲気のある、微妙な線を狙いたかったんです。リフが激しくて、サビで開けてとかじゃ面白くないんで、Bメロでちょっと気持ち悪い要素を入れたりとか。

**——そこで、楽器陣のプレイとしては?**

**愁**：これはテクニックを出してますね。Aメロはファンクな感じなんで、スラップを入れてみようかなって。結構難しかったんですけど、チャレンジ精神に身を任せ、練習を頑張って。こんなノリが、最近のライヴで活きそうだなと思って。小ざかしいことをやってみました。

**弐**：曲を聴いた時、エロいと言うか妖しい感じがあって。Bメロは、左迅くんがエロく歌ってくれるんだろうなと思ってたら、歌ってくれました（笑）。

**弐**：（笑）プレイっすか?[illegible]フレーズが[illegible]ポンポン出て来た感じで[illegible]来ました。でも、カッティングとかあまり得意じゃないんで、Aメロとかは苦戦しましたね。

**——この歌詞はメッセ[illegible]わって来ますよね。**

**左迅**：すごい好きな言葉[illegible]んですけど、〝人が想像できる[illegible]実現できる〟みたいな言葉、あ[illegible]か。それを歌詞の中で描きたかった[illegible]す。人間の好奇心とか飽[illegible]き欲求を[illegible]きたかった感じですかね。

**——ラップ部分、今まで以上にパワーアップしてますよね。**

**左迅**：磨きをかけました。発音を頑張りましたね。インターネットで発音の見本を聴きまくって。

**——確実に発音が変わってますよね。**

**左迅**：自己流ですけど意識して歌ってるんで、変わってたらいいですね。

**——ラップも充実した分、左迅くんのヴォーカルの幅の広さが感じられます。**

**左迅**：カップリング2曲ですごい挑戦できたし、何ごとも挑戦すれば出来るんだぞって感じですね。「Endless wing」で、やろうと思えば何でも出来るということを描きたかったんで、それが伝わればいいと思います。

**——それを自ら体現したと。**

**左迅**：ものすごい後付けですけどね（照笑）。

**——初回盤に付くDVDには、夏のツアー・ドキュメントが入るとか。**

**愁**：フェリーでのみんなの苦痛の表情だったり、ライヴ後の苦痛の表情だったり、いろんな苦痛の表情だったりを（笑）。O-WESTのいろんな演出とか、ツアーでの全員のMCも入れてみたいですね。

**Яyo**：禁断のMCだな。

**左迅**：ヒドい時はホントにヒドいからな…（苦笑）。

**——そして、シングルの発売に先駆けて、また秋のツアーが始まるんですよね。**

**愁**：会場のキャパシティというのも演出のひとつだと思ってるので、秋のツアーのキャパで映える曲も交えつつ、この3曲を完璧にライヴでこなして、最高の状態でツアーに廻れればいいですね。ただ

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

シン

# ViViD

*The first foreign countries.*

## 自分達は自分達らし

7月にフランス・パリで行われた『JAPAN
にて、ライヴ&コンファレンス（ファンが
問に答える、質疑応答やサイン会）を行
ViViD。今回は、初の海外でのライヴを
きた彼等に、その感想やお土産話をた
いて来ました！　8月8日に行われた、渋
のワンマン・ライヴも満員御礼にて、大
めた彼等。そんなAXでのライヴの模様
アフター・インタビューと共にたっぷり
えします！　そちらもお楽しみに！

Photography:HIROE YAMAUCHI（PROGRESS-M）
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:SAYAKA

—やっぱり、フランスはオシャレでした？

シン：いちいちオシャレでしたよ。歩いてると、橋の上には普通に演奏してる人たちがいたりとか。ホント、映画の世界に迷い込んだみたいな感じでした。

Ko-ki：橋の上にオルガン置いてね。あの曲のCD、欲しいもん。

—そんな芸術の都で、今回はどんな活動をしてきたんですか？

シン：〝JAPAN EXPO〟（ヨーロッパ最大規模の日本フェスティバル）でのライヴ2本に、撮影もしましたね。

Ko-ki：あと、ライヴと同じ日に、ファンとの質疑応答をするコンファレンスとか、サイン会とか。

零乃：で、〝JAPAN EXPO〟の会場は、幕張メッセよりももっと大きな場所だったんですよ。

怜我：〝JAPAN EXPO〟全体で、18万人集まったらしくて。すごい人でした。

零乃：フランス人とか、ヨーロッパの他の国の人とかね。日本人は、ほとんどいないです。でも、結構ViViDのことを知ってもらってたんですけど。

シン：俺とイヴは、ビラ配りしました。

—ビラ配りなんて、久々だったんじゃないですか？

シン：むしろ、俺は初めてでした。

イヴ：俺は久々だったんですけど、結構受け取ってもらえて。興味なさそうなオジサンとかも、もらってくれたよね。

シン：ライヴ会場は初めて見るような大きさで。1万人ぐらい入るよね。

零乃：デカすぎる体育館みたいなね。

—正直、気後れしなかったですか!?

怜我：それが、不思議となかったんです。

シン：海外だからなのか、別次元な感じもして、気後れすることなく、ステージに上がりました。

イヴ：反応もすごく良かったし。

シン：最前列にいた仕事帰りのサラリーマンみたいな人も、ノリが良くて。

怜我：PVが流れた後とか曲が終わった後に、〝ヴィヴィド、ヴィヴィド〟って、歓声がすごかったしね。

零乃：聴かせるような曲でも、みんなジャンプして盛り上がってくれるんですよ。

シン：♪会いたくて〜会いたくて〜♪って、「PRECIOUS」の歌詞を日本

—それ、すごいじゃないですか！

Ko-ki：初日のトップバッターなのに、いきなりアンコールしてもらったし。

怜我：演奏中って爆音じゃないですか。でも、誰かが手を上げただけで、〝キャー！〟っていう歓声が爆音を上回って聴こえてくるんで…ビックリしました。

零乃：ギターソロを弾くとき、前に出た瞬間に〝フゥー！〟って。おかげで、ギターヒーロー気分になれましたもん。

Ko-ki：カメラマンさんもアツかったし。たぶん現地の人なんですけど、俺が髪を結んでたら、サムライみたいな感じでウケが良くて。カメラに向けてニカって笑ったら超喜んで、普通はいろんなメンバーを撮るのに、10分ぐらい、ずっと俺のことだけ撮ってましたからね。

零乃：街行く人も含めて、みんなノリが良すぎるよね。

—ということは、初海外にして、結構居心地良かったんじゃないですか？

零乃：ホント、最高でしたね。

シン：うん、すごく良かったですよ。ただ、途中から米が食べたくなって。

Ko-ki：確かに米は恋しかった！

シン：俺とイヴは、途中からパンが怖くなっちゃって（笑）。

—それこそ、フランスパンの登場頻度は高かったですか。

シン：しかも、ケガさせられそうなぐらい、硬いんですよ。

怜我：俺は最終日の朝、まだパンが食べ足りなくて、持って帰ってましたけど。

零乃：やっぱり、美味しいもんね。でも、現地の人はホントにリュックサックとかに挿して歩いてるんですよ、普通に。

イヴ：俺は帰りの飛行機で、唐揚げ弁当をやっと食べられて嬉しかったですけど。

シン：あれさ…マズくなかった!?

イヴ：いや、お米も唐揚げも、クオリティ的には相当低いと思うんだけど久しぶりだったから、超美味しく感じ

Ko-ki：俺とイヴのテンションはヤバかったよね。だいぶ前の列で配膳してるのに、〝（唐揚げの）Aセット！Aセット！〟って騒いでて。そのぐらい、日本食には飢えてました。

—日本人なら、やっぱりお米で

ところで、さっき言ってたコンファレンスは、どんな雰囲気だったんです

蝴蝶网
hudie.com

けど、椅子に座りきれなくて、立ち見の人もいて。コンファレンスもアツかったですよ。

**Ko-ki**：『プリズン・ブレイク』の主役みたいなイカつい男の人もいたよね。

**シン**：質問コーナーに参加してくれたんだけど…ずっと眉間にシワ寄ってたよね（笑）。

**零乃**：でも〝どうやって曲を作っているんだ？〟とか、聞いてくれて。

――ミーハーな質問はなかったですか。

**シン**：そうなんですよ。バンド内で零乃が〝ロマン〟って呼ばれてるっていうことをジャパニーズジョークで言ったら、そんなこと聞いてないよみたいな感じでスルーされたし（笑）。

**怜我**：誰一人笑ってなかったもんね。

**零乃**：でも、音楽のこととか、歌詞のこととか、すごく真面目に聞いてくれたから、ビックリしたし、嬉しかったですよ。

――撮影をしていても、やはり街の人は食いついてくるわけですか。

**零乃**：パリ市内で撮ったんですけど、通りかかる人全員が声をかけてきますね。

**怜我**：カメラマンの隣にピッタリついて見てる人とかいたもんね。

――そういう現地の人と、もっとも交流できていた人を挙げるなら？

**シン**：Ko-kiは頑張ってましたよ。

**Ko-ki**：必死に勉強していきましたからね。内容が伝わるぐらいにはしゃべれるようになったんですけど、帰ってきた言葉がさっぱり解らなくて。テンションで乗り切ってました。

**怜我**：ホントさ、スゲー適当だったよね。

**Ko-ki**：ははは、うん。でも、通訳さんに聞きまくって、現地で覚えました。

――何しろ、日本ではできない経験をできたわけで、それが今後の活動に良い形でフィードバックされたらいいですよね。

**シン**：日本に帰ってきてからライヴがすぐあったんですけど、何を言われても、会場がどんな空気でも、自分は自分らしくやればいいんだ、って思えて。度胸はついたよね。

**Ko-ki**：言葉も通じない中で、サウンドチェックもしたしね。

**零乃**：初日なんか、45分のリハーサルことで、一致団結して良いライヴができたし。

**怜我**：やるしかないもんね。床が滑り過ぎて大変だったりもしたけど、なんとか乗り越えたし。

**零乃**：そうそう。だから、殻を破った感覚はしっかりあります。

**イヴ**：ステージが広かったから、8月8日の渋谷AXの予行演習になったし。

**Ko-ki**：確かに、広いところのほうが得意かなって思いました。

**零乃**：ノビノビと自分たちを出せる気はするんで。楽しみですよ。

――こちらも楽しみにしております。さて、リズム隊、ギター隊、シンさんの3回に分けて、先月までViViDを解剖してきたのですが…お互い、改めて感じたこともあったのではないかなと。

**イヴ**：俺とKo-kiの2人でやってたことが、ViViDの始まりでもあるし…懐かしい気持ちになったよね。

**Ko-ki**：確かに。俺とイヴの出会いとか、ViViDの始まりを知らない人もいたと思うから、それをあらためて話せて良かったし。

**零乃**：普段、怜我とは暗黙の了解な部分もあるんで、インタヴューを通して再確認できたりしたし。自分の気持ちも、口に出すことで解ったし。

**怜我**：それは俺にも言えることです。

**シン**：イヴとKo-kiはポップでカワイかったし、零乃と怜我は着物姿が絵になってたし。いつもの雰囲気とガラっと違って、いいなと思いましたよ。

**零乃**：シンのヌードも、すごくカッコイイなと思った。セクシーだし。

**怜我**：スイッチ入ると、すごい良い顔するからね。

**イヴ**：その日に向かっている彼が…輝いてました。

**Ko-ki**：ホント、それぞれ、良い企画になったよね。

**シン**：ま、次に向けての構想もいろいろあるんで…よろしくお願いしますっ。

**怜我**：リズム隊とギター隊それぞれ好きなセンスとか系統が近いけど、それを崩していったら、また面白そうな気もするし。たとえば、Ko-kiと俺、零乃、イヴと俺とか、Ko-kiとイヴと零乃とか。いずれ、やってみたいです。

**イヴ**：いいね。それ、俺も見てみたい！

(問)PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福3-41-9-2F
http://www.indie-psc.com/vivid/

蝴蝶网
hude.com

# 少女-ロリヰタ-23区

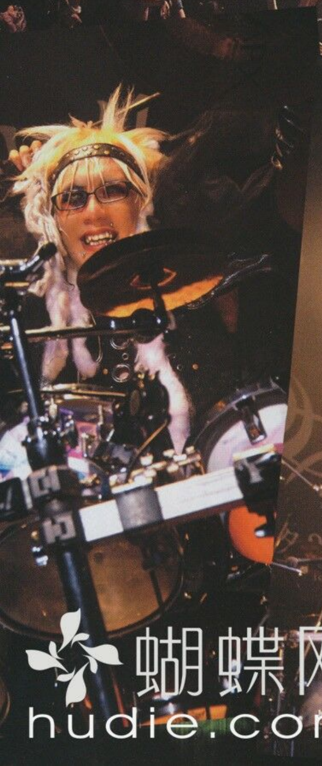
## lolita 23q

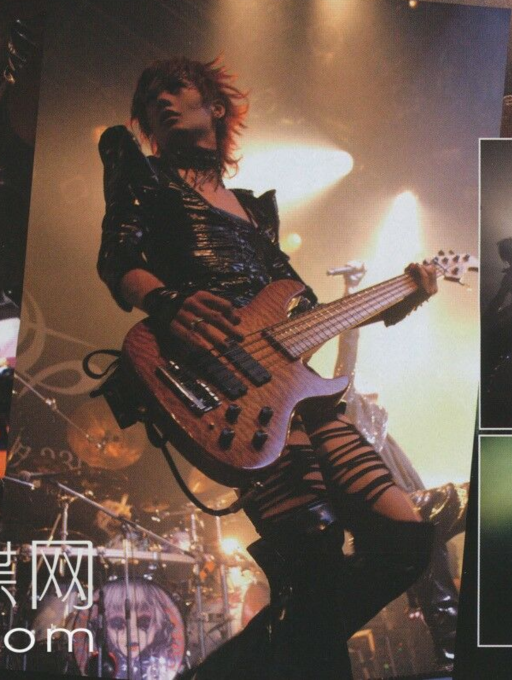
メトロリヰタディスプレヰショウ
・少女首都幾何学展＿2010

ve at 渋谷O-WEST 2010.7.23

25日、新体制となってから初めての音源となる帯次元区域ミネルヴァ』をリリースする、少女-ロヰタ-23区。一見、順調そうに見える彼らの活動状だが、ここに行き着くまでは、相当の困難があったようだ。ここでは、新体制となってからのライヴ2の様子に加え、メンバーの赤裸々な想いを含めつつ復活に至るまでを追った。

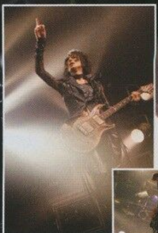
t: ERI MIZUTANI

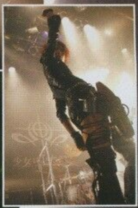


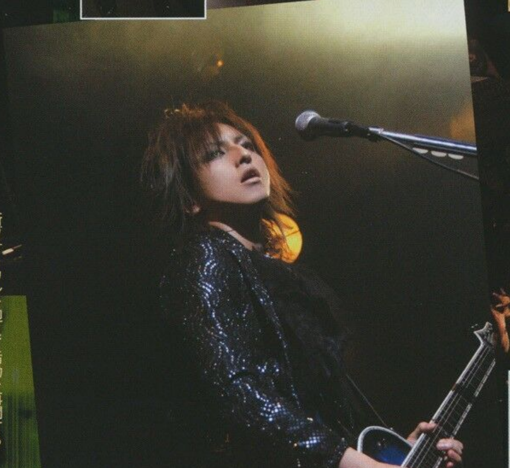


蝴蝶网
hudie.com

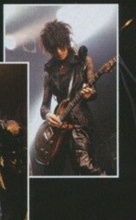
蝴蝶网
hudie.com







【SET LIST】
1,螺子時計リビドゥー
2,スーパーノヴァ
3,Red Room
4,黎明-reimei-
5,FLASH BURN
6,球体幾何学遊戯
7,未完成サファイア
～BAN Time～
8,銀河ノ翼
-GALACTIC WING
9,Pheromone Che
10,lost minerva
11,Carnival of JUL
EN1,睡-スイレン-蓮
EN2,ジェノセシス



新ヴォーカルを迎えて活動を再開するまでの7ヶ月間、彼らの苦悩は我々が想像する以上に過酷だったはずだ。リーダーのリョヲ丞は言う。〝一時期、自分の信じていた音楽というものが、まるでアウトプットできていなかった時期がある〟と。いつも元気印の彼からそんな発言が出るとは夢にも思わなかった。

ロリ犱タは結成された当初、【リョヲ丞のバンド】と言われていた。それは、良くも悪くも…といった感じだが、それほどまでに、彼の作り出す世界観は独創性に長けていた。だからこそ、メンバーはついていこうと決めたのだろうし、ファンだってそう。しかし、皮肉にもそのことが、後に、彼に大きなプレッシャーとなって伸し掛かってくるのである。

〝前ヴォーカルが抜けたいと言ってきたとき、自分の描き出す世界観が全否定されてしまったように感じられたんです。本来の俺というのは、見た目とは裏腹に、孤独で。だから、ポジティブな自分とのバランスが保てなくなったとき、音楽から逃げ出したいと思ってしまったんです。自分を最大限に表現できる場所は音楽なのに、自分の気持ちに嘘を付いて【リョヲ丞】というものを表現しているような気がしてしまって…。そんなとき、他のメンバーが、続きどうしていく？ と、気軽に声をかけてくれたんですよね。そこで、不安になっていた心がスッと晴れて。あぁ、俺はロリ犱タを続けていっていいんだと思ったんです。そこで不思議と、闘志が湧いてきたんですよね〟

待っていてくれるファンがいるにせよ、ヴォーカルを変更すれば賛否両論出てくるのは当然のこと。その葛藤を、リョヲ丞は1人で抱え込んでしまったのだ。そんな想いを逸早く察したのは、ユ≠キ。ロリ犱タ随一の寡黙人間である彼から〝理屈じゃなく続けていきたい〟と言われたとき、どれほど救われたことだろう。もちろん、この意見に、龍兎とBANも賛同、ロリ犱タは再開に向けて走り出した。そんな中、巡り会ったのが、新ヴォーカルの総史(そうし)。初めて会ったとき、それはきっと、総史だって同じだったはず。〝俺でなければだめなんじゃないか〟と。そうして、ロリ犱タは、見事、復活を遂げた。

6月9日、新体制となって初めてのライヴが行われた。イベントの最後を締めくくるという華やかな再スタート。当日共演した仲間たちの協力もあって、ライヴは大成功に終わった。正直、このライヴを見るまでは新体制となったロリ犱タが不安でもあった。メロディを活かしているバンドだからこそ、ヴォーカルが変わってしまったら受け入れてもらえないのではないかと。しかし、そんな心配は杞憂に終わった。総史の張りのある歌声は、まだ荒削りながらも、気持ちの面で充分に伝わってきたし、また、それを支えるようにして楽器陣が全力でステージングに挑んでいる姿は、見ていて清々しくもあった。【リョヲ丞のバンド】から、総史・龍兎・ユ≠キ・リョヲ丞・BANが横一列に並んだ、【みんなのバンド】へと変化した瞬間でもあったのだから。

だからこそ、7月23日に行われたワンマン公演『真・少女首都幾何学展2010』は、観客全員の心を打つものになったのだ。ここで、メンバー1人でも気持ちが欠けていたら、ここまで感動的なライヴにはならなかったはず。「螺子時計リビドゥー」や「睡-スイレン-蓮の部屋」といった過去の曲を含め、全13曲を演奏したこの公演。途中、不安が安堵に変わったのか、感極まって涙をこぼした総史には、会場からは大きな拍手が贈られた。言葉よりも、最高の贈り物。その場面に、何だかこちらの目頭も熱くなってしまった。

印象的な場面は多々あったのだが、中でも、新体制になってから出来上がった曲が演奏されたときは格別で、素直に、音が鳴った瞬間に良いと思えた。「FLASH BURN」「球体幾何学遊戯」「銀河ノ翼-GALACTIC WING-」「lost minerva」、そのどれもが心地よく、最初は緊張のせいか動きが固かったメンバーも、ここでは生き生きと動いていたのである。〝ロリ犱タの新しい歴史を一緒に作っていきましょう！〟その言葉とともに、ライヴは締めくくられた。ここから更に羽ばたくことを決めた5人。それだけに、忘れられない一日となったことだろう。

制始動 First Mini Album『星帯次元区域ミネルヴァ』

10.8.25 (wed) on sale ¥2,800 (tax in) / TTTL-10001

銀河ノ翼 -GALACTIC WING- 2. FLASH BURN 3. ALICE in downward 4. 此処に或るカナン 5. 球体幾何学遊戯 6. lost minerva

銀河ノ翼 -GALACTIC WING- 2. -新生ロリキタの軌跡- Special Making Movie

帯次元区域ミネルヴァ』ご購入者様対象インストアイベント開催。詳細はWebにて。official web site: http://www.lolita-23q.com

um『星帯次元区域ミネルヴァ』の着うた® / 着うたフル® / RBT(待ちうた) / ビデオクリップを配信開始。こちらのQRコードよりダウンロードできます。

ochoku.com/…riitanijyuusanku/ [料金] ■着うた® / 100円(税別) ■着うたフル® / 300円(税別) ■RBT / 100円(税別) ■ビデオクリップ… 400円(税別)

蝴蝶网 hudie.com

感動をもう一度… 2010.7.23 渋谷O-WEST 新体制始動 First Oneman Showをおしみなく収録!!

DVD『真・少女首都幾何学展 2010 ～シンメトロリキタディスプレキショウ～』9/23 柏 PALOOZA～ライブ会場+通販限定にて発売決定!!

[INFORMATION] 〒108-0074 港区高輪3-4-13-5F「Twenty Three Tribe」

蝴蝶网
hudie.com

# 新生少女-ロリホタ-23区 初の全国ワンマンツアー

『星帯次元区域ミネルヴァ』発売記念 ONEMAN CIRCUIT "Real of【Miner

**09/23 (thu) 柏 PALOOZA**
Open 17:30 / Start 18:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-141) / Lコード(L:72359) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-9999

**09/25 (sat) F.A.D YOKOHAMA**
Open 17:30 / Start 18:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-141) / Lコード(L:72366) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-9999

**09/28 (tue) 岡山 IMAGE**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:114-946) / Lコード(L:69900) / http://eplus.jp / (問)夢番地岡山 086-231-3531

**09/29 (wed) 大阪 Shangri-La**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:114-443) / Lコード(L:55147) / http://eplus.jp / (問)夢番地大阪 06-6341-3525

**10/01 (fri) 名古屋 ell.FITS ALL**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:114-493) / Lコード(L:45776) / http://eplus.jp / (問)ジェイルハウス 052-936-6041

**10/03 (sun) HEAVEN'S ROCK さいたま新都心**
Open 17:30 / Start 18:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-363) / Lコード(L:72372) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-999

**10/07 (thu) 仙台 HOOK**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-346) / Lコード(L:28032) / http://eplus.jp / (問)GIP 022-222-9999

**10/09 (sat) 水戸 ライトハウス**
Open 17:30 / Start 18:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-363) / Lコード(L:72374) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-999

**10/13 (wed) 高田馬場 AREA**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-363) / Lコード(L:72378) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-999

**10/14 (thu) 高田馬場 AREA**
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,500 / 当日 ¥4,000
★チケット販売... チケットぴあ(P:115-363) / Lコード(L:72378) / http://eplus.jp / (問)H.I.P. 03-3475-999

蝴蝶网
hudie.com
Anniversary
Sadie
ニューシングル3タイトル連続リリース!!
2010.09.29 in store
「クライモア」
限定盤:XQGM-91007(MRS-0034)2曲+PV(DVD)¥1,890(tax in)/初回盤:XQGM-1007(MRS-0035)3曲 ¥1,575(tax in)
発売元:株式会社フェイスミュージック 販売元:バウンディー株式会社
第2弾11.03 in store
第3弾12.15 in store
Lord Camelot. ARIA FERNANDES Majestic Records FACE MUSIC
Infomation : FACE MUSIC Co.,Ltd 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27-506 TEL06-6543-3338 FAX06-6543-1203 www.facemusic.jp

30カ所32公演ツアー決定!!

## シングル3タイトル発売記念 tour2010

# 「Deep.impact」

10月01日(金) 京都MUSE Open 18:30 / Start 19:00
10月02日(土) 神戸VARIT. Open 18:00 / Start 18:30
10月08日(金) HEAVEN'S ROCK 熊谷VJ-1 Open 18:30 / Start 19:00
10月09日(土) 横浜BAYSIS Open 18:00 / Start 18:30
10月11日(月) HEAVEN'S ROCK さいたま新都心VJ-3 Open 17:30 / Start 18:00
10月16日(土) 滋賀U★STONE Open 17:30 / Start 18:00
10月23日(土) 札幌KRAPS HALL Open 18:00 / Start 18:30
10月24日(日) 札幌KRAPS HALL Open 17:30 / Start 18:00
10月27日(水) 青森QUARTER Open 18:30 / Start 19:00
10月28日(木) 盛岡club Change WAVE Open 18:30 / Start 19:00
10月29日(金) 山形ミュージック昭和セッション Open 18:30 / Start 19:00
10月31日(日) 仙台CLUB JUNK BOX Open 17:30 / Start 18:00
11月03日(水) 柏PALOOZA Open 17:30 / Start 18:00
11月04日(木) 新横浜サンフォニックスホール Open 18:30 / Start 19:00
11月06日(土) 浜松FORCE Open 18:00 / Start 18:30
11月07日(日) 岐阜club-G Open 17:30 / Start 18:00
11月10日(水) 広島ナミキジャンクション Open 18:30 / Start 19:00
11月12日(金) 岡山IMAGE Open 18:30 / Start 19:00
11月13日(土) 米子AZTiC laughs 旧 米子ベリエ Open 18:00 / Start 18:30
11月20日(土) 長野CLUB JUNK BOX Open 18:00 / Start 18:30
11月21日(日) 金沢AZ Open 17:30 / Start 18:00
11月23日(火) 新潟CLUB JUNK BOX Open 17:30 / Start 18:00
11月27日(土) 沖縄 桜坂セントラル Open 17:30 / Start 18:00
12月03日(金) 高知X-pt. Open 18:30 / Start 19:00
12月04日(土) 松山サロンキティ Open 18:00 / Start 18:30
12月08日(水) 鹿児島SR HALL Open 18:30 / Start 19:00
12月09日(木) 熊本DRUM Be-9 V2 Open 18:30 / Start 19:00
12月11日(土) 福岡DRUM SON Open 18:00 / Start 18:30
12月12日(日) 福岡DRUM SON Open 17:30 / Start 18:00
12月22日(水) 大阪BIG CAT Open 18:00 / Start 19:00
12月25日(土) 名古屋E.L.L Open 17:30 / Start 18:30

前売¥3,800 (D別)
※11月27日(土) 沖縄 桜坂セントラルの詳細はオフィシャルH.Pまで。

Tour Final

## 12月29日(水) 新木場STUDIO COAST

Open 16:00 / Start 17:00前売¥4,300 (D別)

(赤はワンマン公演となります。それ以外の公演は2マン公演になります。)

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

# heidi.

## heidi.にしか出来ない雰囲気満載のシングル『∞ループ』!!

年5月26日。heidi.は、テレビアニメ『会長はメイド様！』のエンディングテーマであった「予感」でメジャー・シーンに羽ばたいた。メジャー・デビューかのツアーでは、各地でしっかりと手応えを感じてきたという彼ら
た彼らが8月25日、早くもメジャー 2作目となるシングル『∞ループ』をリリースする。タイトル曲は、同テレビアニメの新エンディングテーマとなる。

Interview:NAOKO TAKEICHI

### まずいても開き直ればいいし、
### れでまたつまずいたらまた開き直ればいいじゃん

**――メジャー・デビュー後、初のツアーはどうだった？**

**ナオ**：臨む気持ちとかはいつもと一緒でしたけど、今回はアンコールの時にリーダーを替えようっていう試みの投票を行なって、それが気持ちを新たにしてくれたのもあって、ライヴはもちろん、今までのツアーとは少し違ってたかなと。〝ライヴに来たら、こんな楽しみ方も出来ますよ〟みたいな、ひとつの実験も出来たし。

**――そもそも、〝リーダー総選挙〟って？**

**コースケ**：単純に、メジャー・デビューだからリーダーを替えてもいいかなと（笑）。

**ナオ**：替えてもいいかなって言われてる俺はどうなんだ⁉っていうね（笑）。

**一同**：（笑）

**コースケ**：政治もそうですけど、国民に問うのが基本でしょ？　だから、ファンに問うことにしたんです。

**義彦**：そしたら俺は、完敗でしたね（笑）。

**桐**：間違いなかったんだよ（笑）。

**ナオ**：んなもん、（他のメンバーが）勝てるわけがないんですよって（笑）。［ここで獲得票数が再び発表される］

**コースケ**：ね。ぶっちぎられたでしょ。

**――うわっ。桐ちゃん、少なっ。**

**一同**：（笑）

**コースケ**：ガチでヘコんでたよ（笑）。

**桐**：（寂しそうな目をして）大敗でしょ。もうちょっといくかなと思ったんですけどね……相当望まれてないと（笑）。

**義彦**：桐ちゃんはムードメーカーだから。

**桐**：ありがと。前向きに行こっ！（笑）

**――heidi.のライヴって、安定していて、いつ観てもハズレがないよね。**

**ナオ**：でも、意外性がなかったかもしれなかったから、そういう意味では今回で幅が広がったのかも。

**コースケ**：今までは、どこか優等生すぎたのかなってとこがあったからね。ライヴならではの引き出しを増やせて良かったですね。

**――そうだね。ところで、8月25日にはシングルが出るわけですが。**

**ナオ**：タイアップの話がある前から曲も歌詞もあったんですけど、先方が〝この曲がいい〟って言ってくれて。歌詞も、〝詞がアニメの内容と合ってる〟って言われてそのままいきましたね。

ういう感じなんだ"っていうのもありつつ。派手にするのとも違うと思ったんで、しっかり土台を作る4つ打ちを叩きました。

**――桐ちゃんのドラムからイントロが始まり、そこから一気にバンド感が増す。**

**桐**：バンド感だったり、ライヴが見えるような感じを意識しましたね。

**――音色とかはあとからイジったの？ 間奏後のラジオヴォイスっぽいところとか。そういうアレンジ面とかは？**

**ナオ**：流れっていうか、曲が出来ちゃえば、その曲の最終段階までイメージ出来ちゃうんで、ここはこうしたいっていうのが始めから明確にあって。でもそこの部分は、テレビでは流れてないところなんで。ぜひ、買っていただいてね（笑）。

**――素晴しいプロモーショントーク！ 買わなきゃ聴けないぞ、みたいなね。**

**義彦**：そう。後半がまた面白いですから。

**ナオ**：歌詞は、ちょっと開き直ってる感じ。つまずいても開き直ればいいし、開き直ってまたつまずいたらまた開き直ればいいじゃんって。そういう繰り返し。それで、"ループ"にしたんです。アニメに出てくる、人間ぽくない完璧な男の子を見てたら、この子にも当てはまるんじゃないかなって思うようになって。それも（テーマ曲として）選んでもらったひとつの理由でもあるのかなって思ったりもしますね。

**義彦**：この歌は、自分の中では、ちょっと懐かしいheidi.でしたね。何も考えずに感情だけで歌うというか。自分で言うのもアレですけど、得意な感じでしたね。自分をすごい出せるメロディでした。歌詞もナオくんの言う、人間臭いというか、切なさもありつつ、全然歌に関しては苦労なく。いい雰囲気で録れたんじゃないかなと思ってます。

**コースケ**：俺は、最初に聴いた時から、"heidi.キタ――！"って思いましたね。これはたぶん、heidi.にしか出来ないんじゃないかなって。心にきましたね。でもベース自体は、ここ最近の曲でいちばん大変でした。このノリと、リズム隊がちゃんとしていないとどうしようもない曲だから。でも、そこもちゃんと表現できたと思ってます。

**桐**：ドラムは、途中で場面がガラっと変中にもあったので、気持ちよく叩けましたね。

**――2曲目の「霞」は、イントロから歌メロへの切り替えがすごく特徴的。**

**ナオ**：まさに。そこがやりたくて作った曲だったと言っても過言ではないですね。歌なかは、ちょっとゆるくて、ほんわかした曲が書きたいなあと思って。安心して聴けるような曲に、ギャップのあるイントロをつけてあげたかったんです。

**――バンドをやり始めたコがコピーしたくなる感じの曲だった。**

**コースケ**：青春ロック感は感じますね。だから俺はこのベースは、アコギ弾いてる感覚で弾きましたね。空気として青臭さみたいなのが出ればいいのかなって。

**桐**：僕は、フレーズをつけるのにすごい苦労した曲でしたね。メロディの展開とドラムの合わせ方が難しかったです。

**義彦**：歌詞は、メンバーと相談して、"青春"がいちばんハマるんじゃないかってことになって、全部が実話でもないんですけど、田舎に住んでる子供の頃のほうが合うかなって思って書いた歌詞でした。

**コースケ**：深いっす、この歌詞。歌詞が上がってきた時、俺、よっしー（義彦）のこと褒めちゃいましたもん。

**義彦**：褒められました（笑）。昔のアルバムとか見て、こんな子いたなぁって、当時が鮮明に蘇って急に切なくなったり。

**桐**：本気で苦しいんじゃないけど、サラっと胸が苦しくなる感じだよね。

**コースケ**：うそっ。俺、本気で苦しくなったんだけど！（笑）

**桐**：ま。人それぞれですね（笑）。

**ナオ**：俺も田舎育ちなんで、そういう郷愁感というか、空気感とか、臭いとかは伝わってきやすい素敵な歌詞だなと思いましたね。"深イイ曲"になりました！

**――ナオさん、今日上手いね！ そして、「ペイン」は"ペイン"っぽい曲だよね！**

**コースケ**：俺も、タイトル激ハマリじゃん！と思いましたよ。すごくストレートで、ライヴでずっと拳を上げてられるような曲にならないかなと思って作った曲です。テーマ的には"悪く"でしたからね（笑）。

**桐**：何度もテイクを重ねる感じじゃなく、

すね。最初は、これでいいのかな？ぐらいにシンプルだったんですけど、気がついたら、このシングルの中でもギターがいちばん乗ってるっていう。でもその、ごってり感はあんまり出てないからいいかなと。

**義彦**：歌詞の面ではコーくんと相談して、孤独だったり絶望感だったりってとこをテーマにしましたね。コーくんに"ハッピーエンドにしなくてもいいよ"って言われてたんで、ひとりぼっちで、これ以上苦しんだら何か得るものがあるのか？っていう曖昧さで終わらせたんです。曲が攻撃的で、声が枯れてても成立する勢いがあったんで、思いっきり枯れてもいいやくらいの勢いで歌いました。

**――桐ちゃん曲の「ティス」は？**

**桐**：その当時、いろいろ曲を持ってきてたんですけど、その中で自分的にいちばんシンプルでクセがないかなっていうのが、逆にクセになってて。だから、すごくシンプルにいけばいいかなっていう曲になりましたね。今までのheidi.にありそうでない明るさだったから。

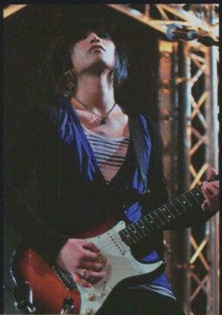
**コースケ**：最初に聴いた時は、すっごい甘酸っぱかった。それで高校生みたいなベースを弾きたいなって思って、そういう気持ちで弾いたんです。

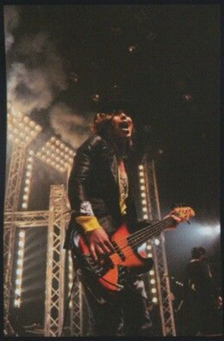
**――Bメロのベースの歌との絡みとか、すごい良かった。**

**コースケ**：あのへんも歌を聴いた瞬間に、こんな感じかなと思いついたままやりましたね。甘酸っぱさに乗っかろうかなと。

**ナオ**：スカッとして、カラッとしてる印象でしたね。桐さんのデモはすごい作り込んでくるんで、だからそのイメージをあんまり壊さないようにギターを弾きましたね。最初に曲を聴いた時のイメージのような曲に、ちゃんと仕上がったなあって思いましたね。

**義彦**：歌詞は、自分のことも入れつつ、メッセージ性のある歌詞を書きたいなと思って。日々、ちょっとしたところに大切なモノが転がっているよっていう内容です。歌は「ペイン」とは違うストレートさがあって、特にサビとかは、素直に伝えたほうが伝わる曲だと思ったんで、全体に結構ヒネらずに歌いましたね。そんな想いが、ストレートに伝わってくれたら嬉しいなと思います。





## Live Tour 2010【-予感-】FINA

### 2010.7.18 AKASAKA BL

Report: RINGO A

とリーダー交代"総選挙"を裏（表？・）テーマに掲げて行なわれるという、heidi.史上初の試みを伴ったものとなった。6月4日より始まったこのツアーの各地で、メンバーそれぞれが遊説してきたというのだが…果たして、その結果やいかに!?

"最高の1日にしようぜ！"と義彦が第一声、「白昼夢」でライヴ・スタート。一斉に拳を振り上げ、ジャンプするオーディエンス。ツアーの成果か、サウンドがずっしりとした印象で身体に響いてくる。義彦の声も、パフォーマンスと共にしなやかだ。初っ端からメンバーが笑顔で煽れば、4曲立て続けた後の「蜃気楼」では、フロアに早くもモッシュの渦が沸き起こる。

ピアノ・サウンドがheidi.のライヴに新たな雰囲気を吹き込んだ「微」。いきなり曲が止まるというハプニングがありつつも、義彦らしい言葉で難なく回

小気味よいリズムの曲から一転[illegible]声」「ディープ」「その行方。」と[illegible]タルジックな空気に染め変える[illegible]つ重厚さが生み出す、曲間での[illegible]た緊張感は、heidi.のラ[illegible]らこそ感じられるもの。しかし[illegible]な"らしさ"もあれば、全員が[illegible]なって楽しめるステージもまた[illegible]i.らしさ。本編ラスト「パレ[illegible]は、手拍子で盛り立てるオーディエンスに、歌詞に合わせて一人ひとりを[illegible]ながら笑顔を見せる義彦。さわ[illegible]を残して本編は終了となった。

アンコールではいよいよ、"総選挙"の結果発表。予想通りというべきか、ダントツの得票数でナオが当選。第2期（？）ナオ政権となったこれからのheidi.は…まずは待望のフル・アルバムを10月にリリース。メジャー1st作品となるだけに期待は募るが…詳しくは次号にて！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# DOG in The パラレルワールドオーケストラ

**――9月15日に『青空晴レーション』を、10月20日には『POCKET★ROCKET』を、と、2ヶ月連続でシングル発売が決定。その狙いが気になります。**

**春**：これまでも、点と点を結び、線にしていく活動はしてきましたけど、細かい点を長い線にしていく活動を、もっともっと数多く描いていこう、と。それこそ、1年や2年先のDOG in The パラレルワールドオーケストラ（以下DOG）像を見据えた太く長い線を作りたかった。その新たなスタートラインを引くために掲げたのが、2ヶ月連続リリースであり、その後に続く、11月27日・渋谷WOMBでのワンマン・ライヴなんです。

**――と言うことは、今回は〝長い線となる活動〟の序盤の動きになるわけだ。**

**春**：そうしていくつもりです。そうやって長い線を描こうと思ったのも、活動を始めてから1年チョイという短い期間とはいえ、ようやく自分たちの中でも〝DOGらしさ〟をきちんと理解して、それを大勢の人たちに伝えていけるスタートラインに立てた実感があったからなんです。その〝らしい姿〟を描くにあたって、1枚のシングルに一気に入れていくよりは、いろいろな表現が出来る2枚のシングルで、しっかり提示しようと思いました。

**――『青空晴レーション』の表題曲になった「青空ハレーション」を聴いた瞬間、〝おっ、DOGらしいな！〟と、すぐに反応しちゃいました。作曲したのは準々ですが、どうDOGらしくしていくかというところは、メンバーといろいろと話をしたのでしょうか!?**

**準々**：魂レベルで……音楽って、言葉じゃなく、音として繋がっていれば、自然と会話は成立していくので。

**ミズキ**：ウチら、魂で語り合うバンドなんで、余計な会話は不要なんです。

**――準々が「青空ハレーション」を作る際に心がけたことも、教えてください。**

**準々**：これまでのDOGが作ってきた曲たちの、オイシイとこ取りをした曲みたいな感じです。ライヴでももうやってますけど、初めて聴いた人でも、すごい盛り上がってくれてます。

**メイ**：まだまだ短い期間とはいえ、4人でたくさんの曲作りをしてきたおかげか、メンバーそれぞれに〝このバンドの中で、こう表現したら自分らしさを出していける〟というコツみたいなものを掴めるようになったんですよね。DOGは、いろんな曲調を出してますけど、どんな曲が出て来ても、〝らしく〟仕上げていけるのも、全員〝自分らしさ〟の出し方が分かっているからなんです。それがしっかり音へ滲み出ているからこそ、どんな曲をやっても、〝DOGらしいよね〟と言ってもらえる仕上がりになっているんだと思います。

**春**：そうだね。〝DOGらしくやろう〟じゃなく、全員が〝自分らしさを出していけば、それがDOGになる〟ことを分かってやっている。その上で、タイトル曲に関しては、〝ポップなのに熱く騒げて、だけどちょっと切なさもあって、つい泣けてしまう〟という要素を入れていったから。

**――DOGの場合、けっこう毒舌噛ました詞世界を綴ることも多いですが、「青空ハレーション」には、爽やかで真っ直ぐな想いを書きましたね？**

**春**：今回の歌詞は、優しく頬を撫でるような。この歌では噛みつくことなく。まして、ディープキスをするわけでもない。あくまでも、フレンチキス…タンバリンキスをするような、爽やかな感覚で歌詞を書きました。

**――前向きな歌詞の内容とはいえ、けっして能天気にハジけたわけではなく、心の中へ、いろんな葛藤する想いを抱きながらも、前を向いている感じですよね。**

**春**：基本、自分自身の性格が暗いんで、〝この歌を聴いたら君は幸せになれるよ〟みたいな感覚って、自分の中には絶対にないんです。あくまでも、〝○○だったらいいな〟〝●●になることを願っている〟という願望を、嘘偽りなく僕は書いています。「青空ハレーション」は、〝空〟をテーマにした歌詞。ちょっと気持ちがヘコんでいる人、明日の自分に少しの不安を覚えている人、悲しい気持ちを背負っている人、この幸せがずっと続くはずがないと心に不安を感じている人、今が幸せすぎて、逆に不安を覚えてしまう人……などなど、同じ空の下で生きてる〝何かしら心に不安な要素を抱えている人〟たちが、この曲に背中を押されて、少しでも

蝴蝶网
hudie.com

## シングル2ヶ月連続第1弾、『青空晴レーション』リリース!!

L to R 春(Vo)、準々(Gt)、ミズキ(Gt)、メイ

# DOGのDOGらしさを、自分たちでも分かってきた

**9月15日に4thシングル『青空晴レーション』を、10月20日には5thシングル『POCKET★ROCKET』をと、2ヶ月連続でのリリースするDOG inTheパラレルワールドオーケストラ。11月27日には、ワンマン・ライヴ"青空ROCKET"を渋谷WOMBで開催。2ヶ月連続取材の第一弾では、『青空晴レーション』の話を中心にお届けします。**

Interview:TOMONORI NAGASAWA

気持ちが楽になってくれたらいいなと。この曲に頼ったり、寄り添ってもらえたらと思って、その想いを書きました。

**メイ**：めちゃポジティヴな歌というよりも、暗いところから明るいところへ気持ちを押し上げていく作品になりました。

**春**：歌詞では《能天気に〜》と歌ってますけど、みんな完全に能天気にはなれないからこそ、こうやって音楽に救いを求めていくんだと思う。本当に能天気で幸せな奴なら、僕らのような音楽に助けをもらう必要性なんてないからね。

**――2曲目には、インディーズ時代に発売、今やすでに幻の作品になっている『-49-』に収録していた『コラン-新約・聖典-』を、新録で収録しました。なぜ、この曲を?**

**春**：ライヴでよく演奏しているという理由が一つ。でも、『-49-』が1000枚限定発売だったので、すでに持ってない人たちが大量発生していて。しかもこの曲は、活動初期に初期衝動のままに作った曲だったので、成長した今の自分たちの姿で表現して、みんなにも手に入りやすいようにしたかった。さらに、ここからまた新しいスタートを切る上でも、〝もう1回初期衝動に戻ろうよ〟〝ここからまた攻めていこうぜ〟って気持ちに、僕らももちろんだけど、聴いてくれる人たちにもそうなってほしくて、この曲を入れました。

**メイ**：ライヴでやっていると、みんなが感動してくれてる曲だから、改めて形にして届けたかったんですよ。

**――こうやって、過去の曲をリメイクしていくって、なんか嬉しいことだよね。**

**春**：これは、準々と一緒にDOGを結成した頃から言ってたことなんだけど、このシーンって、次々と作品をリリースしていく傾向が強いから、だんだん過去の曲をライヴでやらなくなるじゃない。それが嫌で、〝ウチらは、どの曲も全て大事にライヴでやっていこう〟という話を、今でもしているんです。

**――イベントではやれる曲数が限られるから、どうしてもそこは難しくなるんじゃない!?**

**春**：そのためにも、いっぱいワンマンをやれるバンドに、早く成長していきたいですね。もちろん、イベント用のセットリストにしても、〝今の僕らがメインディッシュにしたい曲〟を軸にしながらも、その合間にシングルのカップリング曲だったり、遊び心を発揮した曲、活動初期の曲なども、常に盛り込んでいます。

**メイ**：ウチらがイベントの時に考えているのは、〝どうやったらワンマン状態に持っていけるか!?〟というメニューや演奏のことばかり。

**春**：むしろ、そのイベントをブッ壊すくらいの衝撃を、どう与えてやろうか!?しか考えてないんで(笑)。

**――〝通常盤〟の3曲目には、「Wata雲Rex」を収録しました。**

**春**：大人っぽいバラードというか、かなりアダルティで切ない感じの楽曲になりました。

**準々**：ちょっと渋い感じです。

**春**：この曲を準々が持ってきた時、彼に言われたのが、〝僕自身が一リスナーとして聴きたい曲を作ったので、心を込めて歌ってください〟って。だから僕も、準々の想いに応えるように一生懸命に歌いました。おかげで、自分的にも想い入れの深い楽曲になったからね。

**ミズキ**：「Wata雲Rex」は、すげぇいい曲だよね。俺、涙堪えながら弾いてたからね。

**――〝初回盤〟には、「青空ハレーション」のPVを収録しています。**

**春**：DOGとしては、初のロケ撮影を行ないました。実は、「青空ハレーション」と、次に発売する「POCKET★ROCKET」のPVを同じ日に撮影したんだけど、「青空ハレーション」に関しては、かなりカラフルで愉快な映像に仕上がっていると思います。

**――この号が出る頃には、イベントをガンガンやっている頃。もちろん…。**

**春**：新曲たちも、ライヴではガンガンやっていきますよ。むしろ、お客さんたちと一緒に成長させたいからね。

**準々**：まずはライヴで体感した上で、ぜひ音源を聴いて、その違いを感じてもらいたい。『青空晴レーション』も、続く『POCKET★ROCKET』も、今までのヴィジュアル界の歴史を塗り替える内容に仕上がったし、これを聴かずにヴィジュアル系好きと言ってる人は、完璧にモグリです!(笑)

hudie.com

# B·U·G·L·U·G”
# ーワード·インタビュー!!

曲「メインドインマイン。」が、テレビ神奈川『高校野球ニュー
オープニングテーマ曲となっていたことに合わせ、神奈川
選を連日のように観戦するという“夏”らしく毎日を過ごし
るBugLugの4人。今回は、最新シングル曲に登場する言葉を
した、キーワード·インタビューを敢行。予想以上に、4人の意
素顔が覗けるものとなりました！

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

## BORDER
### “自分”と“BugLug”の境界線は？

**一聖**：自分自身とBugLugの境界線、…ゆる“オン”と“オフ”はないですね。BugLugには等身大の自分を映し出…と思っているので。逆に言え

**燕**：僕は、ステージに立つ前に衣裳を着て、メイクをした瞬間、自分の中でスイッチが入る感覚がありますね。ヴィジュアル系というのは、非日常を描くことも大きな要素なので。“オフ”の状態でステージに立つのは、違う気がするんです。そ

**優**：“BugLugとして”ということは、考えないようにしています。前は、ライヴの時とかにBugLugのメンバーとして、こうあるべき…みたいなことを考えていたんですけど、BugLugは自由なバンドだし、“別にいいじゃ…と思うようになって（笑）。だから

**一樹**：俺も一緒ですね。考え方だったり、在り方だったりというのは、もう常に一貫してて。BugLugだから“オン”になるという部分はなくて、ありのままの自分を出しています。ただ、自分は人前に立つ人間だし、ステージに立つ時とか、表に出る時とかは輝いていたいから、そこは意識しています。

## UNDERCOVER
### 最近自分を悩ませることは？

**燕**：僕の悩みは、“OPP（注：某TV番組で使われた、“お腹ピーピー”の略語）”です（笑）。元々あまり丈夫ではなくて、特に今の季節はヤバいですね。僕は、アイスが大好きで、多い時は1日に10本くらい食べるんです。それで、最近はトイレにこもりきりになることが多くて（笑）。でも、アイスはやめられないという（笑）。それで悩んでいます（笑）。

**一樹**：悩みではないんですけど、大人になるにつれて物事の感じ方は変わっていくじゃないですか。いろんなことを大人になってから経験するのは、もったいないなと思う自分がいます。例えば、20代になってから外国に行くのと10代の頃では、感じ方や吸収のスピードが全然違いますよね。そういうところで、新しいことを経験する機会があったら積極的に経験しようと思っています。

**優**：悩みは、いろいろありますけど…全部小さいことなので。強いて言えば、将来の不安くらいかな（笑）。

**一同**：うわっ、いきなりデカい（笑）。

**優**：でも、深刻に考えてるわけじゃなくて。たまに考えるけど、結局“まぁ、いいや”と思うから（笑）。

**一聖**：朝起きれないことが悩みです（笑）。昔から起きれなかったんですけど、最近はいっそうヒドくなってて。最近は携帯のアラームをフルで10個かけてて、スヌーズ機能も使ってるけど起きれない。これはダメだと思って、目覚し時計のメッチャうるさいヤツも買って。合計11個の目覚ましに囲まれているんですけど、起きないという（笑）。もう、悩みというか、誰かに助けてほしいです（笑）。

## GLOOM
### 考えると憂鬱になってしまうことは？

一聖 Vo

となので（笑）。強いて言えば、電車の乗り換えかな（笑）。あとは、ライヴハウスの人に機材を壊されたみたいなんだけど、それを追求できないこと。エフェクター・ボードが明らかに落下した形跡があって、それ以来調子が悪いんです。でも事実は分からないし、嫌だなと思って。

**燕**：僕は、人混みと満員電車と並ぶことが大嫌いで。渋谷や原宿に服とかを買いに行くのは好きなんですけど、人が多くてイライラしてしまって。都会は苦手ですね。だから東京は憂鬱です（笑）。

**一聖**：僕は、自分の不甲斐なさに落胆することが多いです。例えば、家を出る時にサングラスとリップクリームを探していて、リップクリームが見つかって"あとは、サングラス"と思って探してるうちに、持ってたリップクリームがなくなってて（笑）。"あれ？ さっきあったよな"みたいな（笑）。そういうことが多々あって憂鬱になります（笑）。

**一樹**：考えると憂鬱になるのは、自分のカッコよさが落ちてきた気がすることです（笑）。大人になってきたからだと思うんですけど。俺は、かわいい系が好きなんですよ。動物もそうだし、男性も女性も。でも大人になると、かわいらしさが、なくなってくるじゃないですか。最近は自分のフレッシュ感が少なくなってきてる気がして憂鬱です（笑）。

## LOVE
### 自分に足りない"愛"はなに？

**燕**：ナスとシソです（笑）。その2つは、いつまで経っても克服できなくて。ナスは、あの紫のツヤツヤ感と、中のブヨブヨ感がイラつくんです（笑）。許せないんです、ホントに（笑）。シソは、三つ葉もそうですけど、香りが強い葉っぱ系がダメで。ナスとシソ、三つ葉に対する愛は、一生芽生えないと思う（笑）。

**一樹**：海かな。よく、みんなで海に行こうと言って盛り上がるんですけど、実はそんなに好きじゃない（笑）。小さい頃に海で溺れたことがあって、それ以来海というものに興味がなくなっているんです。海の幸も嫌いだし、そもそも泳げないし（笑）。みんなで海に行く感じは好きだけど、実際に海に入ってみると、"あぁ…"ってなります（笑）。

**一聖**：僕は、虫です。虫だけは許せない（笑）。たまに、街中にゴキブリとかが、いたりするじゃないですか。もう、大声で"うわぁーッ！"と叫んで、かなり遠くまで走って行きますから（笑）。

**燕**：僕は、虫は全然平気なので、虫がいると捕まえて、一聖に向かって放ったりしています（笑）。すごく嫌がるのが面白いので（笑）。

**一聖**：マジ、やめろっっ！（怒）

**優**：俺も虫はダメだ。特に、超速く動くヤツがいるじゃないですか。あれは、マジでヤバい（笑）。俺は、都会に対する愛が薄いかな。東京は楽しい場所だけど、一生住みたいヤダなと思うことも多くて、一生住みたいか（笑）。子供の頃から、そういうことが何度もあって（笑）。ちょっと前もマヨネーズを顔面に噴射したことがあったし（笑）。そういうことが1日に1回は、マストであります（笑）。

**優**：俺は、金の使い方がダメなところかな（笑）。持ってる金は、全部使うタイプなので（笑）。三千円で1週間過ごさないといけないような時とか、そういう時でも俺は呑みに行くんです（笑）。それで、"どうしよう？"ということになったり（笑）。挙句に残った金を増やそう[illegible]んですよね…困るな（笑）。

## UNIQUE
### 自分らしい！と思えること／出来事を一つ！

**一聖**：実は、僕おちゃめというか…極度のドジっ子なんです（笑）。例えば、子供の頃に坂道を自転車で一気に下って、"キキィーー！"と止まってカッコよく決めようとしたことがあったんですね。でも、止まれなくて、そのまま壁に激突してしまって（笑）。カッコよく決めるどころか、みんなに真剣に心配されたりと[illegible]

**一樹**：俺は、一人が好きなところですね。一人で食事するのも平気で、この間も一人でもんじゃ焼きを食べに行きました（笑）。よくテレビとかで、一人で焼肉に行くという人がいると、みんなビックリして"あり得ない！"とか言うじゃないですか。俺の中では、"一人焼肉"は、ちょっと憧れです（笑）。

**燕**：僕は、二日酔いで、前の晩のことを覚えてない時が多くて（笑）。後からみんなに聞くと、大変だったとか、ヒドかっ[illegible]だけど、呑むのは楽しいから、また呑[illegible]でしまうんです（笑）。

一樹 Gt

優 Gt

燕 Ba

# BugLugの本性、現れり!!

## GREED
### 貪欲になってしまうもの／ことは？

**優**：食系ですね。俺は少食なので、一食を大事にしたくて。遠くに美味しい店があると聞いたら、多少無理してでも行くようにしています。

**一樹**：貪欲になってしまうものではないですけど、俺は機械が好きで。家電が好きなんです（笑）。いろんな家電が欲しくなって、ネットとかでいろいろ探し買わないんですけど、その欲しい気持ちを楽しむのが好きです（笑）。

**燕**：貪欲になるのは、服とかかな。あとは、呑み代（笑）。結構、洋服貧乏ですね（笑）。気になる服があると、買ってしまうので。僕は、何でも欲しいと手に入れたくなってしまうタイプで、結構物欲は強いと思います（笑）。

**一聖**：僕は、もう欲のカタマリなので、何にでもガッツリいきたくなりますね。欲しいと思ったものは、絶対手に入れないと気が済まないし。特に、曲を作る時や、バンドで何かをする時というのは本当に貪欲です。趣味ということでは、洋服とか。あと、ディズニーが死ぬほど好きなので、ディズニー関係の情報収集は、誰よりも早くしているし、フィギュアも集めまくっています（笑）。

**優**：フィギュアは、ヤバい（笑）。客観的に見て、高いのは分かっているんですよ。でも、欲しくなってしまって。アニメ系は、12000円くらいが、買おうかどうしようか迷うレベルですね。

**——それ以下だったら…。**

**優**：ほぼ即買いです（笑）。ねっ、金の使い方、ヒドいでしょう（笑）。



hudie.com

# 雫 (TOON-FACTORY)

# 人間力

graphy:MASAKAZU KOBAYASH（SHOXX）
ew:NAOKO TAKEICHI
Make-up:NAZU

蝴蝶网
hudie.com

「って言っても、まだ20年そこそこしか生きてないもん。だから、語れることと少ないよ!! ぐわぁ。無理無理無理無理」

——大丈夫。このインタビューは、何年後かに読み返した時に、雫が恥ずかしくなるためのモノだから。

「だったら尚更遠慮しときます（笑）」

——いやいや、そうおっしゃらずに。まず、俺（雫）とはどういう人なの？

「デリケート。ひとつのことだけ」

——ひとつのことだけ!?

「そう。なんか日本語変だけど、我慢して、慣れてないんだから（笑）。好きなことはとことんやるけど、そうじゃないことには目もくれない。齧ってみようとすら思わない。これってデリケートって言わないのか？　デリケートっていう部分で言えば、自分の置かれてる環境、慣れてる環境やペースを乱されると、もう大変なことになる。何も手につかなくなっちゃう。自分ルールがあって、自己中なんすよ。自分ルールがあって、そこが乱されるともう無理」

——今とか？

「まさにそうかも（笑）。今日特殊な撮影だったから、撮影に慣れるまですっげぇ時間かかって。この表情が出来るようになるまでに2時間かかったからね（苦笑）。でも、この撮影は自分の好きなことの一環だから、3日前から食べ物も野菜だけにして、朝昼と走って、腹筋して、マッサージして、昨日は、岩盤浴とゲルマニウムと、フェイ

……。

「頑張ったんだって（笑）。そういうヤツっす、俺は（笑）。でも、もうちょっと前から挑めば良かったなと。ってかね、俺、自分に厳しくて、相手に優しいタイプなのね。自分が納得しないと嫌なんで。ま、そんな感じっす」

——あ、出た。雫の〝ま、そんな感じっす〟。なんでもそれでシメようとする。

「あ。バレてた（笑）？」

——じゃぁ、生い立ちから聞こうかな。

「生い立ちって、オギャーから？　俺、誕生日非公開なのね。一応、〝4月29日〟ってシズクでしょ。だから、そうなってたりもしてるらしい」

——年齢非公開じゃなくて？　誕生日非公開なの？　何で？

「誕生日ってあんま興味なくない？　だったら、1年の始まりの1月1日の方が意味あんじゃんって思うタイプ」

——え？　この世に生を受けた日だよ！　大事にすべきでしょ。それに、……。

興味あるとか無いの問題じゃない気が

「だって、そんなこと言ったら、誕生日よりも受精した日のが大事でしょ？」

——じゅ、受精……。そう思うなら計算したらいいじゃん。

「受精した日を？ってことは実際の誕生日から3ヶ月前ってことか」

——アホか。人間は3ヶ月じゃ生まれないから！

ことなら知ってんの。ブリーダーだから犬小屋とか超デカかったんで、〝おっす、ポチ〟って、犬小屋に遊びに行ってたっていう。俺、生まれて3日目くらいに40度近い高熱出したらしくて、3ヶ月くらい入院してたらしんだよね。だから、子供の頃から病弱で、なかなか人と遊んだり出来なかったから、犬しか友達居なかったからね。小学校の低学年までは半分くらいしか学校行ってなかったもん。若干、仮病もあったけど（笑）。人付き合いが無理で。俺、絵描きになろうと思ったっすもん」

——え？　ちょっとまって、内向的な性格の話からいきなり絵描きに飛ばないで。

「絵描くの好きで、幼稚園のときとか小学校の頃はずっと絵描いてたんだよね、独りで。ま、ちょっとは友達も居たけど、引きこもりだったからね。で、余計に体が貧弱になってって。んで、ウチの母ちゃんが、こんなんじゃダメだって言うんで、水泳やら野球やら習字やら塾やらいっぱい通わせられて。んで、小学校ん時の先生が友達みたいな先生だったこともあって、頑張って学校行くようになったっていう。やっぱ病気って気持ちからなんだなって、そん時思った。で、中学の頃にいろいろと悪さを覚え（笑）、とはいえ、俺、結構真面目で、一回も遅刻したことなかったんだけど、中学ん時の先生と折り合いが悪くて、それがすげぇ嫌だっ

## 飾らない、そのままの自分で

2ndミニ・アルバム『Heart』をリリースし、メキメキとその人気を上昇させているTOON-FACTORY。SHOXX誌上も人気が急上昇しているということで、今回、不定期特別企画として、パーソナル・インタビューを決行することにまず、トップバッターはこの男。下手ギターの夢叶と共に、メイン・コンポーザーとして、ステージ上手を守るギタリスト・雫だ。雫———、人生初のパーソナル。とくとご覧あれ。

い（笑）」

——高校の頃にバンド始めたんでしょ？

「うん。終わりの頃ね。でも、高校は恋愛してたね。ずっと恋愛してた。でも、ずっと失恋してたけどね」

——惚れっぽいの？

「逆。同じ子に失恋してた。フラれても何回もいくの。気持ち悪いっすよ、俺」

——本当だね。

「ちょっとっ！」

——だって、そういう人嫌だもん。

「あははは。でもしょうがないじゃん、好きなんだもん！　見てたら可愛いから好きになっちゃうじゃん。フラれても、目の前に居たら好きが止められない。だいたいが、高校なんて面白いことなんもなかったから、その子を見るためだけに学校行ってたみたいなもんだからね」

——諦めきれないの？

「いや。俺は諦めるっていう言葉が嫌いで。彼氏を作られたけど、諦めなかったっていう。だから、俺、高校んとき、付き合ったことないっすからね、一回も。ずっとその子が好きだったんで。ま、でも、いいんす。良い思い出っつぅか、まだ今見ても好きになれる自信あるからね。たまに同級生の女友達が、その子と一緒に飲むからって誘ってくれるんすけど、絶対行かないもん。無理。俺、奥手なんで」

編集担当者：よく言うよ（爆笑）。

「あ。爆笑された（笑）。いや、ホント、そうっすよ、案外奥手なんす、恋には（笑）。つか、男ってもんは、ホントに好きな女の子に対しては奥手なもんす。やっぱね、叶った恋は、後は冷めるしかないんすよ。だから、片想いでいた方が良いんすよ。それがあったからこそ、学校行ってたもん。恋が実ってたら、もしかしたら、デキ婚（出来ちゃった結婚）してたかもしんないし。だったら、今の俺は居ない訳で。つまり、昔があって今があるんすよ」

——はぁ。なんか、良い話なのかなんなのか解らなくなってきたけども……。

「まぁね、きっと俺の過去を知ってても面白くないと思うんで、誰かの話する？」

——いやいや。今日は雫のパーソナルだから雫の話しなきゃしょうがないでしょ。

「あ、そう。だって、俺なんて普通の人間だよ。っていうか、もしかしたら

——どんだけ影薄いの（笑）。

「解らん。運転手に聞いてくれ!!」

——あははは。でも、雫にはすごく人間力を感じるけどね。最初に会ったときから、なんかちょっと人と違うオーラを感じたというか。すぐ覚えたからね。

「マジ？　ちょっと嬉しいかも（笑）。なんか、俺らなんて、まだスタート地点に立ってもいないバンドだと思うけど、それでもTOON-FACTORYっていうバンドを好きって言ってくれるファンの子が居て、ライヴが出来て、こうやって取材してもらって、パーソナルなんてもっともっと先の夢だったのに、もう叶っちゃって、なんか、ちょっと嫌なんすよ。恋愛と一緒で、叶わないモノを人間は追い求められる訳で。簡単に叶っちゃう夢はダメだと思ってて。だから、まだ今回のパーソナルは完璧じゃなくても良いかなって思ってたりしてるんすよ。でも、少なからず昔は、芸能人とかバンドとかテレビに写ってる人を見る側だったのに、見られる側にもなったから、少しだけ考え方が変わってきてて。人の裏をすごく見るようになった。〝この人、人前ではこういうこと言ってるけど、本心は違うんだろうな〟とか、〝この人、終わってんな〟とか、その人の見た目だけじゃなく、考え方を深く見るようになっちゃった。俺は、そういう立て前を作る人間にはなりたくないし。だから、ブログでもこういう雑誌の取材でも、飾らないで、そのままの俺で喋ってんのね。絶対に自分を作りたくないし。こう思われたいとかないし。本当の自分を知ってて欲しいし。本当の自分で居たいし。ま、そんなこと言いつつろくなこと言ってないんだけど（笑）」

——すぐふざけるし。それは照れ隠し？

「ま、若干照れ隠し（笑）。いいんすよ。俺、変なヤツって、どうしようもないヤツって思われたいすよ。人間って、最初、〝何、この人？〟って思われた方がいいんす。最低って思われるとこから入った方が良いっていう統計も出てるんでね（笑）。ま。そんな感じっす（笑）」

——じゃぁ、今回はそんな感じで（笑）。いつかもっとジクッとした切り口で内面に迫るんで、その時用に年輪重ねておいてね（笑）。

「了解っす、了解っす（笑）！」

（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-2 フィヨーレ西新宿 102　http://www.toonfactory.jp/

# little HEARTS. ON LINE STORE !!

## little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。

◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

HEARTS. 2nd Anniversary Special Event Live

# MY little HEARTS. Special Edition Vol.2

**9.19 SUN Zepp Sendai**

OPEN/16:00 START/17:00 【チケット料金】前売 1F オールスタンディング・2F 指定席：¥4,800（消費税込み）ドリンク代別途 ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【問い合わせ先】キョードー東北 022-217-7788

当日 1F オールスタンディング・2F 指定席：¥5,800（消費税込み）ドリンク代別途

**9.25 SAT 渋谷 C.C.Lemonホール**

OPEN/16:00 START/17:00 【チケット料金】前売 全席指定：¥4,800（消費税込み）※3歳以上有料、3歳未満入場不可【問い合わせ先】ディスクガレージ 03-5436-9600

当日 全席指定：¥5,800（消費税込み）

**【一般発売日】2010年8月28日（土）**

NIGHTMARE　MERRY　[Lc5]

Sadie　DELUHI　THE KIDDIE　SuG

## 教えて!! ギャルちゃん事情

リトルハーツのお客様に
ーしちゃいます (^o^)/

こじこた

**ちゃった CD**

ルピクチャーズ
を撃った男 case3 火縄銃』
リース Tu［ism］『I still』
リリース ケミカルピクチャーズ
を撃った男 case4 デリンジャー』

**クワクした出来事・・・**

ピクチャーズの１時間店員イベント

**!! ウォークマンで何聴いてる !?**

DDIE『ほんとはね。』『one and only』

**ーツ付近の暇つぶしスポット**

てプリクラ

**ちゃん的おすすめ 3 バンド**

ttE・THE KIDDIE・vistlip

こじこたちゃん、
ありがとうございました♪
来月号はあなたかもー(ﾟoﾟ)

## INSTORE EVENT REPORT

**R 指定**

『アリス心中』対象１時間店員イベント

8月2日15:30より、R指定の1時間店員イベントが開催されました!!
対象商品『アリス心中』をメンバー本人から直接買えます&
サイン貰えます&握手出来ます!とだけあって
店内にはイベント前から沢山のお客様がいらっしゃっております!
メンバーの登場とともに早速、楓さんはレジ係!宏崇さんには物販のチェキ販売係・・!
さらにマモさん、Zさん、七星さん全員でサイン握手と大忙しです。
さらにさらに!フリータイム・・ほのぼのタイムでは
店内を廻ってワイワイと大活躍でした!
最後まで店内でほのぼのしていただいていたお客様と、
急遽写真撮影をしちゃいました!
メンバーの皆さん、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!
R指定の皆さん、8/25には『ギラつく太陽』リリースです!!

**ナイトメア 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～**

完全予約限定盤スペシャルボックス【CD+DVD】¥10,000

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～【DVD】¥5,800

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～【CD】¥3,000

**THE KIDDIE 2010.9.22 SINGLE『Calling』**

初回限定盤【CD+DVD】
¥1,575(tax in)
CD：1.Calling　2.PAIN
DVD：「Calling」MUSIC CLIP

通常盤【CD】
¥1,260(tax in)
CD：1.Calling
2.PAIN
3.泡とサイダー

## INSTORE EVENT

土)18:00　【MVP48】トーク＆握手＆サイン＆チェキ撮影
月)16:00　【ACTWEED】トーク＆握手
土)14:00　【PENICILLIN】トークイベント
日)15:00　【...tice】アコースティックライブ＆トーク＆握手
土)15:00　【...】トーク＆握手＆プレゼント抽選会
土)15:30　【Lycaon】トーク＆握手＆サイン

ト決定次第、little HEARTS. の HP にて続々更新中！！

蝴蝶网 hudie.com

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

# little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3-
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

little HEARTS.


**8/25 シンディケイト**
SINGLE 『ボクサー』 ¥1,680
コメントDVD アーティストフォト集合

**8/25 Synside**
MINI ALBUM 『約束された安堵、その代償』 ¥2,625
アーティストフォト集合

**8/25 Alice Nine**
SINGLE『閃光』
初回盤 ¥1,890
通常 A¥1,590
通常 B¥1,260
A-TYPE：アーティストカードランダム2枚（個人+集合6枚）
B-TYPE：アーティストカードランダム2枚（個人+集合6枚）
C-TYPE：アーティストカードランダム2枚（個人+集合6枚）

**8/25 メガマソ**
SINGLE『花びら』
A-TYPE¥1,890
B-TYPE¥840
C-TYPE¥1,050
A-TYPE：DVDオフショット Ver5
B-TYPE：アーティストフォト集合
C-TYPE：アーティストフォト個人SET

**8/25 少女-ロリ キ**
SINGLE 『星帯次元区域ミ
¥2,800

**8/25 V.A**
LIVE DVD『EXTRA-TERRITORIAL 2010.05.05 at SHIBUYA AX』¥4,410
kannivalism/12012/大佑と黒の隠者達/boogieman/BugLug/DOG inTheパラレルワールドオーケストラ/東京ミカエル。(OPENING ACT)

**8/25 お遊戯わが魔々団 ×【PaRADEiS】パレード**
8/25 LIVEDVD 『Divine dolce Col・Tempo』 ¥3,780
9/15 SINGLE 『ゆめくじら』 A-TYPE¥1,050 B/C¥1,890

**8/25 ナイトメア**
LIVE DVD『NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1 GIANIZM～天魔覆滅～』
初回盤¥10,000/通常盤¥5,800/CD盤¥3,000

**8/25 R指定**
SINGLE『ギラつく太陽』
A-TYPE¥2,100/B-TYPE¥1,575
A-TYPE/コメントDVD、直筆サイン入り アーティストフォト集合
B-TYPE/アーティストフォト個人SET

**8/25 Secilia**
MINI ALBUM 『Eternal Waltz』 ¥2,500

**8/29 RAVI**
SINGLE 『極彩リンディポップ』 ¥1,260

**8/30 Az:Madius**
SINGLE 『幻想の輪舞曲』 ¥1,050

**8/31 ドクターモルモット**
MINI ALBUM 『寿-コングラッチェ-』 ¥2,100

**9/1 HERO**
SINGLE 『ピリオド』
初回盤 ¥2,100 初回盤/コメントDVD（初回）
通常盤 ¥1,575 通常盤/コメントDVD（通常）

**9/1 V.A**
ALBUM 『PLANETARIUM SHOW CASE
¥2,100
死刑宣告/Jackman/7even=Resist/Q'be /69/白勇-HAKUA-/C#P/Magistina Sa

**9/1 As If the darkness**
MINI ALBUM 『アローン』 ¥2,100

**9/1 Dolly**
イベント
FULL ALBUM 『CAPSULE』
A/BTYPE¥3,990
通常盤¥3,150

**9/1 PIECE**
SINGLE 『SHINING WORLD』 ¥1,050

**9/8 Ap(r)il**
SINGLE『JUST 4U』
A-TYPE¥2,100
B-TYPE¥1,575
A-TYPE/コメントDVD
B-TYPE/アーティストフォト集合

**9/8 ダウ**
9/8 SINGLE 『サイケデリコ=サイケデリコ』
A/B-TYPE¥1,890
C-TYPE¥1,575
9/29 『御礼
¥6,93

**9/8 葵 from 彩冷える**
SINGLE 『MI DA RA』
初回盤 ¥1,500
通常盤 ¥1,000
オリジナル特典考案中!!

**9/15 amber gris**
MINI ALBUM 『チャイルド・フォレスト』 ¥2,300

**9/15 愛狂います。**
SINGLE 『ドマチック』
A-TYPE¥2,100
B-TYPE¥1,260
初回盤/コメントDVD+アーティストフォト
通常盤/アーティストフォト個人4枚SET

**9/15 DoG in The パラレルワールド オーケストラ**
SINGLE
9/15 『青空晴レーション』
10/20 『POCKET★ROCKET』
初回盤 ¥1,890
通常盤 ¥1,260
初回盤：コメントDVD+アーティストフォト集合
通常盤：アーティストフォト個人4枚SET

**9/15 BOR**
MINI ALBUM 『BLACK THEORYMANIA』 ¥2,500

**9/15 V-last.**
SINGLE 『中毒性ガタ noise』 ¥1,890

**9/15 Annie's Black**
SINGLE 『PLACE』
初回盤 ¥2,100
通常盤 ¥1,575

**9/15 平成維新**
BEST ALBUM 『REVOLUTIONS』
A-TYPE¥4,200/B-TYPE¥3,150
A/コメントDVD+アーティストフォト集合
B/アーティストフォト個人5枚SET

**9/22 THE KIDDIE**
SINGLE 『Calling』
初回盤 ¥1,575
通常盤 ¥1,260

**9/22 the Ga**
SINGLE 『Red』
初回盤 ¥1,785
通常盤 ¥1,260
オリジナル

**9/22 ベルベット**
SINGLE 『東京』
A-TYPE¥2,100/B-TYPE¥1,890/C-TYPE¥1,500
A-TYPE:コメントDVD+アーティストカード集合 +アーティストカードランダム1枚（個人5枚）
B-TYPE:アーティストカードランダム2枚（個人5枚）
C-TYPE:アーティストカードランダム2枚（個人5枚）

**9/22 イロクイ。**
MINI ALBUM 『確率的です。でも、法則です。』
初回盤 ¥2,800/通常盤 ¥2,200

**9/29 Mix Speaker's,Inc.**
SINGLE 『Midnight Queen』 ¥1,260

**9/29 ケミカルピクチャーズ**
SINGLE
8/25 『世界を撃った男 case4 デリンジャー』
9/29 『世界を撃った男 case5 ピースメーカー』
コメントDVD+アーティストフォト

**10/6 SEX-AND**
ALBUM 『B-BONUS-THEATER』 ¥3,150

**10/6 Re:dis**
SINGLE 『Rock your spirit』 ¥1,600

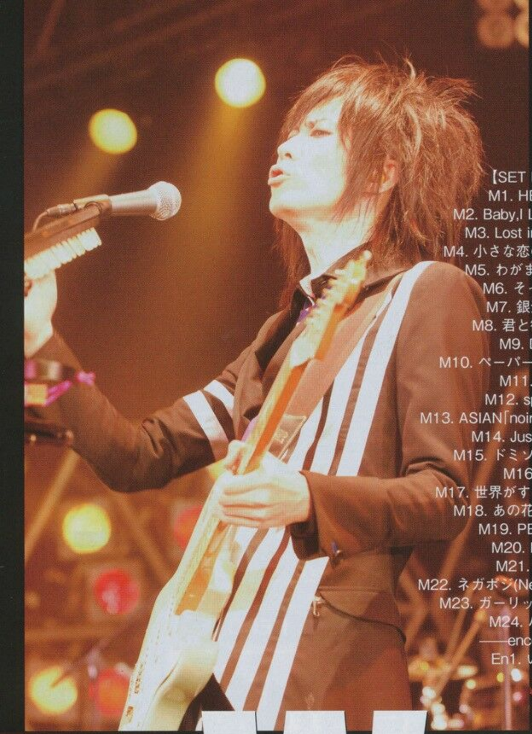
**10/6 Lycaon**
イベント
SINGLE 『EROS』 ¥2,100

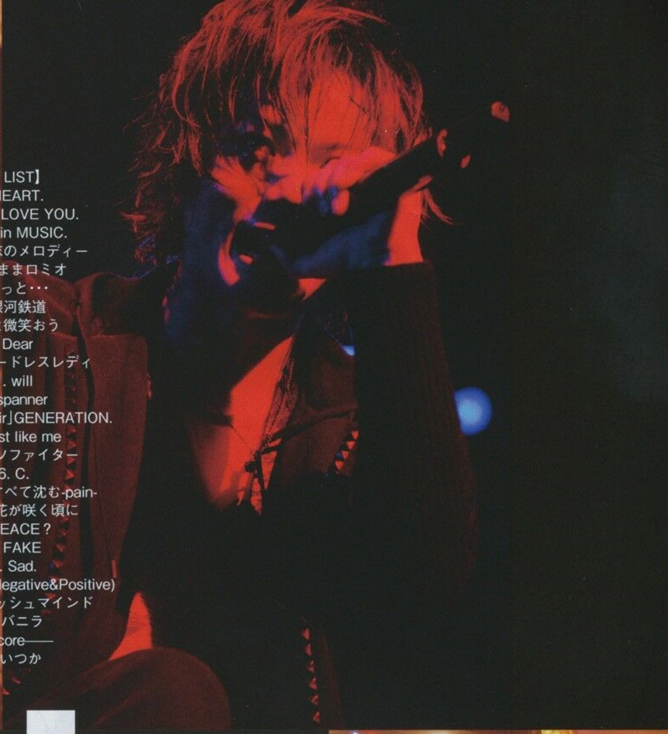
**10/6 ギルガメッシュ**
SINGLE 『タイトル未定』
初回盤 ¥2,625
通常盤 ¥1,260

**10/6 heidi.**
ALBUM 『閃光メロウ』
初回 A¥3,675
初回 B¥3,675
通常盤 ¥3,15

**10/20 ギャ**
MINI ALBUM 『東京破廉恥大サーカス・新世界

蝴蝶网 hudie.com

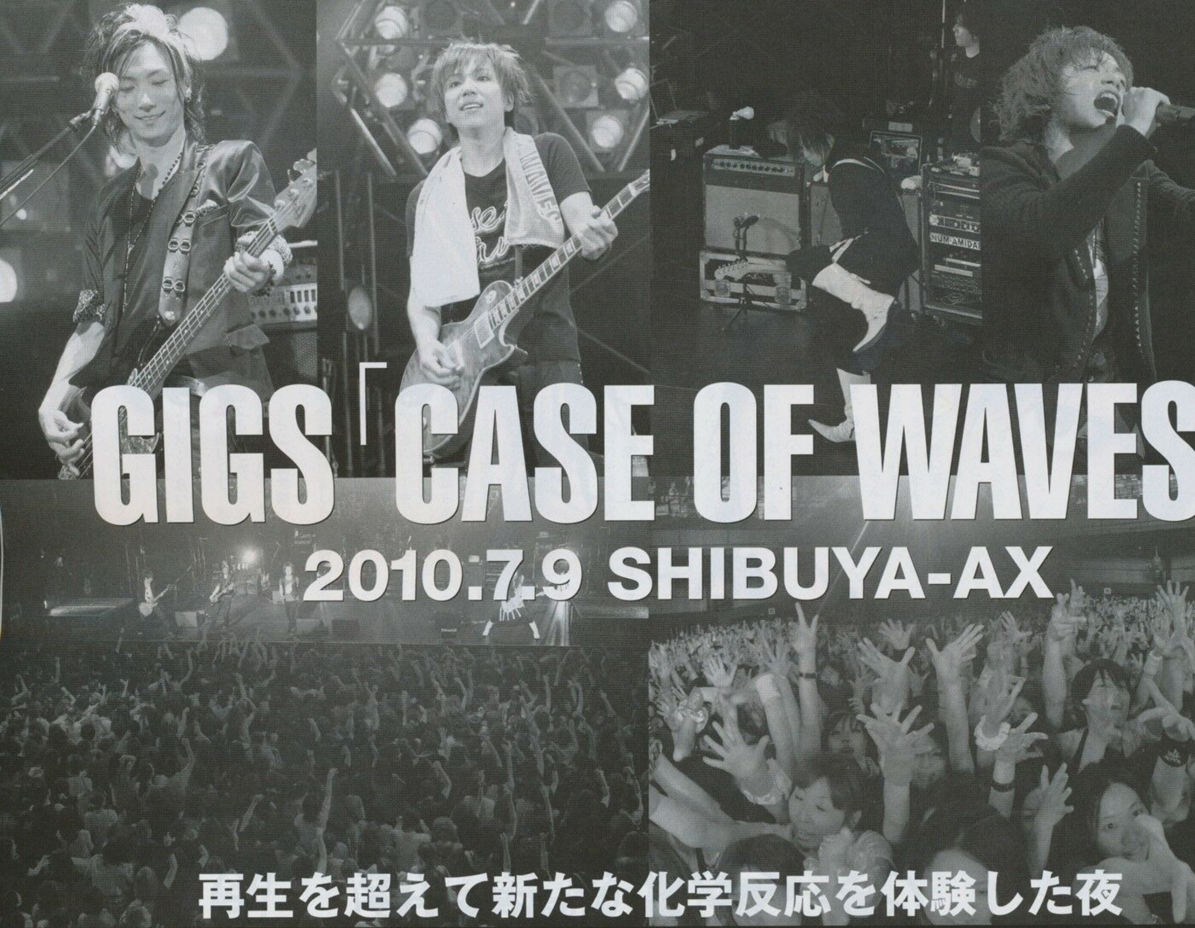




【SET LIST】
M1. HEART.
M2. Baby,I LOVE YOU.
M3. Lost in MUSIC.
M4. 小さな恋のメロディー
M5. わがままロミオ
M6. そっと・・
M7. 銀河鉄道
M8. 君と微笑おう
M9. Dear
M10. ペーパードレスレディ
M11. will
M12. spanner
M13. ASIAN「noir」GENERATION.
M14. Just like me
M15. ドミソファイター
M16. C.
M17. 世界がすべて沈む-pain-
M18. あの花が咲く頃に
M19. PEACE？
M20. FAKE
M21. Sad.
M22. ネガポジ(Negative&Positive)
M23. ガーリッシュマインド
M24. バニラ
——encore——
En1. いつか

# Waive

蝴蝶网
hudie.com



# GIGS「CASE OF WAVES

## 2010.7.9 SHIBUYA-AX

## 再生を超えて新たな化学反応を体験した夜

**7月9日、渋谷AXで最後を迎えるはずだったWaiveは、リーダー杉本善徳の意志により、11月29日までの再演延長を決め**
**5年の歳月を経て、再びWaiveとしてステージに立った彼らは、そこで何を感じたのか。その心を推し量るのは難しい。**
**今は、もうこの世には存在しないと思っていたWaiveを目に出来たことを喜び、その奇跡がまだ続くことを楽しみにしていた**

Report:MIYUKI MURAYAMA

体に漂う違和感を感じずにはいられないのが正直なところだった。それから大阪公演を経て、迎えた渋谷AX。そこにあったのは、ひたむきに全力でステージに向かおうとするメンバーの姿だった。2005年12月1日。解散のあの日と同じセットリストと、あの日と同じ煌々と光を放つステージセットが用意された、あの日と同じ渋谷AXのステージに彼らは帰って来た。

開演時間を20分ほど押したところで、メンバーがステージに現れる。杉本のギターから、田澤の第一声が響き渡り、「HEART.」で幕を開けた。そのまま元気いっぱいに始まった「Baby, I LOVE YOU」で4人の声が重なると、明るい空気が会場いっぱいに広がって行く。さらに「LOST in MUSIC」と続けば、コール&レスポンスで会場が一気にひとつになり、観客もためらうことなく、この瞬間を楽しんでいるように見えた。

そんな空気が一瞬わずかにぎこちなく固まったのは、田澤のMC。自身が解散の引き金を引いたという、解散にまつわる言葉を、ステージの上で彼の口から耳にするのは初めてのこと。追加公演のときも口にしなかった言葉を、言わなくてはいけないという想いが彼の中に芽生えていたのだろうか。ここではっきりと口にすることで、彼は何かが吹っ切れたのか、この日の彼の歌からは、Waiveを離れていたこの5年間の成長が感じられるような気がした。

「一曲一曲大切に歌いたい」という田澤の言葉どおり、観客もまた一曲一曲を楽しんで行く。「そっと…」、「銀河鉄道」を静かにじっと聴き入り、「ペーパードレスレディ」で動き出した空気と共に体を動かす。あっという間に、用意されたセットリストの半分が終わった。そこで始まったのは「spanner」。彼らの最初の音源、ファーストデモテープ『スパナ』に収録されたこの曲を、今、どんな想いで4人は奏でているのか。想像することも出来ないその4つの心に想いを馳せ、ただただじっと耳を傾けた。その後とプレイすることがないであろう曲を紡ぎ出して行く。高井はグルーヴィーなベースを力いっぱいプレイし、MCでは杉本と貮方が無邪気に絡み、笑いを誘う。

そして、いよいよ杉本が観客を焚きつけて、最後のステージのクライマックスへと向かって行く。「FAKE」が始まると、ステージの大量の照明の位置がさらに低くなり、ステージを強烈な光が包む。それを目にして、5年前も涙と光でメンバーの姿が見にくくなったことを思い出した。たくさんのこぶしが突き上げられ、大きな声があがり、思い切り突っ走った「ネガポジ」から、「踊れ!」の叫びと共に「ガーリッシュマインド」が始まったところで、観客も本気を出したようだ。フロアに熱気が充満して、高い天井までも広がって行く。4人もひたすら動き回って、精いっぱいの力を求め[illegible]ぱいの力を出す。

本編最後は「バニラ」。田澤と向かい合った杉本がギターをかき鳴らし[illegible]光の下に笑顔が溢れる。これで[illegible]変わるのか。5年前のあの夜から[illegible]いた時間が動き出すのか。複雑な[illegible]交錯する中、気づくと杉本が泣[illegible]笑いながら、泣いていた。曲が[illegible]彼はそのままソデへと向かった。

アンコールの「いつか」で全てが[illegible]てしまったと思っていたとき、[illegible]残った杉本から飛び出した言葉は意外[illegible]だった。スタッフからの呼びかけ[illegible]始まったこの再演で終わらせるのではなく、Waiveを始めた自らの手でバンドを終わらせたいと言う。そこで、杉本善徳によるWaiveの解散ライヴが決定した。それが一体どんなものになるのか、それはまだわからない。けれども、それがWaiveの本当の最後に相応しいものになるのは間違いない。Waiveを世界中の誰よりも愛している彼がやることなのだから、何の間違いもない。今はWaiveのライヴがまた観られること、その楽曲をまた耳に出来ること、その喜びを感じると共に、本当の最後をしっかりと見届けたいと思う。

蝴蝶网 hudie.com

Gt : SARSHI Vo : 尽

# HERO

# ピリオド

ごく良い恋愛しました…

ルフプロデュース第二弾となる作品·「ピリオド」を、9月1日にリースするHERO。初のセルフプロデュース作となった「Not Found」月2日リリース）から3ヶ月。「Not Found」の制作で学んだ経験をもに、更に磨きがかけられ制作された今作。メンバーも絶賛の、至極一枚に仕上がっている。今回は、そんな自信作「ピリオド」について、ンバー 4人にたっぷりと語って貰いました!

view:YUKA SUGIE

—シングル「ピリオド」ですが、今回もまた良い曲揃いで、グっとくるアレンジをしてますね。

尽〜JIN〜：いやぁ、ホントそうなんですよ。今回も良いでしょ？

—そのへんは、曲の煮詰め方とか、個々のアプローチの練り方とか、やはりセルフプロデュースならではの純度の高さ、密度の濃さが反映されているのかなと。

yu-ta：とりあえず、レコーディングのスピードもめちゃくちゃ早くなったしね。かつ、早くてもクオリティは上がってると思うし。

SARSHI：レコーディングに関しては、プロデューサー云々以前に、まずエンジニアさんも変わったからね。

尽〜JIN〜：仕事としてこなす感じじゃなくて、愛を感じるしね。そういう輪もどんどん広げていけたら良いなとは思ってるんですけど。

—加えて、メンバーで話す機会も増えたんじゃないですか？

SARSHI：確かに。スタジオで音を合わせていく過程の作業も増えたし、1曲にかける時間が増えたぶん、みんな、より愛着を持ててると思う。

—そういう中で、お互いのパートに関してアドバイスしたりもします？

yu-ta：しますね。"スネアこういう音にしてみたら？"とか、"ギターこういう感じはどう？"とか。

SARSHI：そうやって自分たちで音とかを決めていくと、やりがいあるしね。

尽〜JIN〜：だから、ある意味今のほうが安心感がありますよ。

Yusuke：ひとつひとつ丁寧に向かっていくことで、どんどん成長していけると思うし。

尽〜JIN〜：そのぶん、僕は曲作るハードルは上がりましたけどね。今までは数打ちゃ当たる、みたいな感じだったけど、今は良いメロディでこのリズム感じゃないとノれないかなとか、すべて当てはめて曲を作ってみたんで。ま、「ピリオド」に関して[illegible]たところにはいかなかったけど、良い部分は出たなとは思ってますけどね。

—バンドの疾走感も出ていますよね。プレイヤーとしても入り込みやすかったんじゃないですか？

Yusuke：全体の雰囲気とか伝えたいことがわかりやすかったんで、個

hudie.com

いですけど。
尽~JIN~：いきなりサビの3連のフレーズが叩けなくなってね。
Yusuke：そうそう、今まで叩けてたのに、いきなりできなくなって。大変でした（苦笑）。
——ということは、Yusukeさんに続いて録ったyu-taさんやSARSHIさんにも、何かしらの余波があったのでは!?
yu-ta：影響はありましたね。とにかく眠くて。ただ、あんまり憶えてないながらも、めっちゃハイテンションで録ってたような気はします。
——じゃあ、むしろYusukeさんに感謝したほうが良いですかね。
尽~JIN~：ははは！ 確かに！
Yusuke：でも、ギターなんか録り始めたの朝の8時くらいだもんね。
SARSHI：かなりキツかったですよ。入れるフレーズが多かったし心配もあったんですけど、ギター録りはすぐ終わりましたけどね。あと、音作りに時間をかけられなかったから、サビに入ってるウワモノのフレーズは家で録ってきたんですけど、そっちのほうが音は良かったんで。Yusukeが苦戦したおかげで、結果的には良かったかなって。
——やっぱり、感謝するしかなさそうですね。それにしても、好きなのに終わりを迎えなきゃいけないという歌詞は、かなり切ないですね。
尽~JIN~：歌詞はいつもすぐ書けるのに、この歌詞はめっちゃ時間かかったんですよ。最初に書いたものが納得いかなくて、書き直したし。〝ピリオド〟をどう表現するか、めっちゃ考えましたよ。
——結果、すごく生々しいです。
尽~JIN~：これは、自分の体験ですからね。もうね、哀しくなりますよ。でも、すごく良い恋愛しましたからねぇ（↑遠い目）。
——そんな過去のピュアな尽さんが垣間見える歌詞、メンバーはどう見ます?
Yusuke：詳しい部分は知らないですけど…。
yu-ta：気持ち悪い?
SARSHI：気持ち悪いやろ?
Yusuke：いや、純粋なぶん…重いかなぁ。
尽~JIN~：ははは、正しい。女々

細だったりしますから…そういう面が出ているということにしますっ。一転、「Paradox」はグランジなサウンドがカッコイイです。
尽~JIN~：これ、表題曲でもいけるような曲が出来たって思いましたもん。
SARSHI：で、テンポ的には8分（音符）でも全然良いんですけど、どうしても16分（音符）のノリが欲しくて、yu-taに言ったんですけど…。
yu-ta：自分的にそれはないかなと思って、思い通りに弾きましたっ。
SARSHI：なんで、16分のノリは打ち込みで入れました（笑）。
yu-ta：いろんな音が助け合ってこそ、音楽ですよっ。あ、あと、この曲だけアンプを使わずにライン録りしました。
尽~JIN~：この曲のベースフレーズはね、〝わかってるな！〟っていう感じでしたよ。すごく良かった。
Yusuke：僕は、回転していくようなリズムがカッコイイなと思って。すぐ自分のアプローチが浮かんだんで、「ピリオド」とは違って滞りなくできましたっ。
——歌詞に関しては、辛辣な社会風刺とか、人間の矛盾を鋭く突くフレーズが多々見られて、かなり攻めな印象です。
尽~JIN~：僕は基本的にヒネくれてるんで、前のシングルの「人間定義」みたいな、自分なりに人間が抱える闇の部分を突く歌詞を書きたかったんですよね。ただ、時間がかかりましたけどね。過激な言葉もあったんで、ちゃんと確認も取りつつ。頑張りましたよ。
——歌い方にしても、これまでで一番、感情的じゃないですか?
尽~JIN~：あ、そうかも。そういう曲かなと思って。ま、狙った通りの着地点にはいけましたよ。歌も頑張ったっ。
——さらに、通常盤のみに収録される「伝えたかった音」がまた…1音1音の際立ち方とか、それぞれの重なり方がすごく美しくて、惹き込まれる曲だなと。
尽~JIN~：良い曲でしょ? ピアノで作ったら、すごく早くできましたね。
yu-ta：なんかプロっぽいですよね。

尽~JIN~：ただ、全部計算して作った曲なのに、途中でベースソロっぽくなったのが計算外で。ま、それはそれで良かったんですけど。
yu-ta：ベースもっと主張したろ！って思ってたんで、ははは。初の試みでベースも2本重ねてたりするんですけど、ベースらしいベースというよりも、自分らしいベースを弾いたつもりです。
——SARSHIさんのギターもすごく情感豊かに響きますし。
SARSHI：いつもと手法を変えたんですよ。いつもは違うメロディのアルペジオを重ねるんですけど、今回は普通にハモりでメロディを重ねてて。そのことで、主張しすぎず引きすぎずのちょうどいいところにいったんで。良かったです。
——歌詞は、「ピリオド」とは違う哀しみや、やりきれなさが漂っていますね。
尽~JIN~：いつもとちょっと違う、三角関係を書こうと思って。ま、人生いろいろありますからね、ははは！ でも、サビの歌詞は哀し[illegible]浮きですよ。
——さて、11月22日に[illegible]DUOMusic Exchangeにてワンマン・ライヴ『Burst [illegible]』を行いますが…何か誓い[illegible]なら?
yu-ta：前回DUO[illegible]たとき、時間がなくてボタンをかけ間違えて登場しちゃったんです。なんで、ボタンをかけ間違えな[illegible]よう！と思ったら、[illegible]にボ[illegible]ンかないんで…チャック締め忘れないようにしようかな。あと、もうちょっとだけちゃんと弾きますっ。
Yusuke：…場の雰囲気を壊すようなミスは、絶対にしませんっ。
SARSHI：前の高田馬場エリアワンマンでは、ファンとの一体感をすごく感じられたんですよ。一緒に時間とか空間を共有するだけじゃなく、同じ気持ちになれたかなって。それを、次もしっかり共有したいなと思いますっ。
尽~JIN~：なんかズルいな！ 僕は…歌詞を忘れない！
SARSHI：ムリやろっ。
尽~JIN~：まぁね！ じゃあ…大爆笑3回は獲る！ あと、〝会社名〟〝バンド名〟〝死ね〟は言いません！ …たぶんっ。

（問）http://hero-izm.com/

蝴蝶网 hudie.com

Dr：Yusuke　Ba：yu-ta

蝴蝶网
hudie.com

# 摩天楼オペラ

## ンディーズ・ラスト・ライヴ直前、最新インタビュー

日・渋谷AXでのインディーズ・ラスト・ライヴも、もう目前まで迫っている摩天楼オペラ。このライヴを終えてすぐの9月1日には、初のホール・ワンとなった5月6日・渋谷C.C.Lemonホール公演の模様を収録した『Emergence from COCOON～TourFinal Live Film～"Birth of GENESIS"』と、そのLemonホールまでに向かうツアー中の彼らに完全密着した『Emergence from COCOON～Tour Final Document Film～』という、2作のDVDが同時リリーれる。摩天楼オペラの"オン"と"オフ"の姿に触れながら、これからの彼らの未来にも想いを馳せてほしい。

Photography:TAKAAKI HENMI (5.6@C.C.)
Interview:KYOSUKE TSUCHIYA

――今年5月6日に渋谷C.C.Lemonホールで行なわれた結成3周年ライヴの模様がDVD『Emergence from COCOON～Tour Final Live Film～"Birth of GENESIS"』として9月1日にリリースされますが、映像を通して、改めて当日の公演を振り返ってみた印象は？

**燿**：とりあえずひと区切りのライヴではあったんですけど、摩天楼オペラとして初のワンマンだった赤坂ブリッツ（2009年7月23日／ライヴDVD『DAWN OF ANOMIE』もリリース済み）と比べてみても、やっぱり10ヶ月でかなり成長したなと思えるライヴでしたね。演奏にもだいぶ、余裕が出てきて。セットリストには若干、新曲が増えてはいましたけど、当時とそこまでは変わってはいないんですよ。だからよく分かるんですが、より洗練されたというか、かつての曲もライヴでも自然に表現できるようになってきたのかなと思うんですね。

**彩雨**：今年2月から始まったワンマン・ツアーのファイナルということで、たくさんのライヴをこなしてきた状態で臨んだライヴだったからこそ、お客さんと一緒に作ったような実感があるんですよ。それを強く思ったのが、最後に演奏した「COCOON」の大合唱でしたね。ワンマン・ツアーでもやってきましたけど、それをいちばん良い形で表現できて……とても感動的なライヴになったと思います。すごく楽しい2時間半でしたね。

**Anzi**：うん、気持ちよかったですよね。ホールでのワンマンは初めての経験だったんで快感です（笑）。でも、今回のC.C.Lemonホールは一つの通過点だし、見える景色がどんどん広くなっていけばいいなぁということだけですね。

**悠**：あの時点で出せるものは全て出せたとは思うんですよ。でも、通過点だったからこそ、もっともっといいライヴが出来るようにと終わった後は思いましたね。まだまだこんなもんじゃないぞと。

**苑**：ホールということはもちろんですけど、ずっとライヴハウスを廻ってきた後だったから、なおさら最初はお客さんとの距離が遠いなと思ったんですよ。でも、だんだんライヴが進むにつれ

ね。「COCOON」ではライヴハウスの時と同じような、お客さんの笑顔がすぐそこにあるような感覚で歌えましたし。

**——この日のライヴ自体には〈Birth of GENESIS〉なるタイトルがつけられていましたよね。当日はシングル『GENESIS／R』も会場近くの渋谷タワーレコードで限定発売されましたが。**

**苑**：その日にメジャー進出を発表することは決めていて、これからが始まりだという意味も込めてつけたんですよ。

**——メジャー進出が決まったのはつい数ヶ月前の話ですが、C.C.Lemonホールでライヴを行なうこと自体は約1年前から決まっていたことですよね？**

**苑**：そうですね。ブリッツが終わった後に何か目標を置きたかったんですよ。そこで順当に考えると、次に進むべきはC.C.Lemonホールかなと。何か渋谷公会堂には登竜門的な意味合いを感じるんですよね。ヴェルサイユもそこでメジャー発表しましたし、事務所内にもそういう空気があったりして。

**Anzi**：でも、赤坂ブリッツのライヴをやることになった時点で、2010年の5月頭辺りにデカいライヴを1本入れて、そこでメジャー発表が出来ればいいねという話はしてたんですね、その時点では何も決まってなかったんですけど。

**彩雨**：ホールでやりたいという願望も最初にあったよね、去年は。だからいくつかホールで候補を探してもらって。

**——そして期待通りにメジャー進出が決まって発表に至ったと。先ほど話題に出た「COCOON」は、当初、C.C.Lemonホール公演の前哨戦となるライヴハウスでのステージでは、セットリストに組み込むべきかという話も出ていましたよね。あの曲は大きな会場でこそより映えるんじゃないかという意味合いで。**

**苑**：はい。C.C.Lemonホールの最後にやることは、曲が出来た時点で決まってた感じだったんですよ、みんなに歌ってもらいたいなって。そう考えた時に、いきなりC.C.Lemonホールで初披露するというのもどうかなと思って、ツアーでもやることにしたんですけど、当日は予想以上の一体感を得られましたね。ホントにホールが狭かったというか。あの曲はもっと大きなところでも映えるんじゃないかって感じがしました。マイクなしで歌う場面がありますけど、あれもツアーの途中から始めたんですね。C.C.Lemonホールでは会場が大きい分、どれだけ届いてるのかなと思ったんですけど、映像を観てみると、ちゃんと音は録れていて。ライヴハウスでやってきたからこその「COCOON」が出来た……やってよかったですね。

**——広い会場という点では、「Utopia」もすごく映える曲だった気がしますね。**

**Anzi**：そうですね。この日は「天上への架け橋を」と「Utopia」をつなげるという小洒落たことをやってましたけど（笑）、演奏的に[illegible]よく出来たし、すごく満足のいく[illegible]ンだったので、僕的にはこの7～8曲目がハイライトですね（笑）。激しい[illegible]トゥルメンタルは他にもやるバ[illegible]ると思うんですけど、ああいうア[illegible]チをするバンドはあまりないんじゃないか[illegible]。

**燿**：その7～8曲目[illegible]ところでは、お客さんを座らせて演奏したんですよね。あれは初めてのことだったんですけど、僕も座って弾いたんですよ。でも、映像だと暗すぎて、本人は見えないんだけど、後ろのほうでベースのポジション・マークだけが光ってるみたいな（笑）。

**——座って観覧というのも、ホールならではの見せ方の一つでしょうね。**

**彩雨**：今回のライヴはビデオ・クリップなどの映像と同期させた曲もありましたね。これは初めての試みでしたけど、今までの活動も振り返ることが出来たと思いますし、ファンの人たちにも楽しんでもらえたかなと思うんですよ。でも、ステージに立っている自分たちからは、全く見えないんですけどね（笑）。

**——さらにワンマン・ツアーのドキュメンタリーDVD『Emergence from COCOON～Tour Document Film～』も同時リリースされるそうですね。**

**苑**：ワンマン・ツアーの間、ずっとカメラを回していたんですよ。移動中だったり、ライヴの前後だったり、C.C.Lemonホールまでの道を記録した感じです。

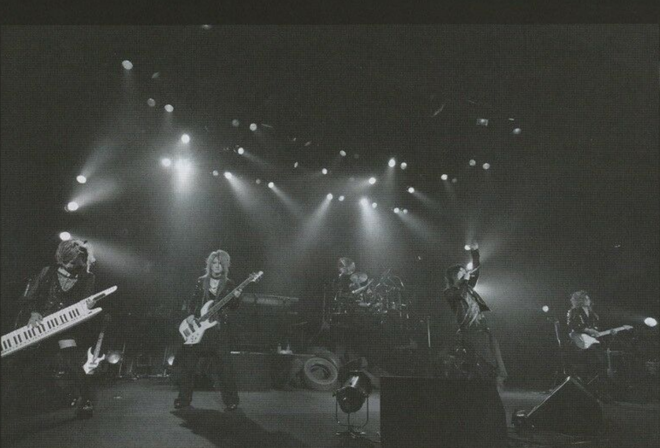
**悠**：これを観て、ウチらに幻滅しなかったら、キミこそホントのオペラー（摩天楼オペラのファン）ですという（笑）。

**——そんな衝撃の映像が!?（笑）**

**苑**：衝撃というか、何と言うか（笑）。

**悠**：伝わればいいんだけどね（笑）。

**Anzi**：そうだね。伝わらない笑いも結構入ってるんで（笑）。オンのシーンがあまりないんですよね。オフの状態のものが9割がたを占めてるんで、だいぶ面白いと思います。ありのままのバンド



## 摩天楼オペラのライヴは必ず大きな波を効かせたもの。そこを楽しみにして来てほしい。

**苑**：[illegible]頂天オペラっていうバンドも、ちょこっと観れたりするんですよ。

**Anzi**：C.C.LemonホールのDVDの前に、ぜひこっちのドキュメンタリーDVDを観てほしいんですよ。時間軸に沿って、一緒に全国を廻っていって、最後にC.C.Lemonホールに到達するという。ひときわ感動が多いんじゃないかなって編集をしてあります。

**——さて、来る8月30日にはインディーズ・ラスト・ライヴ〈MATENROU OPERA-1214-〉が東京・渋谷AXで行なわれますが、これはどんな内容に？**

**苑**：C.C.Lemonホールは「COCOON」で感動的な終わり方をしましたけど、今回は最後だからとはいえ、あまりしっとりはせずに、夏にAXで暴れようよ的な感じでいいかなと思ってます。

**彩雨**：インディーズ・ラストとはいえ、今までを感動的に振り返るのではなく、

**燿**：それから現在の事[illegible]ウ・アーティスト・ソサイエティに所属する環境としては最後のライヴになるんですよ。その意味でもKAMIJOさん（ヴェルサイユ／事務所代表）にこれまでのサポートを感謝しつつ、前に進んでいく姿を見せられたらなと思います。

**Anzi**：摩天楼オペラのライヴは盛り上がる曲ばかり一辺倒じゃなくて感動もある。必ず大きな波を効かせたものなんですよね。その意味で言うと、激しい中にメロディがある曲というのも売りは売りですけど、何がウチでしか出来ない曲かと言えば、やっぱり〝ド〟バラードだと思うんですよ。まだ摩天楼オペラのライヴを観たことがない人は、そこを楽しみにして来てほしいですね。

**悠**：今年の夏は渋谷でしかライヴがないんですよ。だから僕は勝手に〈渋谷・夏の陣〉とつけてて。夏の終わりは渋谷に集合!…って、軽いなぁ、俺だけ（笑）。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# キミの手を引いてWARPしてたいな。

# spiv states

## らが感じて来たことをフィルターを通して、ちゃんと皆に伝える。

5日に発売されるspiv statesの1stマキシ『フレーバー』。これまでにないキャッチーな仕上がりの「フレーバー」と、彼らしい個性を詰め込んだ「HORRY」の2曲からは、彼らの成長ぶりが伝わって来る。8月28日、下北沢ERAで行われる1stワンマンでも、んな彼らの姿が確認できるはず。おもちゃ箱を引っくり返したようなカラフルな音楽の彼らだけに、ワンマンもおおいに期待したい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

聴いたとき、すごいキャッチーな曲が来たなぁと思ったんですけど。
JUN：その通りですよね。その印象通りです（笑）。
**——作るにあたって、キャッチーな曲にしようって話し合ったりしたんですか。**
JUN：今までは、自分達のクセみたいなものばっかりを探して曲を作っていて、歌ものはまだ要らんやんみたいなことを言ってたんです。でも、何となく歌ものそろそろ作ってみるときちゃう？　みたいな会話があったんですよね。
IORI：タイミングって言うか、流れ的にそういったと言うか。（バンドの環境が変わったり）いろいろ流れが変わって、新たにスタートするにあたって、「フレーバー」が出来たのかなっていう感じですね。まさかここまで入り込みやすい曲をやるとは正直思ってなかったですけど。
**——もともとポップな、入り込みやすい曲を考えて作ったんですか。**
JUN：原曲の状態からすごい変わったんですよ。僕らギターなんでリフものみたいな部分も入ってたんですけど、そこから削いでったらこうなったみたいな。それを削ぐと共に、部分的にコードを変えたりして。それって、ちょっと変えるだけですごく変わるんですよ。
IORI：いい意味でいろんなもんを捨てて作ったんだろうなっていう感覚がありましたね。今までは、ギタリストだから出来るっていう感じの楽曲だったのが、もっとクリアになったと言うか。余計なものがなくなって、スッと素直に入って来る曲ですよね。
**——今までの曲に比べるとわかりやすくて、爽やかな印象を受けたんですけど。**
JUN：僕の中で爽やかなイメージは特になかったんですけど、これまでのクセのある曲から、クセの部分を取っても全然曲になるよねっていう像が見えたんですよね。それが見えたときに、イメージが出来たって言うんですかね。それまでは、クセを付けたいからこそ、メジャー感、コードで言う明るい感じを絶対に入れなきゃダメって思ってたんです。そこからクセを取ると、ただ明るいが残るじゃないですか。それが見えたみたいな。

**音色とかは変わったりしてるんですか。**
JUN：音の数は違いますね、絶対。全然少ないですね。今までは我の強い、ぐいぐい出て来る、耳につきやすい音色を使ってることが多かったんですけど、そういうのを弱くしてるから、全然違うんですよ。音の数を並べたら、こっちのほうが多い箇所もあるんですけど、音の種類とか入れ方が違うんですね。一曲の中ですごい世界観が変わるっていうこともほとんどしてないし。だから、トータルのイメージが爽やかとか聴きやすくなってるだろうなと思います。
**——IORIさんも、ギターが変わった部分はありますか。**
IORI：僕が思ったのは、いい意味で、ギターもラフになってると。音に関してもすごいラフさがあるって言うか。音色とか音を作ったりとか、そこまで考えてない感覚があって。
**——今までと曲に対する向き合い方が違ってる感じなんですか。**
IORI：ちょっとずつ変わりつつあるかなと思いますね。固い感じに考えすぎてたのかなって。良くしようとし過ぎてたのがリアルに音楽に出ちゃうと思うので。録るときも、もうちょっと楽に考えてやろうかなって思ったりもしましたね。
**——いろんな要素があって、聴きやすく、わかりやすくなったんですね。**
JUN：好き勝手やりつつも、自分でみつけたい部分の的を探しながら作ってたんで、いろんな学んだことが出てる曲ですよね。今も曲作ってるんですけど、いい分岐点になる曲かなと思います。この曲が完成したことで、今までと基準点がだいぶ変わって来たところはありますね。
**——歌詞に関しては、どんな風に考えて行ったんですか。**
JUN：僕とかIORIが今やってる好きな音楽が生まれる背景には、カッコいいなって思わせてくれたアーティストとか好きな曲で出て来た、カッコいいっていう基準があると思うんですね。そういう自分達の感覚的な部分を、〝イロトリドリノフレーバー〟っていう形のないものので例えてみたんですよ。今、自分達はspiv statesとして楽曲を作ってるんですけど、今まで与えられて

なってという想いで書いたんです。
**——なるほど。そういうメッセージが込められてるんですね。**
JUN：最近。自分達でやってるんだっていう、すごいダイレクトな感じがあって。それで、曲でも思い切れる部分があるし、僕らが感じて来たことをフィルターを通してちゃんと伝えて、そっから面白い世界に皆を連れて行くよって。
**——IORIさんもそういう気持ちは感じてますか。**
IORI：聴いて影響を受けたり、シビれた曲だったり、ビビビと来た曲とか泣ける曲とか、そういう風に感じた気持ちを与えられる人になれれば、それは幸せなことですよね。でも、そういう風に思わすって結構な気合い要るじゃないですか。直接聴いてる人の前に行って説明してギター弾くわけにいかないし。本当に心で聴くじゃないですけど、感じるものなんで。そういう風に思わすのは偉大なことでもあるし、自分もそういう立場になれたらって思いますね。
**——そして、カップリングの「HORRY」は、逆に個性のある曲にしようみたいなところがあったんですか。**
JUN：「フレーバー」が出来てひと段落ついて、いいテンションでいたんですよ。そんときに、このテンションで作ったれと思って、すっげえ流れで一瞬で作ったんです。「フレーバー」との組み合わせとか考えずに作ったけど、出来たら案外この2曲で行けんじゃないの？　みたいになりました。
**——テンポが速くて、ノリがよくて、跳ねてるリズムが特徴的ですよね。**
JUN：リズムが跳ねてるとかノリがいいとか、そういう曲にしようとは一切思ってなくて。リハのときにコードだけあって、皆で一回やってみたら何かハードロックの洋楽みたいで（笑）。
IORI：それがひっくり返ったらこんな感じに仕上がってて、ビックリですね。
JUN：一見シャッフルと思われがちなんですけど、自分ではシャッフルやって思ってないぐらいなんです。これシャッフルだよね、って言われたら、イラッとするぐらい（笑）。シャッフル作るときって、皆ねらってる感じがするんですけど、

んです。サウンドのイメージが与える空気感だけを、本当にビヨーンと伸ばして作ったんですね。ただ、夜にお化け出そうな感じにしたいなと思っただけで。
**——それ、すごくわかるんですけど、お化けのイメージもいろいろありますよね。**
JUN：恐怖ではなくて、おもちゃ的な感じですよね。
IORI：幽霊ではないですね。
**——そうそう、そんな感じですね。ギターの音色も特徴的ですけど、そこは最初のイメージからあったものですか。**
IORI：この曲の音は、選ぶのに時間かかったよね。彼の中でまず土台になるイメージがあったんですよね。そっからちょこちょこ動くフレーズとかが乗っかって来て、ああいう雰囲気になったんですけど。あそこで粘って、ちょっと癖のある音にしたからこそ出来た空気感だと思います。
JUN：デモ作ってるときに、音がみっけられてよかったっていう感じ[illegible]。
**——この2曲を歌うにあたっては、歌う意識が違ったりしました？**
JUN：歌う意識は違いました[illegible]「フレーバー」は本当にちゃんと歌わなきゃって意識が強くて、単純に時間がかかりましたね。いろいろ自分の歌を[illegible]して来て、クセをつけずに歌って[illegible]も悪くないのかもって思うようになって。それであまり変なクセをつけずにや[illegible]みたんで、難しかったんです。[illegible]も、す[illegible]ごい勉強になった感じはします。こ[illegible]、歌い方でも形に出来るんだって思いましたね。「HORRY」は、歌にクセをつけるレパートリーが単純に増えるんで、今まであんまり出してなかった部分を出したいなと思ったりして、チラホラ出しましたね。「HORRY」に合ったクセの付け方が出来たと思います。
**——着々と成長している感じが伝わりますが、8月28日には初めてのワンマンライヴも決まっています。**
JUN：新曲を結構やると思うんで、楽しみにしててほしいですね。聴いたことない新曲もあるし、見たことないものもあるし、見たかったものもあるし。いろいろ期待には応えたいと思います。だから下北沢まで遊びに来て下さい。

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

e/GruNge StRange

Vo.てんてん/Trick Master

# ケミカルピクチャーズ

## 世界を撃った男 case4.デリンジャー

**――4枚目は随分と個性的だね。**

**子雲**：3枚目以降からは、ちょっとずつマニアックになってますね（笑）。5ヶ月連続リリースって、半年足らずで20曲。つまり、アルバム2枚作ってるみたいなもんですからね、そりゃぁもぉ。

**てんてん**：大変だよね（笑）。

**――だよね（笑）。今まで1曲目のテーマ曲は、そのシングルを物語ったモノだったでしょ。今回の「世界を撃った男のテーマ-38mm Birithday Special-」はハッピーバースデーがテーマだったね。**

**てんてん**：お客さんを、ライヴのときに、祝う曲があったらいいなと思って。

**子雲**：ま、今回オマケ曲（毎回5曲目にボーナストラックとして、てんてん以外がヴォーカルを務めるオマケ曲が入っている）もハッピーバースデーですけど、別に誕生日がテーマの1枚ってことではないです（笑）。ちなみに、今回のオマケ・ソングは、てんてん以外の3人で歌ってます。かなりふざけてます！　Jimiが〝おっぱい〟って言ってます！

**Jimi**：言ってません（力説）！　これ、曲の中でも言われてます……（困）。

**――言われてたね（笑）。でもね、1曲目は王道のロカビリーテイストがいいね。**

**Jimi**：そうですね。ちょっと、祝う感じの曲作りたいなって、てんてんに言われたんで、Joeくんがこのフレーズを弾いて、ジャムって作ったんです。ブライアン・セッツアーぽいですよね。

**てんてん**：ほとんどハッピーバースデーしか言ってないんですけど、一応テーマとしては、自分の愛用している拳銃を祝ってるみたいなテーマなんですよ。

**――2曲目は「翼を下さい」。あの有名な曲があるから、そのイメージで聴いちゃうと、随分と裏切られる。**

**てんてん**：はいはい（笑）。でも、歌詞の最後では、「翼を下さい」の歌詞をオマージュして引用してたりするんですよ。あの歌詞ってすっごい悲しい気がして。あの歌詞を読んで、この世界観を表現したいなと思って書いたんです。

**――でも、なんか不思議な曲だよね。リズミックな感じもあり、後半ダークな感じもあり。ポップな感触もありっていう。**

でなんとなくギター弾いてて、〝お、このフレーズカッコイイ〟って思ったとこから作って持ってった感じなんですけど。複雑な展開は最初から頭の中にあって。

**――サビのコーラスも印象的だった。**

**てんてん**：今回、このシリーズの1枚目のレコーディングをしたときから、コーラスを大事にしようと思ってて。このコーラスは、レコーディングでぶっつけ本番で考えたんですけど、結構ポイントになってると思いますね。

**Jimi**：本当に展開がおかしい曲なんですよね。Aメロ、Bメロ、Aメロ、Bメロ、サビ、ブリッジ、サビって形ではない曲なんで。でも、このバンドには多い展開なんですけど難しかったですね。

**Joe**：この曲はギターが大変でした。特にイントロのギター。とりあえず曲のテンポが速過ぎたってのも大変だったんですけど、最初にレコーディングしたものに、メンバーからNGが出まして、議論して議論して、録り足しで納得した形にしたんです。いろいろ悩みましたが、出来上がってきたものを聴くと、これで良かったなと思えるんで。やっぱりバンドかなって感じですね。

**――ド頭のドラムが特徴的というか。**

**子雲**：ヘッドホンで聴くと、L-Rに振ってるんですよ。個人的にこの曲みたいなドラミングは得意なんすよ。展開は結構複雑なんで覚えるの必死でした。もともとテンポチェンジもしようかって言ってたんだけど、テンポチェンジしなくても、そのテンポチェンジしようとする場所で勢いよくいけたんで。わりとサクっといきましたね。

**――ギターとベースが絶妙な絡みだったというか。**

**Joe**：そうですね。アクセントが。

**てんてん**：頭には完成形はあったんですけど、レコーディングしたときに、なかなか理想どうりにいかなくて、ぶつかって悩んで。でも最終的には、その完成形以上のものができて、嬉しかったですね。

**――3曲目の「感情屑籠境界線」も展開がめまぐるしいよね。**

**子雲**：こっちのほうがめまぐるしい。

**てんてん**：これも俺の曲なんで（笑）。

Dr.子雲/Rhythm Geek

Ba.Jimi/Cosmic

## CPSのマニアックな世界

**5月26日にリリースされた「世界を撃った男 Case1 トカレフ」から、5ヶ月連続リリースに挑んでいるケミカルピクチャーズ。その第4弾「世界を撃った男 Case4デリンジャー」8月26日にリリースされる。毎回1曲目をそのシングルのテーマ曲とし、それぞれのカラーを放ってきた今シリーズも、残すところ、この1枚を含め2枚となる。4枚目のCase4.デリンジャーは、なかなか個性的な1枚に仕上がった。**

Interview:NAOKO TAKEICHI

どころじゃない、リズムと言われるパターンを全部やってんじゃねえかっていう。とにかくこの曲は、すげぇ大変でした。

**――歌詞がまたいいね。〝君の大事なモノは君に奪われる〟って。深いよね……。**

**てんてん：**ありがとうございます。大人になるって言い方だと簡単ですけど、やっぱ感情って薄れてくじゃないですか。人を最初に大好きになる感情とかも、大人になると違うんですよね。初めて好きな人の手握ったときってすごいドキドキするじゃないですか。20歳過ぎるとそのときのようにはドキドキしないもんね。嬉しいとか楽しいとか悲しいとか全部、どんどん人間もモノとして劣化していくんだなってことを歌ってるんです。

**――自分が守ろうと思って守れるものじゃないんだなって思うよね。**

**てんてん：**多くは無理でも、大事なモノは残したいな、最後まで何かを大事にして生きて欲しいなって曲ですね。

**Joe：**頭からケツまででいろんな感情があったりする歌詞なんで、その感情をギターでも表現してみたんです。怒ってたり、悲しかったり、寂しかったりっていうギターにしてみました。同じサビでも、感情を変えて弾いてみたんです。

**――後半のアコギもすごくアクセントになってた気がする。**

**Joe：**すごく生っぽい感触が出せてるかなと。そこがちょっと加わっただけで、印象を大きく変えることが出来るんです。

**てんてん：**世の中にはこんなにいろんな感情があるんだなってとこを伝えたかった曲だったんで、サウンドでもそれがちゃんと表現出来たと思ってますね。最後に感情が爆発する感じを受け取ってもらえたら嬉しいですね。

**Jimi：**僕的には、この曲が1番不安でしたね。てんてんの頭の中にはすごくハッキリと出来上がりのイメージがあったんですけど、僕の中には出来てなくて。さっき言った頭の中のMTRには出来てなかったというか「翼を下さい」みたいに展開が多くて、「翼を下さい」はキーが同じなんですけど、キーが違うんですよね。イントロとAメロもサビも全部。だから、ノれるかな?って不安だったし、最後、ドラムがクレイジーになっていくながら頑張った曲でしたね。

**――4曲目「イロトリドリのセカイ」。**

**Joe：**これは僕の曲で昔からあったんですけど、メロはいいけど、なんか納得いかない曲で、何度も良くしようとチャレンジしてきたんですが、どうにもならなくて。けど、ある日、スタジオで構築し直したら一発で生まれ変わったんです。

**てんてん：**歌詞が解りやすく、元気になれると思うんです。テレビやメディア的なことが、もっと変わっていったらいいなっていう希望があって。遠い国のニュースなんて、最初に聞いた時はすごく心が痛むけど、だんだんやらなくなって、いつの間にか風化しちゃう。それがすごく切なくて。そんなことを書きました。

**子雲：**ニュースでも、自分の住んでる近くで起こった出来事だったらハッとするけど、それ以外って正直ピンとこなかったりするもんね。

**――それも人間のエゴだもんね。たまに、〝そんなことより、もっと伝えるべきニュースが他にあるだろうが!〟って突っ込みたくなる時もあるしね。**

**子雲：**でも、日本人は特にじゃないかなって思うんですよね。例えば、駅で人が倒れてたとしても、何も言わないとか。

**Jimi：**あぁ、たしかに。海外ではそういうの、必ず声かけますからね。電車のシルバーシートを見てても、ちょっと悲しくなるときありますよね。

**――空いてる時は座ってもいいけど、お年寄りや怪我した人が来たらドケ!って思うよね。あれは見てて腹が立つ。**

**てんてん：**シルバーシートってホントみんななんとも思ってないんじゃないか?って悲しくなるときありますからね。わざわざそこに座るな! みたいな。

**子雲：**俺、空いてたから座ってて、お爺ちゃん来たからどいたのに、〝は?〟みたいに言われて、相当心が折れて、それからシルバーシートには、空いてても絶対座らなくなりましたけどね(笑)。

**てんてん：**曲調が広がりのある始まりだし、ここまで考えさせられる歌詞じゃない感じでもあるから、そこのギャップもこの曲の魅力になってたりするんじゃないかなって思いますね。

蝴蝶网
hudie.com

幸樹 Vo

# ダウト

## DIVE INTO PARALLEL WORLD!!

に待望の新作『サイケデリコ∞サイケデリコ』をリリースするダウト。長期にわたるツアーを経て掴んだもの、それがここに形として表れている。今
ンタビューでは、活動3周年を迎えた彼らに、今の気持ちを含め、収録曲について語ってもらった。これから始まる武者修行47都道府県ツアー『LIVE
TOUR '10』も全身全霊で挑んでくれるに違いない！

Interview:ERI MIZUTANI

**——活動3周年を迎えて、バンド内に変化はありましたか？**

**幸樹：**環境も変わったことで、それぞれに責任感が増えてきたかなと思います。

**玲夏：**ここにきてようやく、役割分担も出来てきたしね。ホント今、良い調子で活動できていますよ。

**——それだけに、新作の制作にも力が入ったと。**

**玲夏：**今回の作品は、良い意味で、進化系ダウトっていうものが見せられたかなと思うんですよ。ツアーを経て吸収したものが、さっそくここで出せているし、現時点でのベストだと言っていいですね。

**幸樹：**制作自体は、ヨーロッパ・ツアーに行く前からやっていたんです。けど、その時はまだ、作品の全体像っていうのは見えていなくて。なので、ツアー・ファイナルが終わってから、本格的に固めた感じですね。とは言え、選曲基準に関しては、今までとまるで変わっていなくて。これは昔から大事にしていることでもあるんですけど、〝その時にある自分たちの良いものを出す〟っていうことを今回も意識して作っていきました。なので、

てもらいました。

**——ある意味、こだわりですね。**

**幸樹：**はい（笑）。いつもどおりにやりたいっていうのが俺のこだわりなんです。あとは、第三者の意見も交えたことで、レコーディング中に成長できたところが多くあったんですよね。そう思うと、良い環境で録れたなって思います。

**玲夏：**俺は、作品を出すごとに、新しいことにチャレンジしていこうって決めているんです。なので、今回、心掛けたことは、緩急をつけて弾いていこうかなって。細かく言ってしまうと、歌を引き立たせるためにはどのようなベースラインが良いかとか、音の粒をどうやって揃えようとか、マニアックな話になってしまうんですけど、そこら辺を意識して弾いていきましたね。

**——基本を大事にしたということですか。**

**玲夏：**下手したら地味に聴こえてしまうかもしれないんですけど、派手な部分を出すためには、地味な部分も必要かなと思って、こういう手法を取ってみました。

**ミナセ：**自分の場合は、今までのことを

作っていったんです。あとは、全体が良くなるようにというのを考えて、叩いていきましたね。

**——そうしたことで、曲としてのバランスがしっかりと取れたのでしょうね。**

**幸樹：**リード曲「サイケデリコ∞サイケデリコ」は、特にそう感じられるかもしれないですね。

**——大きなノリが特徴的ですし。**

**ミナセ：**タイトルに含まれている〝無限ループ〟っていう部分は、叩いていると きにも意識しましたね。聴いていて周りとマッチする音、それでいてスムーズな展開運びが出来るものというのを目指したので。

**玲夏：**グルーヴ面に関しては、ドラムと同じように、大きなノリでいこうっていうのは意識したんですけど、他は、ドラムとは違うことをやろうと思いましたね。ここで一緒のことをやってしまうと、あまりに色がなさすぎるし。1つの曲としてはいいのかもしれないけど、ダウトがやるからには普通のものにはしたくないなって。

**幸樹：**その点、彼はいつも毒を入れてく

**像も出来ないような曲調になりましたね。**

**幸樹：**サイケっていうジャンルとはまるで違ったものになっていますからね。これ、現代社会を背景としながらも、今の気持ちを歌っているんですよね。ただ、ここまで不特定多数というか、抽象的な曲のタイトルって今までになかったので意外に思われるかもしれないんですけど、思考的には、昔よく歌っていた感じに近いかな。

**——インパクトありますよ。サビなんか、一度聴いたら忘れられないというか。**

**幸樹：**元々、サビから出来たんですよ。音圧で暴れるというよりかは、自然と体がノレるものにしたいなと思って作って

いきました。デモの段階では少しポップすぎたかなとも思ったんですけど、俺の中でこうしたいっていう具体的なイメージがあったんですよね。サビはループさせる感じで、とか、ここはエフェクティヴな感じで、といった具体的な注文をメンバーにしていったんです。

**ひかる：**幸樹から、こういう風にしたいんだって言われた後、自分なりの解釈を形にして曲に乗せていったんです。それが意外にも、彼の持っていたイメージとリンクして。

**幸樹：**えっ、そうだっけ？

**ひかる：**あれ？ 違った？

**——早くも意見の食い違いが…。**

**ひかる：**すいません、何だか片想いだったみたいです……。

**幸樹：**あはは（笑）。俺がギター陣に求めたものって、俺が！俺が！っていうような、エゴの部分だったんですよね。

**——エゴ、ですか？**

**幸樹：**エゴって言っても、決して独り善がりという意味ではなく。ここだけは絶対に譲れないっていうところを出してもらいたかったんです。まぁ、そこはリズ

**威吹：**なのでギター隊は、煮詰まったら会うことを心掛けていて。曲によって違うんですけど、固めるまで徹底的に相談していきました。「サイケデリコ∞サイケデリコ」は、フレーズは決まっていたので、歌の部分に関して打ち合わせをしていったんです。作曲者のヴィジョンがはっきりしている曲だったので、作りやすくはありましたよ。出だしのフレーズもイメージにぴったりした感じで作れたんじゃないですかね。

**ひかる：**個人的には、今回のレコーディングで、少ない音数でどこまで耳に入ってくるかっていうのが目標だったんです。閃きも大事だけど、フレーズが思い浮かばない時には、個人練習[illegible]て夜中ずっと弾いていたりもしたし。

**幸樹：**そうやってしっかり[illegible]てくれたからこそ、全体のバランス[illegible]ないこと取れたんだと思うし、こ[illegible]インパクトのある曲になったのかなって。ちなみに、俺が煮詰まった時には、ひたすら外を歩くことにしていま[illegible]帰らないっていう自分ルー[illegible]過去には、5時間ぐらいうろついていたこともありました。もはや、[illegible]地ですね（笑）。

**——（笑）ひかるさん作曲の「DANCE NUMBER」は、これまた、か[illegible]り色が違いますね。**

**ひかる：**原曲をみんなに渡した時、幸樹

蝴蝶网
hudie.com

ひヵる Gt

威吹 Gt

ミナセ Dr

玲夏 Ba

蝴蝶网
hudie.com

**――クラブというよりは、ディスコ的な雰囲気を持っていますよね。**

**幸樹：**これ、今風な雰囲気にはしたくなくて。流行りに乗るのは好きではないし、普通にしてもダウトらしくないかなって。なので、歌詞もちょっと古めな感じにしてみたんです。コーラスもしましたからね。

**幸樹：**コーラスって、ライヴ会場でやるなら恥ずかしくないんですけど、レコーディングともなると多少の恥ずかしさが出てくるじゃないですか。なのに、このミナセさんときたら、やたらにドヤ顔で歌ってくるんですよ。〝どうだ、俺は歌（笑）。でも、ディスコっていっても、完全にその雰囲気は体験したことないんで分からないじゃないですか。なので、そこは自分たち流のダンスサウンドを作り出していった感じですね。

**――聴きごたえ充分です。さて、この2曲に加え、初回盤Bには「天秤ラバー**

**玲夏：**「天秤ラバーズ」は俺が作ったんですけど、自分のいちばん好きなテンポを持ってきました。一見、へんてこな曲かもしれないけど、新しさを感じてもらえると思います。

**幸樹：**逆に「御礼参り」は、ストレートな曲になっていると思います。今の素直

も早かったですよ。

**――これらの曲が、武者修行ツアーでどのように変化していくのか気になります。**

**玲夏：**確実に、育つんじゃないかな。

**幸樹：**俺たちが向上するためのツアーになると思うので、今から楽しみです。

## ツアーの経験が生きた"進化系ダウト"

# SHOCK WAVE アポロ vol.40

**Live at 高田馬場AREA 2010.7.18**

毎月18日に、高田馬場AREAで開催中の「SHOCKWAVE アポロ」。今月出演したのは、medi@lize/ギャロ/Swallowtail-スワロウテイル-/アヲイ/Administrator/_ZEROdb/東京ミカエル。の7バンド。お馴染みから新規勢力まで、いろんなバンドをてんこ盛りで、7月18日もお届けしました。その模様を、お伝え致しましょう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:TOMONORI NAGASAWA

medi@lize

1.絶対領域
2.Moe Moe Days
3.Myメイド
4.ぐるぐるgoogle
5.明日も僕と

SwallowtaiL-スワロウテイル-

1.時ノ栞
2.アニー
3.ハレルヤ
4.口約束

ギャロ

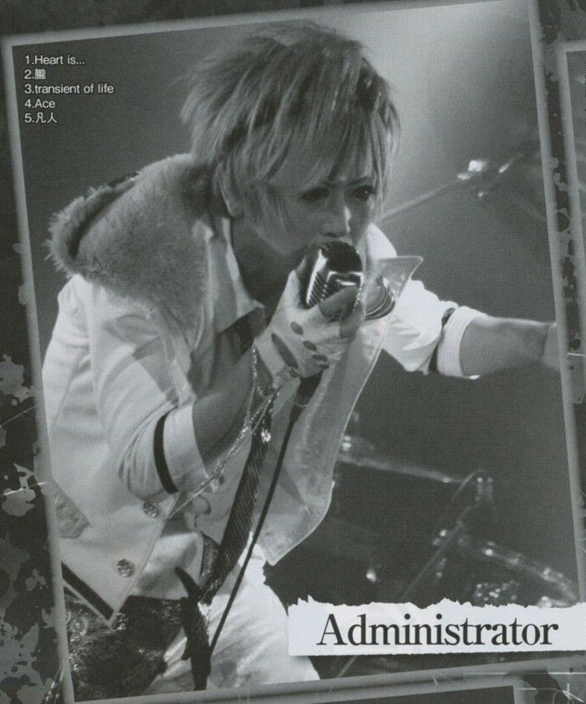
1.無題
2.BUTIQUE BEELZEBUB
3.ALICE IN WORLD END
4.魔王-覚醒-
5.東京シンデレラ

〝Myメイドたち、いくよ〜!〟の声が、SEを通し、会場中に響き渡った。ヲタク系Vバンドのmedi@lizeが打ち出したテーマ性は、【ヲタクイズム】。楽曲のタイトルも、「絶対領域」「Moe Days」「Myメイド」「ぐるぐるgoogle」など、ヲタ/電波心くすぐる言葉たちばかり。曲中にアニソンのフレーズを入れたり、ヲタ芸的な振りを加えつつも、楽曲はキラキラ輝き放つ、根明に弾けたビートロックという、わかりやすさを全面に押し出したスタイル。つかみはバッチリ!!

ステージ前方では、熱狂的なファンが大騒ぎしている。狙い定めた獲物を狩るように、研ぎ澄ました剛圧な音の刃を大上段から振り下ろしたのが、ギャロ。その音へ触れているだけで、感情が熱く昂ってゆく。牙を向けられるたびに、想いが痛く煽られてゆく。熱くスリリングなステージングを披露していくにもかかわらず、MCでは【ビビ】という人形を手に、一人芝居してゆくヴォーカルの姿も。終始、心地好い緊張感を持ちながら、観客たちを熱狂の渦へ巻き込んでいったギャロ。ライヴ/MCのギャップは、意外に燃え/萌えなポイントだ。

なんて、心を疼かせるメロウな歌なんだろう。これまでの熱狂が嘘のように、美しく静謐な音の絨毯を会場中に敷きつめたのが、Swallowtail-スワロウテイル-だ。冒頭を飾った「時ノ栞」へ触れた瞬間、心の臓をギュッとつかまれた気分。クリーンな音色を軸に据えているよう、何処か冷めた印象を与えるが、芯に温もりを携えている点が嬉しい。スカビートを取り入れた「アリー」など、スタイリッシュでモダンな楽曲を次々と舞台上から解き放ってゆく彼ら。口づさみやすくお洒落でグルーヴィな音の数々に、終始、心も揺れ続けていた。

やばい! やばいっ!! 身体中を、ゾクゾクッとした興奮のアドレナリンが一気に駆けめぐりだした。大阪出身のアヲイが、久しぶりにアポロへ登場。凄まじくテンションの高い音の津波が、次々と身体を、脳幹を直撃してゆく。激しい音の中でさえ、掻き消されるどころか、メロディと歌詞がグサグサ胸へ突き刺さっ



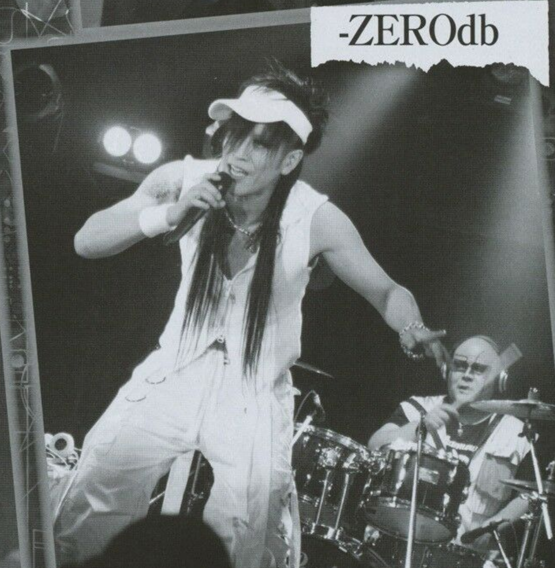

Administrator

アヲイ

蝴蝶网
hudie.com

東京ミカエル。

-ZEROdb




格が違うと言っては、他の出演者たちに失礼になるが。その圧倒的な存在感と説得力を持った演奏に触れていると、嬉しいくらい武者震いが止まらないんだよ。

幕を開けるなり、ズシッズシッと腰に来るドラムの音が早鐘鳴るよう響き出した。轟音ビートの上を疾走するように、ベースとギターが、重低音かつ躍動的な演奏を絡めていく。もちろん、ヴォーカルだって負けていない。ステージ上から客席へ落ちそうなくらいに、観客たちへ身を寄せ歌っていた。先のライブに負けない、アグレッシブなステージを描き出したAdministrator。軸に据えていたのはノリ／煽り系曲だが。中盤で披露したミッドな歌物を通し、改めてヴォーカルの表現力の豊かさも実感。激しさの中に秘めた懐深さに、心惹かれた。

SEが流れ、幕が開くと、そこにはDJも担当したヴォーカルが。彼は、すぐさまサイリウムに持ち替え、観客たちを煽ってゆく。元・宇宙戦隊NOIZのドラマー／ギターを内包した-ZEROdbが奏でるのは、デジタルな音を背景に敷いた、ノリ良くも、ロックの持つ躍動性を抱いたパーティ・チューン。「Qooswiy」の時点で、会場中の人たちが一緒にハチャメチャ踊り出すお祭り状態。デジタルな音もスパイスにしているが、-ZEROdbの本質は、生々しいロックな音の高揚性にこそある。無条件に笑顔にしてくれる、その姿勢がいいね。

トリを飾ったのが、東京ミカエル。躍動的な空気を描きながらも、切ない想いを胸に染み渡らせた「しゃぼん玉」。身体を熱く揺さぶる「東京カメレオン」でも、想い伝える姿勢を見せていたのが嬉しい。ライヴという場だけに、熱狂を導いていくのは当たり前だが。体感性が軸ではなく、内面的な気持ちを揺さぶったうえで、自然と身体も騒ぎだす空気を作りあげている点が、東京ミカエル。の大きな魅力だ。ライヴでは騒いでこそという傾向が強い昨今。彼らのように、歌が持つ力で気持ちをハピネスにしてくれるバンドが魅力的に見えてくる。

蝴蝶网
hudie.com

全国ツアー2010『続・生きることとみつけたり!!』横浜公演

平成二十二年七月十一日　横浜ブリッツ

# 陰陽座

## 4年越しの想い、結実へのスタート

2006年に敢行した全都道府県ツアー終了から約4年、密かに彼らが塗り直していたという日本地図は、ようやく再び塗り潰されることとなる。そんな4年越しの想いが結実へ向かう、陰陽座の全国ツアー『続・生きることとみつけたり!!』が、七月十一日・横浜ブリッツよりスタートした。初日にして、彼らとオーディエンスの熱き魂にえたぎったこの夜の模様をお届けする。

…raphy : EIJI KIKUCHI
…: JUNKO ARASAWA (SHOXX)

『(2006年の全都道府県ツアー「生きることとみつけたり!!」以降)長い期間がかかっても、全都道府県行けるんだっていう証明を4年かけて地味にやってました』

本誌6月号のインタビューにて、瞬火がこう言及していたツアー「続・生きることとみつけたり!!」が、開幕の日を迎えた。初日・横浜ブリッツは、陰陽座の気概を称えるオーディエンスにびっしりと埋め尽くされていた。

ツアー・スタートを宣言する瞬火の言葉の後に放たれた1曲目は、全都道府県ツアー完遂後に発表された「生きることとみつけたり」。早くも大合唱のオーディエンスに、『のっけから、魂の底から楽しいぜ、ありがとう!!』と瞬火が応

などレアな曲も挟まれつつのメニューは、発表時期的にもかなり多岐にわたるものになっていたのだが、中でも今回のツアーでの一つの肝となると言えそうなのが、初盤に訪れたこの一幕だろう。

『出来た時に、陰陽座として自信を持ってお送りした曲だったんですが、同意が得られずに、不遇な時代を過ごしてきた曲なんですが、10周年も迎えて先に進もうという今の陰陽座ならみなさんの心に響くように出来るんじゃないかということで、この夏はこの曲でキメるつもりで』という前フリから「目々連」が披露されたのだ。シングル「妖花忍法帖」(2002年リリース)にカップリング収録された同曲は、生で聴くのは個人的にも初めてのこと! 当然、オーディエンスからも、歓びと驚きの入り混じるどよめきが沸き起こった。黒猫の澄んだ歌声と、時折熱を帯びながらもゆったりと進んでいく演奏とのコントラストに、身体を委ねるオーディエンス。演奏後に、〝やっぱり、曲のタイトルを言った途端に笑いが起こっちゃう〟などと瞬火は言っていたが、招鬼の情熱的なソロや絶妙なテンポ感には〝今〟の彼らだからこその世界が作り上げられていたし、決して笑いが起きていたわけではなかったことを断言しておこう。

久々の「陰陽師」も披露された2度目のアンコール後、今年末発売のアルバムについて言及し、〝来年、凄い作品を引っ提げて戻ってくる〟と宣言した瞬火。

実はツアーがスタートしてほどなく、黒猫の急性声帯ポリープによる一部公演休止が伝えられていたのだが、8月8日より再開しているとのこと。彼らの尽きぬ魂の炎は、まだまだ続くツアーで大き

# メガマソ

## 今回はストレートなロックナンバーを出そう!!

**8月25日にリリースされる、メガマソのメジャー4thシングル『花びら』。タイトル曲の制作に、ORANGE RANGEなどのヒット曲を手掛けたプロデューサー・シライシ紗トリを迎え、新たな挑戦を試みた。その他の収録曲も、曲各々にこだわりを見せた仕上がりで、バンドとしての メンバー各々の手応えを感じられる作品になっている。そんな意欲的なメンバーの姿を、9月5日渋谷AXのステージで確かめたい。**

Interview:MIYUKI MU

## 真夏 は最上の花びらになれ

蝴蝶网
hudie.com

とやりたいと言い続けてたんで、やっと実現しました。

**――今までと制作の違いはありましたか。**

**涼平：**僕らバンド側は普通にバーッと録っちゃって、その後で結構シライシさんが時間をかけて加工の作業をされるんで、そんなに変わらなかったです。

**インザーギ：**素材録りがちょっと多かったかなって感じですね、

**Gou：**違いは何もないですね、俺は。好きなようにさせてもらいました。

**――もともと「花びら」をタイトル曲にしようと思ったのは?**

**涼平：**皆でいろいろ話し合って、ストレートなロックナンバーを出そうと思っ

すけど、何回も聴いてるとエレクトロな要素がたくさん入ってるのがわかると思います。

**――楽器のプレイに関しては、シンプルなロックを意識して?**

**Gou：**ベースに関しては、好きなようにやり過ぎた感がありますね。カッコよくしたいっていう気持ちだけだったんです。

**涼平：**ギターは左右に振って派手にしたかったんですけど、シライシさんはやっぱりトータルプロデューサーとして、自分がやりすぎちゃうところを直してくれたりしたんで、すごく勉強になりました。

**――最終的にシライシさんが加工して、**

な音色が入ってたりして、すごい面白いですね。

**Gou：**今までと仕上がりは全然違いますね。全体のバランスが全然違って、聴いたときビックリしましたね。

**――PVがまた意外な映像ですよね。ちょっと怖い雰囲気も漂って。**

**涼平：**これはね、監督さんのアイデアですね。僕らもコスプレ感覚で撮りました。昔ながらのヴィジュアル系もたまにはいいかなって。でも、メイキングがひどいんで（苦笑）。

**Gou：**メイキングは、監督の世界観を完全に壊してるね（苦笑）。

**――逆にカップリングの「MOON」は、**

した。初めてバンドでスタジオに入ってプリプロして、構成とかを固めてからレコーディングしたので、よりバンドらしいと言うか、ロックっぽい感じになってると思います。

**――歌詞も歌もすごくストレートで、爽やかな切なさがありますよね。**

**インザーギ：**曲調がかなり明るいので、そこにちょっと切ないものを加えて、そこまで重く切なくならないように。これは「朧月」と対になる曲で、「朧月」は男の子目線で、「MOON」は女の子目線なんです。

**――初回盤Bに収録される「朧月」は、アンプラグドのバージョンが入ってますが。**

**涼平：**シンプルな作りなので、歌の情緒とかがわかりやすく聴けると思いますね。

**インザーギ：**音が全部シンプルになっちゃうと、一回まるまるで録りたいし、録りでは神経を使いました。「MOON」と両方聴いてもらいたいですね。

**――通常盤にのみ収録される「Amber Flight」は涼平君っぽいですよね。**

**涼平：**This is メガマソな感じで。これは全部自分達でシンセも組み込んだので。ライヴで盛り上がりそうなイメージがほしくて作ったんですけど、歌詞は結構重い内容になりました。その内容に合わせて、ゴシックロックの雰囲気もありますね。

**Gou：**確かにゴシックロックのイメージはあったと思います。でも、気持ちいい感じでライヴでも弾けると思います。

**――歌うときは歌詞を意識して?**

**インザーギ：**内容的に重いので、歌とのギャップを作りたくて、軽快な感じとかロックな感じで歌ってますね。ただ、歌詞の中のアクセントとなる言葉は、耳に入るようにしました。

**――この4曲を比べて聴くと、作り方とか音の仕上がりが違う曲になりましたね。**

**Gou：**マスタリングのとき、合わせるのが大変だったもんね。

**――ぜひ全部聴いていただいて、9月5日には渋谷AXのライヴも控えています。**

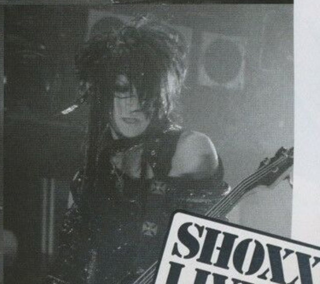
**涼平：**そこに向かいつつ、次の作品を作りたくて皆ウズウズしてるんですよ。新しい方と一緒にやって勉強になったんで、楽しくて楽しくてしょうがないです。

# SHOXX MODE

## SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

【SET LIST】
-OPENING SE-
M1.NEO DESTRUCTION
M2.Soul cry
M3.muddy cult
M4.朧
M5.Haunted Jealousy
M6.Piano solo〜In the shadow of the rain cloud
M7.深海魚
M8.guilt trip
M9.The Heartless People
M10.idle
M11.Nameless alice
M12.HATE HATE HATE
M13.reminiscence
M14.Ogress
M15.DIS.
——encore1——
M16.Dr&Ba solo
M17.Another Eyes of reminiscence
M18. lust[er]
——encore2——
M19.lover
M20.17歳の孤独
M21.壁

# ネガ



SHOXX LIVE!!

# 2010年07月26日(月) 渋谷O-WEST
# ネガ 5th ANNIVERSARYワンマン公演
# 「Depart [ure] 〜審判の夜〜 」

## 明日への指針となる大切な場所と仲間

というそのバンド名に相応しい世界観をつくり続けて来た彼らが、7月26日、渋谷O-WESTでワンマンライヴ『Depart[uer]〜審判の夜〜』を行った。
最初から最後まで会場をネガ一色に染め上げながらも、観客を飽きさせることなく、ライヴは展開。
年記念に相応しい内容を見せつけたが、公演終了後には驚きの発表が控えていた。6年目を迎える彼らはどこへ向かうのか。その真意を見届けたい。

Report : MIYUKI MURAYAMA

ネガ結成5周年記念となるワンマンライヴは、巧みに緩急をつけて構成された内容で5年間の進化をあますことなく見せつける、充実したライヴとなった。まずは高いテンション溢れるオープニング「NEO DESTRUCTION」から、狂気に満ちながらも的確なプレイで、まるで一方的に攻め立てるように展開する。緻密なプレイを繰り出すSAN、どこまでも攻撃の手を緩めない優、そしてぐいぐいとえぐるような低音を吐き出すRayと、そのサウンドは圧巻だ。そして全てを吐き出すかのように、ルが「Haunted Jealousy」を歌い上げたところで、優のピアノソロが始まり、辺りは静まり返る。冷たさと静けさの中に熱い想いを秘めたピアノの音色に、幻想的なSANのギターが加わる。そこからは、たっぷりとイマジネーション広がる世界観を見せ付けたかと思えば、映像とのリンクで視覚的にも突き刺さるような痛みを露わにして見せた。確かで練られた表現力に、観客もすっかり引き込まれている。

そこから後半戦は、肌と肌、そして感情と感情がぶつかり合うような、生々しいライヴが展開して行く。延々と煽り続け、どこまでも激しさの増した「HATE HATE HATE」では、メンバーの表情もイキイキと輝き、この荒々しさをどか楽しんでいる風でさえあった。「DIS.」をプレイする頃には、観客もひたすら前へ前へと詰めかけ、会場に心地よい高揚感が充満する中、本編を終えた。

2回のアンコールでは、一人ひとりによるこの5年間への想いを語る場面もあり、まさに5年間の集大成に相応しい空気が漂う。そこで、この日最後にプレイされたのは「壁」。最後の最後まで全身全霊をかけて力を振り絞るように、何かを吐き出そうとするメンバーと観客は、いつしかひとつになって行く。その光景は、自らの世界観を構築することに長けていたネガが進化し、その視線をさらに外に広く向け、そこで確実に何かを得た証のように見えた。

6年目の活動への期待が大きく膨らんだところへ、終演後に発表されたのは、9月のライヴをもって活動休止するという知らせ。まだまだ進化すると告げたルの言葉は、どういった形で実現されるの



hudie.com

# E'm～grief～

蝴蝶网 hudie.com

## ニューマキシシングル『Atonality』リリース

grief(嘆き)をテーマに掲げ、これまで活動を続けて来たE'm～grief～。8月18日に発売される2周年記念となる『Atonality』(KISAKIプロデュース)では、そのテーマに少しずつ新しい色がにじみ出始めているようだ。自らの感情を音に託しているだけあって、次のテーマや変化の時期は決まっているのではなく、感情から生まれる曲次第というのがまた彼ららしい。けれども確実に進化し続ける姿にはおおいに期待が膨らむ。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

**ユーゼ**：2周年記念の音源ということで、バンドの象徴になるような曲を作りたいなって思って作りましたね。ただ今回は、結構ストレートになりましたね。

**Cecir**：確かに今回はわりとストレートで、聴きやすい曲で、いい曲だなと思いましたね。

**――歌詞についても、バンドの象徴というところは意識したんですか。**

**リタ**：今までと同じでテーマはgriefなんですけど、「Atonality」の歌詞は、個人的な想いだけではなく、いろんな人がいろんな立場に置き換えても共感してもらえるような形で自分達のgriefを出せているかなと思います。

**――とは言え、サビや後半に向かって、前向きさが感じられる印象がありますね。**

**リタ**：昔の作品ほど絶望的な内容のものが多いのですが、一番新しいこの曲では、前向きな部分が多いかなと思います。そういう部分も合わせて、2周年の自分達のスタンスとか今の感情が表れてるような気がします。

**ユーゼ**：今まではgriefというコンセプトでやって来たんですけど、違うコンセプトに向かおうとしてるのかなという感じで受け取ってもらえるのかな。

**――Aタイプに収録される「D.L.S」はCecirさんの曲で、打ち込み全開のサウンドですね。**

**Cecir**：全部打ち込みです。作曲する前からデジタルサウンドで、サディスティックな要素を含んで作ろうと思っていて。自分の中の内面的に隠れたSの部分が上手く表現できた曲かなと思います。

**――歌詞にもそれが表れてますね。**

**リタ**：こういうセクシャルな匂いのする世界観はこれまでなかったので、幅を広げるものになったかなと思います。彼がわかりやすいテーマを挙げてくれたんで、そこをアイム風に上品な範囲内でのエロスを出しました。

**――また他の曲とは違う世界です。**

**Cecir**：ライヴでは衝撃的な演出も考えてるんでそれも楽しみにしてほしいところですね。楽器を一切弾かないんで。

**――Bタイプに収録されるのが「Kyrie」。**

**ユーゼ**：これもCecir作曲なんですけど、僕がアレンジしてまして、ベース

す。

**Cecir**：曲を作るときはバンドサウンドのことは意識してなかったし、最初は曲調が全くアイム風じゃなくて、アイムの曲なのか？って自分で思うぐらいしたけど（苦笑）。

**リタ**：アレンジでガラッと変わって、悲しさと綺麗さと激しさがすごく引き立って、アイムらしい曲として誕生したかなって。

**Cecir**：聴き所としては、ベースがいい感じに出てるんで。

**ユーゼ**：ベースに結構こだわってます。ギターも細かい技が入ってるんで、全パートが戦ってるようなイメージですね。

**リタ**：ヴォーカルはバラード寄りに引っ張ってるのに、ドラムは反対に向かってるし（笑）。アクが強いものがギリギリ上手いことまとまってる気もしますね。

**――曲の展開もものすごいですしね。**

**リタ**：だいぶシンプルになったけどね。

**Cecir**：これでもね（苦笑）。

**――DVDにオフショットが入るというのが、バンドのイメージからは意外ですが。**

**リタ**：素のときは、他のバンドさんよりよっぽどふざけてるんで、そういう素の状態が見られると思います。

**ユーゼ**：これに使うと思わないで、撮ってた映像も多いし。

**リタ**：楽屋で誰かがふざけてるのを誰かが撮ってたのを使ってみようかって。

**ユーゼ**：だから自然な感じですね。

**――10月の3マンの東名阪ツアーでは、濃い世界観が見られそうですけどね。**

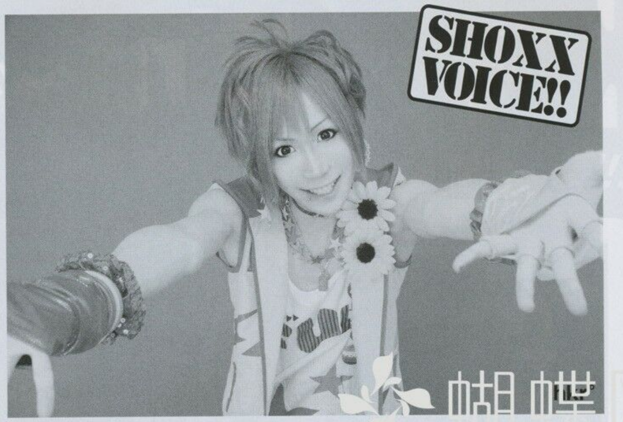
**Cecir**：時間も長いんで、いろいろ演出もガンガンしたいですね。全箇所セッションもやるんで。

**リタ**：アイムの本領と言うか、全てが見られるかなという気がします。

**――そして、ここから3年目の活動です。**

**ユーゼ**：あんまり考え込んでこうしようっていうのはないんですけど、2年経っていい区切りだし、近いうちに違うコンセプトが出て来ると思います。ただ自然な流れで行きたいんで、無理はしないですね。

**リタ**：自然に曲調とか歌詞が変わって行って、次に出す曲はgriefじゃないねって自然になったとしたら、それが自然に変化するときなのかなと思います。




蝴蝶网 hudie.com

# PIECElang

## 常夏仕様で攻める、新作『TOCO"夏"FANTASY』

ヴィジュアル界の常識を徹底的にブッ壊しながら、アゲアゲHAPPYな新しいヴィジュアル音楽スタイルを提示し続けているPIECElang。彼らの最新2ndシングル『TOCO“夏”FANTASY/ギャラクティカU』が8月4日に発売になった。今回は、思いきり“常夏”仕様の作品として完成。これを聴けばいつでも、どこでも、常夏ファンタジックな気分」だねっ!!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

**――ヴィジュアル界の常識をブッ壊した音楽を産み出し続ける個性的なバンドという認識は持っていましたが。最新シングル『TOCO"夏"FANTASY』を聴いた時には、〝ここまでブッ放すとは…〟と、さすがに腰抜かしました。**

**hkr**：今回はユーロビートまでかましちゃいました。今回の作品は、PIECElangのことが大好きな人たちさえもビックリさせたい狙いがあったんですよ。2曲とも、デジタルな音をメインにしたから、バンド・サウンドからはかけ離れましたが、本気でダンス・ミュージックをやっている人たちにも絶対に負けないクオリティを持って作りました。

**――夏発売らしく、存分に〝夏仕様〟のヴィジュアルや音楽で攻めてきました。**

**hkr**：せっかく夏のリリースなんだから、〝常夏〟仕様で攻めなきゃね。それと、今回の作品で描いたこだわりとして、〝デ

面に押し出してるし、一聴するとダンス・ミュージック色を強く感じてしまうかもしれませんが、各楽器陣ともに、アゲアゲな感覚を活かしたロックな生演奏というアプローチも、それぞれの中でいろいろ試しています。

**アキ**：むしろ、じっくり聴いた時に、〝あっ、こういうロックなアプローチもやっているんだ〟っていう、細かい裏テクニックに気づいてもらえればなという感覚で、僕らは全然OKですから。

**――タイトル曲「TOCO"夏"FANTASY」は、アゲアゲHIPHOPなノリも持った曲として完成！**

**hkr**：無邪気な子供っぽさを出しつつも、しっかり大人の色気も出して、思いきりみんなで騒げるイケイケなダンス・チューンに仕上がりました。この〝はしゃぎ感〟こそ、PIECElangらしさなんですよ。

**hkr**：夏のアバンチュールには毎年期待したいんですけど、毎年、妄想で終わってしまうんです（苦笑）。なので、今年はぜひアバンチュールを募集しています！

**ぴんぴん**：僕は人間よりも、シダ植物やコケなどに、ときめいちゃいます。

**hkr**：……僕らにとってのアバンチュールは、〝ライヴでファンの子たちに、これまでにないPIECEを見せながら、新しい音楽との出会いを与えること〟だと思うんですよ。だからまずは、ライヴという場で、みんなのハートへロックオンしたいですね！

**――2曲目に収録したのが、ユーロビート炸裂ナンバーの「ギャラクティカU」。**

**hkr**：「ギャラクティカU」を演奏する時は、メンバー全員楽器を置いて、全員でパラパラを踊ってますからね。

**アキ**：「TOCO"夏"FANTASY」でも、ANDoとぴんぴんは、楽器を置いて踊ってますけどね（笑）。

るのは、ポップス・シーンですからね。だからこそ、バンドという枠も越えて、〝良質なポップミュージック〟を解き放つことで、勝負していける姿勢を、この作品で示したかったんですよ。

**ぴんぴん**：〝ヴィジュアル系らしい〟とか〝らしくない〟なんて、全然小さなことなんですよ。今回の作品でも僕らは、ユーロビートやHIPなパーティ音楽をやっていますけど、かと言って、どれもそのスタイルの本道をやっているわけじゃない。むしろ、この5人のメンバーのフィルターを通していろんな音楽を昇華しているように、どんなスタイルの音楽だろうと、〝PIECElangの音楽〟になることを、こうやって証明したかったんです。

**Kana**：そうだね。今回の作品では、打ち込みスタイルにこだわったけど、僕らみんな、〝バンド・サウンド〟という意識が根本にあるし。hkrが持ってくる

楽スタイルを作り出している要因になっている。そこは、今後も変わらないです。

**ANDo**：「TOCO"夏"FANTASY」は、自然とテンションが上がっちゃう歌詞やリズムを持った曲だし、「ギャラクティカU」も、今のPIECElangの進化した姿を出した曲。しかも2曲とも、夏に相応しい曲になったのが嬉しいよね。

**アキ**：すごくエンターテイメント性の出た楽しい2曲なんだけど、ヘッドフォンで聴くと、細かいいろんな音ネタが飛び出してくるので、そこにも注目してほしい。

**ぴんぴん**：僕の衣装、デコッたシュノーケルや水中メガネにダイビングスーツ仕様なんです。ぜひライヴでは、お客さんの中へダイビングしてアバンチュールしたいです！

**hkr**：「TOCO"夏"FANTASY」の歌詞に書いた《五感じゃなくてココロで感じBest Smile×2》じゃないけど、聴けば聴くほど笑顔になるし、細かいこだわり

ANDo　アキ　ぴんぴん　Kana

蝴蝶网
hudie.com

# シンディケイト

SHOXX VOICE!!

## ニューマキシ・シングル『ボクサー』リリース

UNDER CODE PRODUCTION移籍後も着々と自分達の“ダサカッコイイ”を追い求めているシンディケイトが、KISAKIプロデュースによる最新音源『ボクサー』を8月25日にリリースする。曲ごとに溢れる、彼らならではのダサい(!?)世界観を味わってみてほしい。9月には、飲食物と引き換えに入場可能（！）という斬新なワンマンツアーも企画。興味のある人は、ナマもの以外の飲食物を手に、ライヴハウスに足を運んでみては?

Interview:MIYUKI MURAYAMA

**ユーイ**：自分達のコンセプトが、〝ダサカッコイイ〟で、今まではディスコチックな、80年代のテイストを入れて来たんですけど、今回は男クサイ作品を作ろうと思って。それで出来たのが「ボクサー」です。最初にタイトルが浮かんで、「ボクサー」ってダサいなと。そこから曲を作り始めました。

**――曲調も「ボクサー」のイメージから?**

**ユーイ**：ボクサーと言えば、アリスの「チャンピオン」じゃないですか。

**――（苦笑）ユーイ君っていくつ?**

**ユーイ**：20代ですけど（笑）。それを超えるような曲を作ろうと思って、対抗意識を持って書きました。

**――具体的にはそれをどう音にしてるんですか。**

**おたけ**：男らしさとか男の地道な努力とかをイメージして、自分なりに表現してみました。

**――アコギを黙々とかき鳴らしたり?**

**おたけ**：小さな仕事をコツコツと、と言うか（笑）。

**まぁや**：最後の転調するサビで、最後の抵抗を試みるわけですよ。でも結局弱い男なんで同じ右フックしか出せないっていう感じをイメージして、同じフレーズしか弾きませんでした（笑）。

**沙美**：メロの部分とサビの部分で分かれてまして、メロの部分はトレーニングで、サビの部分は試合なんです。メロの部分はほとんどバスドラだけで、サビで一気に暴れるイメージです。

**――完全に音と歌詞がリンクしてるんですね。歌詞もすごく具体的です。**

**ユーイ**：世代的には、ボクシング漫画って、『はじめの一歩』なんですけど、何か違うなって思って。3曲ぐらい作り直して、やっと『あしたのジョー』の70年代後半ぐらいの世界観まで近づけました。

**――こだわりですね。カップリングの「ミラーボールは無責任☆」は、シンディケイトおなじみのディスコ調の曲ですね。**

**沙美**：でも、雰囲気を出しづらくて苦労しました。

**――タイトルもまた不思議なんですけど。**

**沙美**：これも最初からつけました。自分の中で歌詞のイメージはあったんですけ

**ユーイ**：僕が全部書き直しましたね。ミラーボールを女性にたとえて、思わせぶりな女性のことについて書いてるんです。ミラーボール（＝君）は本当に無責任だよって。あのときのあのキスは、何だったんだい?って。そういう歌詞です。

**――「ジョージで待ち合わせしましょう!!」も不思議なタイトルですね。**

**ユーイ**：吉祥寺ってジョージって略されてるんですけど、それがちょっとダサいなと思って、それについて書きました。昔、流行ったらしいんですよ、街を略すのが。そういうのがダサいなと思って。

**――曲調も、吉祥寺のイメージから?**

**沙美**：自分が吉祥寺行ったときのインパクトがすごくて。4月頃で桜も公園とかに咲いてて、そんな街のイメージを爆発的に出したくて、インパクトのある曲をと思って書きました。

**――歌詞では、吉祥寺で待ち合わせしてる僕の気持ちを、具体的な街の情景と共に描いてますね。**

**ユーイ**：沙美君がネットで調べたり、人の話で情報仕入れたりして、こういう歌詞にしてみました。

**――さて、9月のワンマンツアーですが、これは何でも飲食物を持ってくれば、本当に入場できるんですか。**

**ユーイ**：出来れば、ナマものは避けてほしいです。干物がいいよね。

**まぁや**：干物が嬉しいです。サバ缶とか。

**ユーイ**：お金ないんで、そういうものがいいです。

**おたけ**：切実な想いがこもったワンマンツアーです。

**――ワンマンの内容としては?**

**ユーイ**：お客さんが持って来てくれた飲食物を全部ステージに上げようかなと。で、ジャーを持ってって、ご飯とか炊いて食そうかなとか思ってます（笑）。

**――あの、曲とか、そういう内容は?**

**ユーイ**：無料だし初めて見る人も多いと思うんで、シンディケイトを全部出そうかなと思ってます。ベスト的な曲で、自己紹介的な感じで回れたらいいですね。

**――そこで気に入った人は、10月のツアーもぜひ、と。**

**ユーイ**：来ていただけたらと思いますね。

祥

hiro

ヒナタ

# Ap(r)il

## JUST 4U

SHOXX VOICE!!

5月、新メンバーにドラムの優（ゆう）を迎えたAp(r)il（エイプリル）。今年最初のリリースとなるST 4U」は、"再スタート"との気持ちを込めて作ったものという。そこについて詳しく探るべく、バー全員に今作の魅力を訊いた。バンドコンセプトである、自分たちが表現したい"リアル"な音ここからさらに力を増していくことだろう。

v:ERI MIZUTANI

**—新メンバーが加入して3ヶ月が経ちましたけど。**

**涼**：けっこう、変わってきたよね？

**祥**：うん、そうだね。若干ですけど、ライヴのクオリティも上がってきたかなぁって思います。

**—ライヴバンドとしては、そこが1番大事ですからね。**

**ヒナタ**：それにしても、上半期は優くんを説得するのに全ての力を注ぎ込みました（笑）。

**—優さんは最初、サポートで入ったそうですね。**

**優**：実は、最初は加入する気はまったくなかったんですよ。でも、みんなからの必死のアピールと優しさに負けて、加入を決めました。

**涼**：それだけ!?

**優**：（笑）。色々と理由はあるんですけど、好きなバンドに加入できて良かったなって思います。

**—さて、9月8日には新作「JUST 4U」が発売されます。**

**ヒナタ**：今年初めての音源になるんですけど、随分と待たせてしまったなって。本当は、もっと早くに出したかったんですけどね。

**—となると、その間にかなりの曲数が上がっていたのでは？**

**ヒナタ**：ストックは相当のものですよ。ねっ、コンポーザーのhiroさん！

**hiro**：ちょいちょいですけどね（笑）。

入れることになりました。

**祥**：それで、よりキャッチーにストレートなことを伝えられたらいいなと思って、制作に取り掛かっていったんです。

**ヒナタ**：自分たちとしては、再スタートっていう気持ちでいっぱいなんですよね。特に、1曲目の「JUST 4U」なんかは新しいバンドの一面って感じで受け取ってもらえれば。力強さとキャッチーさがポイントになっている曲なんですけど、これ、デモの時点からかっこよかったんですよ。それが、レコーディングしたら、さらにかっこよくなりました。

**hiro**：ただ、サビのキーが高いということもあり、ヴォーカルにはだいぶ頑張ってもらいましたけど。

**ヒナタ**：（笑）。とにかく、まずはこれを聴け！って、自信を持って言える曲になったと思います。

**—こちらのPVも楽しみです。そして、残りの曲はというと？**

**ヒナタ**：「17」はAタイプのみに収録される曲です。曲がそこまで暗い感じではないんですけど、歌詞は自分の実体験に基づいて書いてみました。高校生の頃の出来事を題材にしたんですけど、そろそろ歌ってもいいかなぁと…。逆に、「GET×READY」は何も考えずに聴いていただければ（笑）。スタジオで詰めながら作っていったんですけど、ライヴで暴れられる曲になりましたね。

**祥**：勢い重視の曲だからね。他の曲はきっこで、ライヴの生っぽさが出せるんじゃないかなって。

**—以前とはまた違うライヴ感が出ていますよ。**

**ヒナタ**：きっと、ライヴでやったら相当疲れると思いますけどね。ファイト、優くん！

**優**：う、うん（笑）。

**ヒナタ**：最後は、Bタイプのみに収録される「Birthday」って曲なんですけど、これはどうやって出来たの？

**hiro**：ライヴで一体感が出るものを作りたいなって思って形にしていったんですけど、その狙いどおり、とても爽やかな曲になりました。シンセとピアノが入っている分、壮大な感じにもなったと思います。

**祥**：今回、こうやってAタイプとBタイプで別れているんですけど、両方を聴いた方がよりわかりやすいかなって。どちらか片方だけだと、何か物足りなさを感じてしまうんですよ（笑）。

**—わかります（笑）。**

**ヒナタ**：なので、できたら、一気に聴いてもらいたいですね。とにかく早く聴いてもらいたいっていうのが今の素直な気持ちですね。

**—ところで、今年のリリースは、この「JUST 4U」で終わりなんですか？**

**ヒナタ**：それはどうでしょう（笑）。なんせ、これが今年最初のリリースでもありますからね。何があるかはわかりません

涼

優

京都新宿区高田馬場3-3-8-609 http://www.april-web.net/

蝴蝶网 hudie.com

楓

マモ

Z

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX VOICE!!

宏崇

# R指定

## ギラつく太陽

七星

7枚目のマキシシングル「アリス心中」をリリースしたばかりのR指定から、またも新作が届いた。前作とはまた違った音で勝負をかけた「ギラつく太陽」は、8月25日にリリース！　さらに、その5日後には、待望のワンマン公演「極東の花嫁」がShibuya O-WESTにて行なわれる。当日は、無料配布音源も付いてくるそうなので、ぜひとも足を運んでほしい。

Interview:ERI MIZUTANI

**ましたれ[illegible]**

**マモ**：前作の「アリス心中」は、〝陰〟を打ち出していたんです。逆に、今作では〝陽〟を打ち出しているので、ヴィジュアル的にも華やかなものにしたんですよね。「ギラつく太陽」というタイトルが表わすように、ギラギラとした作品になったなと思います。

**――最初から、2つの作品は連動していたんですね。**

**マモ**：そうなんです。発売日も近かったので、そうやって対極的な感じを出してみても面白いかなって。それに加え、今作は〝夏〟っぽさを出しているんですよ。

**――リード曲、「ギラつく太陽」は夏全開です。**

**マモ**：今まで、R指定に夏の曲ってなかったんで、ここで出してみました。

**――この曲があるからこそ、余計に、〝陽〟の部分が強くなって。**

**マモ**：とりあえず、やったことのないことって何だろうって考えて作っていったんですよね。アルバムを作ってみて、次の段階に行くために必要なことって何だろうって。そこで閃いたのがこの曲なんです。簡単に言うと、挑戦の1曲ですね。

**――ずいぶんとハジけた曲になっているので驚きました。**

**Z**：俺も驚きましたよ。なるほど、ここまで明るい曲を出してきたかって。しかも、タイトルもインパクトがすごいじゃないですか(笑)。でも、面白くなりそうだったんで、やってみたいなって。

**――イントロ部分のギターフレーズ、あれはパンチが効いてますよ。**

**Z**：テケテケテケってというところですよね（笑）。

**マモ**：あの部分はデモの段階からあったものなんです。夏といったら、これかなっていう発想からなんですけどね。

**――とは言え、皆さん、その世代ではないと思うんですけど。**

**マモ**：いや、割とその世代ですよ。って、誤解を招きますか（笑）。まぁ、サビとかも一発で覚えられるようになっているんで、聴きやすいと思います。

**――「三丁目サイケデリック」は七星さんの曲ですね。**

**七星**：R指定ってこんな感じかなって

[illegible]た分、王道なところで攻めてみようって思ったので、このギャップを楽しんでもらいたいです。

**マモ**：始めは普通の恋愛について書いていたんですけど、それだとちょっと弱いかなと思って変えていったんです。完成したものを見てみると、普通の恋愛とは掛け離れたものになってしまったんですけど、曲の雰囲気に合ったところが出せたんじゃないかな。

**――Aタイプに収録される「デジタルロマンス」も、今までになかった要素がふんだんに散りばめられていますけど。**

**宏崇**：1番、R指定らしくない曲ですよね。これ、僕が基盤を作って、後はみんなの好きにしてくれっていって完成させた曲なんです。

**楓**：この曲、アレンジ面というよりも、音の出し方で大変なところはありましたね。最終的に、良い音圧が出せたので良かったですけど。

**宏崇**：ヴィジュアル系が好きではない人でも聴けるものにはなったんじゃない。

**――そして、心地良い始まりの「蜃気楼」はBタイプに収録されます。**

**マモ**：とにかくシンプルにしたかったので、同期など無駄な音は省きました。ギターで雰囲気が付けられているので、入れる必要はないかなと思ったんです。

**Z**：シンプルさを重要視していたので、ギターはわかりやすさを追求しました。これ、俺のイチオシは、かえぴょんのギターソロなんですよね。

**楓**：ほんとに？　俺、この曲で脱いだんですよ（笑）。このソロでいくかって思ってレコーディングに臨んだんですけど、本番始まったらいつになく緊張してしまって。これはいかんと思って、脱いだんですけど、これは恥ずかしい！ってことで、早くに録り終わることができました。

**七星**：（笑）。で、このシングルが発売された後にウエストでワンマンをやるんですけど、無料配布音源を付けようかなと。

**楓**：昔からやっている曲が収録されるんですが、スキルアップしたところを聴いてほしいですね。

**マモ**：この曲も当日やろうと思っているので、楽しみにしていて下さい。

（問）東京都新宿区高田馬場3-3-8-609　http://r-shitei.net/

# ADAPTER。

SHOXX VOICE!!

蝴蝶网
hudie.com

## 打ち込みの中にバンドがある。

**現在活動休止中のメトロノームの福助。がソロ活動として行っている"ADAPTER。"。
打ち込みにバンドを取り入れたサウンドに、キャッチーなメロディーを乗せた聴きやすい曲調、エンターテインメントを意識したライヴと、彼の個性が満載。8月25日発売のニューシングル『僕のLIFE』、9月18日代官山UNITで行われるワンマンで、その魅力を確かめてほしい。思わずハマってしまうかも?**

Interview:MIYUKI MURAYAMA

**――ADAPTER。は、メトロノーム時代からやってたんですよね。**

「最初は歌はなかったんですけど、ちょっと歌ってみたら楽しくなって来たんで、バンドになって。去年メトロノームが活動休止してからは、最低限必要な3人で、ドラムとベースと、僕はギター&ヴォーカルで、ギターは弾いたり弾かなかったりしてます。ワンマンでは、小一時間MCっていうのも挟んだり(笑)。そういうのも込みでエンターテインメントという感じで、今はやってます」

**――サウンドの方向性は、打ち込みとか、もともと好きだったものなんですか。**

「ついでに、僕はバンドの音楽もすごい好きなので、メトロノームのときと音楽に対するスタンスは似てますね」

**――メトロノームは、バンドに打ち込みの要素を取り入れていたわけですよね。**

「そういう感じです。でも昔から、打ち込みの中にバンドがあるって捉えられたかったんです。それは変わらないですね」

**――でも、感覚としてはロック?**

「そうです。魂はロックじゃないと。ライヴ自体もロックでないとダメだなって。ライヴでは、見に来てくれてる人と一緒にワイワイしたいんですね」

**――ただ、ヴォーカルにはエフェクトをかけて、機械的にしてますよね。**

「自分の中だけの話なんですけど、生声じゃ恥ずかしいし、あんまり好きじゃないんで」

**――和な感じを取り入れてるのも、個人的な趣味から? 衣装とか和装ですよね。**

「昔から、和風なものが好きなんで。それに自然に曲を作ると、どこかしら必ず和風な感じになっちゃうし、歌い方も何となくちょっと演歌っぽいと言うか。そんな風に自然になっちゃうんですよ」

**――さて、今回のシングルに収録される2曲は、書き下ろしの曲なんですか。**

「先に出来たのが「FINAL ANSWER」で、ライヴに向けて速い曲がほしいなと思って作りました。「僕のLIFE」は、ADAPTER。っぽい曲を作ろうと思って、このCDに向けて作った曲です」

**――「僕のLIFE」はキャッチーで、サビは切なくて、聴きやすい曲ですよね。**

「売れる曲って、ちょっと切ないのがいいけど、皆とワイワイしたいというのが最初にあるんで、ノリ的にはポップなんです」

**――歌詞を書くときも、ちょっと切ないようなのを意識したんですか。**

「メロディーのニュアンスで考えましたね。これは歌を録るスタジオに行く電車の中で一気に書きすぎちゃって、間違えて3番まで書いちゃったんです(笑)」

**――間違えて?**

「いつもは繰り返しがものすごく多いんです。「FINAL ANSWER」はすごい短いし」

**――歌詞の中に、時間の経過があるのがいいと思ったんですけど。**

「その流れが良くて3番まで書いたんですけど、後々考えると、げ!って。これ覚えらんねえよ、失敗した!って(笑)」

**――誉めたのに失敗ですか(苦笑)。そしてカップリングの「FINAL ANSWER」は、ライヴ向けの曲なんですね。**

「ロックぽくしたかったんで、ギターのリフから作りました。激しくてロックな感じって言ったらギターだろ、みたいな」

**――レコーディングでもノリを重視したり?**

「最近、そういうバンドっぽい心を入れようっていうのがどんどん大きくなって来てるので、歌うときもニュアンスを出せるように頑張ろうとしてますね」

**――ライヴでのお客さんのノリもロックな感じなんですか。**

「どっちかと言えばヴィジュアル系のノリが多いですね。「僕のLIFE」では、振り付けをしたりもするし。そういうわかりやすい一体感は好きですね。盆踊りとか、皆で同じものを踊るとか」

**――すごく日本人的ですね。**

「僕ものすごい日本人なんです。意外と僕、いろんなものが好きなんですけど、アウトプットがひとつだとまとまるじゃないですか。だから、ジャンルが違ってても、ちゃんとADAPTER。ってなるようにしてますね」

**――9月のワンマンは、どんなライヴにしたいですか。**

「以前、『はじめの一歩』を出したときに、「はじめの一歩音頭」っていうのを作ったんです。それの振り付けDVDが、『僕のLIFE』の特典になってるんで、ワンマン

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX VOICE!!

# 砂月

## 珠玉の音霊『UPPER REGION』リリース

**バンド解散後、ソロとして活動を続ける砂月が、初めてのミニアルバム『UPPER REGION』を9月1日に発売する。音はもちろん歌、アートワーク、映像と、全てに渡って、彼のイメージする世界が広がる渾身の作品。透明感や浮遊感溢れる世界は、まさに天高く広がる高層部の領域(=UPPER REGION)だ。8月22日、高田馬場AREAで行われるワンマンライヴでは、その世界を体感しに足を運びたい。**

Interview:MIYUKI MURAYAMA

**――バンド解散後、ソロ活動をしようと思った理由は？**

「前のバンドを7年半やって、バンドというものはやり尽くしたんです。そこで一回白紙に戻して考えたときに、ソロで自分のやりたいことを全てやろうと思ったんです。でも、聴いてくれる人の心の奥深くにある道標のような、そういう歌を歌わなければいけないという使命感は変わらないですね」

**――ソロとして、音楽性の部分でこだわりたかったのはどういうもの？**

「バンドだと結構制約があるんですよ。今は別にバンドサウンドじゃなくてもいいから、「Veil of MARIA」のような、宗教っぽいと言うか、本当に幻想的なものに焦点を当てられるし。だからバイオリンを始めたり、また改めてピアノもやったりしてます」

**――ロックとは違う意識？**

「いや、一見ヒーリング音楽って捉えられる要素もあるけど、最終的にはロックだろうって。たどって行くと反逆性があると言うか、すごい隠れてるんですけど、毒みたいなものがあるから、ポップスではなく、自分としてはロックをやってるんだなって思ってますね」

**――精神性みたいなところはロックだけれども、それを表すと透明感のある、白い美しい形を成すと。**

「それは意識してます。白とか透明っていうのは、作る段階から意識していて。でも、白だからただ美しいだけではないし、純粋無垢が故の怖さってあるじゃないですか。赤ちゃんがわからず何かを壊してしまうとか。そういう隠れた狂気みたいなものがあるかなと思います」

**――これまでに3枚シングルをリリースしていますが、初のミニアルバム『UPPER RIGION』はそれを踏まえたものになるんですか。**

「物語としてつながってる3枚の作品に新曲を加えて、総まとめ的な意味合いの作品ですね。新曲の「粒子に溶けて流れる涙と眩暈の葬に乱反射する再生の声」を映像化したときに、この作品のコンセプトが見えて来ました。本当は、Angelic Sancutuary（天使の聖域）なんですよ。それってストレート過ぎるんで高層部の領域っていうタイトルにして。天使のような透明感、浮遊感がコンセプトですね」

**――ジャケットに使われている絵も、音のイメージにぴったりですね。**

「山本タカトさんという画家の方の絵なんですけど、プリプロの音も聴いていただいたりして、ぴったりのイメージのものになったと思います」

**――シングルの曲は、アレンジが変わったりしてるんですか。**

「かなり変わってます。歌詞もメロディーも違います。だから二度美味しいですよね。「AWAKE」は一番最初のプリプロのメロディーに戻ってるし、「MOON SPIRAL」は日本語だった歌詞を全部英語にしました。「Veil of MARIA」は、最初は日本語でも英語でもない歌詞をつけて出来た曲なんです。聖堂で祈りのメロディーを歌ってるような感じで。今回は英語の歌詞を歌い直してはいるんですけど、〝聖なるものが降り注いでる〟という日本語の一文のイメージだけが伝われば。逆に「CRYSTAL」はメッセージ重視で、詞先行で書いて行きました。ソロになって、抱擁感とか包み込む感じを出したいと思ってるんです。手を差し伸べて、歪んだ現実からこの世界へ来て輝こうって言いたいですね」

**――PVでは、砂丘とか雪景色とか、壮大な光景が多用されてますね。**

「自分が好きなものを全て詰め込みました。海辺も砂丘も教会も、魚が泳いでるところも、雪が降ってるのも」

**――音も映像も作り込まれていますが、ライヴはどんな雰囲気なんですか。**

「皆で盛り上がるロック的な面もあるし、浮遊感とか透明感もあるし。「MOON SPIRAL」では高揚感があるって言うか、攻撃的な気持ちになりながらも、「Veil of MARIA」で浄化される面もあるので、作品もライヴも振り幅を持たせています」

**――ワンマンでは、砂月さんならではの世界がたっぷり見られそうです。**

「ぜひ来て下さいねと。作り込み過ぎてとっつきにくいと思われるかもしれないんですけど、どんどんオープンにいろんな人に聴いてもらいたいと思ってるんで。ライヴもガンガンやって行くので、目を離さないようにしてほしいです」

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX VOICE!!

# LOST ASH

## 彼らの“核”となるべくチューン完成!!

LOST ASHの新作『innerCORE』は、コンセプトであるエモを、サウンド、メロディー、歌などから存分に感じられる、彼ららしい作品。着実に自分達らしさを固め、きっちりと表現できる実力を身につけているようだ。この夏には初めての名古屋、大阪でのライヴも経験し、そして12月21日には、新宿RUIDO K4にて一周年記念となる初ワンマンも決定。ますます成長の幅を広げる彼ら、要注目です！

Interview:MIYUKI MURAYAMA

**—前作は超新星という意味の『superNOVA』でしたが、今作は星の中心という意味ですね。**

Dye：要は『核』っていう意味なんで、ダブルミーニングみたいな感じで、人の心の一番核になる部分を表現しようっていう意味合いもあるんです。そこは歌詞に反映させてますね。

**—曲調はどんなものにしようと？**

Dye：前作よりさらにLOST ASHの色が伝わるようにしてますね。

Sai：タイトルにも、LOST ASHの核っていう意味も織り交ぜてます。

**—それが一番強く出ているのが、タイトル曲の「innerCORE」でしょうか。**

Dye：僕ら、エモっていうのをコンセプトにしてるので、それが一番はっきり表現されてる曲ですね。ギターのフレーズとかにも出てるし、歌メロも切なくて、感情が溢れそうな感じをメロディーに表現したりしてます。

**—シャープなギターのフレーズは耳に残りますね。**

Show：わかりやすくシンプルなんですけど耳に残って、それがLOST ASHらしいってなればいいなと思って。

Dye：ソリッドでエッジの利いたサウンドがらしいかなって。

Daiki：だから、歌詞で色づけをしたくて。時間が経って人との別れを思い出した時の事を表現するために、自分の心の中の記憶を遠くから眺めてるようなイメージで歌詞を書きました。

**—「ACCELERATE」は、Show君の曲ですが、ギタリストらしい曲ですね。**

一同：(笑)

Show：主張しちゃいました（照笑）。ライヴの雰囲気を想像しながら作ったんですよ。夏にガーッと盛り上がるような、激しい曲を作りたくて。

Dye：皆でバカになってひとつになれるような曲が一曲あったらいいねって。

Show：加速するっていう意味のタイトルなんで、バンドとしてもこの夏、加速して行けたらいいなって。

**—そういう曲のイメージから、欲望という歌詞のテーマが出て来たんですか。**

Daiki：音を聴いたときに、高速をガーッと走ってるようなイメージが伝し、気持ちがはやるじゃないですか。そういうのを、男の人が女の人を求めて走り彷徨ってるみたいなイメージで表現できかなと思って。欲望を手に入れる為暴走するような内容の歌詞にしてみました。

**—「Disappear」は、モノクロっぽい、無機質な世界観が広がる曲。**

Dye：すごくダークな部分を出してますね。サビでテンポを落として、世界観が伝わって来るような曲が一曲あったらっていうところから作り始めましたね。

**—そういう世界観を意識してプレイしたんですか。**

Sai：暗い世界観に皆に浸ってもらいたいなと思って、ベースのプレイも一音一音響き渡って行くようなリフになってますね。

Daiki：ギターはね、イントロからエモいフレーズを弾いてるよね。

Dye：やっぱりエモをどっかに入れたかったんです。

**—歌詞は世界観のイメージから？**

Daiki：世界が何もなくなって、灰色の荒れ果てた大地が広がって、自分がひとりいたらどうなるだろうっていう気持ちを想像したり、映画を参考にしたりしました。絶望が伝わればいいですね。

**—「ID」はライヴでもおなじみの曲で、曲調は元気ですけど、やっぱり切なさはありますよね。**

Daiki：これは恋愛の歌詞にしたくて、映画がもとになってるんですけど。好きな女性に何かしてあげたいんだけど、何もできないっていう、その歯がゆさとか切なさをLOST ASHの色として上手く書けたのかなと思います。

**—これから、大阪と名古屋での初めてのライヴが控えているということで。**

Dye：楽しみと不安と（苦笑）。

Show：早くナマのLOST ASHのライヴを見て、もっと好きになってもらいたいですね。

Sai：大阪と名古屋の人にも、ナマエモが伝わればいいかなって。

**—さらに12月には、初ワンマンですね。**

Daiki：去年の12月22日に始動したんですけど、一年目、新人の気持ちは絶対に忘れたくないので、あえて一年目の最後の日をワンマンにしました。ここま

SHOXX INFO!!

# X JAPAN

## 記者会見潜入ミニレポート!!

7月8日、都内にて、X JAPANによる記者会見が行われた。そこで彼らは、8月14、15日に日産スタジアムで、『WORLD TOUR Live in YOKOHAMA　超強行突破　七転八起　〜世界に向かって〜』を行うことを発表した。

たくさんの報道陣が詰め掛けた記者会見会場に揃った5人は終始穏やかな表情。その中で、YOSHIKIは「本当の復活」と力を込めて語り、このライヴへの意気込みを感じさせた。「超強行突破　七転八起」という、いかにも彼ららしいタイトルにも、気合いを感じずにはいられない。そんな思いを、TOSHIは、「ヨシキっちゃいます（=何が起こっても前に向かう）」という造語を笑いと共に語ってみせた。会見後半には、SUGIZOのバイオリンとYOSHIKIのピアノ、そしてTOSHIによって「Forever Love」もプレイされ、静まり返る会場へ美しい調べが流れた。

この会見では、さらにニューアルバムについても9割以上制作が進行しているという嬉しい知らせや、全米ツアーの予定など、驚きと期待溢れる情報が飛び出した。この記事を読者が目にする頃には、日産スタジアムでのライヴは終了しているが、その後の展開にも目が離せそうにない。（取材：村山幸）

# 夢人・タケヒト・インテツ・ケンゾ

## 今後の活動について&コメント

この度、「彩冷える」は、円滑なバンド活動を行う為に、別々の活動を進めていく事になりました。

それに伴い「彩冷える」メンバーのうち、夢人・タケヒト・インテツ・ケンゾにつきましては、同じ志を持ち新しいバンドとして今以上に邁進して参りたいと思います。

尚、夢人・タケヒト・インテツ・ケンゾの所属事務所は下記になります。

8月以降の活動及び新ファンクラブにつきましては、詳細が決定しましたら追って発表させて頂きます。

【新事務所】株式会社DNL　東京都新宿区高田馬場3-3-8-604
オフィシャルWEBSITE:http://www.D-N-L.jp/

【夢人】
『最愛のみんなへ』

結果。みんなが思う事はすごくわかる。痛いくらいに。本当にごめん。

どうしてこんなにうまくいかないんだろう、なんでこんな事になるんだろう。悩んだし、辛かったし、いろんな事があった。全てが理不尽に思えた。不安な思い、たくさんさせたよね。本当にごめんね。でももう感情を偽って音楽をやっていきたくないんだ。

今、この文章を書いている僕が本当の僕です。

これからみんなに、真実を届けます。誠意を持って。みんなと向きあって。もっともっと密に。

この選択は間違いじゃないと信じています。夏が過ぎる頃に君と過ごそう。

【タケヒト】
『ファンの皆さんへ』

いつも彩冷えるを応援してくれてありがとう。

突然この様な発表をする事になってしまい、本当に申し訳ありません。彩冷えるがメジャーデビューしてから約1年。自分達を取り巻く環境が大きく変わっていく中、彩冷えるとしての活動が徐々に減っていきました。そして、この様な状況の中、メンバー5人の想いが重なり合う部分もまた、徐々に減っていった様に思います。僕はただ、彩冷えるとして自分達の音楽を第一に続けていきたかった。彩冷えるを取り巻く環境はすぐに変えられなくても、5人の想いがまた重なり始めれば何でも出来ると信じていました。最後まで、本当に最後の最後まで、その僅かな可能性を探していましたが、これ以上何も見出せないというのが自分の結論です。

本当にごめんね。

これからは、夢人・インテツ・ケンゾと、また想いを重ねていきます。いつか、この論をみんなに受け入れてもらえる様に。

【インテツ】
『彩冷えるを応援してくれたみなさんへ』

インテツです。

今回の発表、とても驚かせてしまって、申し訳ないと思っています。

一緒にバンドを結成して、続けてきて。僕、たけひと、ゆめひと君、ケンゾ君が、長い間一緒に活動してきたあおい君と、このような形で別の道に進む事になったことはとても残念です。言葉では言い表せないほど、残念です。

2004年高田馬場エリアでライヴをして活動を始めてから6年。いろんな出会いがあって、ケンゾ君が一緒になってくれてゆめひと君が一緒になってくれました。全国、全世界でライヴをしてきて、去年、念願のメジャーデビューをして、たくさんの人に聴いてもらえるバンドになることができました。

僕の人生を一言で言えば、『彩冷えるのインテツ』です。すべてをかけてきたバンドです。今回の発表を決心するに至るまで、長い間悩み続けました。ファンのみんなの知っているように、僕は彩冷えるの音楽が大好きですし、みんなといられる彩冷えるのライヴが大好きです。

みんなが知っているように、ライヴや音源制作などの彩冷えるの活動を決めていくことができませんでした。このような選択をしたのは、このままの状態で彩冷えるを続けることが、それぞれメンバーの本心に背く事だったからです。僕たちは音楽をやるために生きています。そのための選択だった、ただそれだけです。発表の内容については、つい先日決まった事なので、僕たち4人も今後については、まだこれからになります。

僕たち彩冷えるがやってきたことは、大好きです。これからもずっと大切です。きっとあおい君も活動して行くと思いますし、また4人が動き始めるときも、見守っていてもらえるとうれしいです。

このメンバーでの最後のライヴも予定していたのですが、話し合いがまとまらず実現できませんでした。本当にごめんなさい。いつまでもわがままなメンバーでごめんなさい。彩冷えるのみんな、いままでありがとうございました。

【ケンゾ】

急な発表でごめんなさい。

みんなを悲しませたくはなかったけど、こんな形になってしまったことを許してください。これから四人は共に同じ道を歩んでいきます。色々な事があるだろうけど、今回の判断が最良の形になることを見守ってくれれば幸いです。

hudie.com

# MERRY

## ニュ-・シングル『クライシスモメント』リリース

ーンにおいて絶対無比、孤高の存在であるMERRYが最新シングルをリリースする!!
トルは『クライシスモメント』。この楽曲の音はまだ編集部には届いていないが、ガラ
れば歌詞世界のキーワードとなるのは「危機的瞬間」、「人生の壁」だという。言うま
なく、それを乗り越え、覚悟を決めて前進していくというポジティヴな意味だ。発売
0月6日。10月2日には品川ステラボールでのワンマンライヴも決定!! この秋も5人の
わりは賑やかになること間違いなし。

初回生産限定盤(CD+DVD)】SFCD-0072～73 ¥1,890 (tax in)
UDIO DISC- 01.クライシスモメント02.Fleeting Prayer
VD DISC- クライシスモメント (MUSIC VIDEO) 他
通常盤(CD)】SFCD-0074 ¥1,260 (tax in)
AUDIO DISC-01.クライシスモメント
2.Fleeting Prayer
3.クライシスモメント -UNPLUGGED _

# ムック

## シングル&アルバム発売決定!!

“ムックの日”にまつわるイベントとして、お台場パレットタウンにてPVのシューティングが行なわれた新曲「フォーリングダウン」が、シングルとして9月22日にリリースされることが決定した。初回盤にはタイトル曲の他2曲収録される上に、特典として“オリジナルドリンクボトル（アルミ製）”付き!! 通常盤は、タイトル曲の他に初回盤とも違う1曲が収録される。

さらに10月6日には、前作『球体』より1年7ヶ月ぶりとなる通算9作目のフル・アルバムがリリースとなる。

10月30日からは、日比谷野外大音楽堂2days公演を皮切りに、全国ツアーもスタート!!

10月30～31日・日比谷野外大音楽堂、11月3日・水戸ライトハウス、6日・札幌ペニーレーン24、9日・青森クウォーター、11日・山形ミュージック昭和セッション、12日・仙台ダーウィン、14日・郡山ヒップショット、17日・名古屋E.L.L、19日・大阪AKASO、23日・長野ジャンクボックス、25日・神戸チキンジョージ、27日・高知キャラバンサライ、29日・広島クラブクアトロ、12月1日・鹿児島キャパルヴォホール、3日・熊本DRUM Be-9、5日・福岡DRUM LOGOS、7日・京都ファンJ、9日・岐阜クラブG、11日・新潟ロッツ、14日・柏ドランカードスタジアム、16日・吉祥寺SEATA、21日・沖縄桜坂セントラル。

http://www.55-69.com/

【訃報】

大佑と黒の隠者達／the studsの大佑さんが、7月15日に永眠されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

SHOXX編集部一同

【訃報】

MoranのBass・Zillさんが、体調悪化の為、7月23日永眠されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

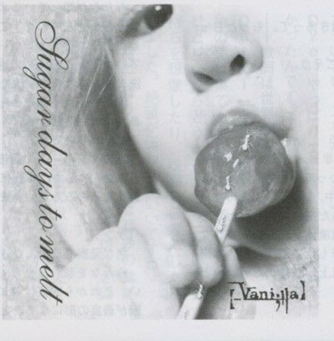
SHOXX編集部一同

# 【_Vani;lla】

## 真夏のロマンティック!?

伝統を重んじる保守系バンドが大勢をしめるV系業界において、常に異彩を放つ個性派バンド【_Vani;lla】が待望のシングル『sugar days to melt』を8月11日リリースする。ちょっと詩的なこのタイトルは“幸せな日々は失う為にあるのかな？”という意味がこめられているらしい（まろ談）。タイトルチューンの「MOON」もこのコンセプト通りおもいっきりロマンテックな作品に仕上がっています。ロマンテック不足のあなたは是非体験してみてくださいね。

8月11日発売
『sugar days to melt』
M1.MOON
M2.Still now
【発売元】Dreamers【商品番号】VNL-006
【価格】1260円

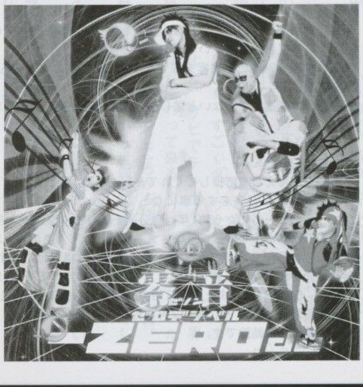



# -ZEROdb

## 2ndミニ・アルバム、リリース!!

2010年1月の始動と共にリリースされた前作から約7ヶ月ぶり、2ndミニ・アルバム『零音～ゼノン～』を8月4日にリリースした。収録は全5曲。前作よりもさらに、充実度も楽しさもアップした作品、ぜひ触れてみよう！

http://www.0-db.jp
http://www.myspace.com/0dbjapan
http://twitter.com/zero_db



蝴蝶网
hudie.com

# EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

RED universe

## RED universe（レッドユニバース）

【メンバー】GENKI（Vo）TaNo（Gt）Kosuke（Gt）Yuya（Ba）Tomoya（Dr）
【結成日】2009年6月、現メンバーで始動
【主な活動】東京近郊
【アイテム】2008年2月28日 1st Maxi Single『I FEEL BLUE』（入手不可）
2009年3月　2nd　MaxiSingle『ALONE/Lover’s Lane』（入手可）
2009年9月3rd Maxi single [FINALE～最果ての地で～]（入手不可）
2010年7月21日3rd Maxi single［FINALE～最果ての地で～］2nd press（入手可）
【問い合わせ】info@red-universe.net　〒176-8799東京都練馬区豊玉北6-4-2練馬郵便局留
「RED universe」宛

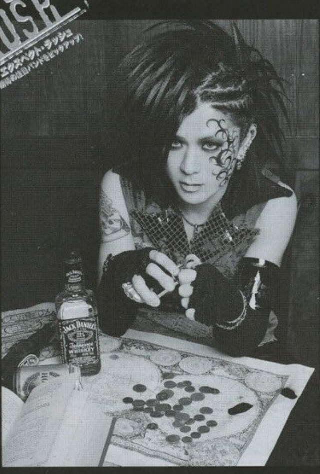
# RED universe

蝴蝶网
hudie.com

**しさの中に確かな**
**”がある。**

7月26日に高田馬場AREAを舞
、3ヶ月連続“革命”イベント「革
の晩餐～SPREAD OUT THE
OTS～」の第3夜を開催するRED
verse。この日のイベントでは、
年後半のバンドの動きを左右する
な発表も行うことが決定してい
全員真っ赤な衣装を身につけ、ア
レッシブ&メロディックな楽曲を
をつけてゆく彼ら。その姿の小さな
を、まずは感じ取ってくれ。

Interview:TOMONORI NAGASAWA



**——RED universeと言えば、エッジ鋭い激烈な音を軸にしつつ、メロディアスな表情も魅せてゆくバンドという印象を、まずは抱きます。**

**GENKI：**うちのメンバーは全員曲を書けるんですが普段から聴いてる音楽性がバラバラ。だから〝歌を活かす〟という枠は守ったうえで、幅広い音楽性のバンドになっています。

**——〝歌を活かす〟という姿勢は、どの楽曲を聴いていても感じたことでした。**

**GENKI：**誰が原曲を持ってこようと、一番最初にメンバーどうし顔を突き合わせて話すのが、〝いかにこの歌をこの楽曲に活かしてゆくのか？〟、〝何処にこの歌を持っていきたいのか〟ということなんです。なので、原曲とは全然違った仕上がりになることも多いんです。どの曲も、メンバー全員納得したうえで形にしていますし、それぞれが持つ音楽性のフィルターを通るからこそ、RED universeの音として成り立っていくんだと思います。そこのこだわりだけは、絶対に失くしたくはないところです。

**——ギター陣は、けっこうメタル好きじゃないですか!?**

**Kosuke：**僕はゴリゴリッとした、とにかくリフ系の刻みを詰め込みたがる傾向は強いです。激しさを追求する面は、ドラムのTomoyaも一緒だよね。

**Tomoya：**もともとパンク好きなことから、激しくパンキッシュな演奏を好んでゆく傾向は強いです。だから、2人で作り出す激しい音を詰め込んだ演奏を、まずは、いかに抜き差ししていくかから制作がスタートするんです（笑）

**TaNo：**僕やGENKIは、絶対にヴォーカルを立てる歌物の曲を求めてゆく傾向が強いので、その曲に必要な要素を加えたり、歌を邪魔する演奏を間引いたりということを、主にやっています。

**Yuya：**僕は、このメンバーの中では一番ヴィジュアル系スタイルに精通していることもあって、この曲にこういう要素を加えたら、お客さんたちの心に響いたり、刺激を与えていけるはずと、ヴィジュアル系的要素を組み込んでゆく役割を担っています。

**GENKI：**さっきも、バンドでアレンジしてゆくうちに原曲とは全然違う曲になると言ったけど制作を行う上で一番大きな特徴が、一度楽曲を分解して個々の個性を加えながら再構築してゆくというところにあると思います。1曲作りあげるまでに何度も何度も話しあい、全員が納得したうえで、初めて曲として成立していくので、けっこう制作に時間をかけていますし、満足度や納得度も、全員限りなく100%に近い形で提示しています。

**——7月に、3rdシングル『FINAL E～最果ての地で～』の2ndプレス盤がリリースになりましたが、作品自体は1年近く前のものになります。やはり、新作を作り出すまでにも、相応の時間を費やしてしまうということですか？**

**GENKI：**全員納得した作品を作るうえで、ある程度の日数は必要なこと。

**Yuya：**ただ、久しくリリース間隔が空いてしまったし音源化されてないけど、今のRED universeのライヴを支えている楽曲たちも増えているので、近いうちに制作の準備をします。新曲が数多く誕生しているので、新しい曲たちを次々届けたい気持ちが強いですね。

**——バンドを取り巻く環境も、いい感じでプラスに向いてるようだね。**

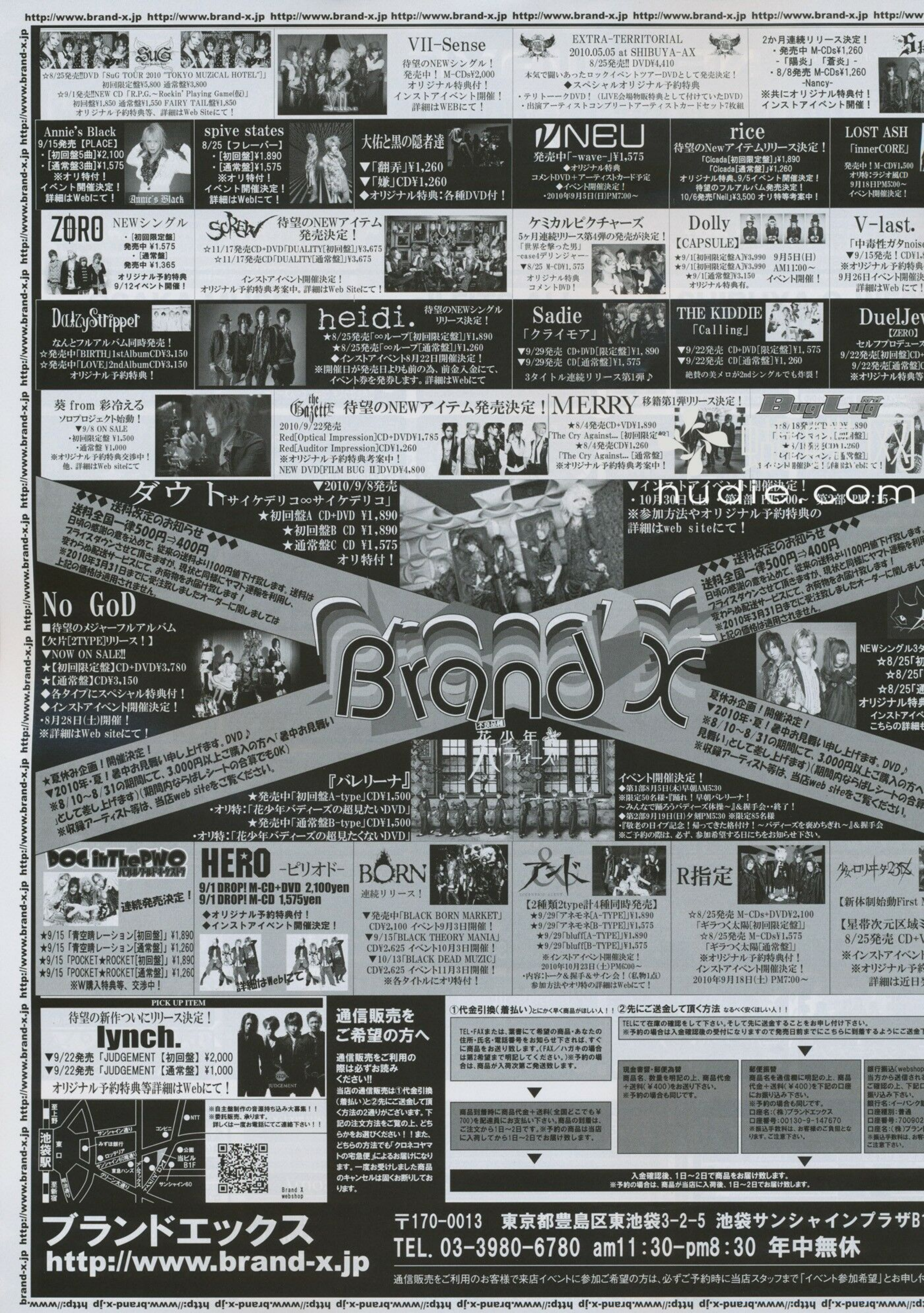
**GENKI：**僕ら自身も、バンドを取り巻く状況が、足し算足し算で上がってきているのは実感しています。ただ、それ以上の展開を描くためには、どうやって足し算を掛け算にしていくのか？　そこを今、念頭に据え、戦い続けています。

**——8月26日には、高田馬場AREAを舞台に、3ヶ月連続主催の第3夜が開催になります。**

**Yuya：**すでに、9月にも主催を、10月には、ギターのKosukeのバースデー企画も発表しています。年内は主催ライヴを軸に攻めていきます。とくに8月26日のイベントでは、RED universeの今後を占う重大発表もあるので、ぜひ足を運んでください。

**GENKI：**バンド名に込めたつねに、どでかい規模で攻撃的なことを仕掛けていくという想いを胸に、今は爆発寸前なこの想いを、みんなへ伝えながら、一緒に笑顔あふれる瞬間を楽しみたいですね。

**Yuya：**赤い衝撃を体感してください！



http://www.brand-x.jp
SuG
☆8/25発売!!DVD「SuG TOUR 2010 "TOKYO MUZiCAL HOTEL"」
初回限定盤¥5,800 通常盤¥3,800
☆9/1発売!!NEW CD「R.P.G.～Rockin' Playing Game(仮)」
初回盤¥1,850 通常盤¥1,550 FAIRY TAIL盤¥1,850
☆オリジナル予約特典多数、詳細はWeb Siteにて
VII-Sense
待望のNEWシングル！
発売中！ M-CDs¥2,000
オリジナル特典付！
インストアイベント開催！
詳細はWEBにて！
EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX
8/25発売!! DVD¥4,410
本気で闘いあったロックイベントツアーDVDとして発売決定！
◆スペシャルオリジナル予約特典
・テリトークDVD！（LIVE会場物販特典として付けていたDVD）
・出演アーティストコンプリートアーティストカードセット7枚組
2か月連続リリース決定！
・発売中 M-CDs¥1,260
-「陽炎」「蒼炎」-
・8/8発売 M-CDs¥1,260
-Nancy-
※共にオリジナル特典付！
インストアイベント開催！
Annie's Black
9/15発売【PLACE】
・[初回盤5曲]¥2,100
・[通常盤3曲]¥1,575
※オリ特付！
イベント開催決定！
詳細はWebにて！
spive states
8/25【フレーバー】
・[初回盤]¥1,890
・[通常盤]¥1,575
※オリ特付！
イベント開催決定！
詳細はWebにて！
大佑と黒の隠者達
▼「翻弄」¥1,260
▼「嫌」CD¥1,260
◆オリジナル特典：各種DVD付！
NEU
発売中「-wave-」¥1,575
◆オリジナル特典
コメントDVD＋アーティストカード予定
◆イベント開催決定！
・2010年9月5日(日)PM7:00～
rice
待望のNewアイテムリリース決定！
「Cicada[初回限定盤]」¥1,890
「Cicada[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典、9/5イベント開催決定！
待望のフルアルバム発売決定！
10/6発売「Neil」¥3,500 オリ特等考案中！
LOST ASH
「innerCORE」
発売中！M-CD¥1,500
オリ特：ラジオ風CD
9月18日PM5:30～
イベント開催決定！
ZORO
NEWシングル
・[初回限定盤]
発売中 ¥1,575
・[通常盤]
発売中 ¥1,365
オリジナル予約特典
9/12イベント開催！
SCREW
待望のNEWアイテム
発売決定！
☆11/17発売CD+DVD「DUALITY[初回盤]」¥3,675
☆11/17発売CD「DUALITY[通常盤]」¥3,675
インストアイベント開催決定！
オリジナル予約特典考案中。詳細はWeb Siteにて！
ケミカルピクチャーズ
5ヶ月連続リリース第4弾の発売が決定！
「世界を撃った男」
-case4デリンジャー-
▼8/25 M-CD¥1,575
オリジナル特典
コメントDVD！
Dolly
【CAPSULE】
★9/1[初回限定盤A]¥3,990
★9/1[初回限定盤B]¥3,990
★9/1[通常盤]¥3,150
オリジナル特典有。
9月5日(日)
AM11:00～
イベント開催！
V-last.
「中毒性ガタnoise」
▼9/15発売！CD¥1,
※オリジナル予約特
9月26日イベント開催
詳細はWeb にて！
DaizyStripper
なんとフルアルバム同時発売！
☆発売中「BIRTH」1stAlbumCD¥3,150
☆発売中「LOVE」2ndAlbumCD¥3,150
オリジナル予約特典！
heidi.
待望のNEWシングル
リリース決定！
★8/25発売「∞ループ[初回限定盤]」¥1,890
★8/25発売「∞ループ[通常盤]」¥1,260
●インストアイベント8月22日開催決定！
※開催日が発売日よりも前の為、前金入金にて、イベント券を発券します。詳細はWebにて
Sadie
「クライモア」
▼9/29発売 CD+DVD[限定盤]¥1,890
▼9/29発売 CD[通常盤]¥1,260
3タイトル連続リリース第1弾♪
THE KIDDIE
「Calling」
▼9/22発売 CD+DVD[限定盤]¥1,575
▼9/22発売 CD[通常盤]¥1,260
絶賛の美メロが2ndシングルでも炸裂！
DuelJewel
【ZERO】
セルフプロデュース
9/22発売[初回盤
9/22発売[通常盤
☆オリジナル特典
葵 from 彩冷える
ソロプロジェクト始動！
▼9/8 ON SALE
・初回限定盤 ¥1,500
・通常盤 ¥1,000
※オリジナル予約特典交渉中！
他、詳細はWeb siteにて！
the GazettE
待望のNEWアイテム発売決定！
2010/9/22発売
Red[Optical Impression]CD+DVD¥1,785
Red[Auditor Impression]CD¥1,260
※オリジナル予約特典考案中！
NEW DVD[FILM BUG II]DVD¥4,800
MERRY
移籍第1弾リリース決定！
★8/4発売CD+VD¥1,890
「The Cry Against…[初回限定盤]」
★8/4発売CD¥1,260
「The Cry Against…[通常盤]」
※オリジナル予約特典考案中！
BugLug
ダウト
▼2010/9/8発売
「サイケデリコ∞サイケデリコ」
★初回盤A CD+DVD ¥1,890
★初回盤B CD ¥1,890
★通常盤C CD ¥1,575
オリ特付！
▼インストアイベント開催決定！
※参加方法やオリジナル予約特典の
詳細はweb siteにて！
◆◆送料改定のお知らせ◆◆
送料全国一律500円⇒400円
No GoD
■待望のメジャーフルアルバム
【欠片[2TYPE]リリース！】
▼NOW ON SALE!!
★【初回限定盤】CD+DVD¥3,780
★【通常盤】CD¥3,150
◆各タイプにスペシャル特典付！
◆インストアイベント開催決定！
・8月28日(土)開催！
※詳細はWeb siteにて！
Brand X
★夏休み企画！開催決定！
▼2010年・夏！暑中お見舞い申し上げます。DVD♪
▼8/10～8/31の期間中に、3,000円以上ご購入の方へ「暑中お見舞い」として差し上げます！
※収録アーティスト等は、当店web siteをご覧ください。
花少年バディーズ
『バレリーナ』
★発売中「初回盤A-type」CD¥1,500
・オリ特：「花少年バディーズの超見たいDVD」
★発売中「通常盤B-type」CD¥1,500
・オリ特：「花少年バディーズの超見たくないDVD」
イベント開催決定！
NEWシングル3タ
オリジナル特典
DOG inThePWO
連続発売決定！
★9/15「青空晴レーション[初回盤]」¥1,890
★9/15「青空晴レーション[通常盤]」¥1,260
★9/15「POCKET★ROCKET[初回盤]」¥1,890
★9/15「POCKET★ROCKET[通常盤]」¥1,260
※W購入特典等、交渉中！
HERO
-ピリオド-
9/1 DROP! M-CD+DVD 2,100yen
9/1 DROP! M-CD 1,575yen
◆オリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
詳細はWebにて
BORN
連続リリース！
▼発売中「BLACK BORN MARKET」
CD¥2,100
▼9/15「BLACK THEORY MANIA」
CD¥2,625 イベント10月3日開催！
▼10/13「BLACK DEAD MUZIC」
CD¥2,625 イベント11月3日開催！
※各タイトルにオリ特付！
アンド
【2種類2type計4種同時発売】
★9/29「アネモネ[A-TYPE]」¥1,890
★9/29「アネモネ[B-TYPE]」¥1,575
★9/29「bluff[A-TYPE]」¥1,890
★9/29「bluff[B-TYPE]」¥1,575
☆インストアイベント開催決定！
2010年10月23日(土)PM6:00～
参加方法やオリ特の詳細はWebにて！
R指定
☆8/25発売 M-CDs+DVD¥2,100
「ギラつく太陽[初回限定盤]」
☆8/25発売 M-CDs¥1,575
「ギラつく太陽[通常盤]」
オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年9月18日(土) PM7:00～
少女-ロリヰタ-23区
【新体制始動First
【星帯次元区域
8/25発売 CD+V
※インストアイベント
※オリジナル予約
詳細は近日
PICK UP ITEM
待望の新作ついにリリース決定！
lynch.
▼9/22発売「JUDGEMENT【初回盤】」¥2,000
▼9/22発売「JUDGEMENT【通常盤】」¥1,000
オリジナル予約特典等詳細はWebにて！
通信販売を
ご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
①代金引換（着払い）
②先にご送金して頂く方法
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付

n Edison PRESENTS **NEW WAVE #2**

★ 主催ライブのお知らせ

| KYO 2010.10.02 sat | OSAKA 2010.10.08 fri | NAGOYA 2010.10.09 sat |
|---|---|---|
| / ダウナー /Kaya/UnsraW/Megaromania ベルベット /amber gris/LuLu 【Guest】凛 | 愛狂います。/ 己龍 / アヲイ /amber gris/ ケミカルピクチャーズ ベルベット /LuLu/ お遊戯ゎが魔々団 ×【PaRADEiS】/ 鬼仮面 【Guest】凛 / Kαin | 愛狂います。/ 己龍 /amber gris/ ケミカルピクチャーズ ベルベット /LuLu/ Lycaon/ 鬼仮面 【Guest】凛 / Kαin |
| SHIBUYA BOXX | umeda AKASO | BOTTOM LINE |
| EN-START/15:30-16:00 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別 (土) よりライカエジソン東京店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売 ＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です | OPEN-START/15:00-15:30 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別 8月21日(土) よりライカエジソン大阪店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売 ＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です | OPEN-START/15:00-15:30 ADV. ¥3,500 DAY. ¥4,000 D別 8月21日(土) よりライカエジソン名古屋店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売 ＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です |

べて税込です

ラつく太陽 イベントあり
盤 ¥2,100／通常盤 ¥1,575
(type) アーティストフォト5枚組 (Btype) コメントDVD

ADAPTER。 イベントあり
Maxi Single ¥1,260
8/25 僕のLIFE c/w Final Answer
★オリジナル特典：はじめの一歩音源 振り付けDVD type.A & トレカ type.A

オムニバス
LIVE DVD 8/25 EXTRA-TERRITORIAL
2010.05.05 at SHIBUYA-AX ¥4,410
<収録バンド> kannivalism／12012
大佑と黒の隠者達／boogieman／BugLug
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ／東京ミカエル。

ケミカルピクチャーズ
8/25 Maxi Single 世界を撃った男 case4 デリンジャー ¥1,575
9/29 Maxi Single 世界を撃った男 case5 ピースメーカー ¥2,100

spiv states イベントあり
NO IMAGE
Maxi Single 8/25 フレーバー
初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,575

ーメア
ARE 10th anniversary special act vol.1
ANIZM ～天魔覆滅～
¥10,000/DVDのみ ¥5,800/CDのみ ¥3,000

heidi. イベントあり
Maxi Single 8/25 ∞ループ 初回限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260
10/6 Full Album 閃光メロウ 封入特典 トレカ
初回限定盤A・B ¥3,675／通常盤 ¥3,150

お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】
8/25 LIVE DVD Divine dolce Col Tempo ¥3,780
9/15 Maxi Single ゆめくじら 封入特典 A-Cver. チェキ
TYPE A ¥1,050／TYPE B・C ¥1,890

Plastic Tree
Full Album ¥2,500
8/25 Premium Best ～2010 expend Edition～(仮)
1st、2nd、3rdアルバム 価格改定で同時発売！(各) ¥2,500
『Hide and Seek』『Puppet Show』『Parade』

メガマソ イベントあり
Maxi Single 8/25 花びら
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥840／通常盤 ¥1,050
★封入特典：トレカ(予定)

n the darkness
コーン ¥2,100

Dolly イベントあり
9/1 Full Album CAPSULE
初回限定盤A・B ¥3,990／通常盤 ¥3,150

HERO イベントあり
Maxi Single 9/1 ピリオド 初回限定盤 ¥2,100 通常盤 ¥1,575
★オリジナル…メッセージDVD(初回、通常 3記帳で御予約)さらに初回のみアーティストフォト

Versailles
LIVE CD 同時リリース
9/1 NOBLE -LIVE- ¥2,835
Lyrical Sympathy -LIVE- ¥2,415

摩天楼オペラ
LIVE DVD 同時リリース
9/1 Emergence from COCOON
～Tour Document Film～ ¥4,200
～Tour Final Live Film～"Birth of GENESIS"～ ¥4,935

om 彩冷える イベントあり
I DA RA
盤 ¥1,500／通常盤 ¥1,000

愛狂います。 イベントあり
Maxi Single 9/15 ドラマチック。
TYPE A ¥2,100／TYPE B1,260
★オリジナル特典：(初回) フォトセット (通常) フォト

Annie's Black
9/15 イベントあり
初回限定盤 ¥2,100／通常盤 ¥1,575
★メーカー特典：コメントDVD(別内容) さらに初回のみフォトカードセット

9/15 Maxi Single Loveless
初回限定盤A・B ¥1,800／LC盤 ¥1,260

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ イベントあり
9/15 Maxi Single 青空晴レーション
初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260 ★メーカー特典：ポストカード
10/15 Maxi Single POCKET★ROCKET
★メーカー特典：ポストカード 初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260

維新
EVOLUTIONS
盤A・B ¥4,200／通常盤 ¥3,150

ベルベット
9/22 Maxi Single タイトル未定
Aタイプ ¥2,100／Bタイプ ¥1,890／Cタイプ ¥1,575
★封入特典：トレカ、(A・Bタイプ) 特典引換券&メイキングDVD応募券

ヴィドール
NO IMAGE
Maxi Single 9/22 Crescent gazer
初回限定盤 ¥1,800／通常盤 ¥1,260

the GazettE
9/22 Maxi Single RED
Optical Impression ¥1,785／Auditory Impression ¥1,260

THE KIDDIE
Maxi Single 9/22 Calling 初回限定盤 ¥1,575 通常盤 ¥1,260

ie
ライモア 限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,575

ドレミ團
Full Album 9/29 レヱゾン 初回限定盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,000

SEX-ANDROID
Maxi Single ¥3,150
10/6 B-BONUS-THEATER

girugamesh
Full Album
10/6 タイトル未定
初回限定盤 ¥2,625／通常盤 ¥1,260

Angelo
10/6 Full Album タイトル未定
初回限定盤A ¥7,500／初回限定盤B ¥3,800／通常盤 ¥3,150

RRY
ライシスモメント
定盤A・B ¥1,785／通常盤 ¥1,260

Lycaon イベントあり
10/6 Maxi Single EROS ¥2,100

PlasticTree
LIVE DVD 10/27 タイトル未定 ¥10,000

Synside
8月25日 Mini Album
約束された安堵、その代償 ¥2,625

雅-MIYAVI-
9月15日 Maxi Single
TORTURE limited edition ¥1,500 Nomal edition ¥500

シンディケイト
8月25日 Maxi Single
ボクサー ¥1,680

リバティーン イベントあり
9月30日 Maxi Single
FLASH BACK ¥1,260

dison.com ラフォーレ原宿店イベント情報

| | |
|---|---|
| UERADE )PM2:00～ &握手&サイン会 | 愛狂います。 9月15日(水)PM6:00～ 1時間店員 |
| Tree ミュージアム )PM1:00～ ルトークイベント(仮) | DaizyStripper 会場：ラフォーレミュージアム 9月19日(日)PM5:00～ トーク&握手会 |
| ーン PM5:00～ 1時間店員 )PM4:00～ トーク&握手会 | Dolly 10月16日(日)PM1:00～ トーク&握手会 |
| n 日)PM3:00～ &5ショット撮影会 | DOG inThe パラレルワールドオーケストラ 11月3日(水)PM3:00～ トーク&5ショットチェキ撮影会 |

ライカエジソン WEBショップ
**Like an Edison.com**
ライカエジソン通販改革！
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！
PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！！
＊代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

# Like an Edison Release Information

★ 主催ライブのお知

## Like an Edison PRESENTS 愛狂います。R指定 SP+LIT TOUR 2010

**OSAKA** 2010.10.26 tue
愛狂います。/ R 指定 / AUBE
**OSAKA MUSE**
OPEN-START/16:30-17:00 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500 D別
9月5日(土) よりライカエジソン大阪店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

**NAGOYA** 2010.11.01 mon
愛狂います。/ R 指定 / AUBE
カル・ヴァ / ベルベット / xTRiPx
**ell.FITS ALL**
OPEN-START/16:30-17:00 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500 D別
9月5日(土) よりライカエジソン名古屋店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

**TOKYO** 2010.11.11
愛狂います。/ R 指定 / AUBE
**SHIBUYA O-WEST**
OPEN-START/17:00-17:30 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500
9月5日(土) よりライカエジソン東京店、チケットぴあ、ローソンチケット
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が

## ■今年の夏はライカエジソンディストリビューションが熱い！

蝴蝶网
hudie.com

### Dolly

9月5日(日) Dolly SPECIAL DAY
「CAPSULE」発売記念イベントラリー開催！
第一弾：AM11:00 ブランドエックス
第二弾：PM3:00 自主盤倶楽部
第三弾：PM5:30 ライカエジソン東京店
3店舗制覇特典「DollyCAPSULE」

9/1 Full Album **CAPSULE**

イベントあり

初回限定盤 A (『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP+『PLAY』ファイリング映像収録 DVD 付き) ¥3,990
初回限定盤 B (『GOTHIC PARTY』MUSIC CLIP & メイキング映像収録 DVD 付き) ¥3,990 ／通常盤 (CD ONLY：ボーナストラック『S.O.S』収録) ¥3,1

### Lycaon

イベントあり

Maxi Single
10/6 **EROS** 初回限定版(CD+DVD) ¥2,100

### SEX-ANDROID

B 面名曲集 +PV 集 全13曲入りCD+PV9曲入りDVD付き ¥3,1
10/6 **B-BONUS-THEATE**

### Re:dis

Maxi Single ¥1,600
イベントあり
10/6 **Rock your spirit.**

### リバティーン

イベ あ

Maxi Single
9/30 **FLASH BACK** ¥1,2

### ★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

| | | |
|---|---|---|
| PIECElang | 8/21(土) | PM3:00~ トーク&サイン&6ショット撮影会 |
| SKULL | 8/21(土) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| Tu[ism] | 8/22(日) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| NoGoD | 8/28(土) | PM2:00~ トーク&サイン会 |
| ADAPTER。 | 8/28(土) | PM4:00~ トーク&握手会 |
| R指定 | 8/29(日) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| heidi. | 9/ 4(土) | PM6:30~ 内容未定 |
| 花少年バディーズ | 9/ 4(土) | PM4:30~『花少年バディーズのもじってみようの会』&握手会 |
| ν[NEU] | 9/ 5(日) | PM2:00~ トーク&握手会 |
| Dolly | 9/ 5(日) | PM5:30~ トーク&握手会 |
| 葵 from 彩冷える | 9/ 8(水) | PM6:30~ トーク&サイン会 |
| ゾロ | 9/11(土) | PM3:00~ 握手会 |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 9/15(水) | PM5:00~ 1時間店員 |
| rice | 9/18(土) | PM2:00~ アコースティックライブ&トーク&握手会 |
| PENICILLIN | 9/19(日) | PM2:00~ トークイベント |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 9/19(日) | PM5:00~ トーク&握手会♣ |
| HERO | 9/23(木) | 【1部】PM2:00~ トーク&握手会【2部】PM3:30~ トーク&撮影会 |
| Annie's Black | 9/26(日) | PM3:00~ トーク&サイン会(SARINO+ゲストあり) |
| リバティーン | 10/ 2(土) | PM3:00~ 1時間店員 |
| 愛狂います。 | 10/ 2(土) | PM5:00~『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「スポーツの秋」』編&握手会 |
| spiv states | 10/ 2(日) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| Lycaon | 10/ 6(水) | PM6:00~ 1時間店員 |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 10/20(水) | PM5:00~ トーク&握手会 |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 10/23(土) | PM1:00~ トーク&握手会♣ |
| Lycaon | 10/24(日) | PM5:00~ アコースティックライブ&握手&サイン会 |
| Re:dis | 11/13(土) | PM6:00~ 握手&サイン会 |

### ★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

| | | |
|---|---|---|
| NoGoD | 8/21(土) | PM12:00~ トーク&握手会 |
| ADAPTER。 | 8/21(土) | PM2:00~ トーク&握手会 |
| ZEST | 8/21(土) | PM6:00~ 1時間店員 |
| R指定 | 8/23(月) | PM7:30~ トーク&サイン&握手会 |
| LOST ASH | 8/26(木) | PM6:00~ トーク&サイン&握手会 |
| TOON-FACTORY | 8/28(土) | PM12:00~ トーク&サイン&握手会 |
| ハートレス | 8/28(土) | PM3:00~ トーク(ゲームあり)&握手&6ショット撮影会 |
| Kaya | 8/28(土) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| Megaromania | 8/29(日) | PM5:00~ トーク&握手&サイン会 |
| ν[NEU] | 8/29(日) | ライブ終演後 握手会 ＊会場：名古屋ell.SIZE |
| PENICILLIN | 9/ 3(金) | PM6:00~ トークイベント |
| HERO | 9/ 5(日) | PM2:00~ トーク&撮影会 |
| R指定 | 9/ 6(月) | PM6:00~ トーク&握手&6ショット撮影会 |
| Dolly | 9/11(土) | PM4:00~ トーク&握手会 |
| EAT YOU ALIVE | 9/11(土) | ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：名古屋MUSIC FARM |
| rice | 9/12(日) | PM2:00~ アコースティックライブ&トーク&握手会 |
| メガマソ | 9/12(日) | PM6:00~ トーク&チェキ撮影会 |
| 葵 from 彩冷える | 9/18(日) | 時間未定 トーク&サイン会 |
| 愛狂います。 | 9/25(土) | PM1:00~『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「読書の秋」』編&握手会 |
| Lycaon | 10/ 9(土) | 時間未定 1時間店員 |
| 分島花音 | 10/10(日) | ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：名古屋ell.FITS ALL |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 10/24(日) | PM6:00~ トーク&5ショットチェキ撮影会 |
| Re:dis | 10/30(土) | PM2:00~ トーク&握手&サイン会 |
| Lycaon | 11/ 7(日) | 時間未定 アコースティックライブ&握手&サイン会 |

### ★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

| | | |
|---|---|---|
| ZEST | 8/21(土) | PM1:00~ 1時間店員 |
| BugLug | 8/21(土) | PM2:00~ 1時間店員 |
| R指定 | 8/21(土) | PM3:00~ 1時間店員 |
| NoGoD | 8/22(日) | PM1:00~ トーク&握手会 |
| ADAPTER。 | 8/22(日) | PM2:30~ トーク&握手会 |
| ハートレス | 8/23(月) | PM5:00~ トーク(ゲームあり)&握手&6ショット撮影会 |
| LOST ASH | 8/27(金) | PM6:00~ トーク&サイン&握手会 |
| ν[NEU] | 8/27(金) | ライブ終演後 握手会 ＊会場：大阪RUIDO |
| TOON-FACTORY | 8/28(土) | PM6:00~ トーク&サイン&握手会 |
| Megaromania | 8/30(月) | PM6:00~ トーク&サイン&握手会 |
| R指定 | 9/ 3(金) | PM6:00~ トーク&握手&6ショット撮影会 |
| PENICILLIN | 9/ 6(月) | PM6:00~ トークイベント |
| rice | 9/11(土) | PM5:00~ アコースティックライブ&トーク&握手会 |
| 葵 from 彩冷える | 9/12(日) | 時間未定 トーク&サイン会 |
| Dolly | 9/13(月) | PM6:00~ トーク&握手会 |
| SEX-ANDROID | 9/19(日) | PM6:30~ JUNROバースデー"イヴ×2"イベント【IKUZOさん祭り】トーク& |
| 愛狂います。 | 9/23(木) | PM1:00~『エキゾチック。&ドラマチック。愛狂います。と過ごす「食欲の |
| Lycaon | 10/10(日) | 時間未定 1時間店員 |
| 分島花音 | 10/11(月) | ライブ終演後 サイン&握手会 ＊会場：大阪Shangri-la |
| DOG intheパラレルワールドオーケストラ | 10/24(日) | PM1:00~ トーク&5ショットチェキ |
| HERO | 11/ 5(金) | 時間未定 トーク&撮影会 |
| Lycaon | 11/ 5(金) | 時間未定 アコースティックライブ&握手&サイン会 |
| Re:dis | 11/28(日) | PM3:00~ 握手&サイン会 |

# ヴィジュアル系専門店 販売・買取

…SOUND

…本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一！1フロアに5万点の品揃え！
…只今、ゴシック＆ロリータ古着コーナー拡大中！大阪と言えばピュアサウンドです。

■商品ラインナップ■CD/DVD/VHS/テープ/FC会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック＆ロリータ古着

## ゴスロリ専門サイト
…maiden clothing～
http://www.maidenclothing.net

モバイル版 遂にOPEN!! ▶▶▶

## 郵送買取キャンペーン
期間▶8/21～9/20着まで

下記高価買取ブランドに記載されているブランドの商品 1点以上で全体の査定金額が20%UP!!
（※状態が悪い物／デザインが古い物は対象外となります。）

**高価買取ブランド**
◆QutieFrash◆HIDE ROCK Design◆monomania ◆Moi-meme-Moitie◆Q-pot◆MILK…◆MALKOMALKA◆alice a…◆JESUS DIAMANTE ◆STIGMATA◆Vivienne Westwood◆GADGET CROW

**メンズ高価買取ブランド**
◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA ◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord ◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS ◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

ATELIER-PIERROT ◆ ATELIER BOZ ◆ ACID JAZZ MEN ◆ alice auaa ◆ ALGONQUINS ◆ Angelic Pretty ◆ Innocent World ◆ Victorian Maiden
VISIBLE ◆ Vivienne Westwood ◆ Vivienne Westwood MAN ◆ Vivienne Westwood RED LABEL ◆ A+Lidel ◆ h.NAOTO ◆ h.NAOTO(Hn+DIE)
h.NAOTO(Sixh. ) ◆ h.NAOTO(H.naoto Freak School ) ◆ h.NAOTO(h.ANARCHY) ◆ h.NAOTO(H.ANARCHYISM for PLUS) ◆ h.NAOTO(H.ANARCHYISM from LONDON)
h.NAOTO(Sixh.) ◆ h.NAOTO(Hn+DIE) ◆ h.NAOTO(h.NAOTO Blood) ◆ h.NAOTO(H.jelly Honey) ◆ h.NAOTO(GRAMM) ◆ h.NAOTO(FRILL)
h.NAOTO(SEVEN) ◆ h.NAOTO(CHANNEL H) ◆ h.NAOTO(rockers H baby) ◆ EXCENTRIQUE ◆ Emily Temple Cute ◆ Ozz On ◆ OZZ CROCE
Carina et Arlequin ◆ CANDY STRIPPER ◆ Qutie Frash ◆ Cornet ◆ gouk ◆ Jane Marple ◆ ZT＋PUNX ◆ Jean Paul GAULTIER ◆ Juliette et Justine
SUPER LOVERS ◆ SEX POT ReVeNGe ◆ SEXY DYNAMITE ◆ SEXY DYNAMITE CHOICE ◆ SEXY DYNAMITE LONDON ◆ CHOCO CHIP COOKIE
T.KUNITOMO ◆ DEORART ◆ DelilaH ◆ Dangerous nude ◆ no future ◆ Heart.E ◆ BANANA FISH ◆ HIDE ROCK ◆ HYSTERIC GLAMOUR ◆ PEACE NOW
BLACK PEACE NOW ◆ BLACK PEACE NOW(FOR MEN) ◆ PUTUMAYO ◆ HELL CAT PUNKS ◆ BABY、THE STARS SHINE BRIGHT
BABY、THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and the PIRATES ◆ MARBLE ◆ MAD Girl ◆ MAD PUNKS ◆ MAXICIMAM(MA) ◆ MAM ◆ MIHO MATSUDA ◆ MILK
MILKBOY ◆ Mary Magdalene ◆ metamorphose ◆ Moi-meme-Moitie ◆ UNION JACK ◆ LAPIN AGILL ◆ LISTEN FLAVOR ◆ ROMANTIC NEUROSIS
WORLD WIDE LOVE ！ ◆ Q-pot ◆ MALKOMALKA ◆ STIGMATA ◆ GADGET CROW ◆ monomania ◆ JESUS DIAMANTE

## …UMMER SALE
…アメリカ村・西新宿店同時開催！
…弾▶ 9/4(土)～9/26(日)
…古商品全品20%OFF！

## ゴスロリ古着専門店 8月中旬OPEN!
場所：旧ピュアサウンドアメリカ村店4F
（※詳しくはHPにて告知させて頂きます。）

## メンズブランド高価買取中！
下記の商品1点以上で全体査定金額が20%UP!!

◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA ◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord ◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS ◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

…・洋楽etc)■DVD(ミュージック・映画・アニメetc)■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服（その他V系古着）

## …送買取なら絶対ピュアサウンド!!
…でも**無料！**着払いでお送り下さい。送料代金は、**当店が負担します！**

…商品の送付
…売り頂く商品
…分証明書のコピー
（…転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点）
…取依頼書
…権者同意書（18歳未満の方のみ）
…ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに専門スタッフが1点ずつ丁寧に査定。

③結果
査定結果をメール or 電話にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品はキャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第ご指定の口座にお振込♪
お振込の際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

店頭にて持ち込みでの買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定。即現金にてお支払い★
※身分証明書をご持参下さい。
※18歳未満の方は親権同意書が必要となります。

詳しくはこちら▶

…ついて】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。
…機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス］【親権者同意書について】18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。
…でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
…商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

### 買取の極意
■高価買取ポイント■
・今期物、人気アイテム、付属品完備、状態良好の物。
やはり美品・完品が1番です！

■査定減額ポイント■
・シミ、汚れ、ほつれ、生地の傷み、ペットの毛や臭いなどが付着してる物。
・アクセサリー、小物などの箱やギャランティーカードなどの付属品が無い場合。

…und Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-10-34 心斎橋ウエスト363ビル2F
☎06-6214-2549
▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

佐川急便QR

…い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

蝴蝶网 hudie.com

## BACK NUMBER

# ARENA37℃ SPECIAL

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年9月号 (vol.72)

**表紙巻頭特集16ページ**
**T.M.Revolution**
巻末特集12ページ
**超新星**
映画『BECK』特集 16ページ／RAIN 7ページ／怜我（ViViD）10ページ／SM☆SH 6ページ／pixy 2ページ／Plastic Tree 3ページ／鋲＆ジン（SCREW）3ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2010…（vol.7…

**表紙巻頭特集20ペ…**
**SuG**
巻末特集13ページ
**Λucifer（リュシフ…**
零乃（ViViD）10ページ／jea…ジ／松下優也 6ページ／TTL…T-ara）5ページ／雅-MIYAVI-…及川光博 4ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料…

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年7月号 (vol.70)

**表紙巻頭特集**
**横山 裕（関ジャニ∞）**
巻末特集13ページ
**THE 東京 HIGH BLACK**
SuG 10ページ／Ko-ki（ViViD）10ページ／超新星 6ページ／FTIsland 6ページ／松下優也 6ページ／SCANDAL 6ページ／RAG FAIR 4ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年6月号 (vol.69)

**表紙巻頭16ページ**
**GACKT**
巻末特集18ページ
**FTIsland**
**Hey!Say!JUMP** 10ページ
サーターアンダギー 6ページ／SOPHIA 6ページ／松下優也 6ページ／ZE:A 6ページ／映画『BECK』会見 飛輪海

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2010…（vol.6…

**表紙巻頭特集20ペ…**
**超新星**
巻末特集18ページ
**FTIsland**
**遊助** 10ページ
東方神起／関ジャニ∞…ゆず 6ページ／シン・ヘソン…Angelo 6P／中河内雅貴 6ペー…Ryu 4ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料…

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年4月号 (vol.67)

**表紙巻頭特集**
**赤西 仁（KAT-TUN）**
巻末特集14ページ
**雅-MIYAVI-**
**加藤和樹** 10ページ
THE KIDDIE 10ページ／ON/OFF 8ページ／VANNESS 8ページ／清木場俊介 6ページ／Angelo 5ページ／ハモネプSUPERライブ2010冬

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年3月号 (vol.66)

**表紙巻頭特集12ページ**
**関ジャニ∞**
巻末特集14ページ
**Alice Nine**
SuG 10ページ／ON/OFF 8ページ／VANNESS 8ページ／FTIsland 8ページ／超新星 6ページ／BUCK-TICK 6ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2010…（vol.6…

**表紙巻頭特集30…**
**GACKT**
巻末特集18ページ
**リュ・シウォン**
武瑠（SuG）10ページ／ON/OFF 8ページ／清木…ページ／関ジャニ∞ 2ページ…

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料…

### ARENA37℃ SPECIAL 2010年1月号 (vol.64)

**表紙巻頭特集26ページ**
**GACKT**
巻末特集18ページ
**BREAKERZ**
ON/OFF 6ページ／超新星 6ページ／清木場俊介 4ページ／FTIsland 4ページ／alma 4ページ／つるの剛士／PAX MUSICA 2009 Asian Pops Platinum Live

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2009年12月号 (vol.63)

**表紙巻頭特集20ページ**
**イナズマロックフェス 2009**
巻末特集15ページ
**パク・ヨンハ**
超新星 10ページ／ON/OFF 8ページ／SOPHIA 6ページ／新選組リアン 6ページ／alma 4ページ／SMASH 3ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2009…（vol.6…

**表紙巻頭特集24ペ…**
**西川貴教**
巻末特集10ページ
**リュ・シウォン**
清木場俊介 10ページ／雅-miyavi- 10ページ／RAIN 8ページ／ON/OFF 7ペ…alma 4ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料…

### ARENA37℃ SPECIAL 2009年10月号 (vol.61)

**表紙巻頭特集20ページ**
**abingdon boys school**
巻末特集18ページ
**超新星**
**RAG FAIR** 10ページ
ON/OFF 6ページ／松下優也 5ページ
中河内雅貴 5ページ／古川雄大 5ページ／FTIsland 5ページ／alma 4ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2009年9月号 (vol.60)

**表紙巻頭特集22ページ**
**ORANGE RANGE**
巻末特集20ページ
**GACKT**
**FTIsland** 8ページ
SOPHIA 6ページ／BUCK-TICK 6ページ／ROCK 'A' TRENCH 6ページ
DUSTZ 6ページ／ON/OFF 6ページ／alma 6ページ

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料290円

### ARENA37℃ SPECIAL 2009…（vol.5…

**表紙巻頭特集26ペ…**
**GACKT**
巻末特集20ページ
**ジョンフン**
**加藤和樹** 10ページ
高橋直純 10ページ／大河元気…ON/OFF 6ページ／alma 4ペ…

オールカラー A4ワイド判 定価980円（税込）＋送料…

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。お近くの書店になり場合は書店にご注文いただくか、または直接当社経理部まで…料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上お申し…合は、送料を450円とさせて頂きます。更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマ…店でもお支払いできます。宛先 ㈱音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3574-8…

音楽専科社オフィシャルウェブサイト **http://www.ongakusenkasya.co.jp/** アクセスして下されば当社発行の…現在在庫のある全アイテムを御覧…

**ARENA37℃ & SHOXX バックナンバーフェアー実施店**

《札幌》グルグルアルシュ店（011）251-4480／旭屋書店札幌店（011）209-5181／ジュンク堂書店札幌店（011）223-1911《仙台》ブックスみやぎ（022）267-4422《新潟》紀伊國屋書店新… 241-5281《栃木》うさぎや栃木城内店（0282）21-7351《秋葉原》書泉ブックタワー（03）5296-0051《神保町》書泉ブックマート（03）3294-0011《新宿》ライカエジソン東京店（03）33… タワーレコード新宿店（03）5360-7811《渋谷》山下書店ラフォーレ原宿店（03）3475-0447／文教堂書店渋谷店（03）5468-2431《吉祥寺》Books ルーエ（0422）22-5677《町田》福家書店町… 725-2132《市川》福家書店市川店（047）379-0298《豊橋》精文館書店（0532）54-2345《名古屋》星野書店近鉄パッセ店（052）581-4796／ライカエジソン名古屋店（052）229-8211／白樺書房… 774-7223《東海》精文館書店荒尾店（052）689-4101《京都》ブックストア談京都店（075）255-0654《大阪》ライカエジソン大阪店（06）6252-6262／ジュンク堂書店千日前店（06）6635-… 垣》喜久屋書店大垣店（0584）77-1717《姫路》楽学書館 Begin（0792）33-8888《東広島》フタバ図書ゆめタウン黒瀬店（0823）81-2662《福岡》リーブル天神（092）713-1001／福家書店福… 721-8267／フタバ図書 TERA 福岡東店（092）939-7200《大分》明屋書店セントポルタ店（097）532-4343

# loset child

◆closet child 新宿店 ＜OPEN:11:00~20:00＞ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F (TEL 03-3365-6316)

◆closet child 原宿店 ＜OPEN:11:00~20:00＞ 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-7-6 COXY176ビル101 (TEL 03-3403-4108)

◆closet child 池袋店 ＜OPEN:12:00~21:00＞ 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-5七福久ビル3F (TEL 03-3983-5322)

closet child横浜店 220-0005 <OPEN:12:00-21:00> 横浜市西区南幸2-16-11二幸ビル302 (TEL 045-316-2166)

◆closet child 相模大野店 <OPEN:12:00-21:00> 〒228-0803 神奈川県相模原市南区相模大野3-15NKビル2F (TEL 0427-47-1840)

ゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

## ー の在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ

テム

## 000点以上

メールでも在庫確認が出来ます☆

http://closetchild.jp/ closetchild_cd@closet-child.com

## 間限定買取査定額大幅アップ
## ャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ベルベット R指定 Versailles BORN 人格ラヂオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lynch.

## ーティストグッズ大歓迎!!

the GazettE、シド、ナイトメア、雅-MIYAVI-、
Dir en grey、Plastic Tree、Gackt、etc. 大歓迎!!

ーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等

買取一覧表はHPでご確認いただけます!! 毎月2万点以上のヴィジュアル系の商品買取実績!!

## othic Lolita Punk ブランド古着ショップ

hudie.com

TO / Moi-meme-Moitie / alice auaa / BPN / ALGONQUINS / Angelic Pretty
THE STARS SHINE BRIGHT / Emily Temple cute / MILK

要なお洋服/アクセサリー/靴/鞄等お買取致します!! 高価買取表の詳細はHPで!!

### リータブランド古着オンラインショップ

ータブランドのユーズドオンラインショップ!!
品　今期物　定番物までを随時800アイテム取り揃えた
インショップ!!

/closetchild.ocnk.net

### Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム　入手困難なオーブライター等のレア物　人気のアクセサリー等の定番アイテムのリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中！！
ヴィヴィアンマニア　ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

### i-meme-Moitie高価買取アイテム一覧◆ ディヴァインクロスプリントシリーズ高価買取致します!

ーチ
ブラック
ースカート　55000円買取
ホワイト
ースカート　52000円買取
ネイビー
ースカート　50000円買取
ゲート
ブラック
ス　28000円買取
10000円買取

2006 S/S
●アイアンゲート
ホワイト×ブラック
◆ワンピース　45000円買取
◆ジャンパースカート　48000円買取
◆ミニスカート　27000円買取
ブラック×ホワイト
◆ワンピース　44000円買取
◆ジャンパースカート　47000円買取
◆ミニスカート　25000円買取
ブラック×ネイビー
◆ワンピース　43000円買取
◆ジャンパースカート　46000円買取
◆ミニスカート　24000円買取

2009 A/W
●ホーリークイーン
ブラック×ネイビー
◆ジャンパースカート　23000円買取
◆スカート　9500円買取
ブルー×シルバー
◆ジャンパースカート　28000円買取
◆スカート　12000円買取
ブラック×ホワイト
◆ジャンパースカート　15000円買取
◆スカート　8500円買取

2010 S/S
●バラプリントジャンパースカート
ホワイト×ネイビー　18000円買取
ブラック　12000円買取

2000 S/S
●薔薇十字架プリント
ブラック×ホワイト
◆ワンピース　23000円買取
◆ジャンパースカート　38000円買取
◆スカート　18000円買取
ホワイト×ブラック
◆ワンピース　20000円買取
◆ジャンパースカート　35000円買取
◆スカート　16000円買取

2009 S/S
●青薔薇シフォンワンピース
ネイビー　26000円買取

2005 S/S
●ネット&プリント
ネイビー
◆ワンピース 17000円買取
ボルドー
◆ワンピース 16000円買取

2002 S/S
●バラプリント
ブルー
◆ワンピース 15000円買取
ピンク
◆ワンピース 12000円買取

査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

### アリスアウアア 秋物買取20%アップキャンペーン!!!
## alice auaaコレクションアイテム一覧

'03S/S【The Hanging Garden】
●ハンギングフリルワンピース
ブラック 13000円買取

'04S/S【hunger】
●オフショルダーコルアセット風ジャケット
ブラック 12000円買取

'04S/S【hunger】
●刺繍コルセット
ブラック 10000円買取

'04A/W【個人崇拝】
●ファー襟コート
ブラック 20000円買取

'05S/S【aminous】
●アイレットロングスカート
ブラック 6500円買取

06S/S【sweet dreams】
●コサージュ付ミュール
ブラック 7000円買取

'06S/S【flower】
●パフスリーブワンピース
ブラック 13000円買取

'08S/S【contrast】
●パールアクセサリーシリーズ
チョーカー 5000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●ストライプコルセット
ストライプ 11000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●コサージュ付きバルーンワンピース
ミックスカラー 12000円買取

'09A/W【DISTORTION】
●ドロワーズ
ミックス・タータン 9000円買取

'10S/S【softly】
●ビスチェ
全色 12000円買取

'10S/S【softly】
●ハイウエストランジェリー風パンツ
ブラック・ホワイト 15000円買取

'10S/S【softly】
●ドール風
カットソー・スカート 10000円買取

※各コレクション鞄・靴・レザーブラ・アクセサリー高価買取中!!
※ご注意　査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

お客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
等にCD/洋服等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
川急便にて着払いでお送り下さい）※混雑状況により1～2週間程お時間をいただく事がございます。
際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係　宛

### 宅配キットご自宅までお届けします!!

**梱包用ダンボール・佐川急便送付状**
**をご自宅までお届けいたします!!**
**ご依頼方法 メール・電話**
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

## 宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

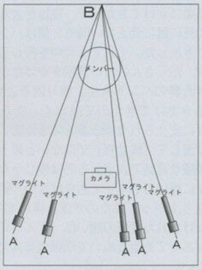
# 次号Vol.213予告
（ぼっくんの主張：すてきなサムシングゥ〜の巻）

hudie.com

## 9月21日全国一斉発売！

■嵐のような編集作業が今月も終わろうとしている。毎月、もう間に合わない。すべて無かった事にして「誰も知らない遠くの海でイルカに乗りたい」。もしくは「四国お遍路に出かけて、体の中の毒をすべて出し切りたい」。じゃなければ「岡田奈々の膝枕で乳飲み子の様に眠ってしまいたい」。と現実逃避的な事が頭をよぎったりもしましたが、なんとか今月もそんな魔物に惑わされることなく約束の21日に皆さんの町の本屋さんまでSHOXXを届けることができそうです。

■そして今月の特集はAlice Nine。満天の星に包まれ、光の線に射抜かれたメンバー5人。すごい合成と思いきや、コンピューターは使用せずに、実際にセットを組み完全アナログ工程で仕上げました。タネ明かしをすると....メンバーの背中越しから、カメラマンの方向に数本の針金を張って、そこにマグライト（強力な懐中電灯）を吊ります。カメラマンの宮脇巨匠の"ハーイ、よしこ〜（よし行こう）の合図と同時に、A（図を参照）の位置からBの位置まで一気にライトを滑らせ、その光の軌道をカメラで押さえる。ライトはメンバーの体すれすれを通る軌道でBの位置まで滑ってゆくので、メンバーは数本のマグライトが自分目がけて飛んでくる感じになる。なので相当怖かったんじゃないかな。




■そして仕上がった写真。目論み通り、いやそれ以上の素敵な出来栄えに宮脇巨匠、編集部も大満足。

■コンピューターで処理すれば似たような効果を作り出すことは出来たかもしれないし、撮影時間も大幅に短縮できたかも知れません。がっ、しかーし！ メンバーも含め現場スタッフのあの一体感は何物にも代えがたいものがあったし、あの日の代官山スタジオには"♪すてきなサムシングゥ〜♪"があったに違いないし、その"サムシングゥ〜"が読者のみなさんにも届くものと、思いたい。

来月の表紙&巻頭特集は
SHOXX Vol.213

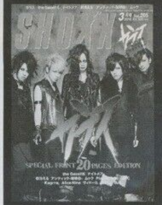
## the GazettE

東京ドームに向けて全国ツアー真っ只中の5人をキャッチ！！
お楽しみに！！

右記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理部「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。
また、近くの書店でVol.213（9月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

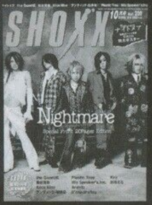
## バック・ナンバーのご案内

### Vol.205
10年3月号 ¥980



■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI（ナイトメア）■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ（ムック）■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

### Vol.200
09年10月号 ¥980



■ナイト
紙20ペー
the G
(Alice
竜太朗
Tree)■
珈琲店-■
Ray■Mi
Inc.■仙
(Kra)■
天楼オペ
(Angelo)
PENICIL

### Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■L.M.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

### Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイト
紙20ペー
the Gaz
pairsRay
ク-珈琲店
■Plasti
■Alice
■LM.C
■heidi.
ヴィドー
ViViD■
ロリヰタ
SCREW
NUMBE

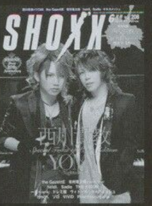
### Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン（アンティック-珈琲店-）■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's,Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

### Vol.202
09年12月号 ¥980

■the G
&表紙20
集■RUK
ア）パーソ
将（Alice
ソナル特
シド■アン
琲店-■P
■仙台貨
D'espa
Kagrra,
ドール■
ガマソ■

### Vol.208
10年6月号 ¥980



■西川貴教×YOMI（ナイトメア）巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志（Kagrra,）■Kra■ヴィドール■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

### Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティ
巻頭&表
大特集■
NERVE
ションバン
特集■枢
イトメア）
台貨物■
■シド■
ヴィドー
（D）■
(Versaill
■ドレミ團

### Vol.211
10年9月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ特集■YOMI×RUKA（ナイトメア）対談■シン（ViViD）■Plastic Tree■ムック■LM.C■Kra■D■Versailles■マコト（ドレミ團）■Sadie■ゾロ■ギルガメッシュ■DELUHI■Fatima■BugLug

### Vol.210
10年8月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■TRIBAL ARIVALL Vol.100レポート■Kagrra,■Kra■Lc5■THE KIDDIE■SuG■長谷川正×コースケ■Over the Edge@OSAKA■12012■boogieman■Mix Speakear's,Inc.■マコト×ユウ■ViViD

### Vol.209
10年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×怜我（ViViD）■seek

### Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイト
紙20ペ
Plastic
『ドナ
D'espai
ク■珈
ヴィドー
メッシュ
Wizard
陽座■TH
■メガマ
オ■宇宙
KISAKI

蝴蝶网
hudie.com

# ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

## 彩冷える 葵 の アナタごっこ 第53回

後半になり、猛暑も少しずつ落ちつ
ギラした太陽に照らされた眩しい景色
ずつ色褪せ始める、まさに「彩り冷え
皆さんいかがお過ごしでしょうか？
過ぎると秋が近づいて来る気がします。
苦手な僕としましてはそろそろいい季
けど、秋は足早だから、せつない。学
はそろそろ目を背けていた夏休みの課
き合い長い夜を過ごしていることで
社会人の方々は長いお盆休みを終え
ない毎日に戻られたのでしょうか？
の時期になると家族や親戚が一同に集
会が増えると思うのですが
日親戚の集まる場所に顔を出す機会が
した。今まで定職にも就かずフラフラ
活動をしていたように認知されていた
同の中での僕の評価は、メジャーデ
してから一転。今では一緒に写真撮っ
サインを求められたり。なんとも煮え
い感情は生まれますが、でも「いい大
ないと立派になれない」と刷り込もう
いた親戚の考えを覆せたことと、それ
を応援してくれた両親の顔を立てられ
嬉しくもありました。
な中、昔は小さかった親戚の男の子が

もう高校生になっていたのに驚いていたら、その子が僕のところへ来て「相談がある」と。聞いてみるとなんとも将来について悩んでいると。正直成りたいものもまだないままとりあえず有名大学に行くために高校生活を勉強に費やして頑張るのか、それとも自分のやりたいものを見つけるために色んなものに目を向けて、バイトをしてみたり友達とたくさん遊んだり、恋をしたり自由に自分の心赴くまま過ごすのか。本人は「後者を選びたいけれど、保険がなくて怖い」と言うのです。

僕も考え方的には後者ではあるのですが、1人の人生を変えてしまうであろうこんな「お悩み相談」は答えに困る。だってきっとそこには正解はなくて
個人で切り開いていくものだろうから。どちらを選んだとしてもそこにしっかりした自分がいなければどちらも素敵な日々は得られやしない。それが僕の考えだと伝えました。僕は彼から見たら「好きな音楽でご飯を食べてる」と言った所謂「成功者」に映っているかもしれないけれど、まったくそんなことはないと思う。好きなことを仕事にすることほど大変なものはないし、まして僕らのような職業は不安定であり、明日どうなっているかなんてわからない。

だけど、自分の発信するものを待っていてくれる方々がいることが何より幸せであり、自分の居場所はここなのだと教えてくれたみんなの期待に答えて行くのが今の自分の使命だと思える日々を見つけた僕の人生は決して「間違いではなかった」と自信を持って言える。

たくさんのものを犠牲にしてひたすらバンド活動にかけてきた日々。家族が大変な時も親の死に目に会えない時も、僕はバンドにかけてきました。それでも背中を押してくれた家族、たくさんの方に迷惑をかけながら歩んできた僕のバンド人生。振り返ると自分1人で築きあげてきたのではなく、たくさんの方々に支えられながら歩んできた道。だから僕は決して「成功者」ではないと思う。そんな綺麗な言葉で表されるのは僕じゃない。どんなに挫けても辛くても負けないで踏ん張って立ち上がって来たのが僕。僕の本名「忍」にかけられた両親の想いは「どんなに辛いことがあっても耐えぬいて頑張れる人になって欲しい」
その願いに沿えるような人でいたい。

まだ、到着地点なんか見えないし、できれば到着地点なんてなければいいとすら思う。格好悪くてもいいからがむしゃらに進んで行きたい。逃げるのも言い訳するのも僕じゃない。僕には歌があるからこの声がなくなるまでは心を歌っていきたい。いつか親戚の中で「あいつみたいになるなよ」って悪い失敗例になるかもしれない。それでも自分で自分を誇りに思える人生を歩んでいこうと思います。

将来に迷う方へ。誰がなんて言おうと君の人生は君にしか作れないと思います。「成功」する未来のために今を生きることを否定はしないけれど、今を生きることを犠牲にするのは違うと僕は思います。今を最高に楽しまないと素敵な未来には繋がらないと思うから。

…なんてね。戯言を言うようになった自分に気が付くと歳をとったなって思うよね。夏も残り僅か。みんなにとって素敵な夏がもう少し訪れますように。

あおい

## TOON-FACTORY 雫の しず ××まにあ半島〜一人旅

第1回

う！　こんにちわ！　こんばんわ！
のいいところ!!!!!!

きます」と言う日本語。

「いただきます」と言う単語？　みた
はないんだよ。

知ってるかな？

オレは日本人だから日本人らしさを忘れたくない！※別に帰国子女的免許を狙ってる訳じゃないです。

今!!! 日本の首都は「東京」だけど東京なんて「全国から集まった雑種の集まりの固まり」って思っている。

オレもそうだしね（笑）。

だがしかーし!!

「日本人らしさ」って何？って考えた。

関西の方は本当に尊敬する。

昔は関西方面の方々が日本を制圧してた訳で、今考えると著名人とか関西人が多い!!!!

多分初めて言うけど坂本竜馬がオレ本名の由来らしい。※わざわざ親父に対談しました。彼も関西。

貿易などで有名な勝さん、西郷隆盛などなど、その他上げれば…

関西、九州な人が多い!!!!

今もやっぱ、関西や、九州など出身の方は自分を持ってて、頑固で物事ハッキリ言える人が多いと思うんだ。

芸能人や、音楽人、お笑いの方も関西の方がやっぱり多いと思うんだよね
(ΦшΦ´ )←ここで我等が「だぬ」さん登場

日本人の元の血はやっぱそこだよワトソン君
(ΦшΦ´ )

オレは関東民族だからうらやましい。

はい、ここで営業していい？　ダメ？（笑）。

そんな大好きな関西にツアーで行くんだわ。

8月下旬※ショックスさん発売後だからね。

これを見た関西人!!!
8月27日大阪
8月29日名古屋
で待ってるから遊びきてよぉぉ←デレデレ風（笑）。

仙台も鮮やかに楽しく20日にあったんだぞ
(ΦшΦ´ )

もっと日本人（オレ達の音楽とか人間）をいろんな人に知って欲しいんだ!!!

なんもない所から、何万人、何億人の中で出逢った
ひかる・雫・夢叶・レガ・ゆーぃち

素晴らしい馬鹿な五人をね(ΦшΦ´ )

もっと世界にも聞かせたいからさ。
外国から見れば日本人なんて

「チンチクリン」
「パッとしない」
「イエローモンキー」
「真似しかできない」
「足が短い」←
「雫がいる」←←←

なんて思われてるんじゃないか！？と。

多分ワールドカップで日本が優勝しても、例えあの時戦争で日本がアメリカに勝ったとしても一生このイメージは変わらないと思うんだ。

だけどね

頑張って生きて「何か」を伝えたくてやってんだ。

音楽は目で見るのもいいけど、だいたい一人でいる時間や、移動中、なんだかんだ耳で聞いて癒されるんだよ

そんな時、オレ達の曲がサラァ〜と流れてるのを夢みて明日も頑張ってみることにするよ。

※TOON-FACTORY
『Kiss☆My☆choice』は、今月から、このコーナーに変わりました。

●各コーナーへのお便りの宛先は〒104-8228 音楽専科社 SHOXX編集部アーティストBOX「○○○○○」(コーナー名) 係まで。

## THE KIDDIE 佑聖
# 絶頂モンスターハイゲイン

第15回

いやーだいぶ太陽が暴れだしたね（･。･）

いい感じに季節が盛り上がってきて、これが発売される頃にはワンマンツアー『SUMMER SMILE』が始まってるね！

なんと今回は初めて行くところがちょいちょいあったり、やったことない会場があったりとスゲー楽しみにしている。

そーしてー！

なんと言っても各地のおいしい物が食べれるのをとっても楽しみにしている！

是非みんなのおすすめを教えてほしいね。

最近はレコーディング続きで、なかなかみんなに会える機会が少なく充電切れになりそうだったけど、キャンペーンに行ったりして、みんなに会えてツアーにむけての充電は満タンだぜ！

是非気合入れてきてくれ！

さて、先月の問題は

『ある鳥にくちづけをするとゴージャスになりました、なんという鳥でしょう？』

答えは…

十姉妹（ジュウシマツ）！

理由は十姉妹に口をつけると叶姉妹だから
な（･。･）

じゃあ今月の問題！

『毎晩寝る前にしめるフタってなーんだ？』

じゃーらば♪

---

第三回　ユ≠キ

## 少女-ロリキター23区
# THE コラム

新生少女-ロリキタ-23区初のワンマンツアーまで残り数日。

このコラムを書いている今は初のイベントツアー中。

まだ踏み入れたことのない地域でのライヴ。

新鮮な気持ちで出来ている。
これからはもっと各地を廻りたいと思っているから、期待していてほしい。

実は、イベントツアー最終リハで、機材トラブルになってしまったのだが、そのお陰で、ライヴ当日は急遽他の機材に入れ換えられたため、当日のライヴはトラブルなく成功することが出来た。

うちは不思議な事に、リハが手こずるとライヴは成功するとゆう、おかしなジンクスがあるから、逆にいいテンションで望む事ができる。

では応援よろしく。

---

## Mix Speaker's, Inc.
# seekの凡人水族園

第百一

茹だる様な暑さが続いている。目に見えるかの様な日差しがジリジリと地面を焦がし地球が鉄板と化す。流れる汗はロング緑ヘアーを顔面に張り付かせる接着剤となる。

世間は夏になると「海だ。プールだ。」等と囃し立てる。しかし我々ビジュアル系バンドマンは「日焼けしてはならない」という暗黙の了解の下、海や屋外プールに行く事はない。それ以前に痩せ細った肋の浮いた身体、カラーに染め上げた長髪、何れをとっても野外則さない人体構造なのだ。ただ僕が屋外水辺に行かない大きな理由は他にある。

高校時代。プールの両サイドに並べられた男子と女子。向かい合う形となり準備体操が行われる。「オイッチニィサンシィ」と両腕を高々と掲げる。総勢100名の生徒が並ぶ中、男子で脇毛が生えていなかったのは僕だけだった。僕は異常に体毛が薄いのだ。自意識過剰の思春期に「自分だけ」という状況はコンプレックスになるのに充分過ぎる程の出来事だった。

更に遡る事十三年。幼稚園に通っていた夏休み。白水家は揃って姫路随一のテーマパーク「手柄山遊園」へと出かけた。「手柄山遊園」は地方都市姫路にしては「なかなかやるやん」なプールを兼ね備えていた。流水プールや造波プール、スライダーコース等一日泳いでも飽きさせない作りとなっていた。皮膚がふやける程泳ぎ、小さな身体が逞しく見える程こんがり小麦色に焼けた。一日中遊びに遊[illegible]まくった「手柄山遊園」に蛍の光が[illegible]「[illegible]て帰るか」という父の号令に我々白水[illegible]はロッカールームへと向かった。「なななな
無い無い無い無い無い無い。」という普段
いた事が無い慌てた父の声に膝がガクガク
えた。なんとロッカー強盗に遭ったのだ。
族四人ぐったり肩を落とす。全ての荷物失
た白水家に残された道は「手柄山遊園」に
金を借り海パン姿でバスに揺られ帰宅する
いう手段だけだった。人を疑う事を知らな
幼少期に「ロッカー強盗。海パンバス帰宅
という状況はトラウマになるのに充分すぎ
程の出来事だった。

「コンプレックスとトラウマ」未だ解け
い呪縛に悩む三十の夏。蒸し風呂に似た我
でガリガリ君を頬張る。
[illegible]はこの辺で。[illegible]でした。バイバ

※Kain一朗『コライチ』は、諸事情により休載いたします。

蝴蝶网
hudie.com

# heidi.

第16回：桐

## 『ハイジのアルプス日記』

。heidi.のドラマー桐です。

りかけてきましたが、SHOXX読者
ん如何お過ごしでしょうか？

アーと音源制作が一段落したところ
お休みを頂きまして。

の休みだから無駄にしたくない！と
で取り敢えず外に出かけてみまし

り敢えずで出かけてみても案外する

こと無いもんだね！

すぐに飽きて帰っちゃって結局インドアな夏休み2010です…。

来年の夏こそは計画を立てて休みを満喫したいなー。

ちなみに一番行きたいのは沖縄ですー。

みなさんは今年の夏は満喫しましたか？

ちなみに8月25日にheidi.の新曲「∞ループ」がリリースされますので

今年の夏の最後の思い出に…（笑）みなさんよかったら聴いてみて下さいね。

ではでは桐でしたー。またねー。
来年の夏こそは計画を立てて休みを満喫したいなー。

ルガメッシュ 第3回 ■愁■

# CRAZY-CHAIN

ギルガメッシュでベース弾いてる愁

メッシュが連載を始めてから3発目、
己紹介からしようと思います。

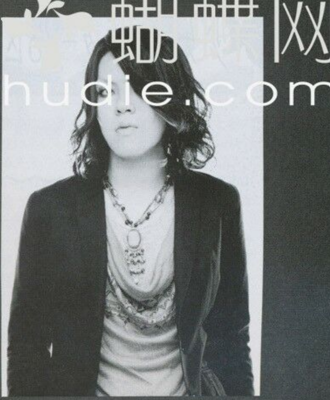
：ギルガメッシュ

ベース、リーダー
6歳

千葉県館山市
1984/12/26
始めた楽器：アコギ
時代聴いてた音楽：童謡
時代聴いてた音楽：ミスチル　SMAP
サイモン&ガーファンクル　外道
等
時代聴いてた音楽：GLAY L'Arc～en～
NA SEA　ゆず　19　ミスチル　ス
等
時代聴いてた音楽：山嵐　リンプビズ
リンキンパーク　TMGE イエモン
JAM　等たくさん!!
ギターで初めてコピーした曲：ゆずー夏色
ベースで初めてコピーした曲：L'Arc～en～Ciel ー HONEY
初めてギルガメッシュで出演したLIVEHOUSE：市川CLUB GIO
最終学歴：夜間大学中退
小学生時代の部活：野球　バスケ カギっ子
中学生時代の部活：野球（同じ中学のGt弐とともに途中挫折）
高校性時代の部活：軽音楽部
好きな食べ物：魚
好きな野菜：レタス
嫌いな野菜：人参（親父に人参は馬が食うもんだと教わってきました）
嫌いな食べ物：パクチー
好きな場所：水族館　動物園
好きな動物：パンダ
苦手な動物：手長猿（小さい頃動物園でツバかけられたから）
長所：気が長い
短所：のんびりしすぎる
好きな本：短編小説
ピアスの数：左耳3個　眉　鼻
利き腕：右利き
趣味：音楽　タバコ
吸ってる煙草：黒のLARK
最近したい事：韓国旅行　釣り
TOURでまた行きたい場所：沖縄
幼稚園の頃の遊び：ドラゴンボールごっこ
小学生の頃の遊び：野球　サッカー バスケ
中学生の頃の遊び：ギター
高校生の頃の遊び：バイト　ベース
大学生の頃の遊び：バイト　バンド
やったことあるバイト：デニーズ　マック　コンビニ　引っ越し　ガソスタ　建築　等たくさん
現在の遊び：サウナ行く事　旅行
今いる場所：TOUR先の金沢ホテルAM6：00（LIVE後）
今思う事：眠い
ギルガメッシュが初めて載った雑誌：SHOXX
ギルガメッシュが近いうち表紙になる雑誌：SHOXX

こんな感じでいいかな？
もう大体わかったかな？
次回からはまともな文章書きます（笑）
来月はドラムのリョウ!!
お楽しみにねー！

ギルガメッシュ 愁


蝴蝶网 hudie.com

# のぐるぐね大回転

第29回

ーティストがつなぐ、リレー連載☆

U（Versailles）『ザマスとTERUとヘビーメタル』
➡たら（the Riotts.）

こんにちわ、割り箸をうまく割れない男!? VersaillesのギターTERUです。
バトンを渡してくれた華威君ありがとう！華威君は数少ないバンドマン友達の一人で、藍華柳からの長い付き合いで、ライヴを観に来てもらったり、メタルのCDをもらったり、セッションバンドでチルボドのツーバスのめっちゃ速い曲を無理矢理叩かせたり、ラウドパークで見付けても無視したり（笑）、お世話になっていてなかなかにくめない男です（゜∀゜）
さてさて、毎回お題があるようなので本題に移りましょうか。今回のお題は「ザマスとTERUとヘビーメタル」。う～ん…「ザマス」を入れると幅がかなり狭まれるので勝手に追い出して「TERUとヘビーメタル」にします！華威君ゴメン（笑）。
僕にメタルを語らせると熱いぜ！僕は知る人ぞ知る生粋のメタラーでありメタル大好き野郎です！世間一般からはやや煙たい存在であり少々アンダーグラウンドかもしれない音楽ですが、僕の野望は「お茶の間にメタル」です！例えるなら、小学生が授業中メロイックサインで手を上げたり、おじーちゃんがエクソダスのバンTを着てヘッドバンギングしたり、井戸端会議で「最近デイブ閣下のシャウトのキレが悪いわね～」なんて話したり、渋谷の女子高生がカラオケでコルピクラーニを熱唱したり、みんなの日常にガンガン入ってるのが理想かな。うわーっ素敵な世界!! ウキウキしてきた♪
メタルと言えば「ヘビーメタル」がまず思い浮かぶと思うけど現在のメタルは細かく枝分かれしています。ヘビーメタル、スラッシュメタル、メロディックスピードメタル（メロスピ）、シンフォニックメタル、デスメタル、ブラックメタル、プログレメタル、ヴァイキングメタル、などなど軽く思い付くだけでもこんなにあるんだよね。ちなみにVersaillesはメロスピを基調としたシネマティックシンフォニックメタルって感じかな。自分でジャンル分けは難しいけどね（笑）。
よく「ロックは生き方だ」なんて言われるけど、それはまんまメタルにも言える事なんだ。実際僕もメタルと出会い、人生が180度変わってしまったからね。メタルが好き過ぎて自分の名前も"TERU"じゃなくて"METAL"にしようとリアルに悩んでた時期もあったよ（笑）。少年時代はヤンキーにもなれず、でも天の邪鬼でストレス満点だった僕にとってメタルとの出会いは衝撃的だったよ。人と同じじゃ嫌だってモヤモヤしてた時に、アグレッシヴで激しい音楽に"正義"を感じたな。
あとはメタルには"努力の音"がするから好きだね。高い演奏技術とヘヴィなサウンドが融合してはじめて成立する音楽だから、勢い一発のハッタリではメタルをプレイする事はできない。僕は自分で言うのもアレだけどかなりの努力家肌で目標の為に泥臭い努力を惜しまないから、しっかり練習して努力した音だと感じれるメタルは自分と相性が良かったのかもしれないね。それと僕は昔から"極限"に対して興味があったから、速さやテクニックの限界に挑んだりする楽器プレイヤーがメタルに多いのも惹かれるところだね…ってあれっ？もうとっくに原稿の文字制限を超えつつあるぞ!? まだまだ語りたかったのに残念。
では次に回す人を紹介したいと思います。じゃじゃん!! the Riotts.のたら君です！僕と同様、デザイナーとしても才能を発揮しているので同じニオイを感じますね。お題は…二時間以上考えに考えた結果かなりベタなものにしました。『もし四次元ポケットを手に入れたら何をどう使いますか？なるべく現実的に具体的に語ってください』です。たら君よろしく(>_<)ヘビーメタル!!

# D'espairsRay マニアの覗き穴

第96ブレイク ZERO 編

はい。
ZEROです。
もうすぐ9月ですね。
9月と言えばD'espaisRayの誕生日！
またまた今年もそんな季節になって参りました。

去年はSHIBUYA-AX無料ライヴ！
その前もSHIBUYA-AX ！
その前はSHIBUYA O-EAST ！
その前はLIQUID ROOM ebisu 2Days!!
その前はFC旅行だったかな？

毎年みんなでお祝いをする事が、今となっては密かな楽しみです♪

今年も9月9日にSHIBUYA-AX!!!
さてどんな事になるのか!?
7月28日にニューアルバム『MONSTERS』が発売されて、それを聴いたみんながどんなモンスターになるのか？ USツアーから帰ってきた俺達がどんなモンスターになっているのか？ 9月9日のSHIBUYA-AXに来た人にしか分からないと思います。

誕生日って自分のにしても、人のにしても、バンドのにしても、存在していれば当たり前の様にやってきて、気付けば来る事が当たり前になっていて。でもそれって出会わなければ、祝う事も出来ないし、祝ってもらう事もない。

だからこそほんの一瞬でも、
D'espaisRayを愛してくれるみんなと楽しくD'espaisRayしたいと思います。

ZERO

# ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第78回 白黒 の巻

こんにちは、それにしても毎日暑すぎる！
まあ、夏ですからね。

さてさて、ただいまツアー中のどれみだんさんですが、大阪にて初の試みでもあるコンセプトワンマンを行いました！

去年東京でやったメンバープロデュース7daysのような感じで、3日間のワンマンだったのですが、初日がファンクラブ限定で、まあ、ベーシックな感じで、未発表曲をおりこみながらって感じだったのですが、2、3日目が、がっつりとコンセプトを出した公演だったのです！

タイトルはズバリ！
「白」と「黒」!!

みなさんが白黒といって思い浮かぶものって何でしょう？ オセロ？ ゼブラーマン？ ミックススピーカーズインク？色々あると思うのですが、至ってシンプル！

「白」の日は、メンバーみんな白い格好、お客さまも白い格好もしくは白い何かを身につける的ないわゆるドレスコード！ ロリータちゃんやナース、制服、中にはウェディングドレスの子とかも居て見てるだけでたのしかった！ そしてセットリストは明るい曲や踊れる曲ばかり！ 盛り上がらない訳
い！

逆に「黒」の日はみんな黒！ 曲も暴れ
と暗い曲ばかりで構成するというゴシッ
世界観を全面に押し出した感じ。

両日とも大盛況！ ホントすごくステキ
画になりました！

ちなみにぼくのイメージは「天使」と「
でした♪

また、こんな企画やりたいな。

てなかんじでこれをみんな読む頃は8月
と少し、ツアーも終盤戦に差し掛かっ
すが9月に入れば、東京ワンマン「レエ
もあるし、アルバムのリリースもありま
かなりパンチのある作品になりました。
聴いて欲しい。

今年の夏もライヴを通して最高の思い出
くれた。

みんな、ありがと☆

ほな！

# ヴィドールの美doll? 微

第八十三体目 ギル の巻

麦茶が美味しい季節になったね!!!!
どもどもヴィドールのギルことギルオです。
(・ω・)/

ね、この記事を書いてる今日は何と梅雨明
した日!!!
よ…一遂に夏が本格的にやってくる
ぜ！ヾ(≧▽≦)

今年の夏、ワンマンツアーこそ無いんだけど、イベントライヴでめっちゃ盛り上がっていっちゃうからね!!!!
ツーマンも3回？くらいあるしね(o^∀^o)
この夏も超楽しみだね！

そいえば学生のみんなは夏休み真っ盛りだよなぁ〜
いいよね夏休みって俺ん中じゃ 1年で1番のイベントなんだよなぁ〜
んでさ、夏生まれの俺だから子供の頃誕生日来るのも待ち遠しくてさ、でも8月21日生まれだから、誕生日来ると夏休みも終わりを感じるんだよな〜(|゜□゜)|
夏休みが欲しい!!!!
って訳で学生のみんな！ 俺の分まで夏休みを遊びまくってくれぃ！
宿題は9月1日からやればなんとかなる！(^^)

とりあえず、夏の遊びはヴィドールのライヴで決まりだろ!?
この夏をとりあえず暴れて楽しむならライヴしかね〜よぉ？
絶対絶対楽しいからね〜
あんなことやこんなこと俺ってば子供のまま大人になってるからやりたい放題だからね!!!(゜□゜ ;)
だからヴィドールのライヴに来るべし!!!

みんな待ってるぜヾ(´ー)

そいえば、話は突然変わるけど新曲レコーディング完了したぜぃ！
今回はね、チョコリップのレコ依頼なんだけど、マーシャルのアンプを使ったんだ。
ガツっと男気満載なサウンドでギターをしっかり録れたよ〜
どの曲も芯がしっかりしてて聞きごたえがあってね、みんなにも気に入ってもらえるはずだ!!!(´∀`)

ヴィドールファンのみんな的にはとりあえずゴシカロイド改が気になるんじゃないかな？
まぁ聞いてのお楽しみだよ〜

とりあえず9月18日までおもいっ切り全力でぶっ飛ばしていくから、みんなもついてこいよ!!!!!!

この夏は一生忘れられない夏にしようぜ。
おういえい(。-_-。)

蝴蝶网 hudie.com

# Moran Hitomiの「瞳孔反射」

第29回『　』

もうご存知の方も多いと思いますが、7月15日the studs、蜉蝣のヴォーカルでもあり、Fatimaの初代ドラムだった大佑が永眠しました。

それからわずか一週間ほどの7月23日、MoranのベースZillが永眠しました。

同じバンドで苦楽を共にしたメンバーの立て続けの訃報に、やりきれない気持ちでいっぱいです。実際、まだZillの葬儀が終わったばかりで、今は何を書いていいのかもよくわからなくて。

とりあえずファンの子たちが心配です。ファンと言ってもそのフリ幅は大きく、「好きなアーティストの一人」というのもファンだし、「その人の音楽ばかりを聞き、全国のライヴやイベントに会いに行き、雑誌を集め、ブログなども毎日欠かさずにチェックする」という生活の全てをそのアーティストに捧げているファンもいる。特に後者のようなファンの子にとっては、こういった訃報は辛いと思う。

もし、この記事を読んでいるみんなの周りにも、今回の事で苦しんでいる友達がいたら、支えになってあげてほしい。具体的に何をしてあげればいいかなんて俺にもわからないけど、「気にかけてくれる友達がいる」ということだけでも、救いになるかもしれないから。

よく好きなバンドが解散や活動休止してしまうと、それまで仲の良かった友達が急に疎遠になってしまうなんて話を聞くけれど、これをきっかけに連絡を取ってみるのもいいと思うんだ。

俺もこの事がきっかけで、久々に顔を合わせた人がいて、初めて言葉を交わした人がいて、自分を心配してくれる人がいて、そういった「人との繋がり」を最後に彼らが残してくれたんだなと感じています。

俺を気遣って連絡をくれた友達、関係者、ファンのみんなありがとう。その優しさに本当に救われました。

そして大佑、Zillいままでありがとう。一緒にバンドをやれた事、誇りに思ってます。まだずっとずっと先になるけど、また会える日を楽しみにしてるね。


SHOCK WAVE アポロ Vol.42
2010年9月18日(土)高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ALiBi/RED universe/NEXX/
Neo/Hi:BRiD/D'eiz/Rubik/アヲイ

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！ 9月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは
絶賛発売中♪
詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-1068


hudie.com

# 麺は固め!!

第147回　by 竹入隆行

ここ数年、冬は例年より寒く、夏は例年より暑い
がしませんか？　俺だけかな…（笑）。
先日、7月の後半に北海道を釧路、帯広、旭川、札
北見、名寄、稚内と回って来ました。
通常、北海道には梅雨がなく、夏でも暑いけどカラ
としてて過ごしやすいのが当たり前やったんやけ
今年はどうも違ったらしい…。
温度こそ少し低いんやけど、珍しく凄い湿気（笑）。
全国的にも梅雨明けしていたのに、それでも凄かっ
現地の人もこんなの初めてとびっくり…。
しかも北海道は暖房技術は凄いけど、毎年涼しいせ
か冷房を一生懸命やってる所は少なく、ライヴ中の
いのなんのって(笑)。ほんまにサウナの中でライヴや
ているみたいでした…（笑）。ホテルにクーラーが
い所も珍しくなく、都内の暑さから逃れたつもりが
に撃沈でした（笑）。
最近は沖縄より東京のが暑かったり（じゃあ何故冬
寒いんだ！）なんかむちゃくちゃですよね。雷雨や
豪雨やら、ツアーバンドには危険がいっぱいです。
けど、一期一会、行く先々の感動にはかないません（
今日は仙台にいます！
皆様も暑さ、雨、自然を舐めずにお気をつけて 夏を
り切りましょう！

押忍！

# うしろの正面

—ただしづら—

第134回

by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆様こんちくわ。この原稿を書いている現在、われわれプラ一行はイベント盛りだくさんな八月を迎えようとしております。この本が発売される頃には三回目となる武道館公演「テント②」も無事終了している事だと思いますが、今回も忘れられない一日になるように頑張りたいと思います！　さて…今月はライヴに関連した話題として、ライヴのセットリスト作りについて触れてみたいと思います。さすがに10何年もバンドを続けていると、今や楽曲の数は200曲位を数えるようになりました…いやいや、よく作ったもんだ（笑）。その中からツアー毎に候補曲を選び出してセットリストを組み立てて行く訳ですが、その時点での最新作などを中心にしつつもいかに面白みのあるメニューにするかはいつも頭を悩ませるところです。観に来てくれる皆さんにとって思い入れのある楽曲もそれぞれあるだろうし、出来るだけいろいろな人の意見を参考にはしたいと考えてはいますが、最終的にはこちらが「ライヴで伝えたい！」という気持ちを持てる楽曲を重視するようには心がけています。そこはやっぱり基本だと思うので。でも機会があったらリクエストを募って、それに沿った内容のライヴとかもやってみたい気もしますね…むしろまるまるセットリストを考えてもらう完全他力本願ライヴも楽しいかも（笑）。あとここ最近よく感じる事として、過去の楽曲もライヴで演奏する事によってまた新しい命を吹き込まれるような部分もあったりするのが自分達にとっても新鮮で刺激になる事が多いのです。それに加えて、その時、その場所でしか出せない感情を表現する素材として、過去の自分達が作り出して来た楽曲が今でも機能する…というのは、単純に自分達のやって来た事に自信が持てたりする部分もあるので、やっぱりバンドをやって行く上でライヴは欠かせない存在だなあとしみじみ感じます。とりあえず「テント②」が終わってから少しの間はライヴの方もお休みですが、次なるライヴに向けてまたアイディアを練っておきたいと思います笑）。という事で、まだまだ暑い日も続くと思います…どうか皆さん体調には気を付けて下さい！　今月もマリモーランドよりお届けしました！　さよーなりー！

追伸…この夏旅立った君へ…短い時間でも、同じステージに立てた事を嬉しく思います。どうか違う世界でも唄う事を楽しんで下さい！


# http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU 検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

9月22日発売
the GazettE
Red
Optical Impression 初回限定盤 1,785円
Auditory Impression 通常盤 1,260円
＜GURUGURU 特典＞
W購入で交渉中！

9月15日発売
ヴィドール
Crescent gazar
初回限定盤 1,800円
通常盤 1,260円
＜GURUGURU 特典＞
交渉中！

9月15日発売
SCREW
DUALITY
初回盤
通常盤
＜GURUGURU
交渉中！

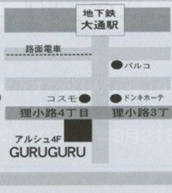
9月8日発売
ダウト
サイケデリコ∞サイケデリコ
初回盤Aタイプ 1,890円
初回盤Bタイプ 1,890円
通常盤 1,575円
＜GURUGURU 特典＞
AとBのW購入で
イベント整理券
(10/2 18:00
マルチスペースエフ)

9月15日発売
Lc5
Loveless
初回生産限定盤A 1,800円
初回生産限定盤B 1,800円
通常盤 1,260円
＜GURUGURU 特典＞
ポスター＋ポストカード

9月1日発売
HERO
ピリオド
初回限定盤
通常盤
＜GURUGURU
イベント整理券
(9/15 15:00
マルチスペースエ
初回限定盤にはさ
アーティストカー

GURU GURU
有限会社 グル・グル

札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00



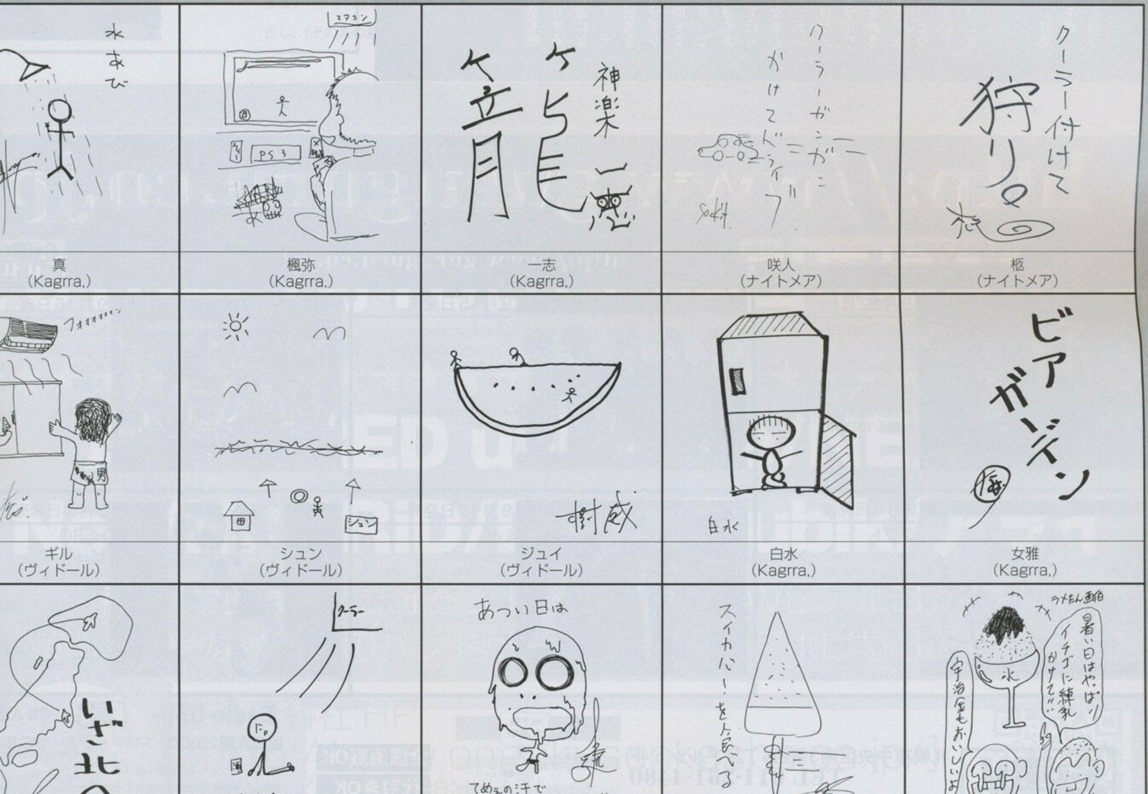

全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON A
毎週火曜23:00 FMアップル 76.5
インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_app
バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio

蝴蝶网
hudie.com

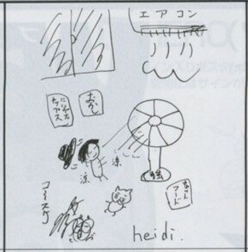
# ission in
## ッション イン ぽっくん

るような残暑の中、美しい男子たちを東に西に追っかけて、毎日仕事をしている SHOXX
一同。8月も後半。そろそろバッテリーも切れてまいりました。ここは一つ、真夏のステージ
しても、暑苦しい顔ひとつしない美し系ミュージシャンたちに、暑さ克服の秘訣、秘密を
いました。夏バテ気味のあなた。必見ですぞ!!

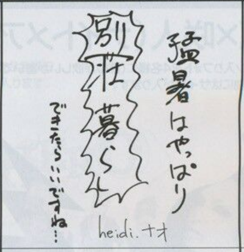



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 真 (Kagrra,) | 楓弥 (Kagrra,) | 一志 (Kagrra,) | 咲人 (ナイトメア) | 柩 (ナイトメア) |
| ギル (ヴィドール) | シュン (ヴィドール) | ジュイ (ヴィドール) | 白水 (Kagrra,) | 女雅 (Kagrra,) |
| 愁 (ギルガメッシュ) | 弐 (ギルガメッシュ) | 左迅 (ギルガメッシュ) | テロ (ヴィドール) | ラメ (ヴィドール) |

桐
(heidi.)

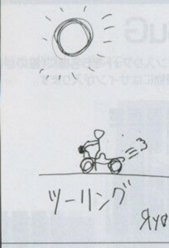


コースケ
(heidi.)



ナオ
(heidi.)

義彦
(heidi.)

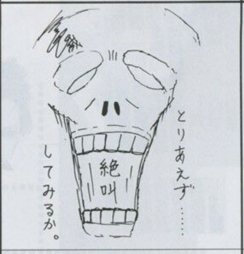


Ryo
(ギルガメッシュ

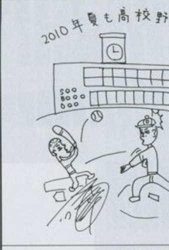
ミナセ
(ダウト)

玲夏
(ダウト)

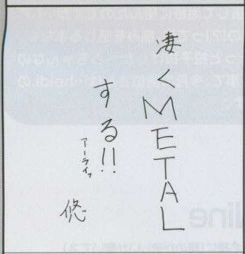
ひかる
(ダウト)



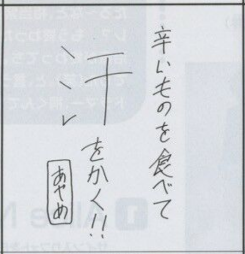
威吹
(ダウト)



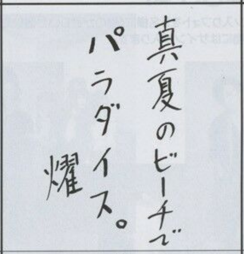
幸樹
(ダウト)



悠
(摩天楼オペラ)



彩雨
(摩天楼オペラ)



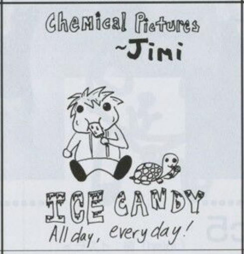
燿
(摩天楼オペラ)

Anzi
(摩天楼オペラ)

苑
(摩天楼オペラ)

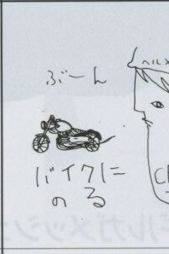
高橋 尽
(HERO)

子雲
(ケミカルピクチャーズ)

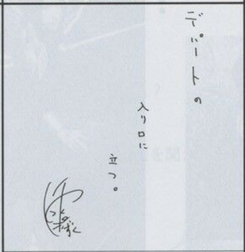


Jimi
(ケミカルピクチャーズ)

Joe
(ケミカルピクチャーズ)



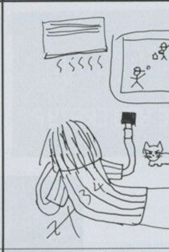
てんてん
(ケミカルピクチャー



雫
(TOON-FACTORY)

Yusuke
(HERO)

yu-ta
(HERO)


SARSHI
(HERO)

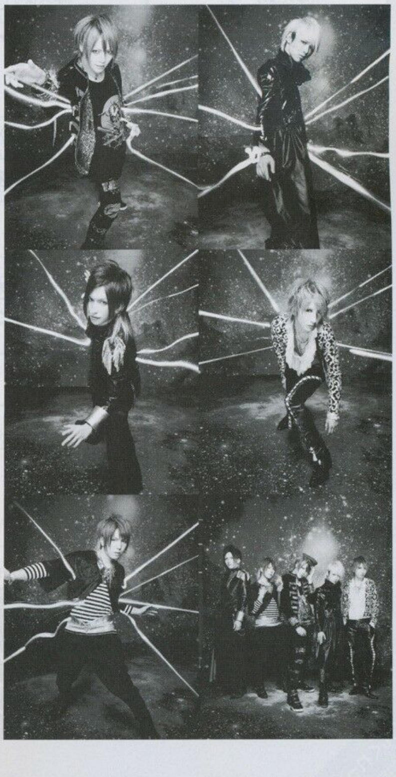
**★応募の決まり★**

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま〜す。欲しい人は143ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F音楽専科社「ぽっくんくれっ!」係まで応募してください。締め切りは2010年9月21日(当日消印有効)です。

★先日、人生初！ 歯の神経の治療というものをしてきました。いやぁ～、現代の医療技術ってスゴイですね！ 無痛治療がウリの歯医者さんに通っているのですが、無痛って言っても、全く痛みを感じないなんて事はないんだろ～なと、相当緊張して治療に望んだのですが…「アレ？ もう終わったの!?」って位、痛みを感じる事なく、治療が終わってちょっと拍子抜けしたぺろちゃんなのでした(笑)。と、言う事で、今月の画伯さんは…heidi.のドラマー、桐くんです♪

## 1 Alice Nine

サイン入りフォトを6名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

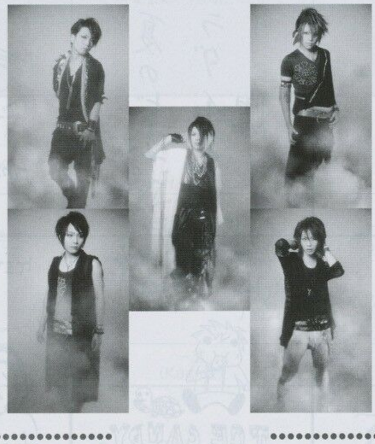


## 2 枢×咲人(ナイトメア)

サイン入りフォトを4名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

## 3 Kagrra,

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。



## 4 Lc5

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

## uG

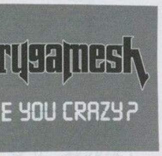
ン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
現物にはサインが入ります。

## ersailles

シュを2名様に

## ギルガメッシュ

テッカーを3名様
のピックを2名様に



hudie.com

hudie.com

## 12 ネガ

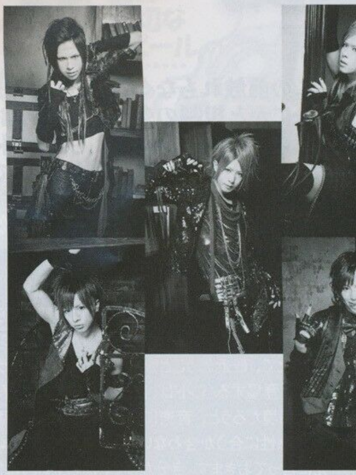
ポスターを3名様に

## 10 HERO

サイン入りポスターを3名様に
※現物にはサインが入ります。

## 8 ViViD

サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。



## 11 Dolly

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

## 9 雫（TOON-FACTORY）

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

イラスト：桐（heidi.）

### プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.212

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 住所 | 〒 TEL （ ） | | | | |
| 氏名 | フリガナ | 年齢 | | 男・女 | |

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
| | | |

理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（ ）（ ）（ ）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（ ）（ ）（ ）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。



★E. 希望プレゼントの番号（P142～143） 番

### アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不
●宛先は〒104-8228 銀座6－2－3 ダヴィンチ銀座アネックス5
音楽専科社 SHOXX 編集部 プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2010年9月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

### ◆今月の記事一覧（アンケート）

①Alice Nine ②the GazettE ③シド ④柩×咲人（ナイトメア） ⑤Kagrra, ⑥Lc
⑧Lc5×葵 ⑨SuG ⑩LM.C ⑪ギルガメッシュ ⑫THE KIDDIE ⑬Versailles ⑭Mix Sp
Inc. ⑮ヴィドール ⑯ViViD ⑰少女-ロリヰタ-23区 ⑱heidi. ⑲DOG inTheパラレル
オーケストラ ⑳BugLug ㉑雫（TOON-FACTORY） ㉒HERO ㉓Waive ㉔ダウト
楼オペラ ㉖spiv states ㉗ケミカルピクチャーズ ㉘SHOCK WAVEアポロ ㉙陰陽座
マソ ㉛ネガ ㉜E'm～grief～ ㉝PIECElang ㉞シンディケイト ㉟Ap(r)il
㊲ADAPTER。 ㊳砂月 ㊴LOST ASH ㊵RED universe ㊶BORN ㊷Dolly
㊹愛狂います。×R指定 ㊺アーティストBOX ㊻Mission in ぽっくん ㊼早耳情報
ロール日記

蝴蝶风
hudie.com

# いきなり不定期連載 台風の目からこんにちは! #001

〔語り部〕
長澤智典さん（ライター）

**なんの前触れもなくいきなり始まった不定期連載「台風の目からこんにちは!!」。なにかと規制の多い音楽業界において、本来の物書きとして、おもいっきり主張したい！ との影のリクエストから誕生した治外法権的このコーナー。普段SHOXXを支えていただいているターさんが、仕事をしている中で感じていることをフランクに綴ってもらいます。そしてすべき第1回の語り部は、ヴィジュアル系が産声を上げる、はるか昔から業界でお仕事をっているベテランライター、自称"オットピン長澤"こと長澤智典さんです。**

HOXXの編集長よりかかってきた、1本の電話。「オットピンさぁ、毎月OCK WAVEアポロで若手バンドをいっぱい観ながら、どれもこれも一緒だくだを巻いてるじゃない。だったら、最近のシーンについて思うこと書いてよ」。ばということで、最近思うことをいろんな角度からダラダラ書かせていただき。ちなみに、登場するバンドは、自分の主観での " 好き " であって。どんなバ、状況や環境だろうと、音楽に良し悪しという優劣は一切ありません。あくま、個々の感性に合うか合わないか。一番信じるべきは、己の感性ということは、先に言っておきます。自分だって、感性を頼りに仕事しているようなものですからね。

先に、" どれもこれも一緒 " と書いたが、じつは数年前から比べれば、遥かにのバンドに個性が芽生えているのは間違いない。もちろん、数多くのバンドかしめくイベントの中、20分や25分のライヴ時間で存在をアピールしなければいけないので、観客たちを熱狂させる " 煽り曲 " をメニューに盛り込みたくな傾向もわからなくはない。でも音楽というのは、暴れるためのアイテムではなく、に響き、感情を揺さぶっていくもの。一時期に比べれば、目の前の観客たちをに煽って自己満足しながら帰ってゆくバンドは減ってきたが、どうしても、目前で熱狂する風景を見ないと安心感を持てない傾向が強いのは、今も変わらないようだ。最初からヘヴィ／エクストリームな体感衝動的な音楽性で勝負しているバンドならともかく、" 歌物です " と言うバンドなら、煽りは1曲のみ。あとは、曲の持つ説得力で勝負してもらいたい。たとえ煽り曲など一切やらずとも、良な音楽を、自分たちの芯を崩すことなく表現していけば、絶対に観客たちの心残っていくはずだ。最近観た中では、UKギターロック的な雰囲気を持ったSlowtail- スワロウテイル - が印象深く胸に焼きついた。彼らのように、他と音性の重ならないスタイルを提示してゆくバンドほど、身体ではなく、しっかり心残っていくし、また観たいという気にさせてくれる。

昨今、変わらず見かける傾向として、疾走感を持った激しめの演奏に歪んだター音を乗せながら、ヴォーカルが歌謡曲風のメロディを歌うというスタイルある。確かにヴィジュアル界には、昔から「刹那」「歌謡メロ」「哀愁」という、"心琴線刺激する三要素 " と、「疾走感」「躍動性」「重厚さ」という " 体感的な高を煽る三要素 " という絶対的な定番要素があり、それらの調合で彩りの変化出してゆく傾向が強かった。" だったらそれを全部上手くミックスすればいいゃない " というのが、21 世紀型のヴィジュアル・スタイルなのもわかるのだが、本人は物真似が得意な民族だけに、誰かが成功した例を、そのまま模倣したる傾向が、やたらと強い。" 刹那の美学 " を確立したLUNA SEAや " 煽りの学 " を作りあげたDIR EN GREYという先駆者が、長く名を残し続けていくは当たり前だが、それらのスタイルを模倣しただけの二番煎じや三番煎じが、のシーンの中からのし上がってこれるわけがない。むしろ、先人たちの良い部を模倣しながらも、そこへ新しい自分たちの解釈を加えた者たちこそが、また新たな " 美学を持った継承者 " として、このシーンへ君臨し続けていくし、実際に、そうなっている。そんな継承者の系譜バンドたちを、次々模倣してゆくバンドたちが群雄割拠しているのが、ライヴハウス・シーンになるわけだ。誰もが最初は模倣から入るだけに、それを否定する気はまったくない。ただ、どの段階で " 人がやっててウケているから " ではなく、" 人と違うことをどう見い出すか " へ気持ちや音楽性をシフトしていけるかが、大切なこと。その方向転換が出来ないと、そのバンドは、しょせん " その程度 " で終わってゆくだろう（どれだけセルフ・プロデュース能力を持っているかという話も出てくるが、それはまた機会があったら、触れたい）。もともとこのシーン自体が、他とは違うこと、ひと癖もふた癖もあること、とにかくインパクトを持ったことをやりたがった人たちが集まり、築きあげたようなもの。やたら転調が多く、複雑な展開を描く曲スタイルが、ヴィジュアル系では雛形になっているのも、そんな歴史が育んだ大きな成果である。そして、それが、独特な音楽性として世界中に広まった要因になっている。

まぁ、これ以上下らない戯言を述べても仕方ないので、ここからは、また別の視点で物事を書き進めよう。

今や世界中の人たちがヴィジュアル界に熱い視線を送り、日本からも数多くのバンドたちが、世界中へと羽ばたき、ライヴ活動を行っている。最近でもVersaillesが、南米／欧州を舞台にしたワールド・ツアーを行い、大成功のもと帰国した。それでもいまだ、国内でさえもなかなか足を運べず、ライヴを観れない地方在住のヴィジュアル系ファンが数多く存在しているのも、事実。少し前の話になるが、ヴァルナがUstreamを使った生放送を通し、目黒鹿鳴館よりワンマン・ライヴを世界同時中継したことがあった。そのときに、国内はもちろん、世界中から視聴者が集まり、何千人もの人たちが、パソコンのモニター画面を通してとはいえ、ヴィジュアル系の生のライヴに触れ、twitterを通し、関係を深め合っていた。

今や文化の発展に伴い、大きなメディアを持たなくとも、ちょっとした機材さえ揃えれば、個人で情報を発信していける時代である（iPhoneがあればUstream配信できるからね）。ヴァルナの例に限らず、今後、プロモーション展開の一つとして、Ustreamやtwitterを通し、" 個から個 " への発信を行い、それを個々が共有し、個々が仲間たちに広めてと、大きなメディアを介在することなく、リアルな姿や声を伝え広げてゆく手法が増えていくことだろう。個人的な話になるが、自分も札幌の居酒屋に集い、地元のV系CDショップのオーナー陣たちと「座談会」という名目のもと、Ustreamを使った生中継を札幌から行い、twitterの書き込みに答えてゆく形を取りつつ、少ないながらも、日本各地の人たちへの情報発信や、情報交換のやり取りを持つことを行った（誰かやりませんか?参加しにいきますよ。連絡は編集部へ）。今や、誰もがメディアとしての発信能力を持つ時代になっている、それをどう有効的に使うか次第で、直接出会えない人たちとも、今は簡単に繋がれるし。それがお金のかからない効果的なプロモーションにもなっていく。

もちろん、誰もがボランティアでやっているわけではないので、いかにバンド活動を正常に行っていくための収益を上げていくかも課題になっていくが、これまでのようにCDで収益をあげるというスタイルは、通用しなくなっていきそうな気がする。もちろん、音源を届ける事こそが一番の軸にあるわけだが、音源を売るための活動ではなく、そのアーティストの存在自体を、いかにアトラクション化していくかに、届け方が変わっていくと思う。

おっと、もう誌面がない。まだまだ、ニコ動のことやらアニソンのことなど書きたいことはいろいろある。編集長、またページくれたら、続きを書きますよ。それとも、電子書籍で販売します !?（笑）

イラスト:AKEMI OHSH

# 大島暁美のロックンロール日記

☆スペイン旅行

6月30日〜7月16日まで、スペインに行ってきた。大の海外旅行好きで、渡航回数は仕事も含めると軽く100回を超えているのだが、実はスペインは初めて。旅のいちばんの目的は、サグラダ・ファミリアをはじめとするガウディの建築物を見ることと、アンダルシア（スペインの南部）の見渡す限りのひまわり畑を見ること！　なので、定番である首都のマドリードにはあえて行かず、バルセロナに8泊、レンタカーを借りてアンダルシアをまわる移動の旅を7泊と、かなり変則的な日程を組んだ。

滞在中はちょうどワールドカップの決勝トーナメントの真っ最中。もともと、サッカーには興味なかったんだけど、こんなチャンスはなかなかないと思って、にわかファンに大変身。準々決勝、準決勝、決勝と、旗を持って、スペイン・チームを応援しちゃった。結果的に、スペインは初優勝！　ちょうどバルセロナにいたので、街中が怒涛のように歓喜する歴史的な瞬間を体験することができた。旅行を計画した時にはワールドカップのことなんてまったく考えていなかったので、ホントに棚からぼたもち。めっちゃトクした気持ちだったよ〜！

バルセロナ3日目の7月2日には、ちょうどヨーロッパ・ツアー中のVersaillesのライヴがあった。日本で最後に会った時、メンバーやスタッフさんには「行くよ」といっておいたんだけど、前日に数人にメールを出したのに全然返事がない。「どうしたんだろう？」と思っていたら、2日前のロンドン公演が終わってから、バスで一気に移動していたらしい。イギリスとスペインの間には、ドーバー海峡とフランスという大国がドン！と鎮座してるんですけど……（笑）。パリでドライバーの休憩時間中に、ヴェルサイユ宮殿の見学をしたみたいだけど、そのあとは24時間移動という強行軍だったとか。

開演前にバックステージでHIZAKIくんに会ったら、「大島さん、フランスを旅行してるんですか？」と聞くので、「ここは、バルセロナ、スペインだよ！」と答えたら、「あ、すいません。今、自分がどこにいるのか、イマイチ把握できてなくて……」だって（笑）。そんなハードなツアーをこなしていた彼らだけど、「ヨーロッパでいちばんヴィジュアル系っぽいファン」（HIZAKIくん談）の前で、熱気にあふれるライヴを繰り広げていたよ！

**×月×日**

スペインから帰国して3日目。今回、時差ボケはほとんどなかったんだけど、休みボケでボヨンボヨンしていたら、一足早く帰国していたVersaillesのライヴの後に行われる凱旋祝賀&KAMIJO誕生日パーティの司会をさせてもらうことになった。

トーク部分で、いろいろワールド・ツアーのエピソードなどを聞いていたときのこと。YUKIくんが、南米でパスポートをなくしかけて、大騒動になったことを自ら告白してくれた。なんでも、ブラジルの空港でファンからもらった缶ビールをマネージャーのスーツケースに預けた時、ついうっかり手に持っていた自分のパスポートも入れてしまったんだって。当然、パスポートはスーツケースと共にベルトコンベアーにのって、飛行機の荷物室へ。そして、いざ出国手続きをしようとした時、パスポートがないことに気がついて、大慌て。結局、スーツケースを飛行機からおろしてもらって、パスポートは無事戻ったのだけど、YUKIくんとマネージャーはその飛行機には乗れず、翌日、別便で次の公演地であるチリに向かったんだって。

ここまでの顛末は前に聞いて知ってたんだけど、ビール好きで知られるYUKIくんだけに、「その缶ビール、どうしたの？」と興味しんしんで聞いてみた。そしたら、「実は……、マネージャーのスーツケースの中で、爆発しちゃったんです」と、まさに爆弾発言（笑）。KAMIJOくんも「その話、僕も知らない」って驚いていたよ。それにしても、マネージャーさん、パスポートが無事に見つかり、チリ公演をキャンセルしなくてすんでホッと胸を撫で下ろしてたところだっただろうに……。踏んだり蹴ったりだね、ご愁傷さま。

**×月×日**

Alice Nineの撮影&取材。

全員揃って取材するのは、ずいぶん久しぶり。ツアー中で取材がめずらしかったのか（?）、将くんや沙我くんは取材風景やらテレコやらをパチパチ写メってる。こんな地味な写真を撮って、どうするのかなと思っていたら、しっかり彼らのblogに載ってた。わたしの真っ黒に日焼けしたたくましい腕もしっかり載ってて、めちゃ恥ずかしす。

**×月×日**

SUGIZOと待ち合わせして、Creature Creatureのライヴを見に行く。終演後、メンバーと雑談している時、MORRIEに「ところで、スペインはどうだった？　カッコいい彼氏とか、できなかったの？」と聞かれる。その言葉を聞いた瞬間に、SUGIちゃんの瞳がキラリーーン！（彼はいたずらっ子モードになる時、いつも必ず同じ表情をする）「身長2メートルくらいの彼氏が、できたみたいですよ」「その人、飛んでる鳥を手で捕まえて、生のまま食べるらしいですよ」と、昔、hideちゃんがよくいってたのとまったく同じことを同じ口調でしゃべってる。いっつも思うんだけど、こういう時のSUGIちゃんとステージの上にいる時のSUGIZOが、同じ人物とは思えない。もしかして、二重人格かも（笑）。

**×月×日**

リキッドルームでのライヴで「Twitterを始めました」と宣言していた将くんが、わたしのつぶやきをフォローしてくれたというお知らせメールがきたので、お礼に将くんのタイムラインを見に行ったら、「これから、ニコ動の生中継」と書いてある。

この間、ナイトメアの回を見たら、すごく面白かったので、ちょうどパソコンの前に座ってたこともあって、ぜーんぶ見ちゃった!!　出演は、将、虎、沙我の3人だったけど、沙我くんの頑張りにはマジに感動しちゃった！　新曲「閃光」のPVを流すために、サッカーのボールを蹴り続けたり、扇風機に向かって声を出し続けたり、瞬きをしないでカメラを見つめ続けたり。すごいよ、すごすぎる、沙我大先生！　この調子で、武道館に向かって、Aジャンプ！

**×月×日**

HOT WAVE公開収録が、ESPホールである。

最初のゲストは、BugLug。テレビ初出演とは思えない個性的なトークを披露してくれた。打ち合わせなしで、突然、思いついたことなどムチャぶりしてしまったのだけど、物怖じすることなく堂々とカメ
向かってポーズをとってくれたり、度胸も満点
動を始めてまだ1年もたってない新人くんだけど
とすぐに人気者になりそうな予感がするよ。

続いてのゲストは、公の場に出るのは、久しぶ
ABCことyasu。昨年の武道館ライヴの後、喉の
をしてから、ずーっと人前に出ていなかったそ
レアな話をたくさん聞くことができた。

その晩。MORRIEとゴハンを食べることにな
彼の行きたいという店に行ったら、なんとyas
ちのすぐ近所だった。「呼び出そう！」というこ
なり、メールを出したら、チャリに乗って来た。
ね、その店、yasuの家から100メートルも離れ
いんだよね。「何で、こんなに近いのに、わざわざ
リで来たの？」と聞いたら、「MORRIEさんをお
せしてはいけないから、少しでも早く来ようと思
だって（笑）。かわゆす。

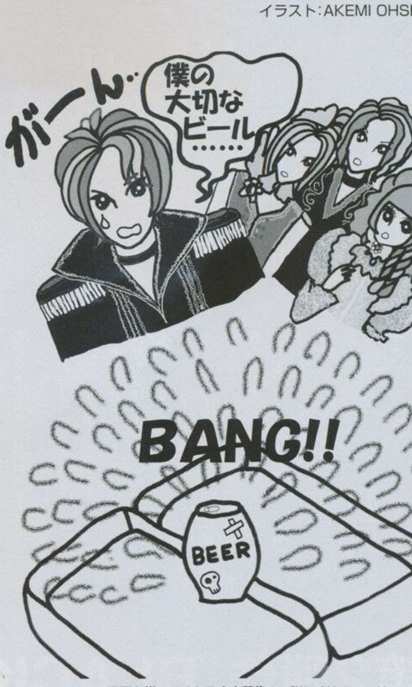
いろいろおしゃべりして、そろそろ帰ろうとお
をした時、yasuにSHUSEからメールが。「これ
行く」というので「今日は、もうお開きだよ〜」
事をしてもらったんだけど、いざ店を出ようとし
いきなりあらわれたので、ビックリした。yas
所は詳しく説明してなかったのに、勘でお店を発
たらしい。その鋭い直観力と根性に敬意を表して
う一杯（笑）。楽しい飲み会だったよ〜！

☆HOT WAVEライヴと公開収録。

8月から、毎月、HOT WAVEライヴ開催決
ラインナップ等最新情報は、http://www
music.com/

☆Bijuたん漫画リニューアル・スタート！　ht
ameblo.jp/gogobijutan/

☆10月から、定期的に、渋谷でヴィジュアル系
ベント「VIJU♡LOVE♡NIGHT」を開催する
になったよ〜！　詳しくは、ここをチェック！
URL:http://ameblo.jp/vijulovex/




Biju漫画を描いてくれる人大募集！　詳しくは、http://ame
<http://ameblo.jp/gogobijutan/> gogobijutan/へ。

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# 第2弾作『BLACK BORN MARKET』完成!!

## に200km、時には100kmにも落とせる——そんなライヴを目指す！

**月連続リリースの第2弾、『BLACK THEORY MANIA』が9月15日に登場する。前作『BLACK BORN MARKET』よりも“マニア”度を濃厚にした、勢い溢れる作品に仕上がっているという。10月13日に続く第3弾のリリースも控えている中、11月7日には渋谷O-WESTでのワンマン・ライヴも決定!! 作品でもライヴでも、常に自由奔放に駆け抜ける彼ら。彼らのそんなパワーを感じてほしい!!**

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

**——3ヶ月連続ミニ・アルバムの第二弾『BLACK THEORY MANIA』が、9月15日にリリースされます。**

**Ray**：今回は、タイトルに“MANIA”という言葉が入っているとおり、前作の『BLACK BORN MARKET』よりもマニアックな内容になっています。1枚目は間口を拡げた感じで、次はもう少し自分たちのやりたい色を濃く出してもいいかな…というのがあったので。

**猟牙**：前作と同じようにキャッチーさは意識しつつ、ちょっとブッ飛んだアルバムになっています。歌詞の面でも、1枚目より遊び心を活かした面があって。「モザイク」とかは、頭のおかしい男を題材にしているようで、男の本能というか日常みたいなものを描いています（笑）。でも、全体的には1枚目と同じように、自分たちの意思を掲げたものが多くなっていますね。それが、今の自分のリアルな心情なので。あと、「NEO SCREAM」は、ファンに対する自分たちの気持ちを明確に伝えた曲です。そこから一歩踏み込んで、中間のヘヴィなパートでは全員で順番にラップをしました。

**K**：ラップ録りは、いい経験になりました。レコーディングというと、楽器を弾いて、それが録音される感覚が染みついているから、ブースに入ってヘッドフォンをして、“これだけで録るのか?”みたいな感じで（笑）。主に猟牙がディレクションしていたんですけど、“こう歌ってみて”とか“今のは違うな”とか言ってきて。“ああ、いつも猟牙は、こういう気分で歌ってるんだ”と思ったし。そういうやり取りを繰り返してるうちに、“うるせぇな！”と思ったけど（笑）。

**猟牙**：俺も、いつもそう思ってるよ（笑）。

**KIFUMI**：ギター陣はスンナリいきましたけど、リズム隊は難航しました。1日で録れなくて、練習してこいと言われて。次の日は、朝イチでTOMOとスタジオに入って。いつもはリズム隊の練習をするんですけど、その日はマイクを借りて、ラップの練習をずっとして、それをMDに録る…みたいな。

**TOMO**：俺、すげぇリズム感ないなと思ったら、リズムにハマるようになったんです。

**——ラップは、普通の歌よりも難しいですよね。レコーディング全体に関しては、いかがでした?**

**K**：ギターに関しては、音色の面で新しいことに挑戦しました。今までは、高音域を主体にした硬い音で弾いていたんですけど、1枚目を聴いた時に、次はちょっと太い音で録ってみたいなと思って。今回は“MANIA”という言葉を掲げているくらいだし、重くてナンボだろう…というのもあったし。それで、今までとは真逆な感じで音作りをしました。「モザイク」や「NEO SCREAM」でピッキング・ハーモニクスをしているんですけど、太い音でやると、すごく気持ちよくて。その場のノリで、入れる気のなかった場所でもやったりしました。今回は、音が変わるとプレイも変わることも含めて、ギターの音の大切さを改めて感じたレコーディングでしたね。

**TOMO**：前作と大きく変わったところは、バスドラの音です。インチ数を変えて、抜けのいい音にしてみました。「黒蟻」を聴いてもらえば、それがいい方向に出たことが分かってもらえるんじゃないかな。あとは、今まではライヴとレコーディングで、セッティングを少し変えていたんです。ライヴでは見せることも考えて、シンバルとかを高くセッティングしているんですけど、今回はライヴ感を出したくて、敢えてライヴっぽいセッティングで叩きました。それも、いい結果に結びついたかなと思っています。

**Ray**：自分のパートに関しては、前作よりも感情を大事にしたフレーズが多くなっています。「NEO SCREAM」のサビ・パートでリードを弾いてるんですけど、そういうリード・プレイやアルペジオを弾く時に、前作よりも感情を込めて。半音チョーキングやクォーター・チョーキングも、音の上げ具合によって気持ちよさは変わってくるので、そういうことも意識しました。楽曲面でいちばん印象が強いのは、「モザイク」ですね。BORNのニュータイプという意味で、すごくデカい1曲かな…というのがあって。今

来上ったので。この曲は、ぜひ聴いてほしいです。

**KIFUMI**：俺も前作の反省を踏まえて、ベースの音を変えることにしました。機材を変えて1曲録って、“2枚目は、この感じの音でいこう”と決めたんです。でも、1曲録ったところでアンプが壊れてしまいまして…。その後は、SCREWのルイさんに、アンプを貸していただきました。全然違うタイプのアンプだったんですけど、その日に録った曲にマッチした音がして。今回は、そういうふうに、自分の中で意図しない変化がすごく面白かったです。今回のレコーディングを経験して、ベースの音は曲によって極端に変えてもいいんじゃないかなと思うようになったし。今後に繋がるレコーディングになりましたね。

**猟牙**：歌に関して言うと、今回の楽曲は1作目以上にアグレッシヴな部分と、メロディアスな部分の差が激しいので、激しいところは、もう極限までアグレッシヴに、メロディ・パートはより綺麗に歌うことを意識しました。それに、その二つだけじゃなくて、その中間も全部使うというか。それぞれの楽曲の、それぞれの場面に合わせた表現をすることを心掛けました。今回は、今まで以上に自分の多重性を発揮できて満足しています。歌に限らず、『BLACK THEORY MANIA』は、BORNの無鉄砲さや自由奔放さが極端に出ましたね。BORNの変態さを、じっくり味わってほしいと思っています。

**——3枚目も楽しみです。今年の夏は、音源リリースに限らず、ライヴも精力的に行なっていますね。**

**猟牙**：ライヴにも、ぜひ足を運んでほしいと思っています。ライヴでは、もうメンバー全員ものすごくハイテンションだし、ファンもすごくて。頭を振って暴れてる人もいれば、笑顔で手拍子してる人とかもいて。最近は「MY SWEET BLACK」をやるようになって、みんなで踊れるシーンも加わったし。BORNのライヴに来れば、誰でもスカッとすると思います！

**Ray**：俺はライヴ中、ずっとクール

合うなと思って。ただ、BORNのメンバーは、それぞれが自分のスタイルを持っているので、そこにはないものを俺は表現したいなと思って取り組んでいます。

**TOMO**：俺の場合、ライヴしか楽しみがないと思ってライヴに臨んでいるところは、今も昔も変わらないです。ただ、昔は冷静さを失って“おらぁー！”という感じだったんですけど、最近は頭の中は冷静さを保ちつつ、心を開放できるようになりました。これは嘘じゃないんですけど…ライヴの時にドラムを叩いていると4人の姿が見えるじゃないですか。それが、すごく集中した時には幽体離脱したみたいな感じになって、5人が見えることがあるんです。

**一同**：ウォーッ!!　マジで!?

**TOMO**：うん、本当にある。まだ数回しかないけど。その瞬間は、すごく快感なので、ライヴの度に味わえるようになりたいなと思っています。

**K**：俺は、最近はちょっと大人になったのかなと思って。『BLACK BORN MARKET』を出したこともあって、今の状況に見合ったライヴをしないと…という意識があるんです。前みたいに、ガツンガツンやるだけじゃダメだろうと。いくべきところは全力でいくけど、TOMOも言ったように冷静さも必要だろうと思ってて。そういうアプローチを採ることで、また新たに見つけられるものもあるだろうし。最近は、そんなことを考えてステージに立っています。

**KIFUMI**：相変わらずハチャメチャなライヴをしているんですけど、そのハチャメチャ感を活かすために、逆に抑えるところは抑えようかとメンバー同士で話したりしているんです。メリハリを付けることで、ハッチャケるシーンになった時の爆発力や、瞬発力が増すんじゃないかなと思って。ずっと100キロで走っていたら、感覚が麻痺して速さを感じなくなるじゃないですか。それは、避けたいな…というのがあるので。

**猟牙**：そうだね。ただ、100キロじゃ普通だから。俺らは基本的に常に200

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# Dolly

**4人の最新アイテムの魔法を今解明する!!**
**最新アルバム『CAPSULE』メンバー全曲解説　後編**

**今回の「星の砂時計」はアナザーストーリー。同じ材料を使っても違う料理になる。**

前号に引き続きDollyの最新アルバム『CAPSULE』を紹介する企画の後編。収録7曲目の「-Shift-」からエンディングチューンの「星の砂時計」までの作品をメンバー自身が丁寧に解説してくれた。前半の楽曲がエレクトロ色の強い作品になっているのとは対象的に後半はDollyらしいロマンテックな味わいを含んだ作品群になっている。この作品がリリースされる9月1日はもう目前。本誌を熟読してから作品を味わおう。

Photography: MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)　Interview: TAKAYUKI MURAKAMI　Location: LOOP(☎03-3252-6310)

蝴蝶网
hudie.com

な味わいになっていますね。

蜜：アルバムの前半は新たなDollyの世界観＋サウンド、そして後半は馴染あるDollyの世界観＋新しいサウンドという意識のもとで作り込んでいきました。なので、『CAPSULE』の後半は、ファンタジー性の強いテイストの曲が多くなっています。これまでのDollyが築いてきたものに近い曲も出てきて。『CAPSULE』の後半は、そういうテイストのものが多くなっています。

聖：曲調を踏まえたアプローチをした結果、アルバムの後半は、どの曲のギターもわりとシンプルになっています。音数を増やすことよりも、空気感だったり、サウンドを重視したギターを弾いたので。やろうと思えば、もっといろんなギターを入れられますけど、敢えて省いた面があって。シンセとバンドの兼ね合いが一番綺麗に纏まっている形に落とし込みました。アルバムの後半では、「downer's pool」が、強く印象に残っています。何もしてないと言ってもいいくらいシンプルなギターということと、その中でエフェクターの音色にこだわって組み立てるといった面白い感じを出せたので。アコギとエレキギターのアンサンブルも上手く活かせたし。この曲は、かなり気に入っています。

亜樹：『CAPSULE』は、全体的にカッチリ叩いた方がフィットする曲が多いんですけど、アルバムの後半はその中でもミディアムからスロー・テンポのゆったりした曲が多めに入っています。「レイトカーニバル」や「downer's pool」は、カッチリ叩くことよりも人間味を重視しました。そういう点では、ただ叩くだけじゃない…という難しさがありましたね。特に、「レイトカーニバル」は、聴いてる感じよりも溜めて溜めて叩かないと、グルーヴが出ないんです。結構走りがちになったりもするので、この曲は大変でした。

——アルバムの後半には、亜樹さんが作曲した「Vertigo」も入っています。

亜樹：この曲は、ライヴの時に、みんなで一体になって乗れる曲が欲しいなと思って作りました。乗りやすいように、シンプルなリズムを軸にして作っていって。構成もアレンジも、わりとシンプルですね。Dollyは凝った構成やアレ

ました。

蜜：歌の面で印象に残っているのは、「星の砂時計」かな。この曲は再録なので、より気持ちが乗る部分がありました。録るにあたって、改めて昔録ったものとかを聴いたりしたんですけど、その時に「星の砂時計」という一つのストーリーは僕の中で完結していると思ったんです。なので、今回の「星の砂時計」はアナザーストーリー的にアレンジしていきました。「星の砂時計」という同じ材料を使うんだけど、違う料理にするというか。そういう意識でレコーディングに向かったので、歌い方も今回のアレンジに合ったもの……空気感を大切にしたりとか。そういうところに気を配りました。

——歌詞の面で、特に印象の強い曲を挙げるとしたら？

蜜：「downer's pool」です。僕らは曲を作る時も楽曲で描きたいイメージの描写から入ることが多いんですね。今回の中で「downer's pool」は、それを最も象徴している曲なので。この曲は、全体的に、たゆたう感じ（ゆらゆらと揺れ動いて定まらない様）がすごく欲しくて、そういうコード・アレンジをして。メロディーもデモのメロに捉われずに、そういう方向に変えていったし。そうやって、すべての要素を、詩の世界観に近づけていったんです。それに、アルバムを頭から聴いていくと分かると思うんですけど、この曲だけ1枚フィルムが噛んでるような質感になっているというか。少し沈ませているんです。そういうところにも詩の世界観が反映されてて。トータルで表現することに徹底的にこだわったという意味で、印象に残っています。

——Dollyの楽曲は、本当に絵画的ですよね。ただ、そこまでイメージが明確にあると、PVを見た時に違和感があったりしません？

蜜：多少ありますね。PVというのは、僕一人で作るものではないので、完全に僕の頭の中のものを表現できることは、まずなくて。でも、そこが音楽をやって面白いところですよね。曲作りの時は僕が軸になるストーリーを作って、そこに他のメンバーが木を生やしたり、星空を作ったりして、彩りを添えていくようなイメージなんですけど、PVを作る時もそれと同じで、監督に僕の真意を理解

こだわるほうなので、監督にしてみれば、たぶん他のアーティストよりも大変だとは思います（笑）。

——どうしても納得のいかないことは、伝えるんですね？

蜜：伝えます。僕が〝青だな〟と思っている時に、青系の色を提示してくればいいんですけど、赤を持ってこられると〝違います〟とちゃんと説明して、変えてもらうようにしています。ただ、アーティスト同士なので。赤ではなくて、例えば黄色を持ってこられた時に、僕がその人のアーティスト性に惹かれることもあるんです。そういう時は、一緒に作ってて楽しいですね。

——『CAPSULE』の初回盤に付属している「GOTHIC PARTY」のPVは、どんなふうに作っていったんでしょう？

蜜：「GOTHIC PARTY」は、1本の映画みたいな曲を作りたい…というところから始まった曲なので。映像にも、そういうテイストを求めました。Dollyだけで表現することも可能でしたが、曲に出てくるようなヒロインの存在があった方がより表現出来るんじゃないかと思って。それを監督に伝えて、子役を使いたい、できれば外人の女の子にして欲しい…ということも、お願いしました。僕の中で『不思議の国のアリス』的なニュアンスを持った、また違う独特な映画のようなストーリーを作ってみたいという想いがあって。そういうところから、尊敬する映画監督スタンリー・キューブリックのようなSFっぽいシーンも入れ込んだりしました。今回の映像に関しては、まさに1本の映画を作ったような感覚です。

聖：「GOTHIC PARTY」の映像は、パラパラとページを捲っていくような展開になってて、どんどん惹き込まれるような感じがあって。客観的に見て、すごくいいPVだなと思います。

亜樹：「GOTHIC PARTY」は、メンバーと監督で打ち合わせをしていく段階で、仕上がりが見えるくらいイメージがしっかりしていたんです。撮影当日はスタジオに行くと、入り込みやすいセットができあがってて。なので、すぐに映像の世界の住人のようになりきれました。

——撮影もスムーズでしたか？

聖：スムーズでした。ただ、合成を使う

内にいるはずなのに、はみ出してしまってて（笑）。それを注意されることが多々ありました（笑）。結構広いところで撮っていたので、感覚が掴めなくて。それで、ちょっと苦労しました（笑）。

亜樹：グリーン・バックで撮る時は、ドラムの正面、横、斜め、後ろ…みたいな感じで、いろんなパターンを撮ったんです。グリーン・バックの背景は固定なので、その度にドラムをセッティングし直す必要があって。それが、結構大変でした。ドラマーは、セットの位置にこだわりがあるんです…他の人が思うより。なのでセッティングして、カメラのところに行ってチェックして、そこから見てタムがちょっとズレていたりすると、もう嫌なんです（笑）。タムに対して、スネアが真ん中にないと許せなかったりとか（笑）。そこは妥協せずに、しっかりやらせてもらいました。

——「GOTHIC PARTY」のPVも必見ですね。『CAPSULE』がリリースされて、その後ツアーも始まって。今年の秋のDollyは、本当に楽しみです。

聖：フル・アルバムは2枚目なんですけど、前作とはまた違って、新しい顔が見える部分がたくさんあって。その辺りを吟味してもらいつつ、それをライヴという生の空気感で味わってもらうことが一番の楽しみなので。『CAPSULE』を聴いたら、ぜひライヴにも足を運んで欲しいと思っています。

亜樹：ワンマン・ツアーは、一年半ぶりなんですよね。そこに、新しいアルバムを引っ提げた、新しいDollyで臨めるのは本当に嬉しいことで。〝楽しみ以外に、なにがあるんだ？〟と思っています（笑）。もう、思いっきり期待してもらって構いません。それを上回るライヴを見せる自信はあるので。

蜜：『CAPSULE』というアルバムが、いろんなストーリーが入った絵本だとすると、それを具現させるようなライヴにしたいと思っているので、会場では『CAPSULE』の世界を、より深く味わってもらえると思います。あとは、今年はDollyの5周年という大きな節目でもあるし、『CAPSULE』と同時に、Dollyが5年間培ってきたものを凝縮したライヴをやっていこうと思っているので期待しててください。

# Dolly 5th Anniversary Oneman Tour 「CAPSULE」

**9/4 (sat)**
浦和 ナルシス（FC限定）

**9/10(fri)**
横浜 SUNPHONIX HALL
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]KMミュージック 045-201-9999

**9/12(sun)**
名古屋 ell.FITSALL
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問] サンデーフォークプロモーション
052-320-9100

**9/14(tue)**
大阪 MUSE
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]SOGO大阪 06-6344-3326

**9/16(thu)**
松山 SALONKITTY
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]夢番地広島 082-249-3571

**9/18(sat)**
福岡 DRUM SON
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]BEA 092-712-4221

**9/19(sun)**
岡山 IMAGE
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]夢番地岡山 086-231-3531

**9/25(sat)**
仙台 JUNK BOX
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]GIP 022-222-9999

**9/26(sun)**
宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
17:30/18:00 ¥3,500/¥4,000
[問]Cygnus 028-637-9999

**9/28(tue)**
新潟 JUNK BOX
18:00/18:30 ¥3,500/¥4,000
[問]FOB新潟 025-229-5000

## Tour Final 10/30 (sat) 赤坂BLITZ

17:30/18:30 ¥4,000/¥4,500 [問]SOGO東京 03-3405-9999

**ticket** [一般発売] 各プレイガイドにて発売中

※9/10～10/30公演対象

※追加の公演詳細に関しましてはDolly Official Siteにてお知らせします

Dolly Official Site http://www.dolly-web.com/
Dolly Official MySpace http://www.myspace.com/dolly-official

蝴蝶网
hudie.com

# 守ってゆくもの…変わってゆくもの…
# 2枚同時ニューマキシ・シングルをリリース。

メンバーの脱退もあってか、ここにきて、自分たちの音楽を見つめ直したアンド。
新しいことを打ち出したいという気持ちから作った『bluff』と『アネモネ』は、
そんな彼らからの強い意思表示でもある。そこを探るべく、まずは作品概要について語ってもらった。
詳しい楽曲解説は、8月28日発売SHOXX別冊の『glitter pop No8』に掲載されているので、是非とも、
照らし合わせて読んでいただきたい。

## アンド
-ECCENTRIC AGENT-

### 俺たちを証明するのは音しかない!!

Interview:ERI MIZUTANI

**―先日、ドラムが脱退。そんな中での新作リリースとなるわけだけど。**

**キリ**：きっと、お客さんとしては、前の状態でこそ最強、って思っていたはず。でも、メンバーが1人欠けたことで、アンドって弱くなったよねとは絶対に思われたくなくて。今まで以上のものを届けるためにはどうしたらいいかっていうことを考えたとき、俺たちが頑張っているのを証明するのは、音しかないんじゃないかって。良いものを聴かせることができたとき、アンドって良い音楽をやっているじゃないかって思われるのかなと。だからこそ、良いものを届けたいという気持ちで、頑張って新作を作りました。

**―今作は、アンドにとって初となる、2タイトル同時でのリリースとなるわけだけど、ドラム録りはどうしたの？**

**キリ**：サポートドラマーにお願いしました。今回、2タイトルを同時に出す理由としては、より深いアンドを感じてもらいたいと思ったのがキッカケなんです。

**―聴かせてもらったけど、ずいぶんとタッチが違うよね。**

**キリ**：この2枚でそれぞれの表情を持ったアンドを表現したいと思ったんですよね。

**―ちなみに、それぞれのテーマは？**

**キリ**：「bluff」では、今までアンドがやってこなかったもの、新しい一面を見せられるようなCDにしたいというのがテーマでした。なので、一言で表わすならば、〝革命ディスク〟ですね。きっと、今までのアンドを好きな人は驚くと思います、アンドってこういうこともできるのかと。そして、もう片方の「アネモネ」という作品は、「bluff」とは全く逆で、〝感情ディスク〟となっています。これは、その名のとおり、感情的な曲をチョイスしたんですけど、アンドがライヴで見せてきて手応えを感じていたものや、曲に対して世界観が作りやすいものを入れています。どちらも大きなテーマを掲げてから作っただけに、まるで異なるものが出せたと思います。

**―それでこそ、2タイトルでリリースする意味があるわけだしね。では、「bluff」の聴きどころは？**

**けん**：収録曲全て、自分が作曲しているんですけど、新しいところを見せていこうと思っていたので、今までにやったことのないようなデジタルな曲を入れてみたりしました。

**―これには驚かされたな。**

**けん**：アンドって、ヘヴィロックなバンドだと思うんですけど、そこに新しい要素が加わることで、また違った色が出せるんじゃないかなって。トータルでかっこいい曲ができあがったと思うし、さっき、キリが言ったように、革命的なCDになったと思いますね。

**―「アネモネ」の聴きどころというと？**

**キリ**：唯一のバラードが入っているのがこっちのCDなんですけど、実にアンドらしい作品になったなって思います。

**PECO**：CDを聴いただけで世界観に引き込まれるものにしたかったんです[illegible]を目指して制作していきました。[illegible]いという気持ちがあったからこそ[illegible]ていくうちに感情が入っていくのが[illegible]でもわかりました。

**―両方とも、ライヴだと更にかっこよくなりそう。**

**郁磨**：元々、ライヴでこういう曲があったらいいなという想いから、「bluff」と「アネモネ」が生まれたので、実に、ここに収録されている6曲は、これからのライヴにメリハリを作ってくれると思いますね。

**―リリース後にはツアーも始まります。**

**キリ**：ミッション7として、『六大都市単独公演巡業任務 炎上 地獄轟』と題したワンマンツアーを行います。今回のツアーでは、もっと自分たちの良いところを伸ばしていけたらなと。前回のツアーを廻って、勢いの部分は意識しなくても出せるようになったので、そこだけではないところに目を向けていこうかなと思います。

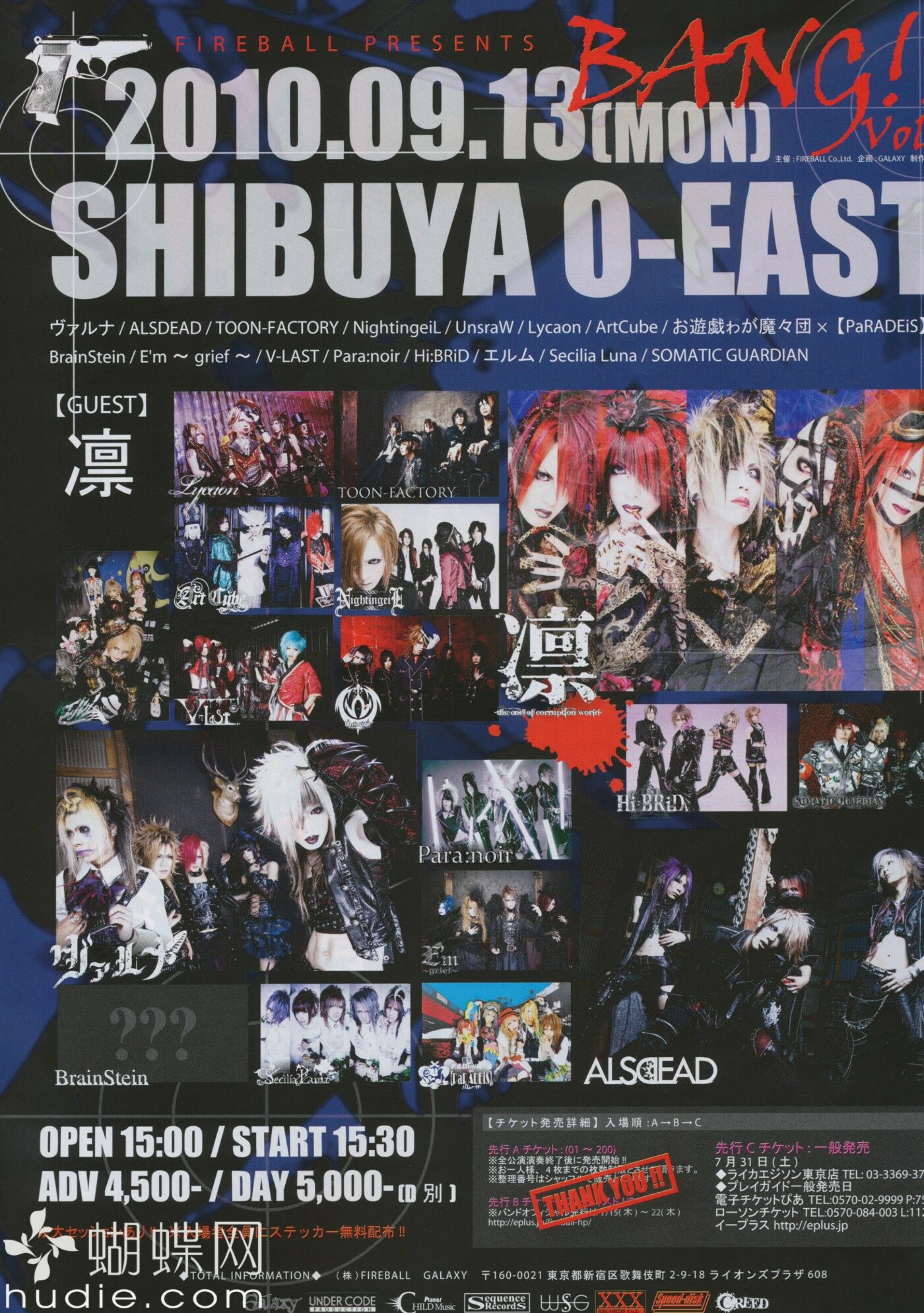
**郁磨**：今回のツアー、一本調子のつまらないライヴにはしたくないので。

**―となると、アンドが今1番大事にしていきたいことって何だろう？**

**キリ**：〝深さ〟ですかね。それが必要だから、2タイトルを出したというのもあるし。更なるオリジナリティを追求すべく、全力でツアーをこなし、11月21日のShibuya O-EAST公演に繋げていきたいと思います。



蝴蝶网
hudie.com


FIREBALL PRESENTS
BANG!
2010.09.13(MON)
主催：FIREBALL Co.,Ltd. 企画：GALAXY
SHIBUYA O-EAST
ヴァルナ / ALSDEAD / TOON-FACTORY / NightingeiL / UnsraW / Lycaon / ArtCube / お遊戯わが魔々団 × 【PaRADEiS】
BrainStein / E'm ～ grief ～ / V-LAST / Para:noir / Hi:BRiD / エルム / Secilia Luna / SOMATIC GUARDIAN
【GUEST】
凛
Lycaon
TOON-FACTORY
NightingeiL
凛
Hi:BRiD
SOMATIC GUARDIAN
Para:noir
ヴァルナ
???
BrainStein
ALSDEAD
OPEN 15:00 / START 15:30
ADV 4,500- / DAY 5,000- (D 別)
ステッカー無料配布 !!
【チケット発売詳細】入場順 :A→B→C
先行 A チケット : (01 ～ 200)
※全公演演奏終了後に発売開始 !!
THANK YOU !!
先行 C チケット : 一般発売
7 月 31 日 ( 土 )
◆ライカエジソン東京店 TEL: 03-3369-37
◆プレイガイド一般発売日
電子チケットぴあ TEL:0570-02-9999 P:75
ローソンチケット TEL:0570-084-003 L:112
イープラス http://eplus.jp
◆TOTAL INFORMATION◆ (株)FIREBALL GALAXY 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-9-18 ライオンズプラザ 608
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

# 愛狂います。×R指定

## いずれ、“昔、あのバンドとあのバンドがカップリング・ツアーをしてたよね”と語り継がれるようになれたらいいね！

### 世に咲いた二輪の花。組んず解れつ狂い咲く！

23日の正午より、『愛狂います。×R指定』スプリット限定CDの販付がスタートする。この作品は、音楽専科社オフィシャルホームペーみで受付を行う通信販売限定CD。しかもリリース後には、この2バンカップリング・ツアーも行う。取材は、まだまだお互い初対面に近い状中で行われた。多少固さのある空気が、ツアーを重ねるごとにどう絆くしていくのか、そこにも注目していただきたい。

ew:TOMONORI NAGASAWA

**──SHOXX誌上限定にて、『愛狂います。×R指定』のスプリットCDが発売になります。この作品が誕生するきっかけから、まずは教えてください。**

**ルビ：**今年4月下旬に、仙台でR指定さんと対バン・ライヴをした後に、マモさん、七星さん、楓さんの3人と、僕を加えた4人で飲みに行ったんですよ。そのときにツアーの話になり、R指定さんはまだ北海道へ行ったことがなかったんで、じゃあ一緒に北海道へライヴしに行こうよという話で盛りあがったんですね。その話をスタッフさんに持ちかけたところ、一緒にカップリングでツアーして、さらにスプリットCDを作る話までとんとん拍子に進んだんです。

**──お互い、以前から深い関係だったんですか？**

**マモ：**それが、対バンした経験はあったけど、一緒に飲んだのも、その仙台の時が初めてだったんです。今回のCD用の写真撮影で、初めて話をしたメンバーもいたくらい。だから、お互いまだまだ新鮮な感じなんです。

**えみる：**だからこそ、カップリング・ツアーを通し、お互いどれだけ深い関係になっていけるのかが楽しみなんですよ。

**ルビ：**うちら、カップリング・ツアーは、今回が初体験なんですけど、R指定さんは、何度かやってますよね。

**マモ：**何度かやったかなー？　カップリング・ツアーの醍醐味は、ライヴをやりながら、お互いジワジワと理解を深め合えるところ。最初は人見知りしていても、終盤には深い仲になっていることが多いからね。

**七星：**そんなことを言いつつ、うちのバンドは人見知りが多いから、お酒を介してでないと、なかなか話が出来ないんで。

**ルビ：**うちで呑むのは、僕とさらんだけなんですよ。

**えみる：**いや、俺は呑むよ、俺は、呑む！

**ルビ：**うちらもみんな〝人見知ラー〟だから、そこは、ちょうど釣り合ってるんじゃないかな（笑）

**──お互いのバンドのこと、どんな印象で捉えてます？**

**マモ：**激しさもありながら…とにかく派手っすね。しかも、すごく個性的！

**えみる：**R指定さんも、かなり激しいで

蝴蝶网
hudie.com

奏してたんですよ。後でメンバーさんに聴いたら、彼は〝ぬいじゃう系〟なんだって言っていました。納得でした（笑）

**七星**：そうなんですよ。テンション上がったら、つい脱いでしまいます。

**えみる**：このカップリング・ツアーの見所や目的の一つが、会場の人たちを熱狂させながら、いかにして七星さんを上半身裸にさせるか。それに対抗して、うちのベースも脱げるのか…そこですね。

**宏崇**：さらんくんの衣装って、すでに半分脱いでるみたいだけどね（笑）

**――ツアーの話に入る前に、それぞれCDに収録した楽曲たちのことも教えてください。**

**マモ**：R指定が収録したのは、以前にシングルのC／Wとして発売しながらも、シングル盤が完売したため、すでに手に入らなくなっていた楽曲たち。しっとりとしたバラードの「桜散レバ」と激しめにせまっていく「シザーカット」は、ライヴでは定番でやっている曲たちなので、新たにバージョンアップさせた形で、今回収録しました。

**ルビ**：うちらも、ライヴで定番でやっている楽曲の中から、会場限定で発売した「チョコサンドビスケットクリーム」を、そして、以前制作した限定オムニバス盤に収録されていた「くるくる。と胎児は廻る」を、同じくバージョンアップさせ、この機会に収録しました。以前からCDとして手に入れられるようにして欲しいという声が多かったけど、いまさらシングルやアルバムに入れるのは…と思案していたんですが、今回、いい機会だったんでリリースします。

**――先に北海道でライヴをやりたいと話したことが、きっかけと言ってましたが。いきなりこのツアーでは、札幌で2DAYSやっちゃうんですね。**

**宏崇**：北海道と言えば、愛狂います。さんのメンバーで〝馬に頭を食べられた人がいる〟という噂を聴いたんだけど、それは本当なんですか？

**えみる**：本当です（笑）。昨年、ツアーの一貫で北海道へ行ったときに、空き日が出来たんで、みんなで〝牧場へ行こうよ〟という話になり、行ったんですけど、着いた牧場には、ものすごくでっかい馬がいて、あまりのデカさに、観光客たちがみんな逃げるんですよ。そんな中、メンバーに突撃を命じられたヴォーカルが馬に近づいていったんですね。彼は、その頃、緑色の頭をしていたせいで、馬が草と間違えたのか、いきなりかぶりつかれて…って言うか、2つの歯で殴られたみたいな力で噛まれたんですよ（笑）。そういえば、宏崇さんも頭が緑色っぽいから、どうです？

**宏崇**：えっ!?

**楓**：やるしかないだろ（笑）

**――このツアーを通し、一緒にやりたいことなど、もう決めてます？**

**ルビ**：まだ先のことなので、何かをやる話はまだしてないんですけど、定番ですが、ツアー・ファイナルの頃には、一緒にセッションできるくらい、みんな仲良く絡み合っていける関係になれてたらいいなと思います。ちょうど今回のツアー、渋谷BOXXでスタートし、渋谷O-WESTに帰ってくる形になっているので、BOXXの頃の関係が、O-WESTのときには何処まで深くなっているのかも、見どころだと思います。

**さらん**：みんな、ライヴで脱いじゃうくらいの関係になってるかも知れないし。

**えみる**：七星さんは、逆に服を着てるかも知れない（笑）

**七星**：なんか丸くなっとるやん、俺（笑）

**えみる**：ともあれ、どの会場も一緒に盛り上げて、いい雰囲気にしたい。そのう

**七星**：いずれ、〝昔、あのバンドとあのバンドがカップリング・ツアーをしてたよね〟と語り継がれるようにまでなれたら、大成功なんだろうね。

**ルビ**：カップリング・ツアーって、似たような雰囲気のバンドさん同士でやることが多いけど、うちらは、両極端。その辺でも、お互い刺激を受け合いたいし、そこに、お客さんたちも面白さを感じてもらえたらなと思ってます。

**マモ**：カップリング・ツアーって、ある意味、毎回が戦いの場みたいなものじゃないですか。だからこそお互い、いいライバルとして、毎回刺激しあっていけたらなと思います。

**――最後にみなさん、カップリング・ツアーへの意気込みを語ってください。**

**宏崇**：せっかくのカップリング・ツアーですから、ファイナルのO-WESTの頃には、会場をSOLD OUTさせるまでの勢いを描きたいと思っています。ツアー前とツアー後の姿を見比べながら、お互いのバンドが、どれだけ成長したのかも、実際に体感して欲しいなと思ってます。

**玲音**：ライヴを通じて、〝お互いのバンドはもちろん、お客さん同士も、一緒に楽しめる関係になれたらいいなと思います。もう一つは、対バンすることで、いろいろと勉強させてください。

**七星**：この2バンドとも、シーンの中では飛び道具的な存在だと、俺は思ってる。

んなで協力していきたい。

**さらん**：結果的に、どっちのバンドも好きになってくれたら嬉しいです。

**楓**：お互いに刺激しあいながら、互いの未来に繋がるツアーにしていきたい。そのためにも、相手の演奏からも刺激を受けたいなと自分は思ってます。特にルビさんのプレイは、ツアー中見続けていこうと思っているので。

**ルビ**：バンド全体を観て楽しむのは、もちろん、一プレイヤーとして、R指定の2人のギタリストはすごく気になっています。僕も、やっぱし2人の目は意識しちゃいますし。そうやって刺激しあいながら、それぞれの良い面を引き出し続けていけたら、いいですよね。

**Z**：まだまだ今は、お互いの目の前に薄いフィルターがあるのは事実。それを1枚ずつ取り除きながら、互いを尊敬しあい、お互いを良きライバルとして認め合いながら、このツアーを楽しんでいけたらなと思います。

**マモ**：それぞれに〝個性が強い〟という面では、似た者同士。だからこそ、Zも言ってたように、刺激しあえるライバルとして、カップリング・ツアーを楽しみ続けていきたいね。

**えみる**：互いにいいライヴをやってれば、絶対にバンドも、お客さんも楽しくなるはず。その楽しさが大きくなればなるほど、会場がものすごいことになっていくと思うので、その空気を作りましょう。

hudie.com

愛狂います。 両曲共にリミックス、リマスタリング音源
録曲：1. チョコサンドビスケットクリーム 2. くるくる。と胎児は廻る

R指定 「シザーカット」再録、両曲共にリマスタリング音源
収録曲：1. 桜散レバ 2. シザーカット

ブックレット8ページ(オールカラー)撮りおろし写真
(税込) 別途送料600円 【予約受付期間・商品発送期間】
0年8月23日 正午12時より受け付け開始〜2010年9月24日消印分にて予約〆切り
0年9月下旬

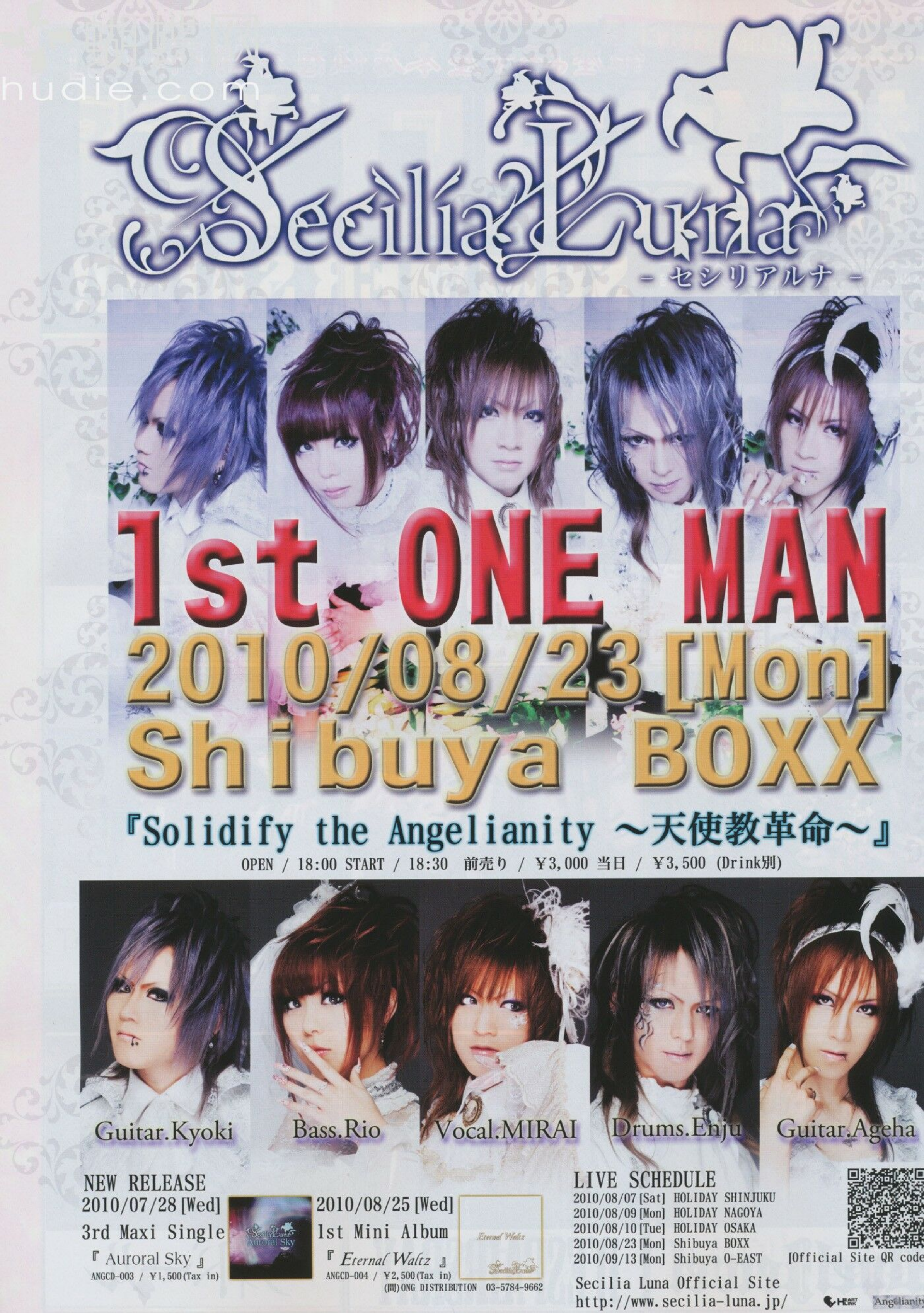
法】
、携帯電話でのお申し込み:PC(パソコン)、携帯電話(一部対応できない機種もあります)からもお申し込みできます。
お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマート各店でできます。商品は宅配便にてご自宅に届きます。
申し込み>音楽専科社オフィシャルHP→http://www.ongakusenkasha.co.jp/
ドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/aikuru_rshitei/index.html
上、お申し込み下さい。
らのお申し込み>専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/aikuru_rshitei /index_mob.html
Rコードにアクセスの上、お申し込み下さい。

のお申し込み:お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、
加えた代金(1セット:定価2,100円+送料600円=2,700円)をお振込み下さい。
番号:00170-6-190906
楽専科社
います。×R指定CD」
名:あなたの住所(マンション/アパート名、部屋番号を正確に。引越しされる方は
移転先の住所も記入して下さい)、氏名、電話番号を忘れずにご記入下さい。

販売:㈱音楽専科社
〒104-8228東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

振込取扱票

口座番号 00170-6-190906
金額 2700
加入者名 ㈱音楽専科社
料金
特殊取扱
通信欄 「愛狂います。×R指定CD」
1セット
支払人住所氏名 (郵便番号 )
あなたの住所、氏名、電話番号
(電話番号 - - )
(郵政省)
受付局日附印


hudie.com
Secilia Luna
- セシリアルナ -
1st ONE MAN
2010/08/23 [Mon]
Shibuya BOXX
『Solidify the Angelianity ～天使教革命～』
OPEN / 18:00 START / 18:30 前売り / ¥3,000 当日 / ¥3,500 (Drink別)
Guitar.Kyoki
Bass.Rio
Vocal.MIRAI
Drums.Enju
Guitar.Ageha
NEW RELEASE
2010/07/28 [Wed]
3rd Maxi Single
『Auroral Sky』
ANGCD-003 / ¥1,500 (Tax in)
2010/08/25 [Wed]
1st Mini Album
『Eternal Waltz』
ANGCD-004 / ¥2,500 (Tax in)
(問) ONG DISTRIBUTION 03-5784-9662
LIVE SCHEDULE
2010/08/07 [Sat] HOLIDAY SHINJUKU
2010/08/09 [Mon] HOLIDAY NAGOYA
2010/08/10 [Tue] HOLIDAY OSAKA
2010/08/23 [Mon] Shibuya BOXX
2010/09/13 [Mon] Shibuya O-EAST
[Official Site QR code
Secilia Luna Official Site
http://www.secilia-luna.jp/

蝴蝶网
hudie.com

企画 !!

銀座よろず屋本店仮想店舗(ヴァーチャルショップ)「柿ノ元」

# 福袋2010 SUMMER SALE!!

ここでしか手に入らないアーティスト・レーベルの福袋を大放出 !! 販売価格の２～３倍のアイテムが入っています !!

※一部数量に限りのある商品がございます。ご了承ください。

## F-01 Versailles

Versailles
Philharmonic Quintet

## F-02 Plastic Tree

plastic tree

## F-03 ドレミ團

ドレミ團
Don't Let Me Down

## F-04 Daizy Stripper

DaizyStripper

## F-05 Wizard

Wizard

## F-06 D

D

## F-07 ヴィドール

ヴィドール

## F-08 D'espairsRay

D'ESPAIRSRAY

## F-09 デュエルジュエル

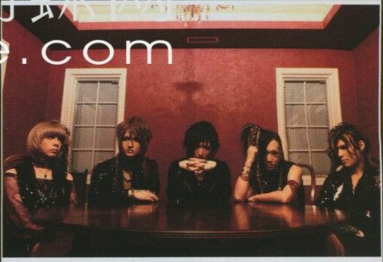
DuelJewel

蝴蝶网
hudie.com

**F-12** DOLLY

Dolly

**F-11** 摩天楼オペラ



摩天楼オペラ

**F-10** Mix Speaker's,Inc.

Mix Speaker's,Inc

**F-15** ALiBi

ALiBi

**F-14** NEU

neu

**F-13** -OZ-

OZ

**F-18** TOON-FACTORY

TOON-FACTORY

**F-17** 愛狂います。

愛狂います。 aicle

**F-16** シリアル⇔NUMBER

シリアル⇔NUMBER

**F-21** UNDER CODE PRODUCTION

UNDER CODE PRODUCTION

**F-20** HERO

HERO

**F-19** 少女-ロリヰタ-23区

少女-ロリヰタ-23区

lolita 23

## F-25 花少年バディーズ

不良品種 花少年バディーズ

## F-24 Ap(r)il

Ap(r)il

## F-23 アヲイ

アヲイ

## F-22 Sadie

Sadie

## F-29 Secilia Luna

Secilia Luna

## F-28 アンド

アンド
-ECCENTRIC AGENT-

## F-27 A&D

A&D

## F-26 ZEST

蝴蝶网
hudie.com

## F-32 CROW MUSIC

CROW MUSIC

## F-31 ギャラクシー

Galaxy

ヴァルナ

ALSDEAD

## F-30 清水屋レコード

Lycaon

Juliette ジュリエット

Re:dis

■定価：各 3,150 円（税込）
■送料：700 円

■受付期間：2010 年 7 月 21 日～ 9 月 5 日（消印有効）
■商品の発送：9 月末より順次発送

**お申し込み方法】**

商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料 700 円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。
■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。（複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料 700 円をご記入ください）

■加入者名　株式会社　音楽専科社
■通信欄　柿ノ元・ご希望の商品名・ご希望の商品番号（F01 ～ F32）・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。

【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒 104-8228　東京都中央区銀座 6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

※ 一部数量に限りのある商品がございます。品切れの際はご返金させて頂きますのでご了承ください。

http://dizsolid.com/
蝴蝶网
hudie.com
dizSolid
2010.09.08(水) 両A面 2nd Maxi Single Release
偶 -hitogata- / 烟月と歪んだ愛と闇
完全生産666枚 / 3Tracks / DSCD-002 / ¥1,260(tax in) 【収録曲】1.毘盧遮那(Instrumental) 2.偶-hitogata- 3.烟月と歪んだ愛と闇
【取扱店】・Like an Edison 東京店・Like an Edison 名古屋店・Like an Edison 大阪店・Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
・closet child 新宿店・closet child 池袋店・closet child 原宿店・closet child 横浜店・closet child 相模大野店
2nd Maxi Single 先行発売Tour
ISOLATION DOLLS
08.22(日) 浦和NARCISS
08.27(金) HOLIDAY NAGOYA
08.31(火) HOLIDAY OSAKA
09.07(火) 高田馬場AREA TOUR FINAL 主催EVENT
VIRUSYANA
【開場】16:00 【開演】16:30 【前売】¥2,800(D別) 【当日】¥3,300(D別) 【出演バンド】dizSolid / エゴis与徒 / 『7191...』 / BALLY / VIRGENOW / アケノカラス / Vellga / 荒くれ
【チケット】7/8よりdizSolid会場物販席にて整理番号001～050絶賛販売中。7/15よりLike an Edison東京店にて整理番号051～100絶賛販売中。整理番号101からは各バンド予約となります。
【来場者特典DVD】dizSolidを密着レポートした映像集。普段見る事が出来ない彼等の裏側を余すことなく収録！
【Live schedule】・09.16(木) 高田馬場AREA ・09.26(日) 浦和NARCISS・09.28(火) 目黒鹿鳴館・09.29(水) 池袋RUIDO K3・10.04(月) 池袋Black Hole

イマドキOLの新定番

# 心も体も癒してくれるCOLOR!!

## 翌朝すぐに効果を実感!!

～MAVERICK STYLE～

Vol.001

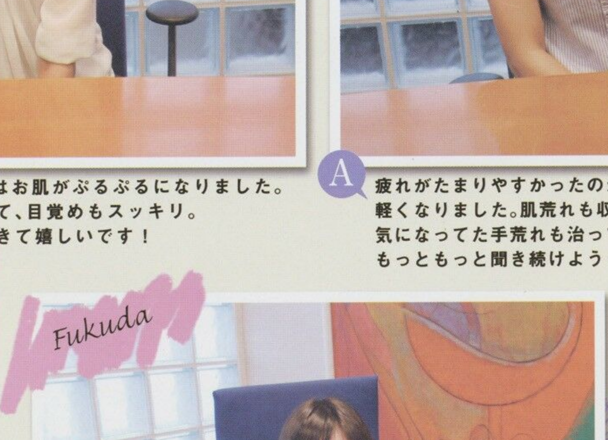
COLOR

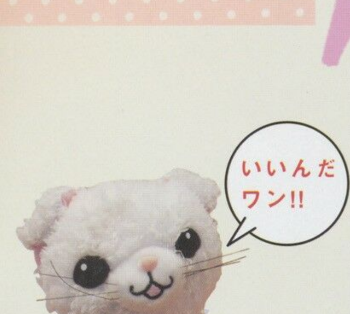
お出かけの際には忘れずに「COLOR」を。
世の女性に大人気の「COLOR」初回盤と通常盤の2重使いもオススメ!!!
さらに10/6に発売予定の新作とのライン使いで秋のアナタにも自信が持てます!!
聞き続けるときっといい事があります!!

蝴蝶网
hudie.com

A COLORを聞いた翌朝にはお肌がぷるぷるになりました。
いつもよりぐっすり眠れて、目覚めもスッキリ。
こんなにキレイが実感できて嬉しいです！

A 疲れがたまりやすかったのが、COLORを聞いてるうちに体
軽くなりました。肌荒れも収まって、美白効果も出てきまし
気になってた手荒れも治ってきたし、効果絶大です。
もっともっと聞き続けようって思ってます。




A 聞き始めてすぐに、肌に透明感が出てきました。
彼にもキレイになったねって褒められました！
お肌がキレイになると、気持ちも優しくなるし、COLORの
おかげです。

※効果には、個人差があります。

商品のお問い合わせ・ご注文
Shop Information「MAVERICK」
東京都渋谷区恵比寿南2−8−12 3F
各種お問合わせ information@m-dci.com　注文方法 http://www.girugamesh.jp/
ギルガメッシュ COLOR 検索

COL
初回限定盤
通常盤 ¥1,2


hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Printed in Japan
雑誌04537-10
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045371002
00933